

**川口市**  
**第8期高齢者福祉計画・介護保険事業**  
**計画策定に係る高齢者等実態調査**  
**調査結果報告書**

**令和2年3月**



# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査対象及び回収状況 .....	1
3. 調査方法 .....	1
4. 調査結果の見方 .....	2
<b>II 市民調査結果の概要</b> .....	<b>3</b>
1. 基本属性 .....	3
2. 日常生活や社会活動 .....	8
3. 身体や健康について .....	24
4. 認知症について .....	38
5. 地域包括支援センター .....	43
6. 介護保険制度について .....	45
7. 本人の要介護状態（在宅サービス利用者） .....	60
8. 本人の介護サービス利用状況（在宅サービス利用者） .....	63
9. 主な介護者について（在宅サービス利用者） .....	86
10. 施策・取り組みについて .....	100
11. 生活機能評価について .....	109
<b>III 事業所調査結果の概要</b> .....	<b>126</b>
1. 事業所属性 .....	126
2. 経営状態・経営環境 .....	129
3. 介護職員等処遇加算について .....	130
4. 職員の採用について .....	132
5. 事業所の状況と取り組み内容 .....	135
6. 情報の収集・発信について .....	137
7. 今後のサービス提供の方向性 .....	139
8. 地域包括ケアシステムについて .....	144
9. 介護人材の実態 .....	146
<b>IV 自由記載</b> .....	<b>150</b>
1. 市民アンケート調査（65歳以上） .....	150
2. 市民アンケート調査（在宅介護） .....	153
3. 市民アンケート調査（2号被保険者） .....	155
4. 市民アンケート調査（介護サービス事業者） .....	157
<b>V 資料編（調査票）</b> .....	<b>159</b>
1. 市民アンケート調査（65歳以上） .....	159
2. 市民アンケート調査（在宅サービス利用者） .....	169
3. 市民アンケート調査（2号被保険者） .....	179
4. 介護サービス事業者 .....	187



## I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする「第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、高齢者等の実態を踏まえ介護サービスの現状と需要を把握するとともに、本市における課題の整理を行い、今後目指すべきサービス基盤の方向性を検討する基礎資料を得るため、実施したものです。

## 2. 調査対象及び回収状況

## (1) 調査方法

郵送による配布・回収方式

## (2) 調査の対象者と配布数

調査の配布対象者と配布数は、次のとおりです。

調査種類	対 象	配布数	有効回収数 /回収率	参考 (H29) 回収率
①65歳以上 (第1号被保険者) 調査	65歳以上（要支援認定者でサービス利用者・要介護認定者を除く）の市民	2,500	1,706 68.2%	69.8%
②在宅サービス利用者調査	65歳以上、要支援・要介護認定者で、在宅介護サービス利用者	2,000	1,228 61.4%	63.2%
③2号被保険者調査第	55歳～64歳の市民	1,200	718 59.8%	59.0%
④介護サービス事業者調査	市内介護サービス（介護予防サービス含む）を提供する事業者	300	230 76.7%	77.0%

## (3) 基準日

令和元年12月1日（日）

## (4) 調査期間

令和元年12月13日（金）～12月27日（金）

## 3. 調査方法

郵送配布・回収

### 4. 調査結果の見方

- ◇タイトル右には、設問に応じ、SA（単数回答）、MA（複数回答）、NA（数値回答）、FA（自由記述）を示しています。
- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフのnの値は、当該設問の回答者数を示しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、SAの設問における複数回答など）の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

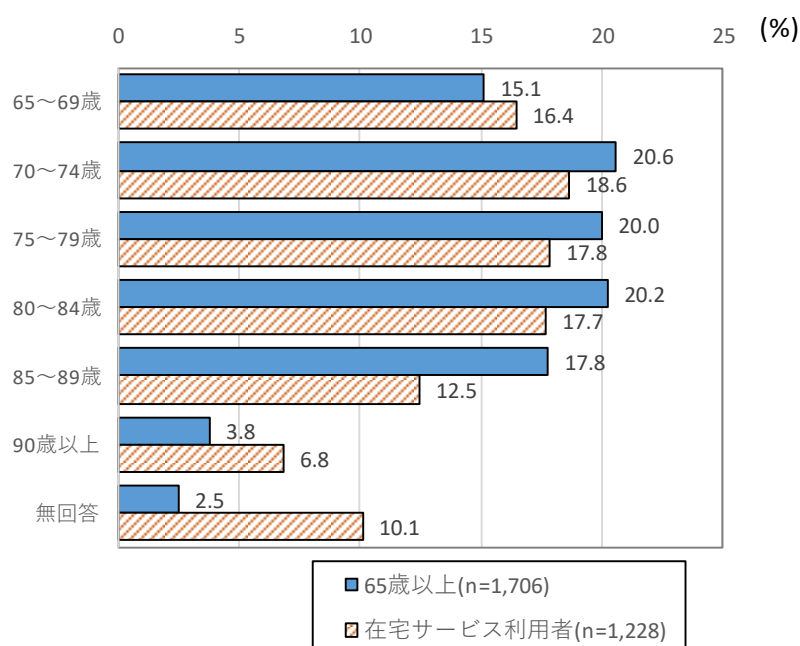
## II 市民調査結果の概要

### 1. 基本属性

#### 1.1 年齢（SA）

65歳以上の年齢は、前期高齢者(65～74歳)が35.7%、後期高齢者(75歳以上)が61.8%、在宅サービス利用者は、前期高齢者(65～74歳)が35.0%、後期高齢者(75歳以上)が54.8%となっています。

在宅サービス利用者を要介護度別にみると、“要支援1”は、「80～84歳」、「要支援2」は「85～89歳」が最も高くなっています。また、“要介護1”は「75～79歳」、「要介護2」「要介護3」は「70～74歳」、「要介護4」は「65～74歳」の前期高齢者で最も高くなっています。



#### (在宅サービス利用者)

		合計	Q 5. 年齢						
			65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
要介護度	全体	1228	16.4	18.6	17.8	17.7	12.5	6.8	10.1
	要支援1	92	15.2	14.1	18.5	27.2	19.6	4.3	1.1
	要支援2	116	16.4	15.5	15.5	21.6	22.4	6.0	2.6
	要介護1	271	17.7	15.5	23.2	22.9	13.7	6.3	0.7
	要介護2	266	18.0	27.8	17.7	16.5	12.4	7.5	0.0
	要介護3	167	16.2	25.1	15.0	18.0	13.2	11.4	1.2
	要介護4	83	26.5	20.5	26.5	13.3	8.4	3.6	1.2
	要介護5	87	21.8	18.4	24.1	12.6	8.0	13.8	1.1
	わからない	12	33.3	8.3	8.3	33.3	16.7	0.0	0.0

## II 市民意識調査結果の概要

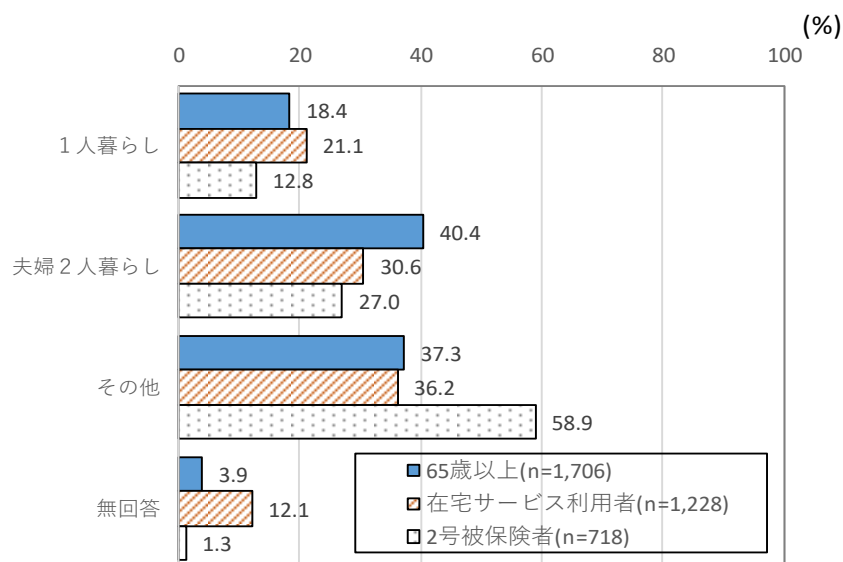
### 1.2 世帯状況 (SA)

65歳以上は「夫婦2人暮らし」、在宅サービス利用者と2号被保険者は「その他」が最も高くなっています。また、「1人暮らし」は、在宅サービス利用者の2割以上を占めています。

日常生活圏域別にみると、65歳以上では「1人暮らし」は“中央”“横曽根”“青木”では、25%以上と高くなっています。

在宅サービス利用者では、「1人暮らし」は“上青木”“前川”で34.0%程度と高くなっています。

2号被保険者では、“60～64歳”は「夫婦ふたり暮らし」が最も高くなっています。



### (65歳以上)

	合計	Q 6. 世帯状況						
		1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下)	息子・娘 との2世帯	その他	無回答	
全体	1706	18.4	36.6	3.8	20.4	16.9	3.9	
日常生活圏域	中央	86	25.6	37.2	1.2	19.8	15.1	1.2
	横曽根	75	25.3	30.7	6.7	20.0	16.0	1.3
	西	102	21.6	33.3	3.9	21.6	17.6	2.0
	青木	79	25.3	35.4	2.5	17.7	17.7	1.3
	上青木	84	11.9	34.5	4.8	19.0	26.2	3.6
	前川	75	21.3	28.0	2.7	25.3	18.7	4.0
	南平	78	16.7	35.9	10.3	23.1	12.8	1.3
	南平みなみ	73	19.2	38.4	6.8	11.0	20.5	4.1
	新郷	82	18.3	40.2	6.1	18.3	14.6	2.4
	新郷東	83	21.7	42.2	1.2	15.7	16.9	2.4
	神根	77	10.4	41.6	2.6	28.6	14.3	2.6
	神根東	85	17.6	34.1	3.5	23.5	16.5	4.7
	芝	68	20.6	38.2	5.9	14.7	19.1	1.5
	芝伊刈	85	11.8	44.7	4.7	20.0	15.3	3.5
	芝西	84	20.2	42.9	2.4	22.6	10.7	1.2
	安行	86	10.5	45.3	1.2	22.1	18.6	2.3
	戸塚	88	14.8	35.2	0.0	26.1	21.6	2.3
	戸塚西	80	18.8	28.8	3.8	31.3	15.0	2.5
	鳩ヶ谷東部	82	19.5	40.2	4.9	15.9	17.1	2.4
	鳩ヶ谷西部	74	13.5	41.9	5.4	14.9	17.6	6.8
年齢 (統合)	前期高齢者	609	16.4	41.5	6.2	14.1	20.0	1.6
	後期高齢者	1054	19.4	34.6	2.4	24.2	15.4	4.0

<sup>1</sup> 前期高齢者：65～74歳、後期高齢者：75歳以上



## II 市民意識調査結果の概要

### (在宅サービス利用者)

		合計	Q 3. 世帯状況			
			単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体		1228	21.1	30.6	36.2	12.1
日常生活圏域	中央	53	24.5	35.8	39.6	0.0
	横曽根	55	27.3	41.8	30.9	0.0
	西	56	26.8	42.9	28.6	1.8
	青木	49	30.6	28.6	40.8	0.0
	上青木	53	34.0	18.9	39.6	7.5
	前川	50	34.0	22.0	40.0	4.0
	南平	55	21.8	41.8	34.5	1.8
	南平みなみ	56	19.6	35.7	42.9	1.8
	新郷	50	20.0	42.0	32.0	6.0
	新郷東	47	19.1	38.3	40.4	2.1
	神根	50	18.0	28.0	50.0	4.0
	神根東	43	18.6	34.9	46.5	0.0
	芝	56	25.0	30.4	37.5	7.1
	芝伊刈	50	14.0	42.0	42.0	2.0
	芝西	48	25.0	43.8	31.3	0.0
	安行	49	26.5	36.7	30.6	6.1
	戸塚	54	29.6	24.1	46.3	0.0
	戸塚西	50	12.0	22.0	62.0	4.0
	鳩ヶ谷東部	50	20.0	36.0	38.0	6.0
	鳩ヶ谷西部	55	12.7	41.8	45.5	0.0

### (2号被保険者：55～64歳)

		合計	問4. 世帯状況						
			ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	子どもの家族と同居	未婚の子どもと同居	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	その他	無回答
全体		718	12.8	27.0	6.4	30.5	7.2	14.8	1.3
年齢	55～59歳	364	12.9	22.0	6.9	30.5	9.1	17.9	0.8
	60～64歳	345	13.0	33.0	5.8	31.3	4.9	11.6	0.3

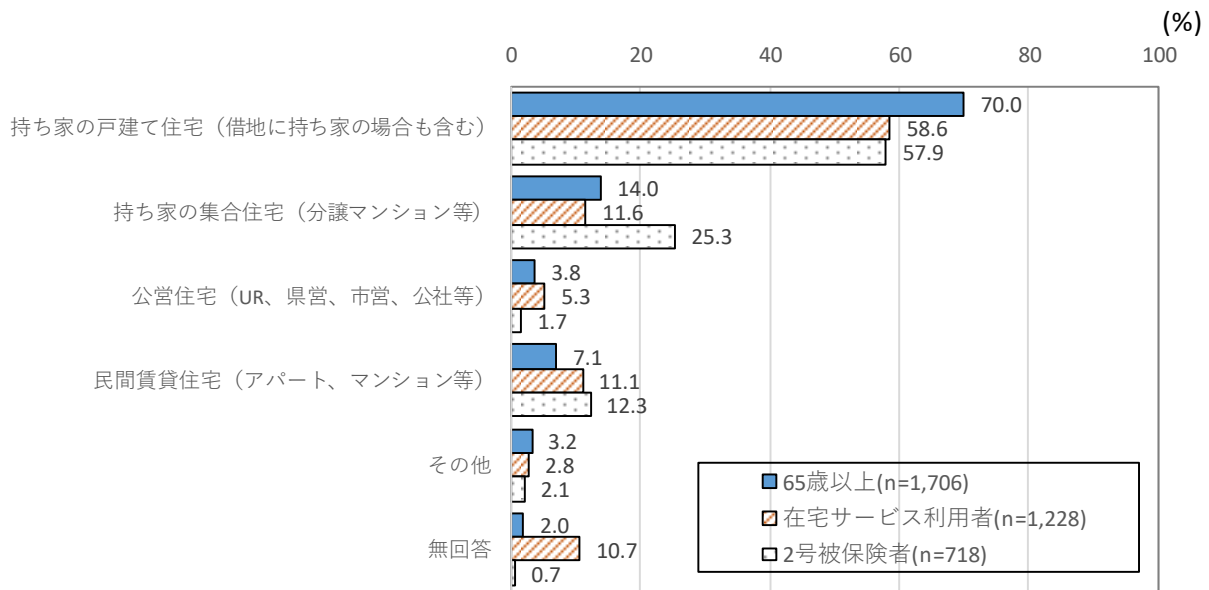
## II 市民意識調査結果の概要

### 1.3 住居形態 (SA)

65歳以上、在宅サービス利用者、2号被保険者共に「持ち家の戸建て住宅（借地に持ち家の場合含む）」が最も高くなっています。

「持ち家の戸建て住宅（借地に持ち家の場合含む）」は、65歳以上の年齢別でみると、“後期高齢者（75歳以上）”が高く、2号被保険者の年齢別でみると、“60～64歳”がやや高くなっています。

在宅サービス利用者の生活圏域別でみると、“中央”だけは、「持ち家の集合住宅（分譲マンション等）」が52.8%と最も高くなっています。



#### (65歳以上)

	合計	Q 9. 住居形態							
		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体	1706	70.0	14.0	3.8	0.7	6.4	1.8	1.5	2.0
年齢（統合）									
前期高齢者	609	63.9	18.9	3.4	0.7	9.2	1.8	1.3	0.8
後期高齢者	1054	74.7	11.5	3.8	0.8	4.5	1.7	1.6	1.5

#### (2号被保険者：55～64歳)

	合計	問 5. 住居形態						
		持ち家の戸建て住宅（借地に持ち家の場合も含む）	持ち家の集合住宅（分譲マンション等）	公営住宅（UR、県営、市営、公社等）	民間賃貸住宅（アパート、マンション等）	高齢者向け施設・住宅（ケアハウス・有料老人ホーム・サービス付高齢者向け住宅）	その他	無回答
全体	718	57.9	25.3	1.7	12.3	0.1	1.9	0.7
年齢								
55～59歳	364	56.9	25.8	2.2	12.4	0.0	2.7	0.0
60～64歳	345	59.7	25.5	1.2	11.9	0.3	1.2	0.3

## II 市民意識調査結果の概要

### (在宅サービス利用者)

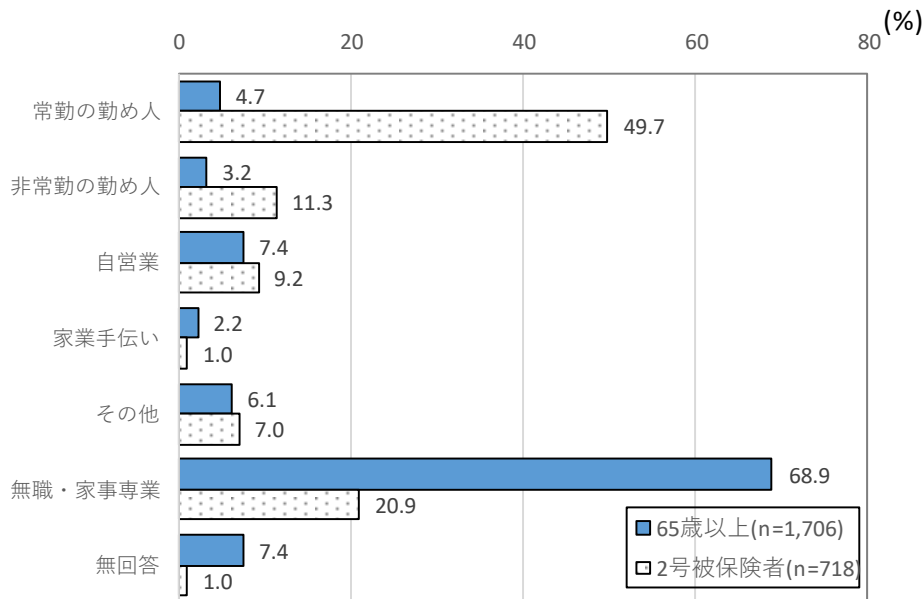
	合計	Q9. 住居形態						
		持ち家の戸建て住宅(借地に持ち家の場合も含む)	持ち家の集合住宅(分譲マンション等)	公営住宅(UR、県営、市営、公社等)	民間賃貸住宅(アパート、マンション等)	その他	無回答	
全体	1228	58.6	11.6	5.3	11.1	2.8	10.7	
日常生活圏域	中央	53	32.1	52.8	3.8	9.4	1.9	0.0
	横曽根	55	56.4	25.5	7.3	9.1	1.8	0.0
	西	56	46.4	33.9	5.4	10.7	1.8	1.8
	青木	49	61.2	16.3	4.1	14.3	4.1	0.0
	上青木	53	54.7	24.5	0.0	13.2	3.8	3.8
	前川	50	64.0	4.0	8.0	14.0	2.0	8.0
	南平	55	45.5	20.0	18.2	14.5	1.8	0.0
	南平みなみ	56	71.4	17.9	0.0	10.7	0.0	0.0
	新郷	50	84.0	6.0	0.0	6.0	2.0	2.0
	新郷東	47	87.2	2.1	0.0	4.3	6.4	0.0
	神根	50	64.0	10.0	8.0	8.0	8.0	2.0
	神根東	43	69.8	4.7	9.3	11.6	4.7	0.0
	芝	56	62.5	7.1	0.0	23.2	3.6	3.6
	芝伊刈	50	78.0	4.0	8.0	6.0	4.0	0.0
	芝西	48	77.1	6.3	10.4	4.2	0.0	2.1
	安行	49	73.5	0.0	16.3	2.0	6.1	2.0
	戸塚	54	72.2	3.7	0.0	18.5	3.7	1.9
	戸塚西	50	72.0	4.0	2.0	12.0	6.0	4.0
	鳩ヶ谷東部	50	68.0	4.0	10.0	12.0	2.0	4.0
	鳩ヶ谷西部	55	56.4	10.9	9.1	20.0	1.8	1.8

2. 日常生活や社会活動

2.1 勤務状況 (SA)

65歳以上では、「無職・家事専業」が68.9%と最も高く、2号被保険者では、「常勤の勤め人」が49.7%と最も高くなっています。

年齢別にみると、「無職・家事専業」は、65歳以上では、「後期高齢者（75歳以上）」が78.4%で「前期高齢者（65～74歳）」よりも高くなっています。2号被保険者では、「55～59歳」、「60～64歳」共に「常勤の勤め人」が高くなっています。



(65歳以上)

		合計	Q 4. 勤務状況						
			常勤の勤め人	非常勤の勤め人	自営業	家業手伝い	その他	無職・家事専業	無回答
全体		1706	4.7	3.2	7.4	2.2	6.1	68.9	7.4
年齢 (統合)	前期高齢者	609	10.3	6.4	11.3	1.8	9.9	55.7	4.6
	後期高齢者	1054	1.7	1.5	5.4	2.5	4.2	78.4	6.4

(2号被保険者：55～64歳)

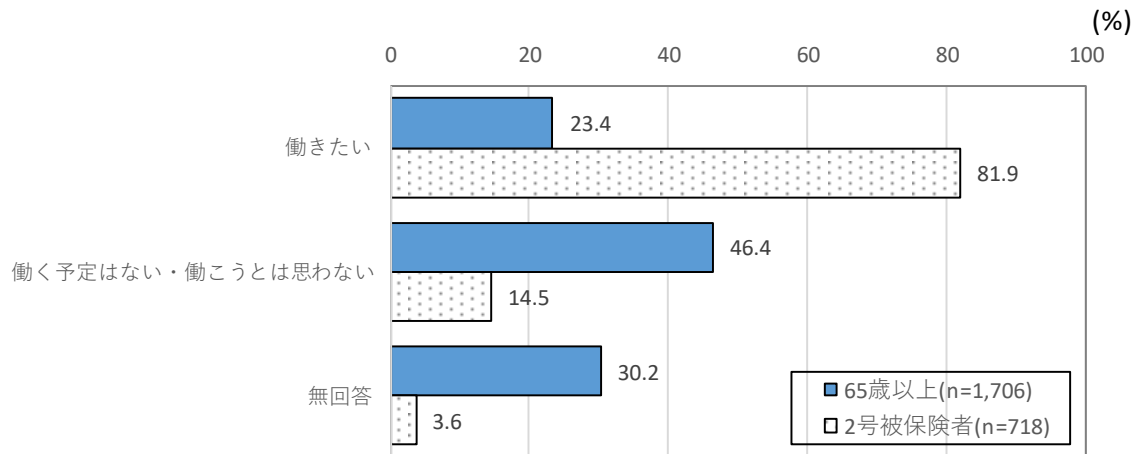
		合計	問 6. 勤務状況						
			常勤の勤め人	非常勤の勤め人	自営業	家業手伝い	その他	無職・家事専業	無回答
全体		718	49.7	11.3	9.2	1.0	7.0	20.9	1.0
年齢	55～59歳	364	54.9	11.0	9.6	1.4	8.0	14.6	0.5
	60～64歳	345	44.9	11.9	9.0	0.6	6.1	27.2	0.3

## II 市民意識調査結果の概要

### 2.2 勤労意向 (SA)

65歳以上では「働く予定はない・働こうとは思わない」が46.4%と最も高く、2号被保険者では、「働きたい」が81.9%と最も高くなっています。

年齢別でみると、「働く予定はない・働こうとは思わない」が65歳以上では年齢問わず最も高くなっています。2号被保険者では、「働きたい」が年齢問わず最も高くなっており、“55～59歳”及び“60～64歳”で、88.2%及び76.8%となっています。



#### (65歳以上)

		合計	Q 4 - 1 勤労意向		
			働きたい	働く予定はない・働こうとは思わない	無回答
全体		1706	23.4	46.4	30.2
年齢 (統計)	前期高齢者	609	40.1	42.9	17.1
	後期高齢者	1054	14.5	50.1	35.4

#### (2号被保険者：55～64歳)

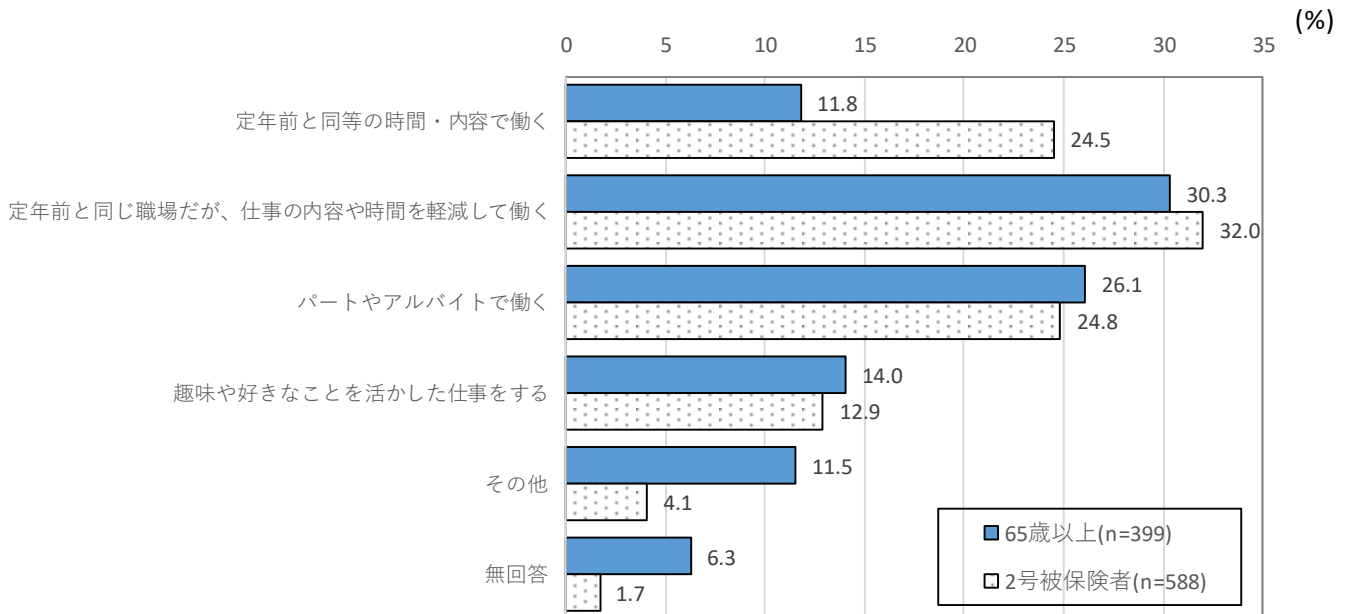
		合計	問 6 - 1. 勤務意向		
			働きたい	働く予定はない・働こうとは思わない	無回答
全体		718	81.9	14.5	3.6
年齢	55～59歳	364	88.2	9.9	1.9
	60～64歳	345	76.8	19.4	3.8

## II 市民意識調査結果の概要

### 2.3 望ましい働き方（SA）

65歳以上、2号被保険者共に、「定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く」が最も高くなっています。

年齢別でみると、65歳以上の“前期高齢者（65～74歳）”では、「パートやアルバイトで働く」が33.2%で最も高く、“後期高齢者（75歳以上）”では「定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く」が34.0%と、最も高くなっています。



#### （65歳以上）

	合計	Q4-2. 望ましい働き方					
		定年前と同等の時間・内容で働く	定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く	パートやアルバイトで働く	趣味や好きなことを活かした仕事をする	その他	無回答
全体	399	11.8	30.3	26.1	14.0	11.5	6.3
年齢（統合）							
前期高齢者	244	13.9	27.5	33.2	12.3	10.7	2.5
後期高齢者	153	8.5	34.0	15.0	17.0	13.1	12.4

#### （2号被保険者：55～64歳）

	合計	問6-2. 望ましい働き方					
		定年前と同等の時間・内容で働く	定年前と同じ職場だが、仕事の内容や時間を軽減して働く	パートやアルバイトで働く	趣味や好きなことを活かした仕事をする	その他	無回答
全体	588	24.5	32.0	24.8	12.9	4.1	1.7
年齢							
55～59歳	321	24.9	33.0	21.8	15.6	3.4	1.2
60～64歳	265	24.2	30.6	28.3	9.8	4.9	2.3

## II 市民意識調査結果の概要

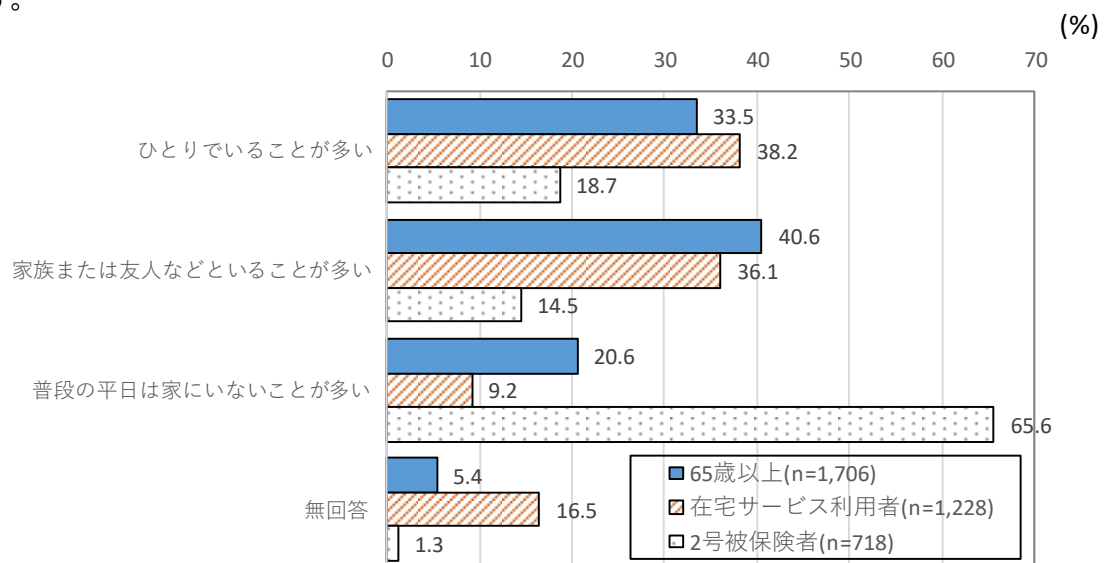
### 2.4 自宅での平日日中の状況（SA）

65歳以上では、「家族または友人などといることが多い」が40.6%、在宅サービス利用者では、「ひとりであることが多い」が38.2%、2号被保険者では、「普段の平日は家にいないことが多い」が65.6%と高くなっています。

65歳以上の家族構成別にみると、“1人暮らし”は「ひとりであることが多い」が66.6%最も高くなっています。

在宅サービス利用者の要介護度別では、“要支援1”、“要支援2”、“要介護1”、“要介護2”、では「ひとりであることが多い」が最も高くなっており、“要介護3”、“要介護4”、“要介護5”では「家族または友人などといることが多い」が最も高くなっています。

2号被保険者の年齢別でみると、“55～59歳”、“60～64歳”共に「普段の平日は家にいないことが多い」が高くなっていますが、「ひとりであることが多い」も2割程度となっています。



（65歳以上）

		合計	Q39. 自宅での平日日中の状況			
			ひとりであることが多い	家族または友人などといることが多い	普段の平日は家にいないことが多い	無回答
全体		1706	33.5	40.6	20.6	5.4
年齢（統合）	前期高齢者	609	26.3	39.7	30.7	3.3
	後期高齢者	1054	37.6	41.8	14.9	5.7
家族構成	1人暮らし	314	66.6	5.1	23.6	4.8
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	624	19.6	54.3	22.0	4.2
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	65	24.6	41.5	29.2	4.6
	息子・娘との2世帯	348	34.5	45.1	15.2	5.2
	その他	288	27.8	47.2	20.5	4.5

## II 市民意識調査結果の概要

### (在宅サービス利用者)

		合計	Q15. 自宅での平日日中の状況			
			ひとりで いること が多い	家族また は友人な どといる ことが多い	普段の平 日は家に いないこ とが多い	無回答
全体		1228	38.2	36.1	9.2	16.5
要介護度	要支援1	92	50.0	33.7	7.6	8.7
	要支援2	116	56.0	30.2	8.6	5.2
	要介護1	271	48.0	37.3	7.7	7.0
	要介護2	266	42.1	40.6	9.0	8.3
	要介護3	167	32.3	45.5	15.6	6.6
	要介護4	83	30.1	41.0	19.3	9.6
	要介護5	87	25.3	48.3	10.3	16.1
	わからない	12	50.0	33.3	0.0	16.7
日常生活 圏域	中央	53	41.5	45.3	9.4	3.8
	横曽根	55	41.8	34.5	16.4	7.3
	西	56	41.1	46.4	8.9	3.6
	青木	49	46.9	30.6	14.3	8.2
	上青木	53	49.1	34.0	13.2	3.8
	前川	50	52.0	32.0	2.0	14.0
	南平	55	45.5	36.4	10.9	7.3
	南平みなみ	56	33.9	41.1	16.1	8.9
	新郷	50	50.0	36.0	8.0	6.0
	新郷東	47	34.0	44.7	10.6	10.6
	神根	50	48.0	36.0	8.0	8.0
	神根東	43	46.5	39.5	9.3	4.7
	芝	56	42.9	37.5	10.7	8.9
	芝伊刈	50	48.0	34.0	8.0	10.0
	芝西	48	35.4	41.7	12.5	10.4
	安行	49	44.9	46.9	2.0	6.1
	戸塚	54	46.3	38.9	3.7	11.1
	戸塚西	50	30.0	48.0	10.0	12.0
	鳩ヶ谷東部	50	42.0	40.0	14.0	4.0
	鳩ヶ谷西部	55	32.7	50.9	7.3	9.1

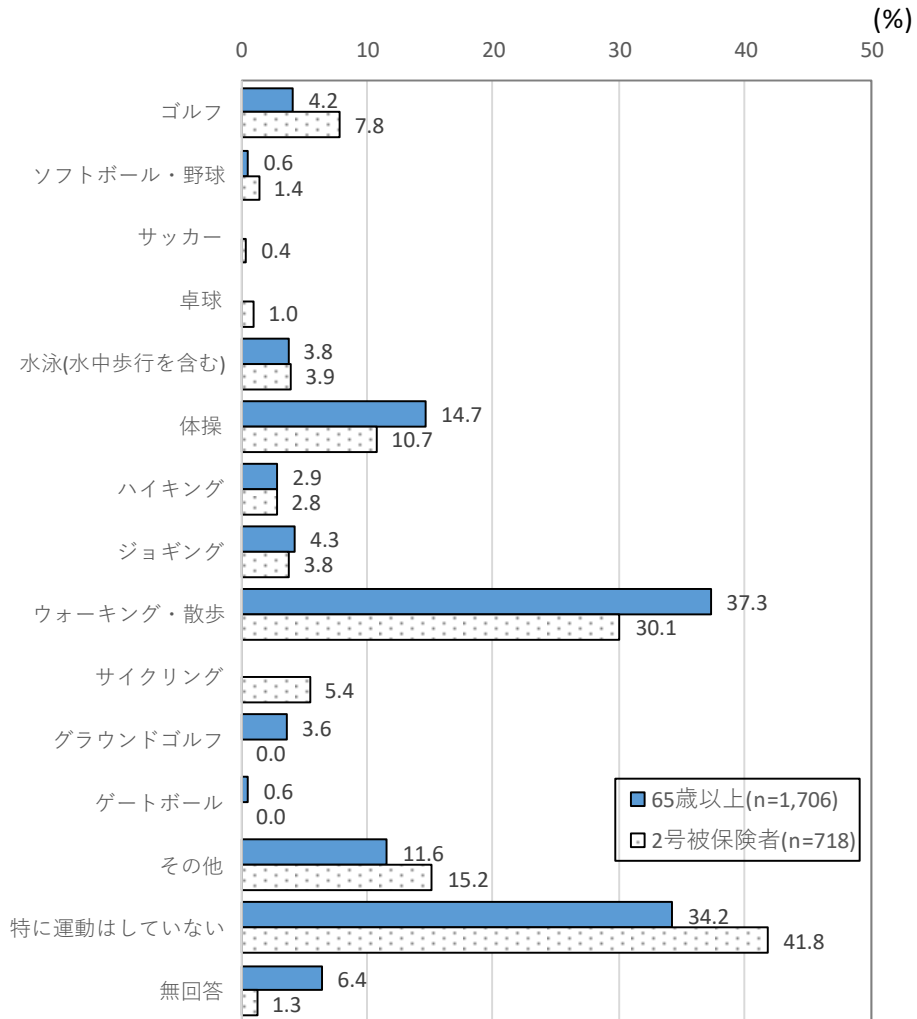
### (2号被保険者：55～64歳)

		合計	問8. 自宅での平日日中の状況			
			ひとりで いること が多い	家族また は友人な どといる ことが多い	普段の平 日は家に いないこ とが多い	無回答
全体		718	18.7	14.5	65.6	1.3
年齢	55～59歳	364	17.0	9.3	73.4	0.3
	60～64歳	345	20.3	20.0	58.6	1.2



2.5 普段の運動について (MA)

65歳以上では「ウォーキング・散歩」が37.3%で最も高くなっている一方で、2号被保険者では、「特に運動はしていない」が41.8%と最も高くなっています。



(65歳以上)

	合計	Q19. 普段の運動について						
		水泳(水中歩行を含む)	ゲートボール	ソフトボール・野球	体操	ゴルフ	ハイキング	
全体	1706	3.8	0.6	0.6	14.7	4.2	2.9	
年齢(統合)	前期高齢者	609	5.6	0.3	1.1	15.6	7.2	4.9
	後期高齢者	1054	2.8	0.7	0.3	14.4	2.4	1.8

	合計	Q19. 普段の運動について						
		ジョギング	ウォーキング・散歩	グラウンドゴルフ	その他	特に運動はしていない	無回答	
全体	1706	4.3	37.3	3.6	11.6	34.2	6.4	
年齢(統合)	前期高齢者	609	4.3	42.0	2.1	15.8	31.9	2.5
	後期高齢者	1054	4.3	34.9	4.6	9.4	36.3	7.3

## II 市民意識調査結果の概要

### (2号被保険者：55～64歳)

		合計	問11. 普段の運動について							
			ゴルフ	ソフト ボール・ 野球	サッカー	卓球	水泳(水 中歩行を 含む)	体操	ハイキン グ	ジョギン グ
全体		718	7.8	1.4	0.4	1.0	3.9	10.7	2.8	3.8
年齢	55～59歳	364	7.1	0.8	0.8	1.1	3.8	12.6	2.2	4.4
	60～64歳	345	8.7	2.0	0.0	0.9	4.1	8.7	3.5	3.2

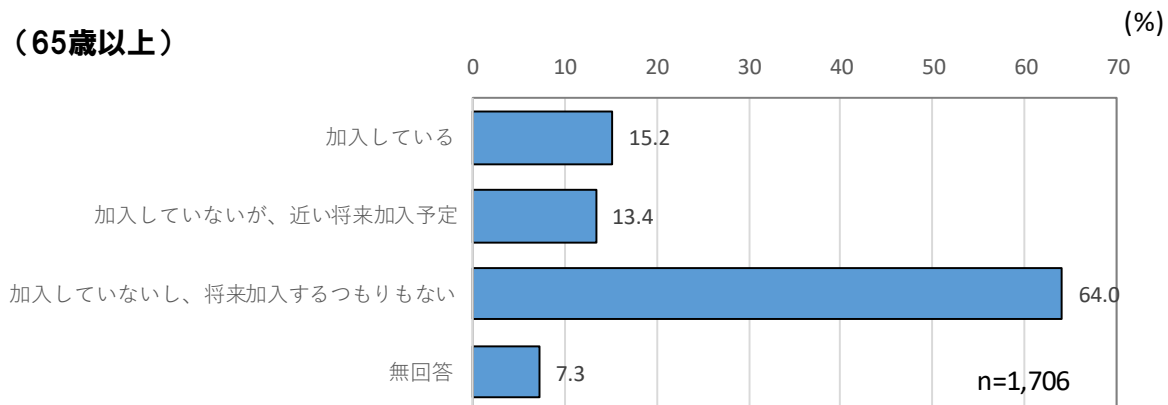
		合計	問11. 普段の運動について						
			ウォーキ ング・散 歩	サイクリ ング	グラウン ドゴルフ	ゲート ボール	その他	特に運動 はしてい ない	無回答
全体		718	30.1	5.4	0.0	0.0	15.2	41.8	1.3
年齢	55～59歳	364	25.3	5.2	0.0	0.0	12.1	46.7	0.8
	60～64歳	345	35.4	5.8	0.0	0.0	18.8	36.5	0.9

#### 2.6.1 老人クラブ加入の有無 (SA)

「加入していないし、将来加入するつもりもない」が64.0%で最も高く、次いで「加入している」が15.2%となっています。

年齢別でみると、“前期高齢者(65～74歳)”は“後期高齢者(75歳以上)”に比べ「加入していないし、将来加入するつもりもない」が高くなっています。

#### (65歳以上)

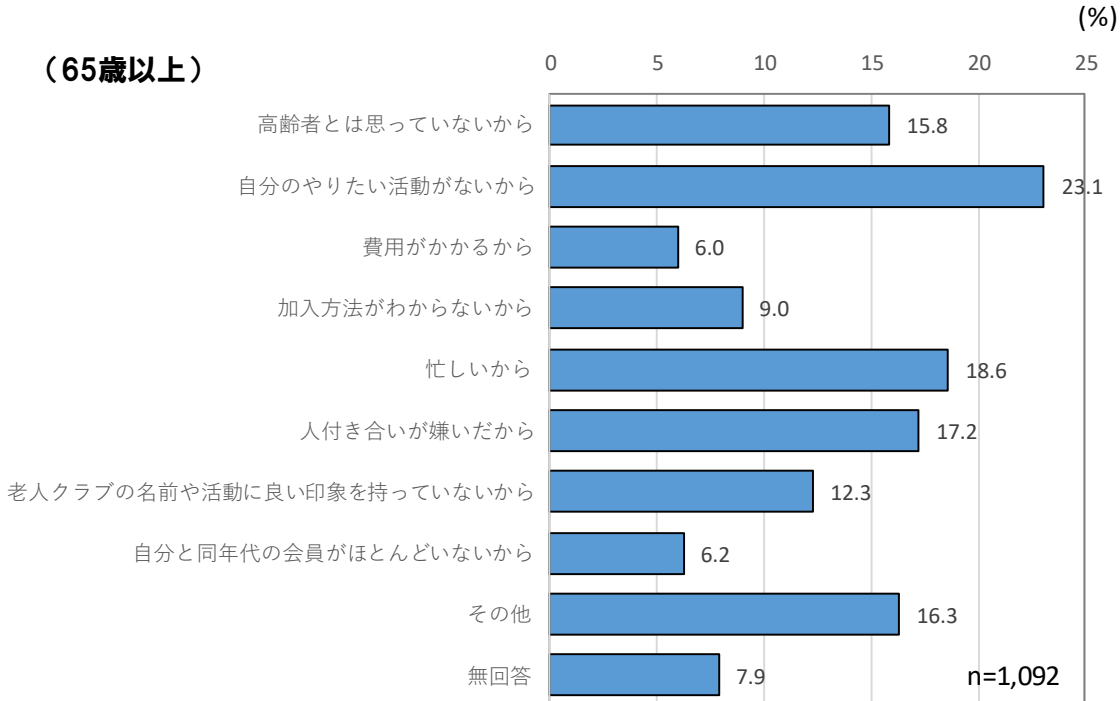


		合計	Q54. 老人クラブ加入の有無			
			加入して いる	加入して いない が、近い 将来加入 予定	加入して いない し、将来 加入する つもりも ない	無回答
全体		1706	15.2	13.4	64.0	7.3
年齢 (統 合)	前期高齢者	609	7.9	14.9	72.2	4.9
	後期高齢者	1054	19.4	12.9	59.8	8.0

2.6.2 老人クラブに加入しない理由（MA）

「自分のやりたい活動がないから」は23.1%で最も高く、次いで「忙しいから」が18.6%、「人付き合いが嫌いだから」が17.2%の順となっています。

年齢別にみると、“前期高齢者（65～74歳）”では「忙しいから」は27.7%で最も高くなっています。



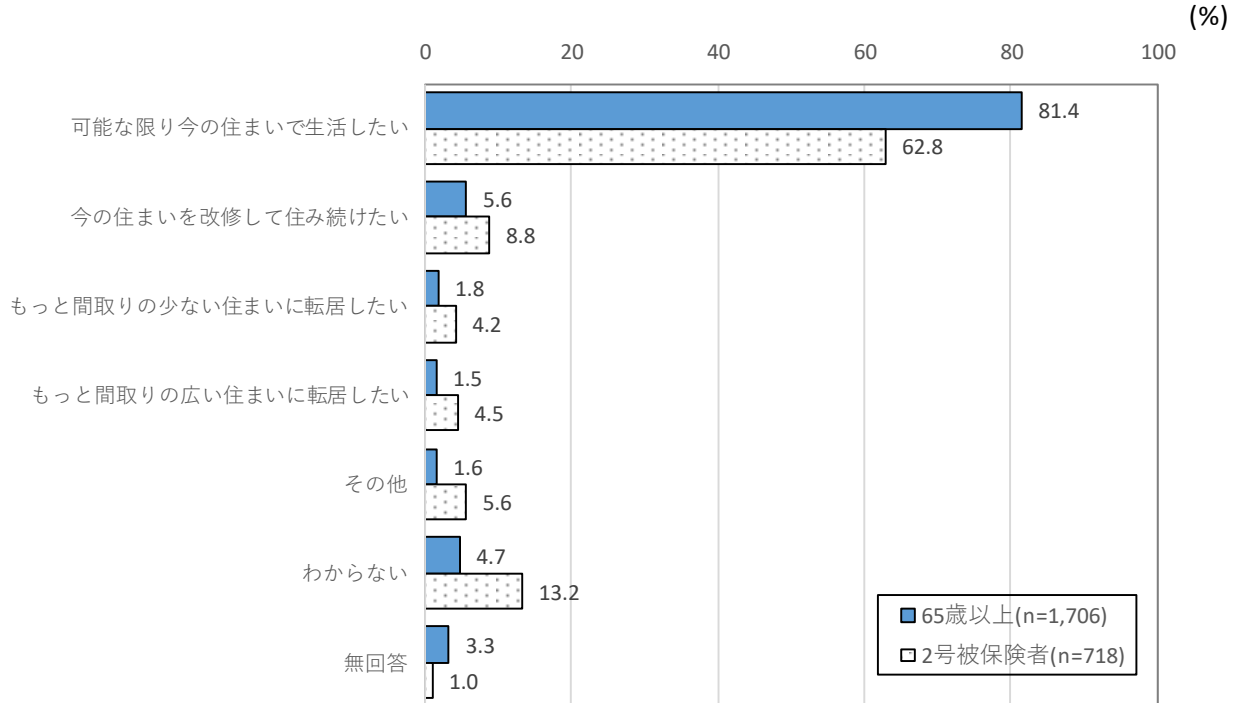
	合計	Q54-1. 老人クラブに加入しない理由				
		高齢者とは思っていないから	自分のやりたい活動がないから	費用がかかるから	加入方法がわからないから	忙しいから
全体	1092	15.8	23.1	6.0	9.0	18.6
年齢（統合）						
前期高齢者	440	23.4	25.5	6.1	9.8	27.7
後期高齢者	630	10.0	21.7	5.9	8.6	12.4

	合計	Q54-1. 老人クラブに加入しない理由				
		人付き合いが嫌いだから	老人クラブの名前や活動に良い印象を持っていないから	自分と同年代の会員がほとんどいないから	その他	無回答
全体	1092	17.2	12.3	6.2	16.3	7.9
年齢（統合）						
前期高齢者	440	15.7	13.9	3.4	13.2	3.4
後期高齢者	630	18.6	11.3	8.4	18.6	10.8

2.7 現在の住まいでの居住継続意向（SA）

65歳以上、2号被保険者共に「可能な限り今の住まいで生活したい」が最も高くなっています。特に65歳以上では81.4%と高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、現在の住まいでの継続した居住意向が強くなっています。



（65歳以上）

		合計	Q10. 現在の住まいでの居住継続意向						
			可能な限り今の住まいで生活したい	今の住まいを改修して住み続けたい	もっと間取りの少ない住まいに転居したい	もっと間取りの広い住まいに転居したい	その他	わからない	無回答
全体		1706	81.4	5.6	1.8	1.5	1.6	4.7	3.3
年齢（統合）	前期高齢者	609	79.6	6.9	2.0	2.1	2.0	6.2	1.1
	後期高齢者	1054	83.6	5.1	1.6	1.1	1.3	3.9	3.3

（2号被保険者：55～64歳）

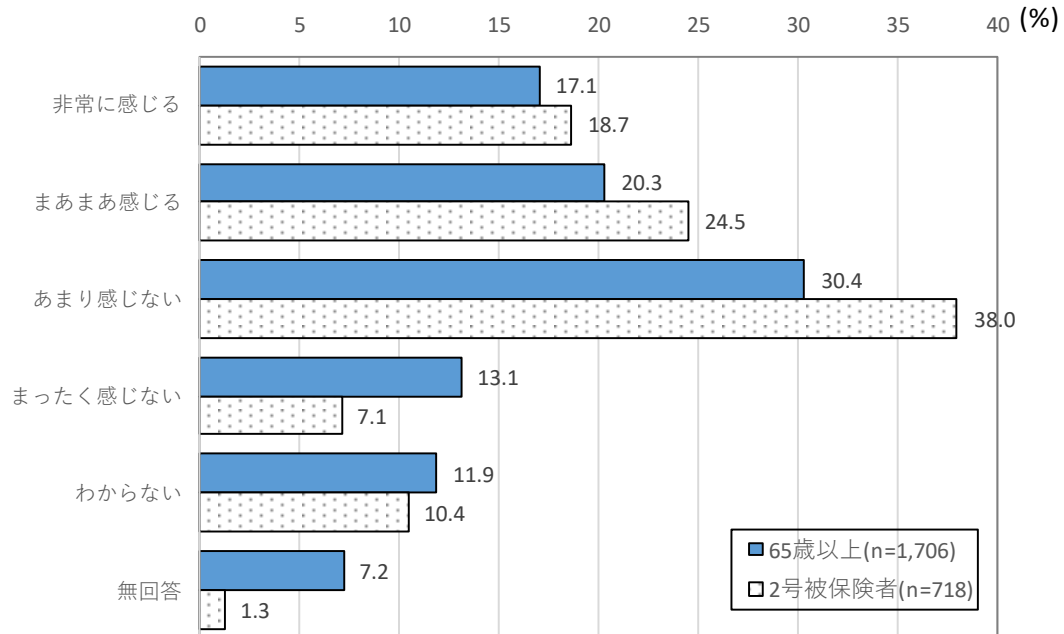
		合計	問12. 現在の住まいでの居住継続意向						
			可能な限り今の住まいで生活したい	今の住まいを改修して住み続けたい	もっと間取りの少ない住まいに転居したい	もっと間取りの広い住まいに転居したい	その他	わからない	無回答
全体		718	62.8	8.8	4.2	4.5	5.6	13.2	1.0
年齢	55～59歳	364	57.7	10.7	4.1	5.2	6.9	14.8	0.5
	60～64歳	345	68.7	7.0	4.3	3.8	4.1	11.6	0.6

## II 市民意識調査結果の概要

### 2.8.1 孤独死を身近な問題と感じる度合い（SA）

65歳以上、2号被保険者共にともに「あまり感じない」が最も高くなっています。次に「まあまあ感じる」、「非常に感じる」の順で高くなっています。

年齢別にみると、65歳以上では「あまり感じない」は“前期高齢者（65～74歳）”の方が36.1%で高くなっています。2号被保険者では、“60～64歳”の方が40.9%で高くなっています。



#### （65歳以上）

		合計	Q66. 孤独死を身近な問題と感じる度合い					無回答
			非常に感じる	まあまあ感じる	あまり感じない	まったく感じない	わからない	
全体		1706	17.1	20.3	30.4	13.1	11.9	7.2
年齢（統合）	前期高齢者	609	15.1	21.7	36.1	12.2	10.3	4.6
	後期高齢者	1054	18.1	19.7	27.7	13.7	12.9	7.9

#### （2号被保険者：55～64歳）

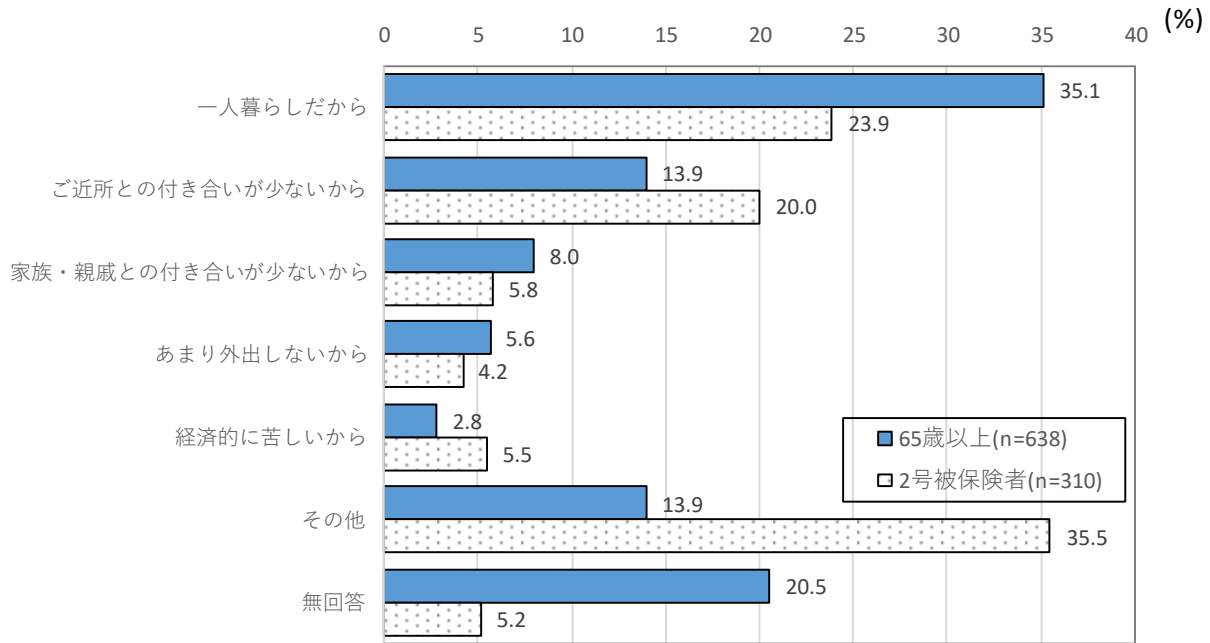
		合計	問13. 孤独死を身近な問題と感じる度合い					無回答
			非常に感じる	まあまあ感じる	あまり感じない	まったく感じない	わからない	
全体		718	18.7	24.5	38.0	7.1	10.4	1.3
年齢	55～59歳	364	22.0	26.1	35.7	7.4	8.5	0.3
	60～64歳	345	15.7	23.2	40.9	7.0	11.9	1.4

## II 市民意識調査結果の概要

### 2.8.2 孤独死を身近だと感じる理由（SA）

65歳以上は「一人暮らしだから」が35.1%、2号被保険者は「その他」が35.5%で最も高くなっており、次いで、65歳以上は「ご近所との付き合いが少ないから」と「その他」、2号被保険者は「一人暮らしだから」と「ご近所との付き合いが少ないから」の順となっています。

年齢別にみると、2号被保険者の“60～64歳”では、「一人暮らしだから」が“55～59歳”に比べ9.1ポイント高くなっています。



#### （65歳以上）

	合計	Q66-1. 孤独死を身近だと感じる理由						
		一人暮らしだから	ご近所との付き合いが少ないから	家族・親戚との付き合いが少ないから	あまり外出しないから	経済的に苦しいから	その他	無回答
全体	638	35.1	13.9	8.0	5.6	2.8	13.9	20.5
年齢（統合）								
前期高齢者	224	37.1	12.9	10.3	2.2	2.7	21.0	13.8
後期高齢者	399	34.1	14.0	6.8	7.8	2.8	10.5	24.1

#### （2号被保険者：55～64歳）

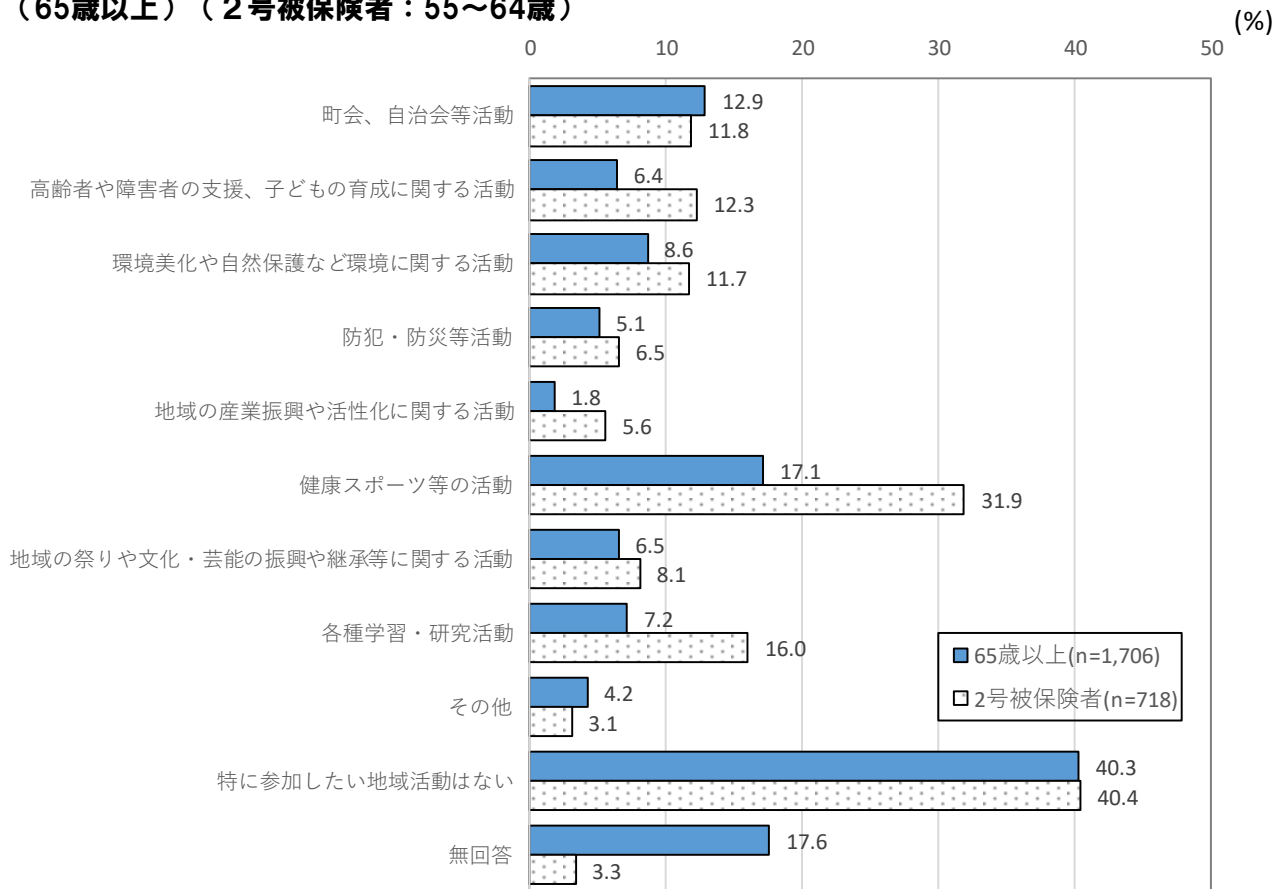
	合計	問13-1. 孤独死を身近だと感じる理由						
		ひとり暮らしだから	ご近所との付き合いが少ないから	家族・親戚との付き合いが少ないから	あまり外出しないから	経済的に苦しいから	その他	無回答
全体	310	23.9	20.0	5.8	4.2	5.5	35.5	5.2
年齢								
55～59歳	175	20.0	19.4	7.4	4.6	5.1	38.9	4.6
60～64歳	134	29.1	20.9	3.7	3.7	6.0	30.6	6.0

## II 市民意識調査結果の概要

### 2.9.1 参加・継続したい地域活動（MA）

65歳以上、2号被保険者共に「特に参加したい地域活動はない」が最も高く4割以上となっています。次いで「健康スポーツ等の活動」の順になっています。

（65歳以上）（2号被保険者：55～64歳）



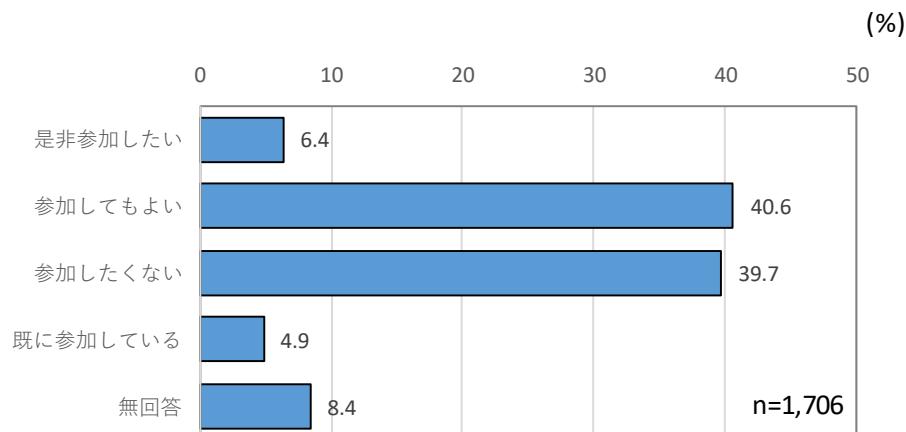
### 2.9.2 グループ活動 参加者としての参加意向（SA）

「是非参加したい」が6.4%、「参加してもよい」が40.6%で、合わせた『参加したい』は47.0%となっています。

日常生活圏域別にみると、『参加したい』は“鳩ヶ谷西部”の56.8%が最も高く、“安行”の38.4%が最も低くなっています。

年齢別にみると、『参加したい』は、“前期高齢者（65～74歳）”の方が、後期高齢者（75歳以上）”に比べ高くなっています。

（65歳以上）



## II 市民意識調査結果の概要

		合計	Q52. グループ活動 参加者としての参加意向				
			是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		1706	6.4	40.6	39.7	4.9	8.4
日常生活 圏域	中央	86	7.0	41.9	38.4	5.8	7.0
	横曽根	75	5.3	42.7	37.3	2.7	12.0
	西	102	6.9	35.3	44.1	6.9	6.9
	青木	79	8.9	39.2	41.8	5.1	5.1
	上青木	84	8.3	33.3	41.7	4.8	11.9
	前川	75	1.3	48.0	34.7	4.0	12.0
	南平	78	5.1	38.5	42.3	3.8	10.3
	南平みなみ	73	4.1	49.3	34.2	5.5	6.8
	新郷	82	7.3	45.1	32.9	11.0	3.7
	新郷東	83	4.8	43.4	36.1	7.2	8.4
	神根	77	10.4	42.9	35.1	2.6	9.1
	神根東	85	3.5	50.6	37.6	3.5	4.7
	芝	68	2.9	44.1	45.6	0.0	7.4
	芝伊刈	85	7.1	34.1	48.2	4.7	5.9
	芝西	84	7.1	40.5	35.7	6.0	10.7
	安行	86	9.3	29.1	45.3	7.0	9.3
	戸塚	88	6.8	45.5	35.2	6.8	5.7
	戸塚西	80	8.8	42.5	33.8	6.3	8.8
	鳩ヶ谷東部	82	6.1	37.8	51.2	2.4	2.4
	鳩ヶ谷西部	74	4.1	52.7	32.4	4.1	6.8
年齢（統 合）	前期高齢者	609	6.4	47.3	35.6	4.6	6.1
	後期高齢者	1054	6.2	37.5	42.2	5.1	9.0

### 2.9.3 グループ活動 企画・運営としての参加意向（SA）

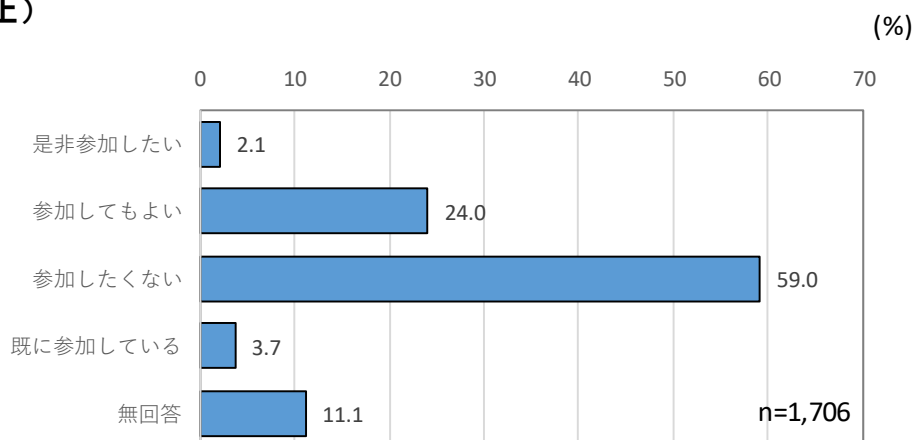
「是非参加したい」が2.1%、「参加してもよい」が24.0%で、合わせた『参加したい』は26.1%となっており、参加者としての参加意向に比べ20.9ポイント低くなっています。

日常生活圏域別にみると、『参加したい』は“鳩ヶ谷西部”の35.2%が最も高く、“芝伊刈”の18.8%が最も低くなっています。

年齢別にみると、『参加したい』は、“前期高齢者（65～74歳）”の方が、後期高齢者（75歳以上）”に比べ高くなっています。

日常生活圏域別、年齢別にみると、ともに「参加したくない」が高くなっています。

（65歳以上）





## II 市民意識調査結果の概要

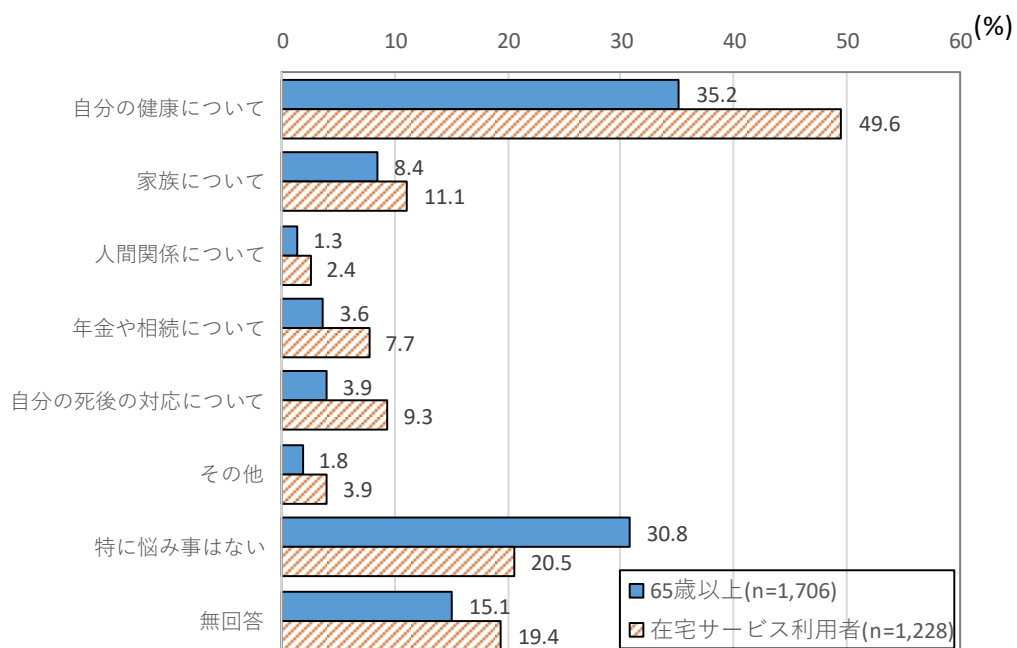
		合計	Q53. グループ活動 企画・運営としての参加意向				
			是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		1706	2.1	24.0	59.0	3.7	11.1
日常生活 圏域	中央	86	2.3	26.7	55.8	4.7	10.5
	横曽根	75	0.0	26.7	65.3	1.3	6.7
	西	102	2.0	20.6	58.8	4.9	13.7
	青木	79	1.3	25.3	63.3	2.5	7.6
	上青木	84	3.6	20.2	58.3	3.6	14.3
	前川	75	1.3	26.7	54.7	4.0	13.3
	南平	78	1.3	23.1	60.3	7.7	7.7
	南平みなみ	73	2.7	30.1	50.7	4.1	12.3
	新郷	82	3.7	24.4	57.3	4.9	9.8
	新郷東	83	1.2	26.5	59.0	3.6	9.6
	神根	77	3.9	28.6	50.6	2.6	14.3
	神根東	85	1.2	25.9	63.5	3.5	5.9
	芝	68	0.0	27.9	58.8	1.5	11.8
	芝伊刈	85	3.5	15.3	71.8	1.2	8.2
	芝西	84	2.4	21.4	52.4	8.3	15.5
	安行	86	3.5	19.8	58.1	4.7	14.0
	戸塚	88	2.3	30.7	56.8	3.4	6.8
	戸塚西	80	1.3	22.5	62.5	1.3	12.5
	鳩ヶ谷東部	82	3.7	18.3	68.3	2.4	7.3
	鳩ヶ谷西部	74	1.4	33.8	50.0	5.4	9.5
年齢（統 合）	前期高齢者	609	2.3	28.6	57.3	4.3	7.6
	後期高齢者	1054	2.1	21.8	60.2	3.4	12.4

### 2.10.1 現在の悩み事（SA）

65歳以上、在宅サービス利用者共に「自分の健康について」が最も高くなっており、在宅サービス利用者は5割程度と高くなっています。

65歳以上の家族構成別にみると、“夫婦2人暮らし（配偶者65以上）”“その他”で、「特に悩み事はない」が高くなっている以外は、「自分の健康について」が最も高くなっています。

在宅サービス利用者の要介護度別にみると、すべての要介護度で「自分の健康について」が最も高くなっており、次いで「特に悩み事はない」の順になっています。



(65歳以上)

		合計	Q67. 現在の悩み事							無回答
			自分の健康について	家族について	人間関係について	年金や相続について	自分の死後の対応について	その他	特に悩み事はない	
全体		1706	35.2	8.4	1.3	3.6	3.9	1.8	30.8	15.1
家族構成	1人暮らし	314	41.4	3.8	1.6	3.5	8.9	1.6	24.8	14.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	624	33.7	8.3	1.9	4.0	2.9	2.2	34.3	12.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	65	40.0	10.8	0.0	4.6	4.6	1.5	27.7	10.8
	息子・娘との2世帯	348	37.6	9.2	1.1	2.6	1.7	1.1	30.5	16.1
	その他	288	30.6	12.2	0.3	4.5	3.5	2.1	32.3	14.6

(在宅サービス利用者)

		合計	Q17. 現在の悩み事							無回答
			自分の健康について	家族について	人間関係について	年金や相続について	自分死後の対応について	その他	特に悩み事はない	
全体		1228	49.6	11.1	2.4	7.7	9.3	3.9	20.5	19.4
要介護度	要支援1	92	50.0	13.0	1.1	9.8	13.0	2.2	20.7	15.2
	要支援2	116	56.0	12.1	0.9	7.8	12.9	1.7	18.1	12.9
	要介護1	271	59.8	11.4	2.2	9.2	10.3	4.8	21.0	8.1
	要介護2	266	56.0	10.9	4.9	9.0	9.0	4.5	24.4	10.2
	要介護3	167	50.9	12.6	1.8	7.2	8.4	3.6	27.5	10.8
	要介護4	83	48.2	12.0	3.6	8.4	10.8	6.0	21.7	15.7
	要介護5	87	47.1	17.2	2.3	5.7	6.9	8.0	20.7	17.2
	わからない	12	50.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	33.3	8.3

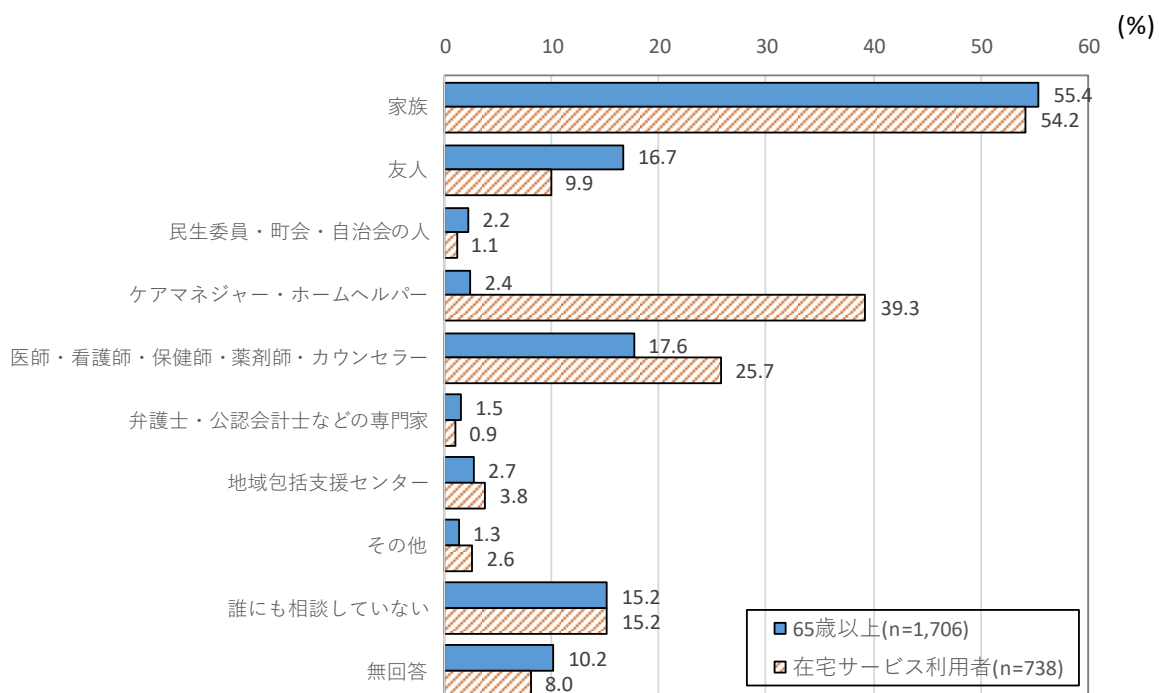
2.10.2 悩み事の相談相手 (MA)

65歳以上、在宅サービス利用者共に「家族」が最も高くなっています。一方で、「誰にも相談していない」が共に15.2%となっています。

65歳以上の家族構成別にみると、すべてにおいて「家族」が最も高くなっており、次いで“1人暮らし”以外は、「医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー」が高くなっています。

“1人暮らし”では、「誰にも相談していない」が25.1%となっています。

在宅サービス利用者では、“要介護5”以外の区分では「家族」が最も高くなっていますが、“要介護5”では、「ケアマネジャー・ホームヘルパー」が最も高くなっています。



## II 市民意識調査結果の概要

(65歳以上)

		合計	Q67-1. 悩み事の相談相手				
			家族	友人	民生委員・町会・自治会の人	ケアマネジャー・ホームヘルパー	医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー
全体		924	55.4	16.7	2.2	2.4	17.6
家族構成	1人暮らし	191	36.6	22.0	3.1	2.6	12.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	331	59.5	14.5	2.7	3.0	18.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	40	57.5	5.0	0.0	5.0	27.5
	息子・娘との2世帯	186	67.7	16.1	1.6	1.1	18.3
	その他	153	57.5	17.6	0.7	2.0	19.6

		合計	Q67-1. 悩み事の相談相手				無回答
			弁護士・公認会計士などの専門家	地域包括支援センター	その他	誰にも相談していない	
全体		924	1.5	2.7	1.3	15.2	10.2
家族構成	1人暮らし	191	1.0	3.7	2.1	25.1	8.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	331	2.1	1.2	0.6	13.6	11.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	40	0.0	5.0	2.5	12.5	7.5
	息子・娘との2世帯	186	1.6	5.4	1.6	8.1	9.7
	その他	153	1.3	1.3	1.3	15.7	7.8

(在宅サービス利用者)

		合計	Q17-1. 悩み事の相談相手				
			家族	友人	民生委員・町会・自治会の人	ケアマネジャー・ホームヘルパー	医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー
全体		738	54.2	9.9	1.1	39.3	25.7
要介護度	要支援1	59	50.8	10.2	0.0	23.7	10.2
	要支援2	80	51.3	15.0	5.0	32.5	26.3
	要介護1	192	60.9	12.5	2.1	45.8	29.2
	要介護2	174	53.4	10.3	0.0	36.8	23.0
	要介護3	103	56.3	4.9	0.0	44.7	27.2
	要介護4	52	51.9	3.8	0.0	32.7	25.0
	要介護5	54	44.4	5.6	0.0	46.3	35.2
	わからない	7	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6

		合計	Q17-1. 悩み事の相談相手				無回答
			弁護士・公認会計士などの専門家	地域包括支援センター	その他	誰にも相談していない	
全体		738	0.9	3.8	2.6	15.2	8.0
要介護度	要支援1	59	0.0	10.2	3.4	18.6	16.9
	要支援2	80	1.3	12.5	1.3	13.8	12.5
	要介護1	192	0.5	3.1	4.7	14.1	4.2
	要介護2	174	1.7	1.1	1.1	11.5	10.3
	要介護3	103	0.0	1.9	2.9	16.5	3.9
	要介護4	52	1.9	0.0	1.9	23.1	5.8
	要介護5	54	0.0	1.9	1.9	22.2	5.6
	わからない	7	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3

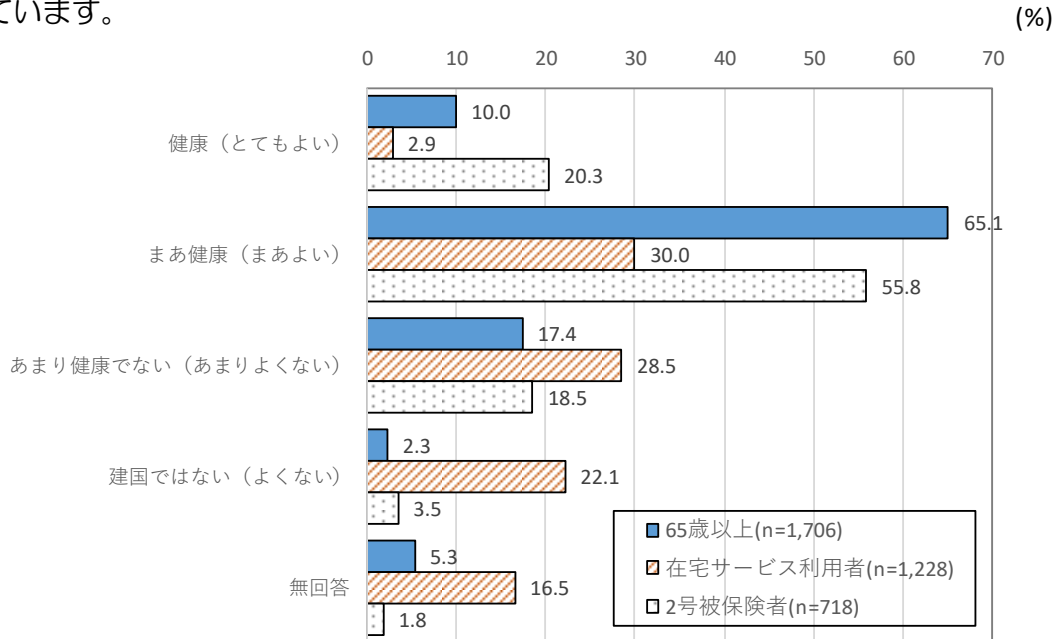
3. 身体や健康について

3.1.1 主観的健康観 (SA)

「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康だと思う』は、65歳以上は75.1%、在宅サービス利用者は32.9%、2号被保険者は76.1%となっています。

年齢別にみると、65歳以上では『健康だと思う』の割合は、“前期高齢者(65~74歳)”の方が高く、2号被保険者では、“60~64歳”で高くなっています。

在宅サービス利用者の要介護度別では、“要介護4”が最も高く、“要介護2”で最も低くなっています。



(65歳以上)

	合計	Q68. 主観的健康観					
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
全体	1706	10.0	65.1	17.4	2.3	5.3	
年齢(統 合)	前期高齢者(65歳~74歳)	609	12.0	69.1	13.3	1.8	3.8
	後期高齢者(75歳以上)	1054	8.7	63.3	20.2	2.5	5.3

(2号被保険者)

	合計	問20. 主観的健康観					
		健康	まあ健康	あまり健康でない	健康ではない	無回答	
全体	718	20.3	55.8	18.5	3.5	1.8	
年齢	55~59歳	364	19.5	56.6	18.7	3.8	1.4
	60~64歳	345	21.7	55.7	18.6	2.9	1.2

(在宅サービス利用者)

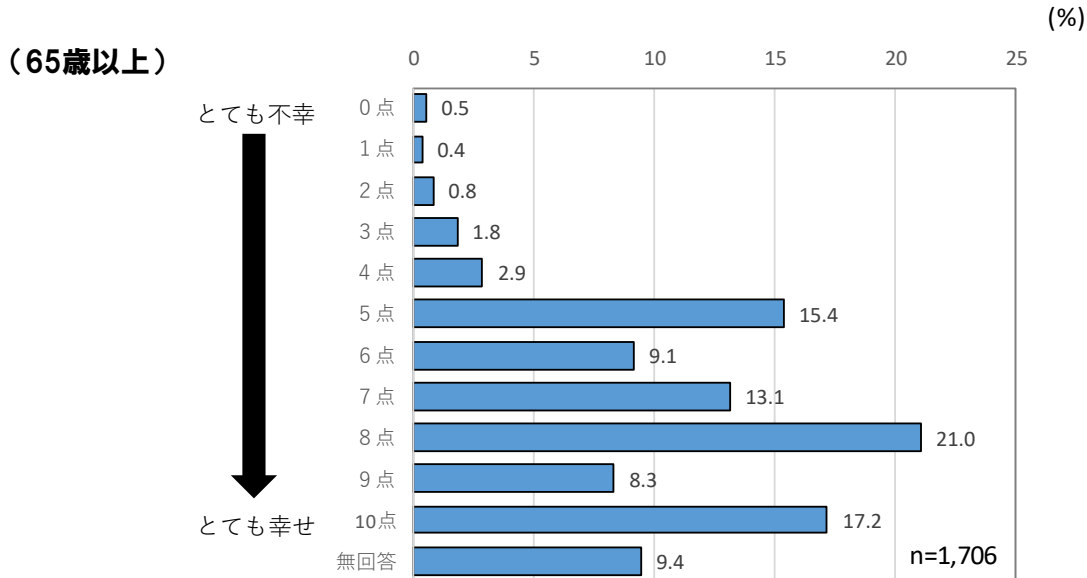
	合計	Q22. 主観的健康観					
		健康	まあ健康	あまり健康でない	健康ではない	無回答	
全体	1228	2.9	30.0	28.5	22.1	16.5	
要介護度	要支援1	92	2.2	40.2	29.3	16.3	12.0
	要支援2	116	3.4	30.2	32.8	20.7	12.9
	要介護1	271	1.5	34.7	35.1	19.6	9.2
	要介護2	266	3.4	28.6	35.7	25.2	7.1
	要介護3	167	5.4	34.1	31.7	24.6	4.2
	要介護4	83	6.0	38.6	19.3	28.9	7.2
	要介護5	87	2.3	32.2	20.7	37.9	6.9
	わからない	12	0.0	25.0	33.3	16.7	25.0

## II 市民意識調査結果の概要

### 3.1.2 主観的幸福観 (SA)

「8点」が21.0%で最も高く、次いで「10点」が17.2%、「5点」が15.4%の順となっており、平均点は7.30となっています。

平均点を性別で見ると、“男性”が7.17、“女性”が7.44で“女性”の平均点の方が高くなっています。年齢別では、“前期高齢者（65～74歳）”が7.22、“後期高齢者（75歳以上）”が7.36で、後期高齢者（75歳以上）の方が高くなっています。



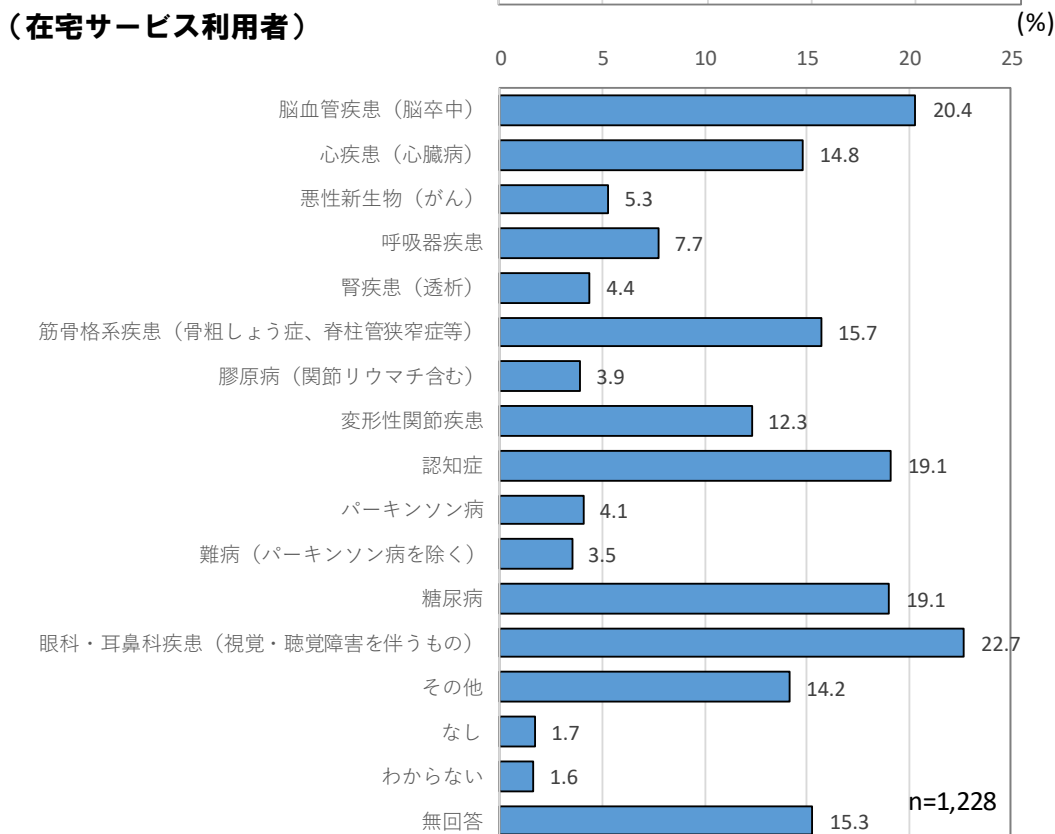
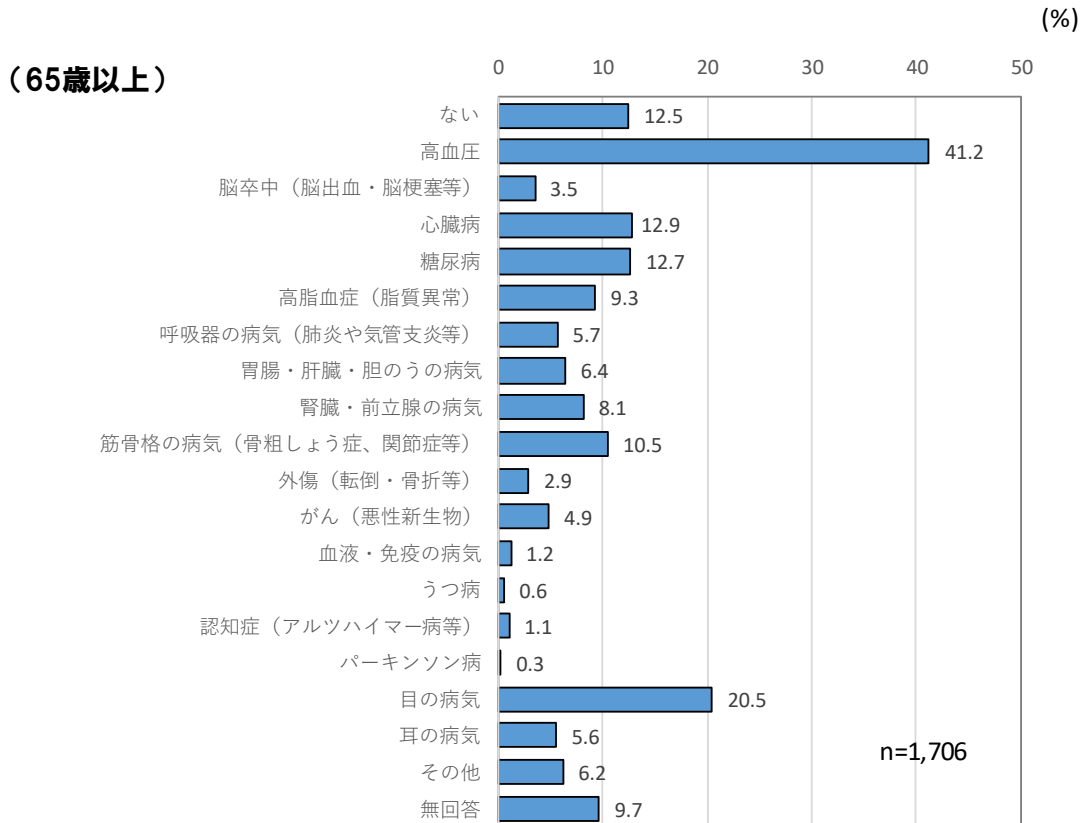
		合計	Q69. 主観的幸福観					
			0点と とても不幸	1点	2点	3点	4点	5点
	全体	1706	0.5	0.4	0.8	1.8	2.9	15.4
性別	男性	785	0.6	0.3	0.8	1.9	3.2	15.9
	女性	876	0.2	0.5	0.8	1.6	2.6	15.2
年齢 (統 合)	前期高齢者 (65歳～74歳)	609	0.7	0.7	1.3	2.1	2.8	15.9
	後期高齢者 (75歳以上)	1054	0.3	0.1	0.5	1.6	2.9	15.4

		合計	Q69. 主観的幸福観					平均点	
			6点	7点	8点	9点	10点 とても 幸せ		無回答
	全体	1706	9.1	13.1	21.0	8.3	17.2	9.4	7.30
性別	男性	785	10.3	15.3	22.0	6.8	14.8	8.2	7.17
	女性	876	8.2	11.6	20.9	9.8	19.6	8.9	7.44
年齢 (統 合)	前期高齢者 (65歳～74歳)	609	8.5	14.8	23.3	8.2	16.1	5.6	7.22
	後期高齢者 (75歳以上)	1054	9.6	12.5	20.0	8.4	17.9	10.7	7.36

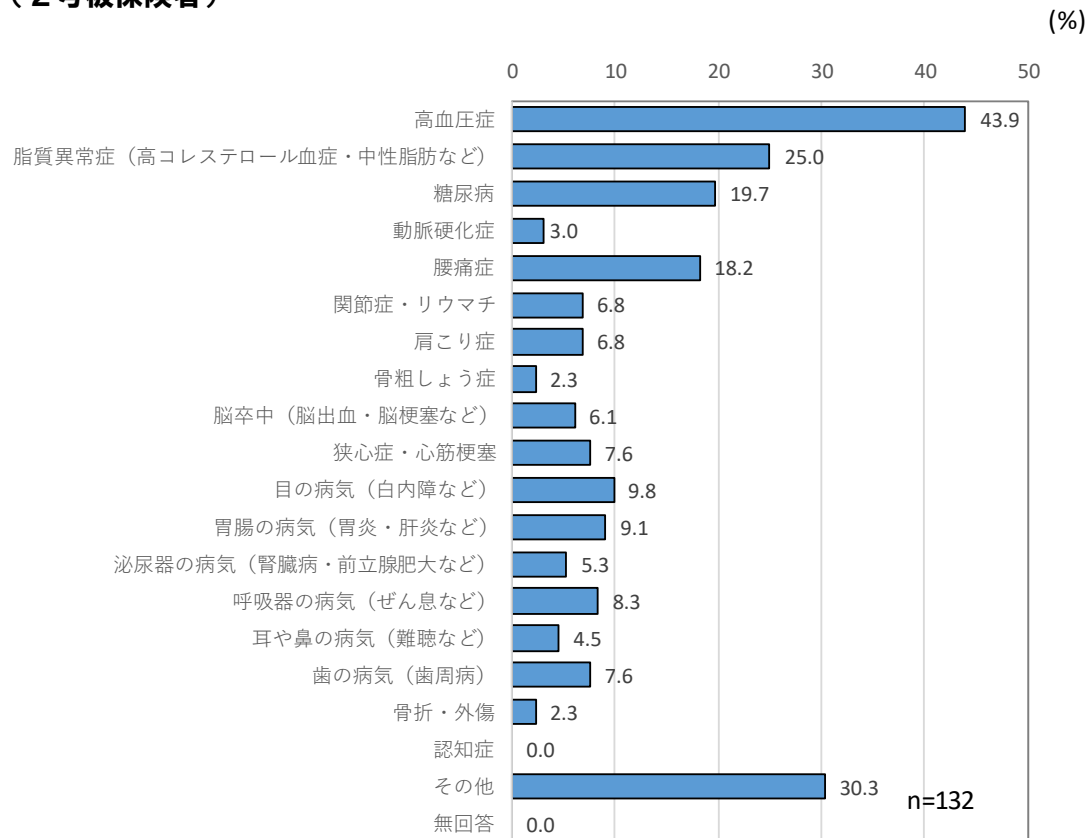
3.2 病気・けがの種類 (MA)

65歳以上と2号被保険者では共に、「高血圧」「高血圧症」が最も高くなっています。(2号被保険者については、「健康でない」「あまり健康でない」と回答した方の中で、治療中の病気について「ある」と回答した方限定設問)

在宅サービス利用者は「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が最も高くなっています。



(2号被保険者)

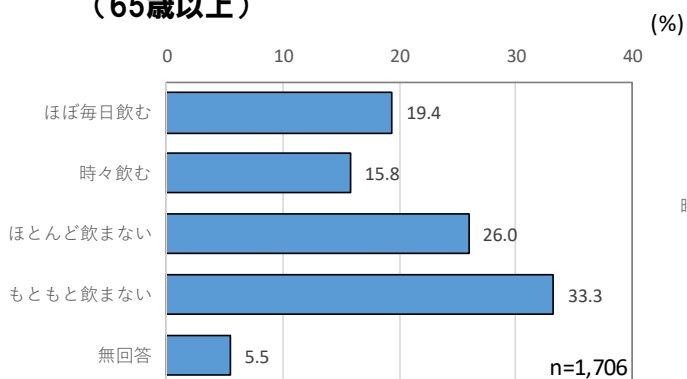


3.3 健康に関する行動について（SA）

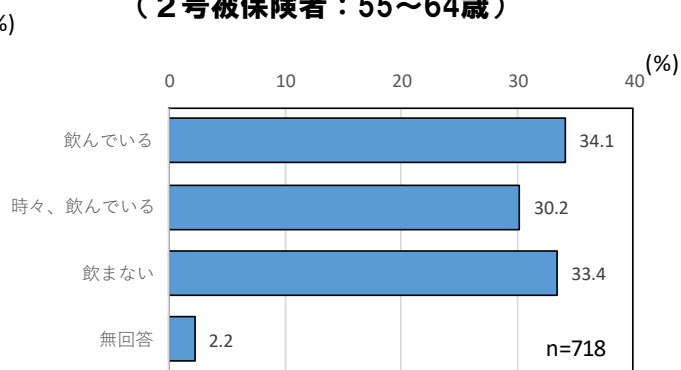
①お酒を飲む頻度

65歳以上の「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」を合わせた『飲む』は35.2%、2号被保険者の「飲んでいる」と「時々飲んでいる」を合わせた『飲む』は64.3%となっており、2号被保険者の方が『飲む』割合が高くなっています。

（65歳以上）



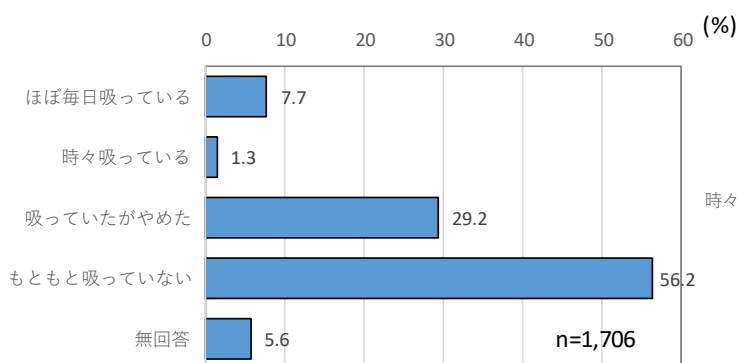
（2号被保険者：55～64歳）



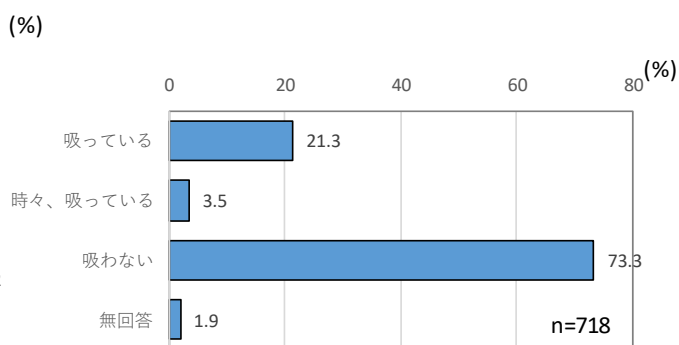
②タバコを吸う頻度

65歳以上の「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』は9.0%、2号被保険者の「吸っている」と「時々、吸っている」を合わせた『吸っている』は24.8%で2号被保険者の方が『吸っている』割合が高くなっています。

（65歳以上）



（2号被保険者：55～64歳）





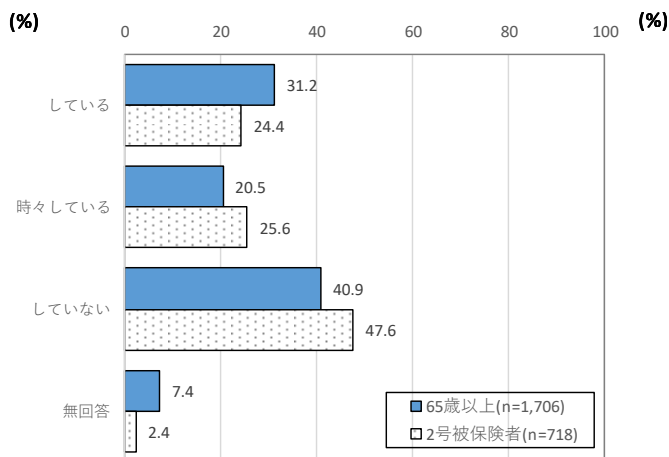
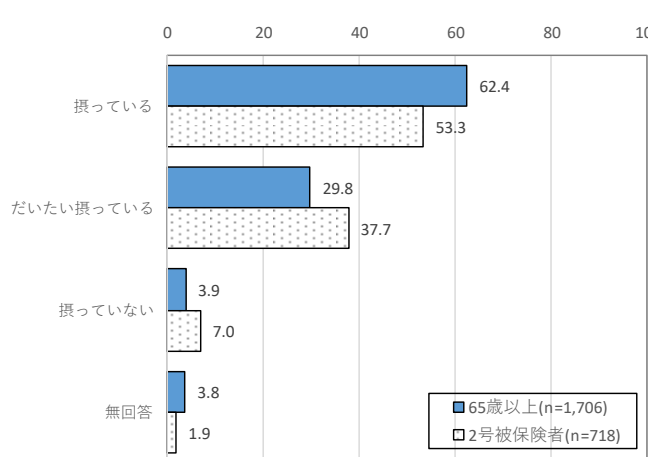
## II 市民意識調査結果の概要

### ③規則的な食事

規則的な食事では、「摂っている」と「だいたい摂っている」と合わせた『摂っている』は、65歳以上で92.2%、2号被保険者で91.0%となっています。

定期的な運動では、「している」と「時々している」を合わせた『している』は、65歳以上で51.7%、2号被保険者では50.0%となっています。

### ④定期的な運動

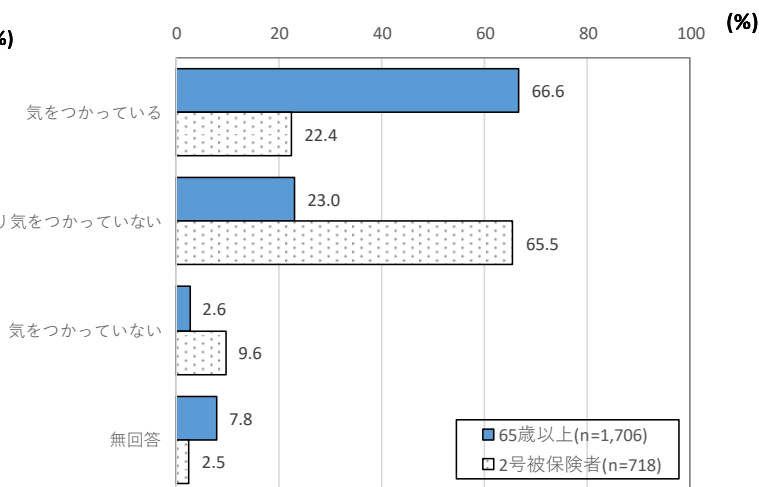
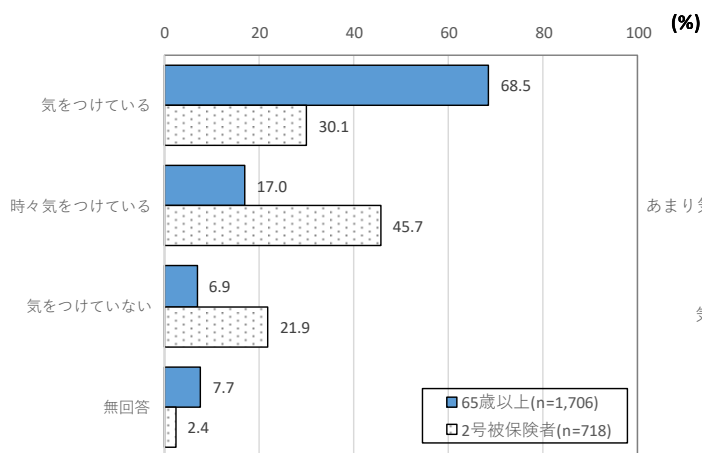


### ⑤歯の健康維持

歯の健康維持の65歳以上では、「気をつけている」が68.5%で最も高く、2号被保険者では、「時々気をつけている」が45.7%で最も高くなっています。

普段から健康に気をつけているかについては、65歳以上では「気をつけている」が66.6%と最も高く、2号被保険者では「あまり気をつけていない」が65.5%で最も高くなっています。

### ⑥普段から健康に気をつけているか

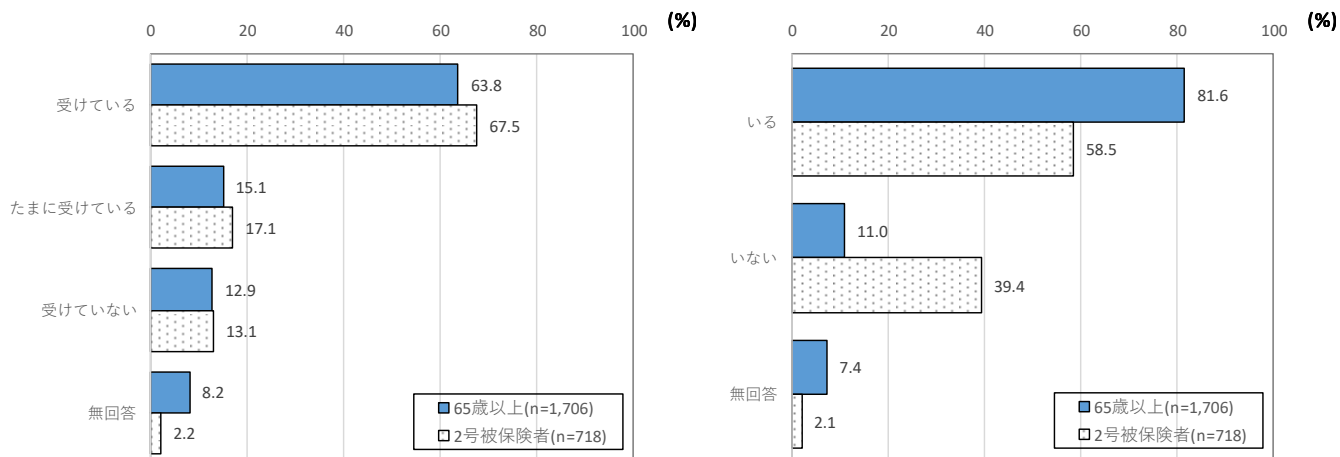


## II 市民意識調査結果の概要

### ⑦ 定期的な健康診断

定期的な健康診断では、65歳以上、2号被保険者共に「受けている」が6割以上と高くなっています。

かかりつけ医はいるかについては、65歳以上、2号被保険者共に「いる」が最も高くなっていますが、とりわけ65歳以上で81.6%と高くなっています。

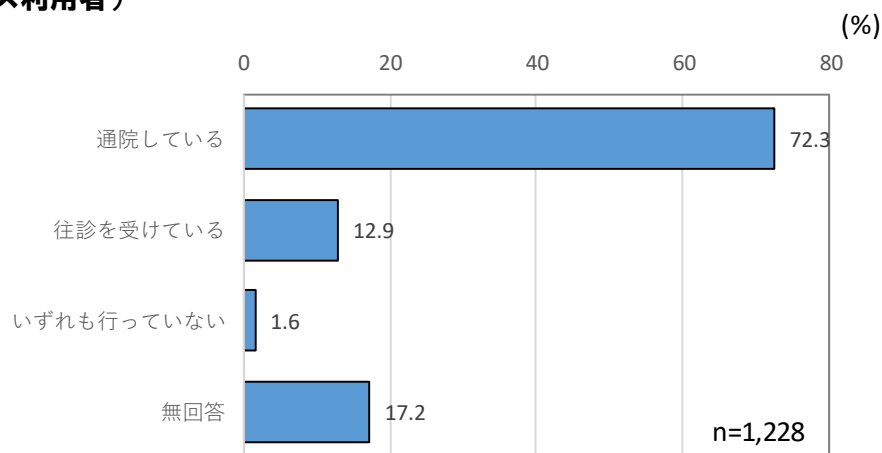


### 3.4.1 通院・往診の診療状況 (MA)

「通院している」が72.3%で最も高く、次いで「往診を受けている」が12.9%となっています。

要介護度別にみると、「往診を受けている」は、“要介護（3～5）”は、“要支援（1・2）”に比べ22.2ポイント高くなっています。

#### (在宅サービス利用者)

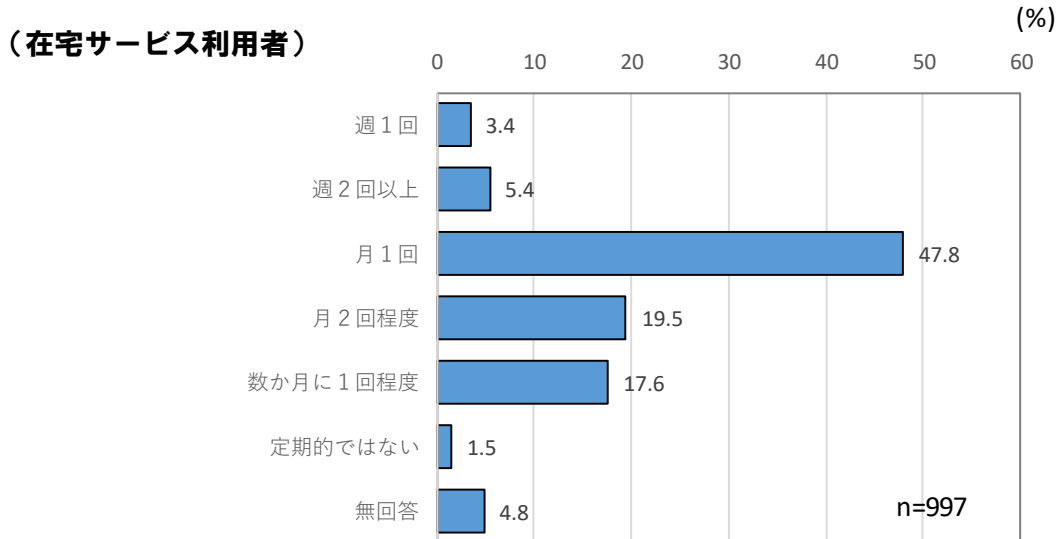


	合計	Q24. 通院・往診の診療状況				
		通院している	往診を受けている	いずれも行っていない	無回答	
全体	1228	72.3	12.9	1.6	17.2	
要介護度 (統合)	要支援（1・2）	208	77.9	6.3	2.9	16.8
	要介護（1・2）	537	87.5	8.0	1.3	5.8
	要介護（3～5）	337	69.1	28.5	1.8	8.0

3.4.2 医療機関への通院・往診の頻度（SA）

「月1回」が47.8%で最も高く、次いで「月2回程度」が19.5%、「数か月に1回程度」が17.6%の順になっています。

要介護度別にみても、大きな違いはみられません。

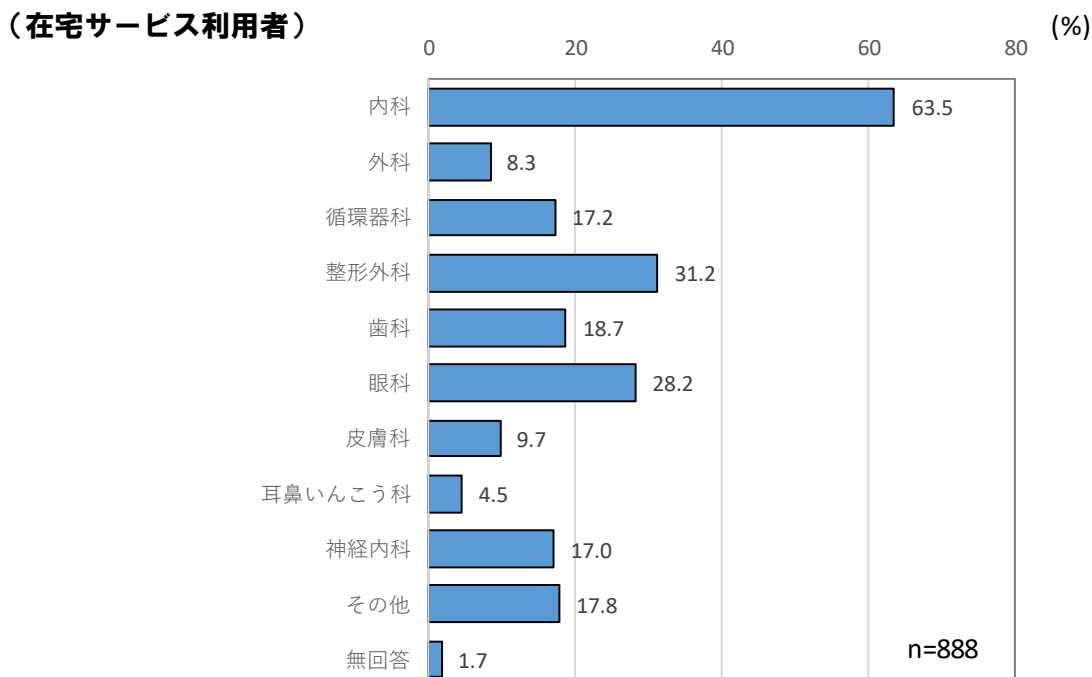


(在宅サービス利用者)

	合計	Q24-1. 医療機関への通院・往診の頻度						
		週1回	週2回以上	月1回	月2回程度	数か月に1回程度	定期的ではない	無回答
全体	997	3.4	5.4	47.8	19.5	17.6	1.5	4.8
要介護度 (統合)								
要支援 (1・2)	167	3.0	4.2	52.1	17.4	13.2	2.4	7.8
要介護 (1・2)	499	3.8	5.8	46.9	16.6	19.8	1.6	5.4
要介護 (3～5)	304	3.3	5.3	46.7	25.0	16.8	1.0	2.0

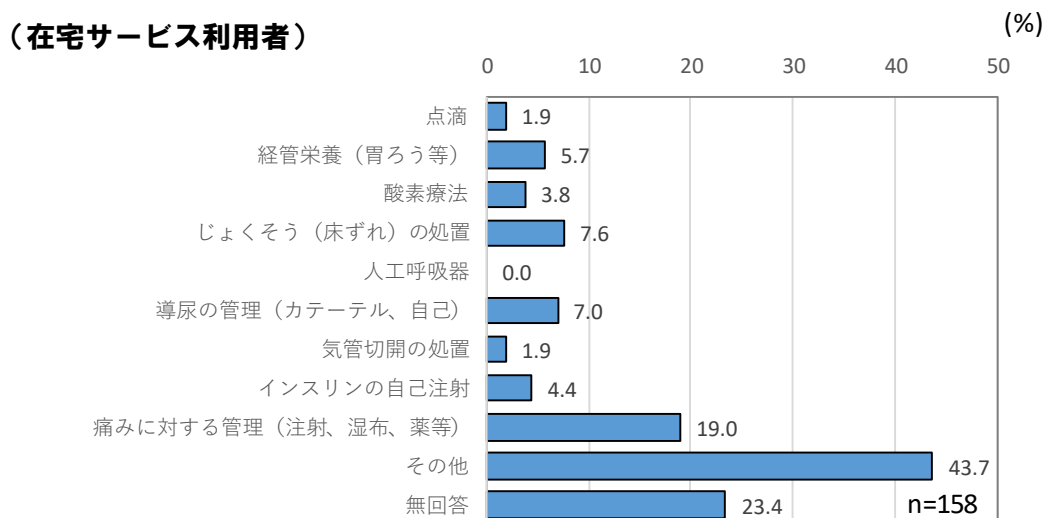
3.4.3 通院で受けている診療科目（MA）

「内科」が63.5%で最も高く、次いで「整形外科」が31.2%、「眼科」が28.2%の順になっています。



3.4.4 往診による治療内容（MA）

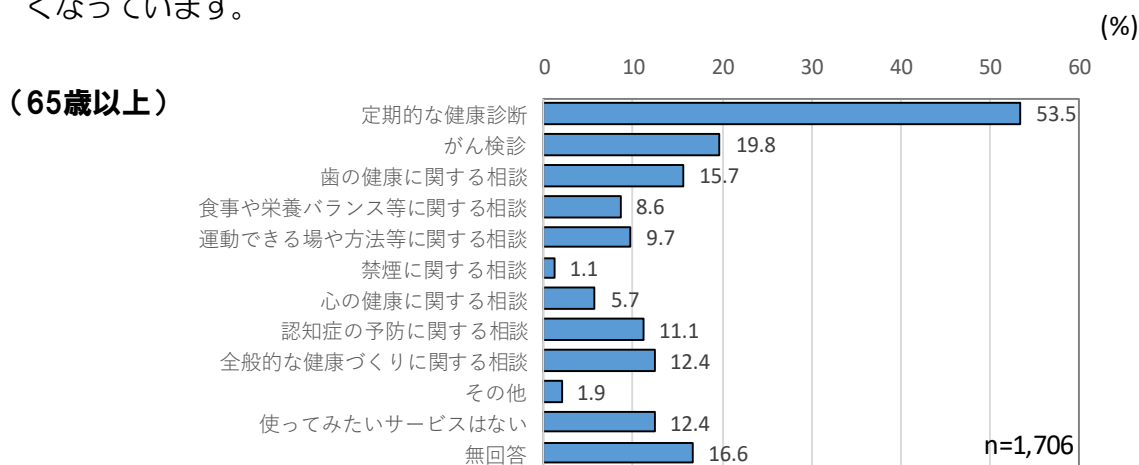
「その他」が43.7%で最も高く、次いで「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」が19.0%、「じょくそう（床ずれ）の処置」が7.6%の順になっています。



3.5 健康維持のために利用したいサービス（MA）

「定期的な健康診断」が53.5%と最も高く、次いで「がん検診」が19.8%、「歯の健康に関する相談」が15.7%の順になっています。

年齢別にみると、「がん検診」は“後期高齢者”に比べ“前期高齢者”では13.4ポイント高くなっています。

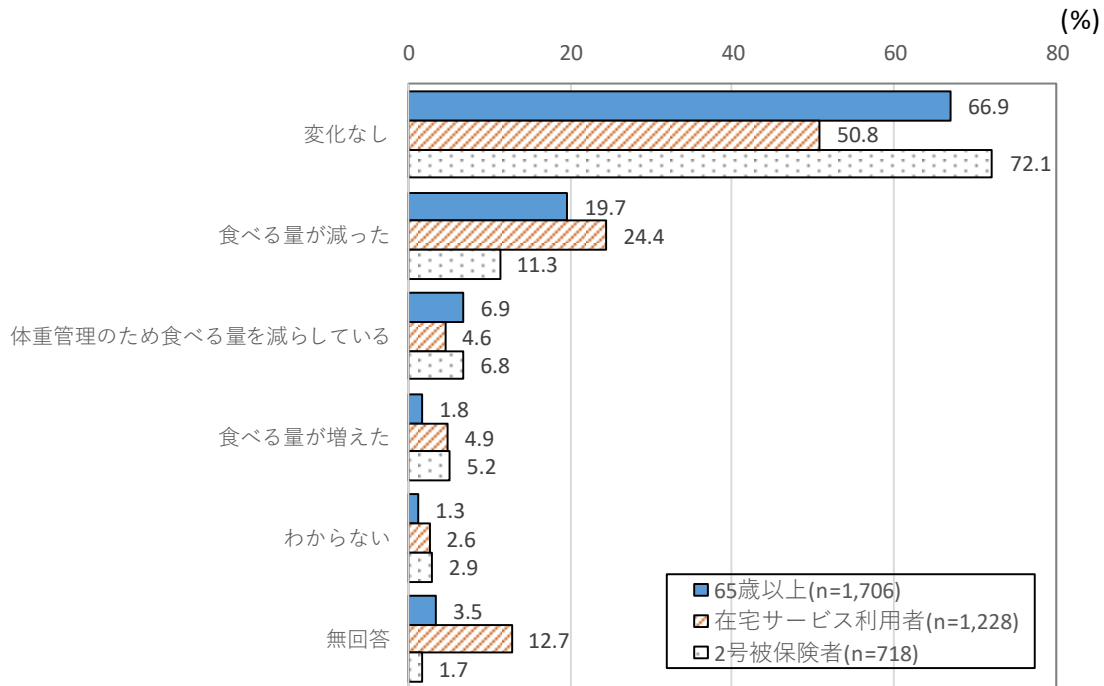


	合計	Q75. 健康維持のために利用したいサービス						
		定期的な健康診断	がん検診	歯の健康に関する相談	食事や栄養バランス等に関する相談	運動できる場や方法等に関する相談	禁煙に関する相談	
全体	1706	53.5	19.8	15.7	8.6	9.7	1.1	
年齢（統合）	前期高齢者	609	58.1	28.4	18.4	10.2	11.8	1.6
	後期高齢者	1054	51.1	15.0	14.3	7.5	8.7	0.9

	合計	Q75. 健康維持のために利用したいサービス						
		心の健康に関する相談	認知症の予防に関する相談	全般的な健康づくりに関する相談	その他	使ってみたいサービスはない	無回答	
全体	1706	5.7	11.1	12.4	1.9	12.4	16.6	
年齢（統合）	前期高齢者	609	6.6	11.3	13.6	1.1	13.0	9.0
	後期高齢者	1054	5.4	11.0	11.6	2.5	12.5	20.1

3.6 半年前と比較した食事量の変化 (SA)

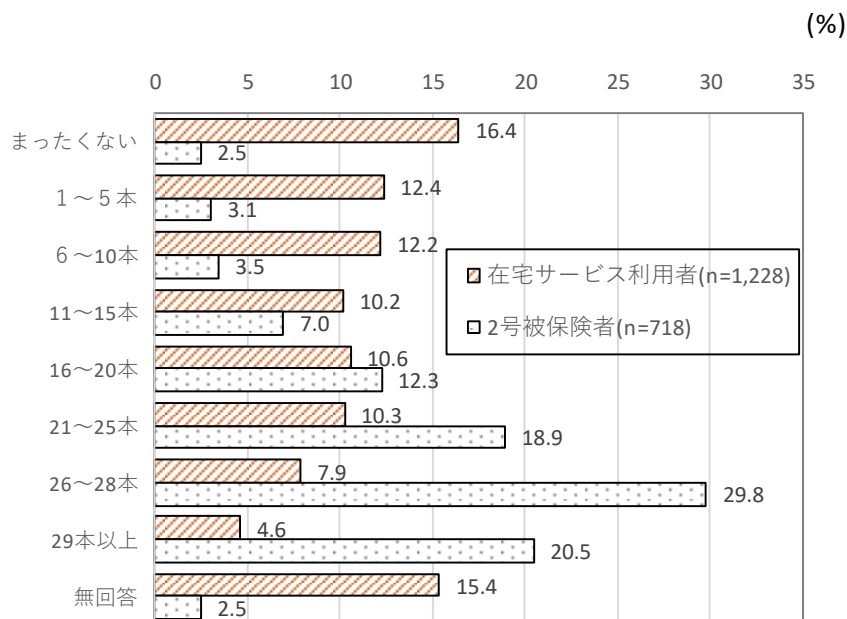
65歳以上、在宅サービス利用者、2号被保険者共に「変化なし」が最も高く、次いで「食べる量が減った」となっています。



3.7.1 自分の歯の本数 (SA)

在宅サービス利用者では、「まったくない」が16.4%で最も高く、次いで「1～5本」が12.4%となっています。

2号被保険者では、「26～28本」が29.8%で最も高く、次いで「21～25本」が18.9%となっています。

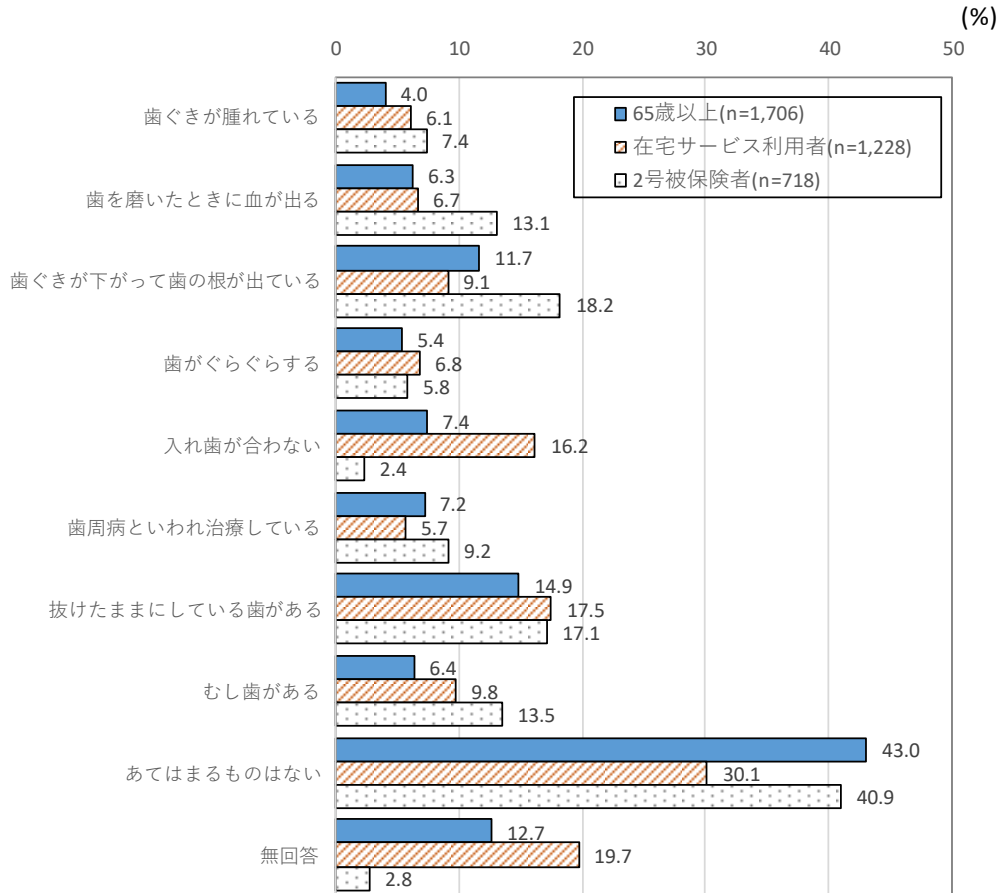


## II 市民意識調査結果の概要

### 3.7.2 現在の歯ぐき・口の状態 (MA)

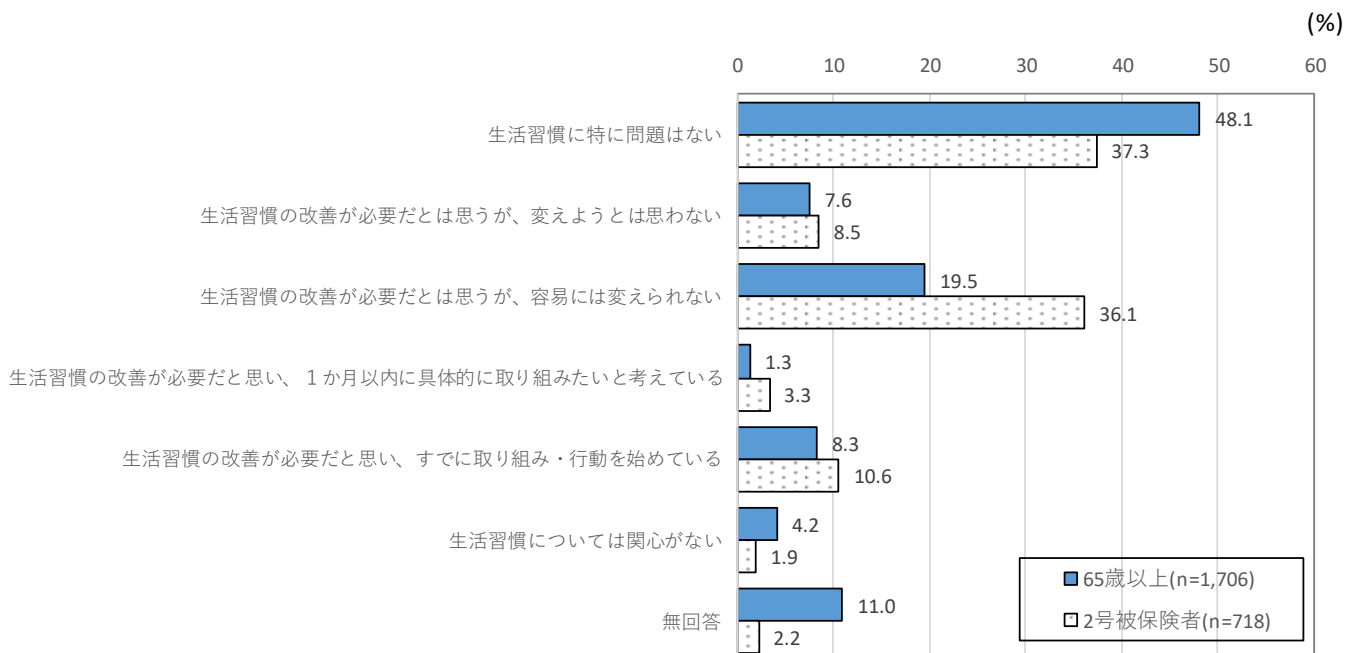
65歳以上、在宅サービス利用者、2号被保険者共に「あてはまるものはない」が最も高くなっています。

次いで、65歳以上と在宅サービス利用者では「抜けたままにしている歯がある」がそれぞれ14.9%、17.5%、2号被保険者では「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」が18.2%となっています。



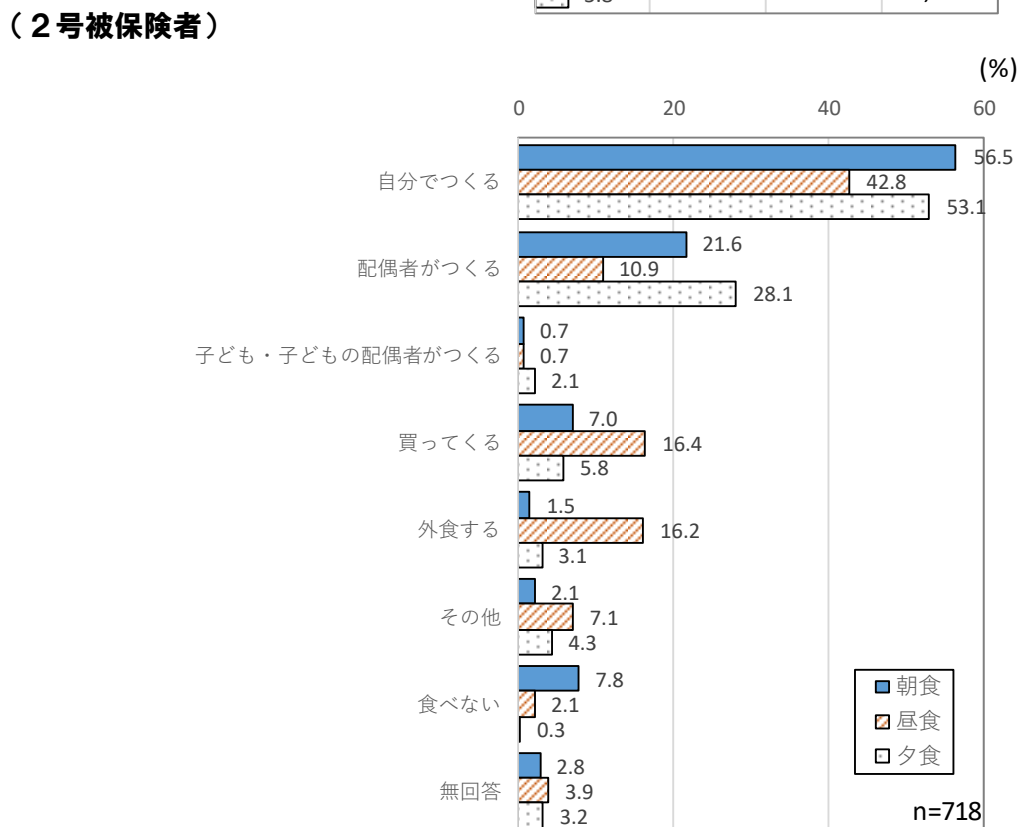
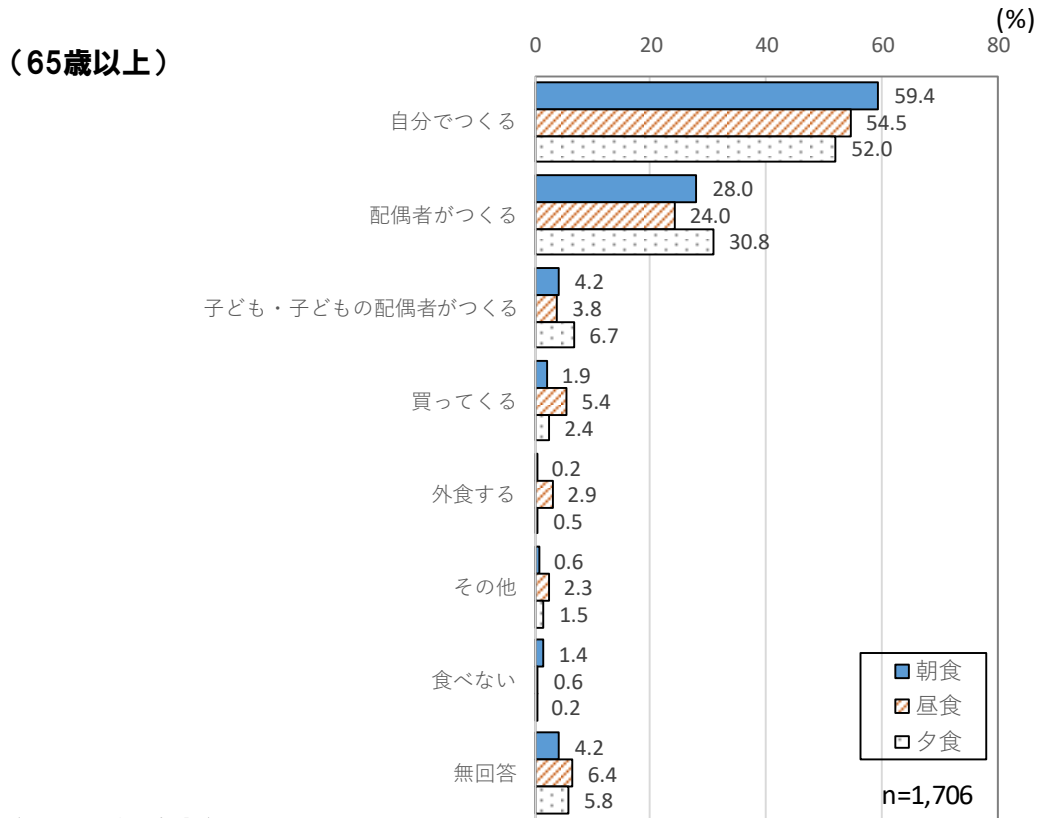
### 3.8 生活習慣について (SA)

65歳以上、2号被保険者共に「生活習慣に特に問題はない」が最も高くなっています。次いで「生活習慣の改善が必要だとは思うが、容易には変えられない」の順になっています。



3.9 平日の食事の主な調理者（SA）

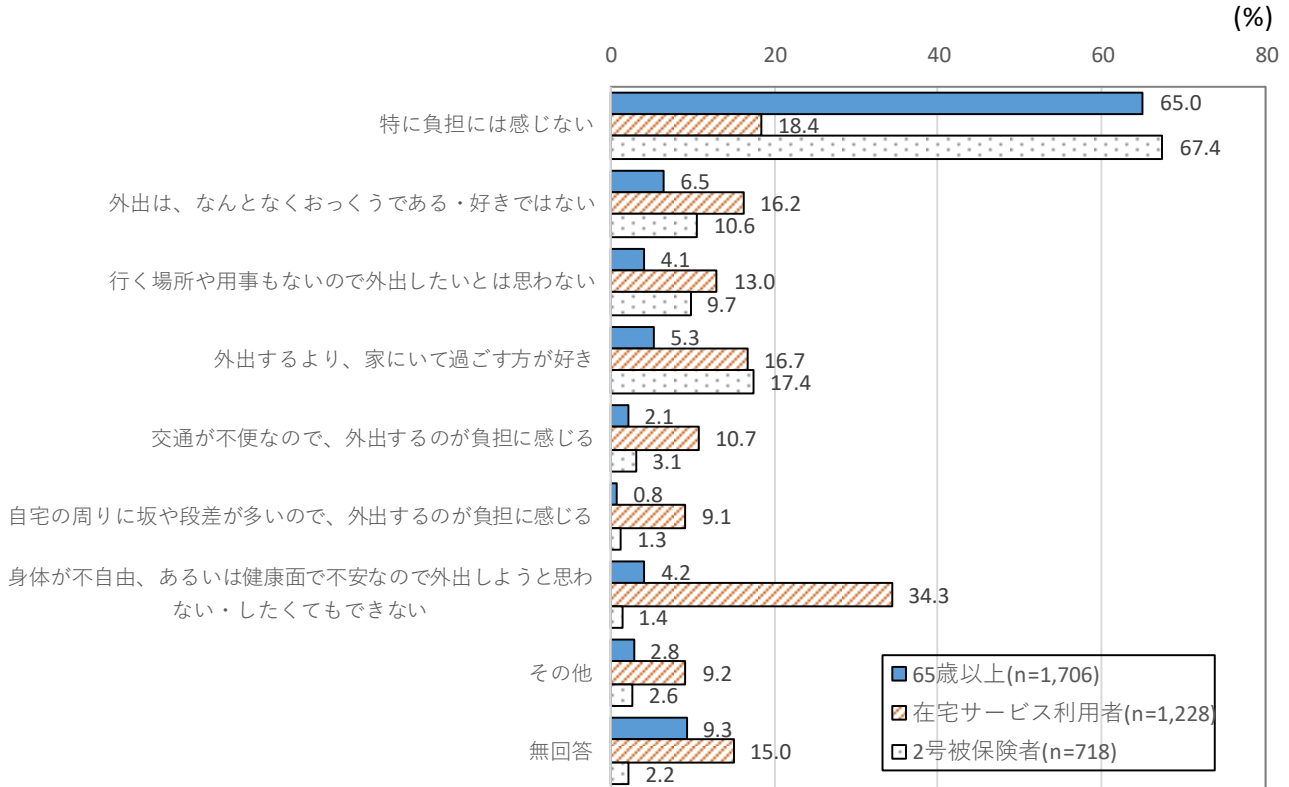
65歳以上、2号被保険者共に朝昼夜3食、「自分でつくる」が最も高く、次いで「配偶者がつくる」の順になっています。2号被保険者では、昼食で「買ってくる」は16.4%、「外食する」は16.2%と65歳以上に比べて高くなっています。また朝食を「食べない」と回答された方が7.8%います。



## II 市民意識調査結果の概要

### 3.10 外出に対する考え方（SA）

65歳以上、2号被保険者では、「特に負担には感じない」がそれぞれ65.0%、67.4%と最も高くなっています。在宅サービス利用者では、「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので外出しようと思わない・したくてもできない」が34.3%と最も高くなっています。



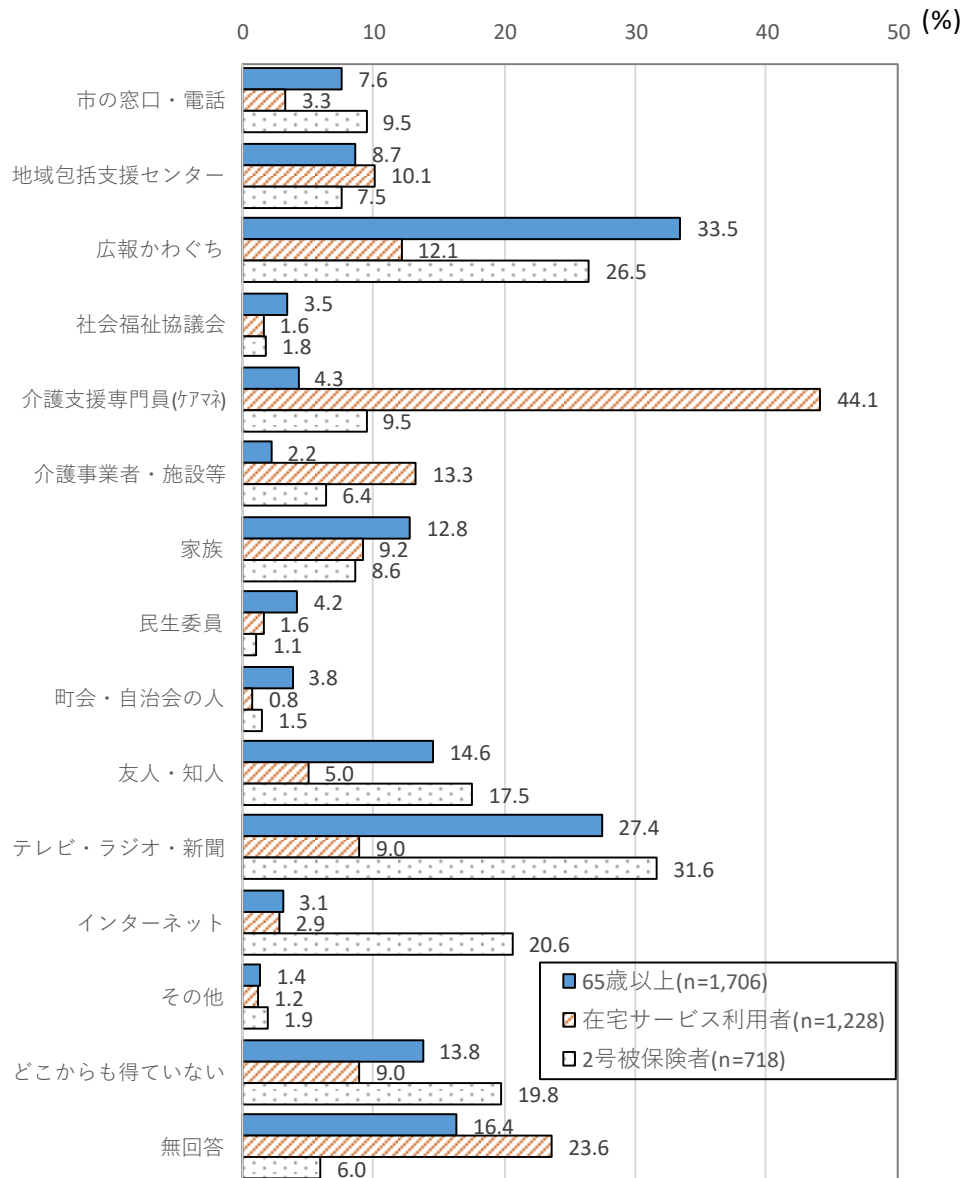


3.11 健康に関する情報の入手について (SA)

65歳以上では「広報かわぐち」が33.5%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」が27.4%、「友人・知人」が14.6%の順になっています。

在宅サービス利用者では、「介護支援専門員(ケアマネ)」が44.1%で最も高く、次いで「介護事業者・施設等」が13.3%、「広報かわぐち」が12.1%の順になっています。

2号被保険者では、「テレビ・ラジオ・新聞」が31.6%で最も高く、次いで「広報かわぐち」が26.5%、「インターネット」が20.6%の順になっています。



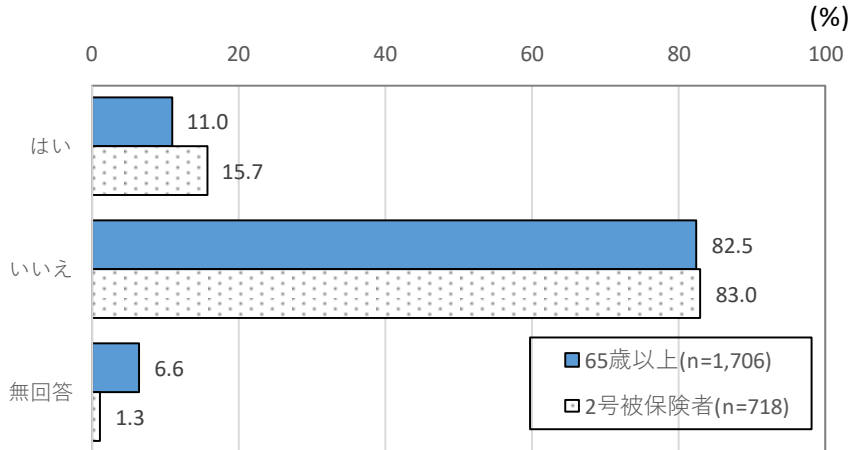
4. 認知症について

4.1.1 認知症の症状があるか、または周囲に認知症の人の有無（SA）

65歳以上、2号被保険者共に「いいえ」が8割以上となっています。

65歳以上の「はい」を性別で見ると、“女性”より“男性”が高く、年齢別で見ると“後期高齢者（75歳以上）”が高くなっています。

2号被保険者の年齢別では、「はい」は“55～59歳”の方が高くなっています。



（65歳以上）

		合計	Q46. 認知症の症状があるか、または周囲に認知症の人の有無		
			はい	いいえ	無回答
全体		1706	11.0	82.5	6.6
性別	男性	785	12.5	83.2	4.3
	女性	876	9.7	83.2	7.1
年齢（統合）	前期高齢者	609	6.7	90.8	2.5
	後期高齢者	1054	13.7	78.7	7.6

（2号被保険者）

		合計	問15. 認知症の症状があるか、または周囲に認知症の人の有無		
			はい	いいえ	無回答
全体		718	15.7	83.0	1.3
性別	男性	330	16.4	83.3	0.3
	女性	384	15.4	83.3	1.3
年齢	55～59歳	364	18.4	81.0	0.5
	60～64歳	345	12.8	86.4	0.9

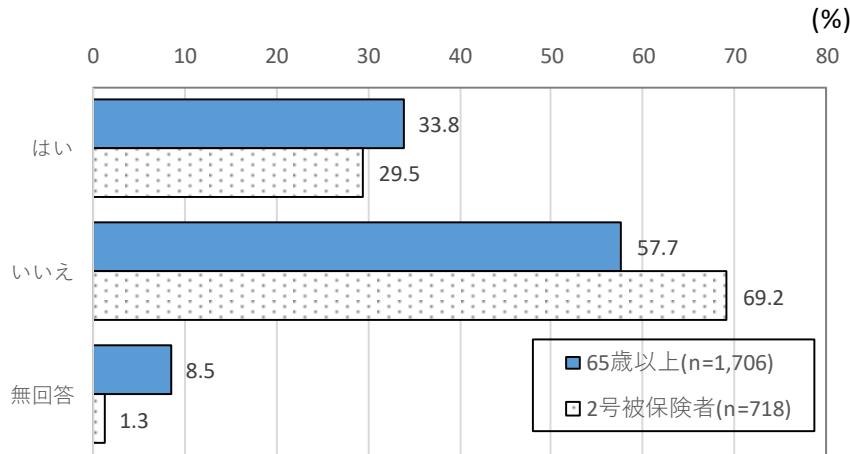
## II 市民意識調査結果の概要

### 4.1.2 認知症に関する相談窓口の認知度（SA）

「はい」は65歳以上では33.8%、2号被保険者では29.5%で、65歳以上の認知度の方が高くなっています。

65歳以上の性別でみると“女性”、年齢別でみると“前期高齢者（65～74歳）”の認知度が高くなっています。

2号被保険者の性別でみると“女性”、年齢別でみると“55～59歳”の認知度が高くなっています。



#### （65歳以上）

		合計	Q47. 認知症に関する相談窓口の認知度		
			はい	いいえ	無回答
全体		1706	33.8	57.7	8.5
性別	男性	785	32.1	62.3	5.6
	女性	876	36.1	54.9	9.0
年齢（統合）	前期高齢者	609	35.1	61.6	3.3
	後期高齢者	1054	33.8	56.4	9.9

#### （2号被保険者）

		合計	問16. 認知症に関する相談窓口の認知度		
			はい	いいえ	無回答
全体		718	29.5	69.2	1.3
性別	男性	330	23.0	76.7	0.3
	女性	384	35.2	63.5	1.3
年齢	55～59歳	364	31.0	68.4	0.5
	60～64歳	345	28.4	70.7	0.9

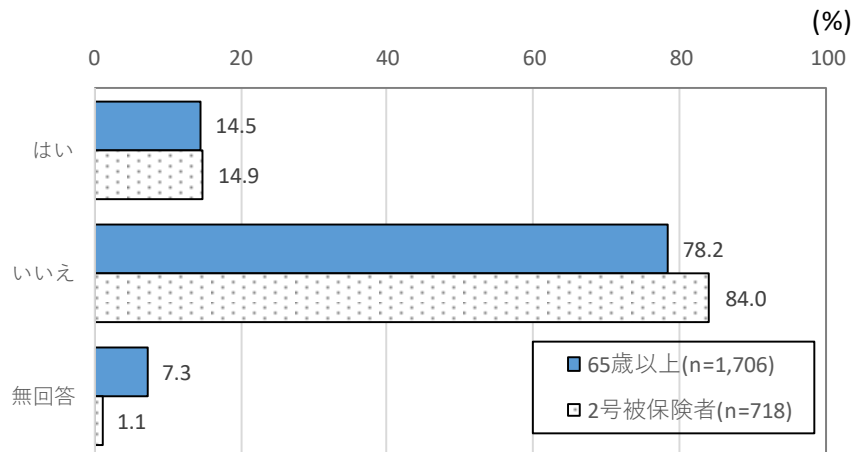
## II 市民意識調査結果の概要

### 4.1.3 認知症サポーター養成講座の認知度（SA）

「はい」が、65歳以上で14.5%、2号被保険者で14.9%となっています。

65歳以上の性別でみると“女性”、年齢別でみると「いいえ」は、“後期高齢者（75歳以上）”の認知度が高くなっています。

2号被保険者の性別でみると“女性”、年齢別でみると“55～59歳”の認知度が高くなっています。



#### （65歳以上）

		合計	Q48. 認知症サポーター養成講座の認知度		
			はい	いいえ	無回答
全体		1706	14.5	78.2	7.3
性別	男性	785	13.2	81.4	5.4
	女性	876	16.2	76.5	7.3
年齢（統合）	前期高齢者	609	13.6	82.6	3.8
	後期高齢者	1054	15.2	76.9	8.0

#### （2号被保険者）

		合計	問17. 認知症サポーター養成講座の認知度		
			はい	いいえ	無回答
全体		718	14.9	84.0	1.1
性別	男性	330	10.0	90.0	0.0
	女性	384	19.0	79.7	1.3
年齢	55～59歳	364	16.5	83.0	0.5
	60～64歳	345	13.3	85.8	0.9

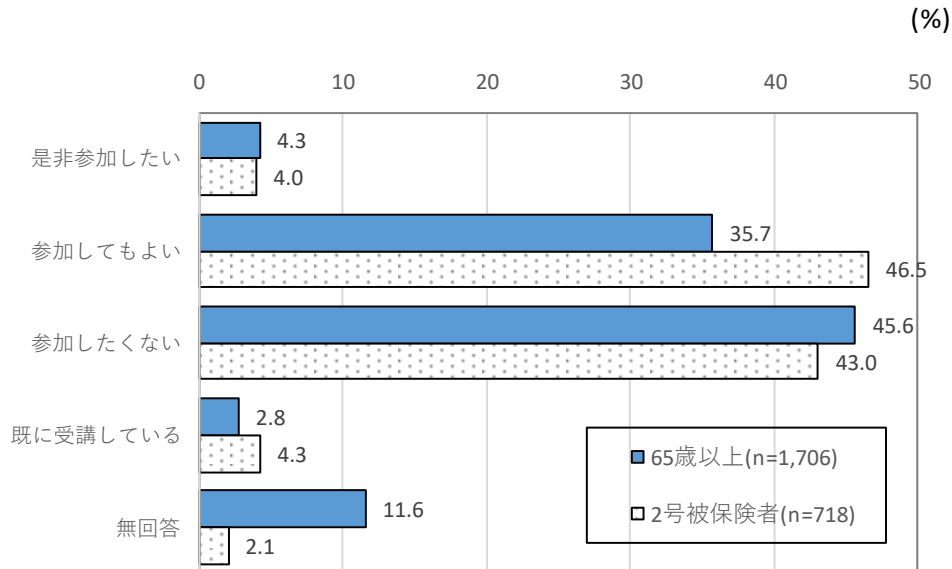
## II 市民意識調査結果の概要

### 4.1.4 認知症サポーター養成講座の参加意向（SA）

「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加したい』は、65歳以上40.0%、2号被保険者では、50.5%となっており、2号被保険者の参加意向が高くなっています。

65歳以上の性別でみると“女性”、年齢別でみると“前期高齢者（65～74歳）”参加意向が高くなっています。

2号被保険者の性別でみると“女性”の参加意向が高く、年齢別では大きな違いはみられません。



#### (65歳以上)

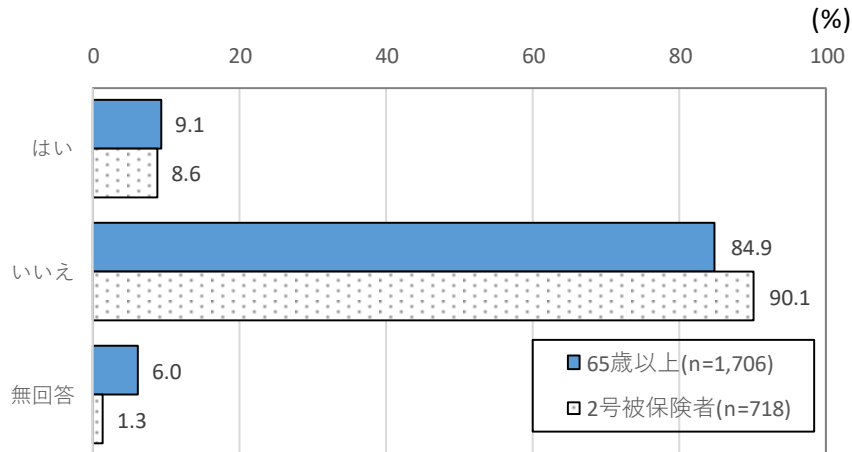
		合計	Q49. 認知症サポーター養成講座の参加意向				
			是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に受講 している	無回答
全体		1706	4.3	35.7	45.6	2.8	11.6
性別	男性	785	3.1	34.8	50.4	2.3	9.4
	女性	876	5.5	37.6	41.7	3.4	11.9
年齢 (統 合)	前期高齢者	609	2.8	42.2	44.0	4.3	6.7
	後期高齢者	1054	5.1	32.4	47.2	2.0	13.2

#### (2号被保険者)

		合計	問18. 認知症サポーター養成講座の参加意向				
			是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	すでに受 講してい る	無回答
全体		718	4.0	46.5	43.0	4.3	2.1
性別	男性	330	3.9	39.4	52.7	2.4	1.5
	女性	384	4.2	52.9	35.2	6.0	1.8
年齢	55～59歳	364	4.7	46.4	44.2	3.8	0.8
	60～64歳	345	3.5	47.2	42.0	4.9	2.3

4.1.5 認知症あんしんガイドの認知度（SA）

「はい」は、65歳以上で9.1%、2号被保険者で8.6%と低くなっています。性別や年齢別にみても大きな違いはみられません。



（65歳以上）

		合計	Q50. 認知症あんしんガイドの認知度		
			はい	いいえ	無回答
全体		1706	9.1	84.9	6.0
性別	男性	785	9.2	86.4	4.5
	女性	876	9.1	84.9	5.9
年齢（統合）	前期高齢者	609	8.7	88.3	3.0
	後期高齢者	1054	9.6	84.0	6.5

（2号被保険者）

		合計	問19. 認知症あんしんガイドの認知度		
			はい	いいえ	無回答
全体		718	8.6	90.1	1.3
性別	男性	330	8.8	90.9	0.3
	女性	384	8.6	90.1	1.3
年齢	55～59歳	364	9.6	89.6	0.8
	60～64歳	345	7.8	91.3	0.9

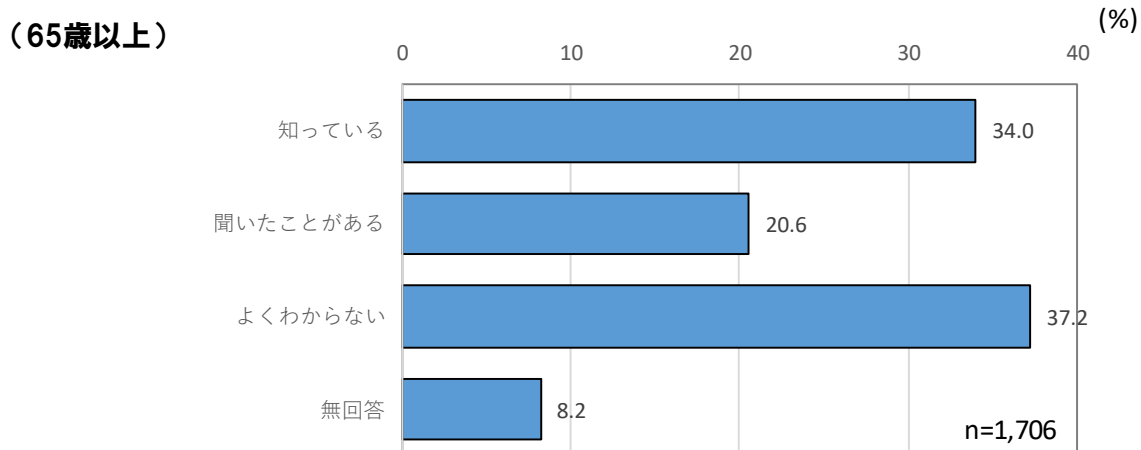
5. 地域包括支援センター

5.1.1 地域包括支援センター認知度（SA）

「よくわからない」が37.2%、「知っている」が34.0%、「聞いたことがある」が20.6%となっています。

日常生活圏域別にみると、「知っている」は“新郷東”が50.6%、“安行”が46.5%と高く、“中央”の20.9%、“青木”の25.3%が低くなっています。

要介護度別にみると、“その他（認定なし）”は「よくわからない」が最も高くなっています。



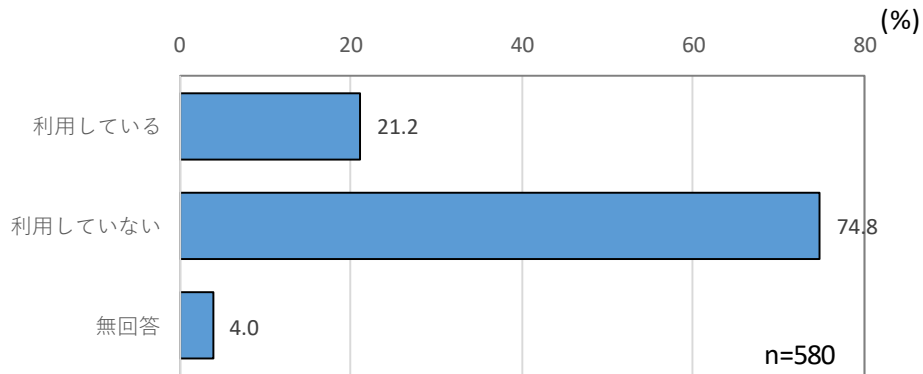
		合計	Q81. 地域包括支援センター認知度			
			知っている	聞いたことがある	よくわからない	無回答
	全体	1706	34.0	20.6	37.2	8.2
日常生活圏域	中央	86	20.9	24.4	44.2	10.5
	横曽根	75	45.3	17.3	30.7	6.7
	西	102	32.4	17.6	41.2	8.8
	青木	79	25.3	25.3	46.8	2.5
	上青木	84	39.3	22.6	28.6	9.5
	前川	75	40.0	14.7	32.0	13.3
	南平	78	28.2	19.2	44.9	7.7
	南平みなみ	73	30.1	19.2	42.5	8.2
	新郷	82	29.3	26.8	40.2	3.7
	新郷東	83	50.6	18.1	26.5	4.8
	神根	77	35.1	16.9	37.7	10.4
	神根東	85	35.3	22.4	32.9	9.4
	芝	68	39.7	17.6	35.3	7.4
	芝伊刈	85	30.6	23.5	37.6	8.2
	芝西	84	28.6	20.2	38.1	13.1
	安行	86	46.5	16.3	32.6	4.7
	戸塚	88	37.5	28.4	31.8	2.3
	戸塚西	80	31.3	21.3	40.0	7.5
	鳩ヶ谷東部	82	31.7	22.0	40.2	6.1
	鳩ヶ谷西部	74	36.5	20.3	39.2	4.1
性別	男性	785	27.1	21.7	42.9	8.3
	女性	876	41.3	20.3	31.6	6.7
年齢（統合）	前期高齢者	609	27.4	23.3	43.5	5.7
	後期高齢者	1054	38.3	19.4	33.8	8.5
要介護状態区分	事業対象者	33	42.4	15.2	30.3	12.1
	要支援1	91	63.7	14.3	15.4	6.6
	要支援2	49	63.3	14.3	16.3	6.1
	その他（認定なし）	1182	32.3	22.3	39.3	6.2

5.1.2 地域包括支援センター利用状況（SA）

「利用していない」が74.8%、「利用している」が21.2%となっています。

日常生活圏域別にみると、「利用していない」では、“芝”が88.9%で最も高くなっており、次いで“新郷”が87.5%、“戸塚西”が84.0%の順位となっています。一方で、「利用している」では、“芝伊刈”が46.2%で最も高くなっており、次いで“中央”が38.9%、“上青木”が36.4%の順になっています。

（65歳以上）



		合計	Q81-1. 地域包括支援センター利用状況			
			利用している	利用していない	無回答	非該当
	全体	580	21.2	74.8	4.0	
日常生活圏域	中央	18	38.9	61.1	0.0	
	横曽根	34	17.6	82.4	0.0	
	西	33	18.2	72.7	9.1	
	青木	20	15.0	75.0	10.0	
	上青木	33	36.4	60.6	3.0	
	前川	30	16.7	80.0	3.3	
	南平	22	22.7	77.3	0.0	
	南平みなみ	22	18.2	77.3	4.5	
	新郷	24	12.5	87.5	0.0	
	新郷東	42	21.4	73.8	4.8	
	神根	27	18.5	81.5	0.0	
	神根東	30	23.3	73.3	3.3	
	芝	27	11.1	88.9	0.0	
	芝伊刈	26	46.2	50.0	3.8	
	芝西	24	20.8	79.2	0.0	
	安行	40	25.0	67.5	7.5	
	戸塚	33	30.3	63.6	6.1	
	戸塚西	25	12.0	84.0	4.0	
	鳩ヶ谷東部	26	15.4	80.8	3.8	
鳩ヶ谷西部	27	11.1	81.5	7.4		



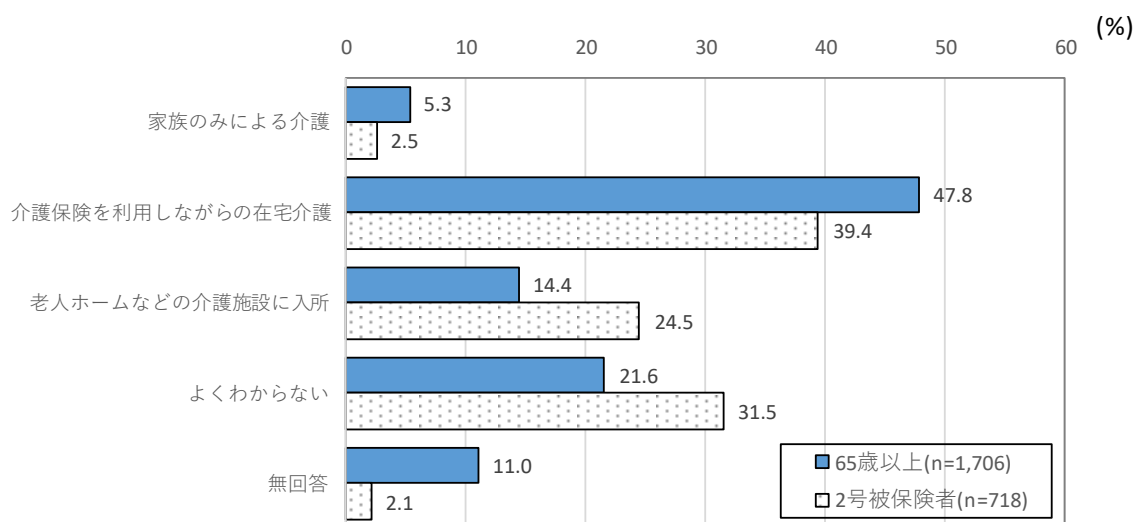
6. 介護保険制度について

6.1 要介護状態になった場合に望む介護形態（SA）

65歳以上、2号被保険者共に「介護保険を利用しながらの在宅介護」がそれぞれ47.8%、39.4%と最も高く、次いで「よくわからない」、「老人ホームなどの介護施設に入所」の順になっています。

65歳以上の年齢別でみると、「介護保険を利用しながらの在宅介護」で“前期高齢者（65～74歳）”が50.6%、“後期高齢者（75歳以上）”が46.7%となっています。

2号被保険者の年齢別でみると、「介護保険を利用しながらの在宅介護」で“55～59歳”が38.5%、“60～64歳”が41.2%となっています。



（65歳以上）

	合計	Q82. 要介護状態になった場合に望む介護形態				
		家族のみによる介護	介護保険を利用しながらの在宅介護	老人ホームなどの介護施設に入所	よくわからない	無回答
全体	1706	5.3	47.8	14.4	21.6	11.0
年齢（統合）						
前期高齢者	609	4.3	50.6	14.9	22.8	7.4
後期高齢者	1054	6.1	46.7	14.1	21.1	12.0

（2号被保険者：55～64歳）

	合計	問33. 要介護状態になった場合に望む介護形態				
		家族のみによる介護	介護保険を利用しながらの在宅介護	老人ホームなどの介護施設に入所	よくわからない	無回答
全体	718	2.5	39.4	24.5	31.5	2.1
年齢						
55～59歳	364	2.5	38.5	23.4	33.8	1.9
60～64歳	345	2.6	41.2	25.8	29.3	1.2

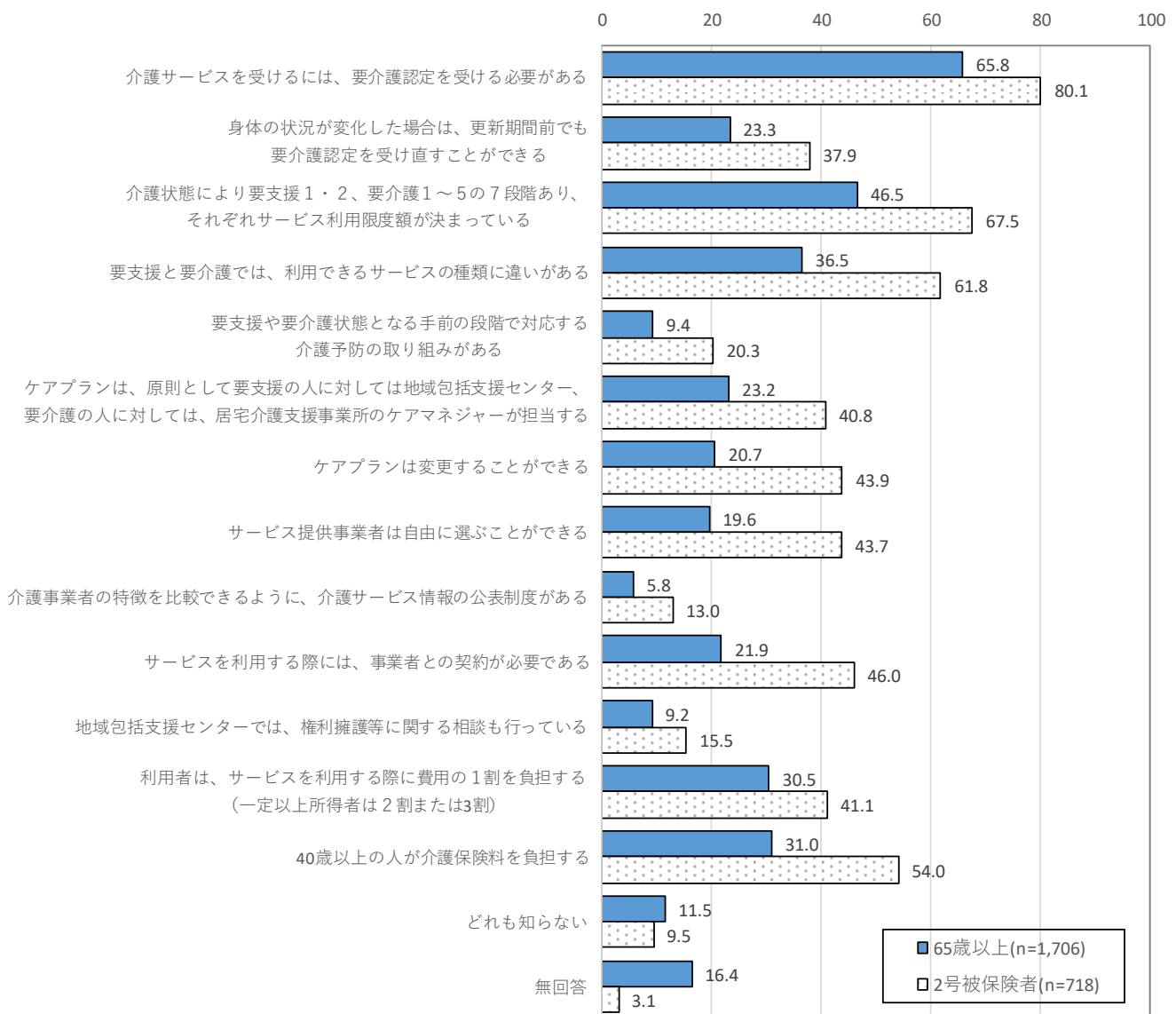
6.2 「介護保険制度」認知状況（MA）

65歳以上では「介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある」が65.8%で最も高く、次いで「介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている」が46.5%、「要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある」が36.5%の順となっています。

2号被保険者では、65歳以上と項目順は同様ですが、80.1%、67.5%、61.8%の順となっており、65歳以上より高くなっています。

（65歳以上）（2号被保険者：55～64歳）

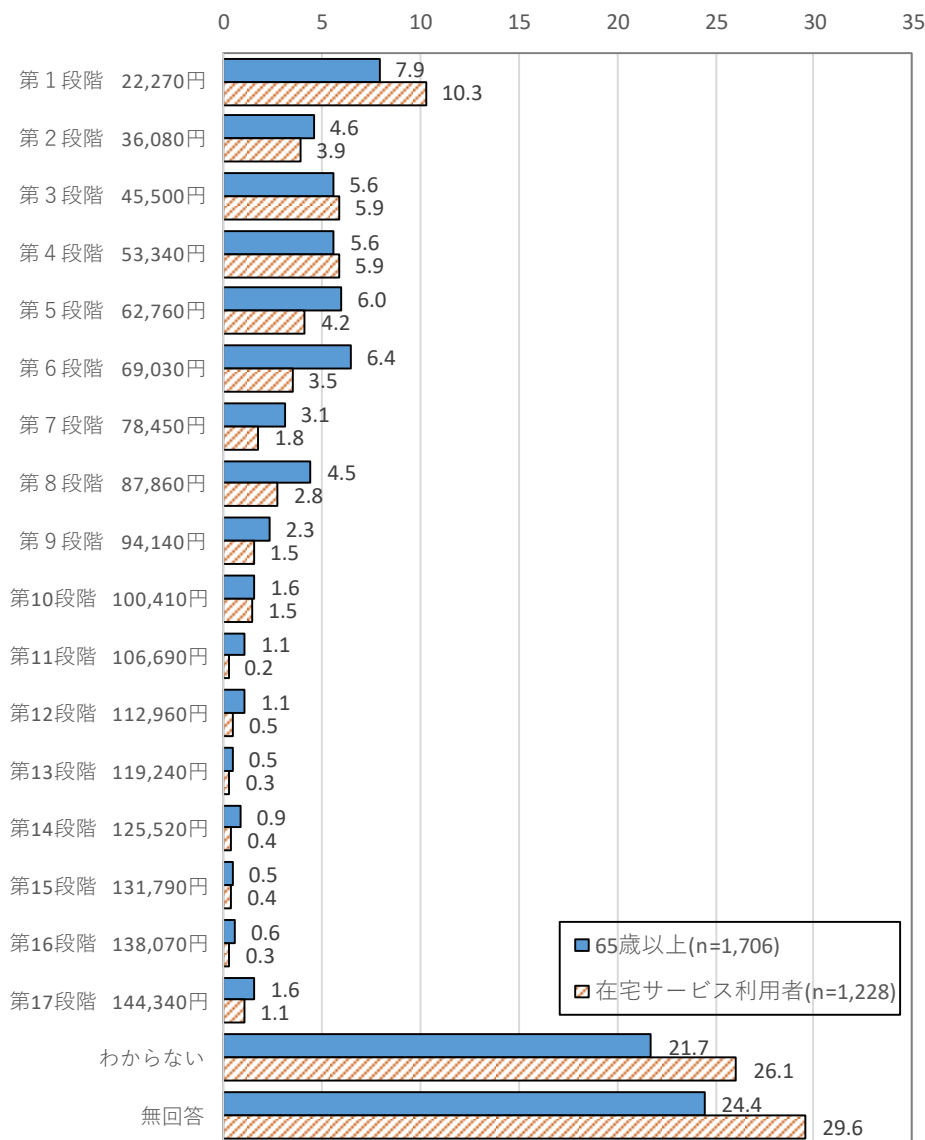
(%)



6.3.1 介護保険料段階（SA）

65歳以上、在宅サービス利用者共に17段階の中では「第1段階 22,270円」が最も高く、7.9%及び10.3%となっています。「わからない」と回答された方は、65歳以上は21.7%、在宅サービス利用者は26.1%となっています。

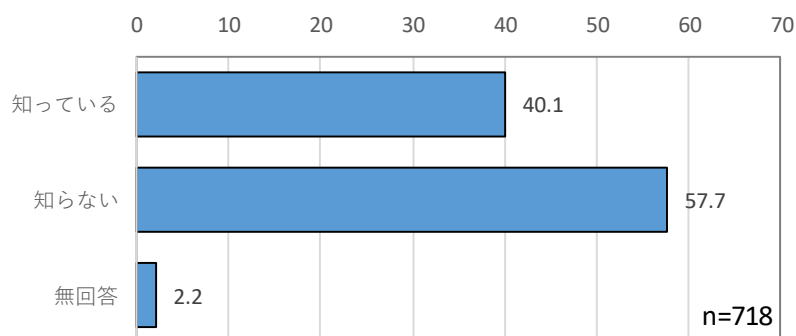
（65歳以上）（在宅サービス利用者） (%)



6.3.2 自身が納めている介護保険料額の認知状況（SA）

「知らない」が57.7%、「知っている」は40.1%となっています。

（2号被保険者：55～64歳） (%)

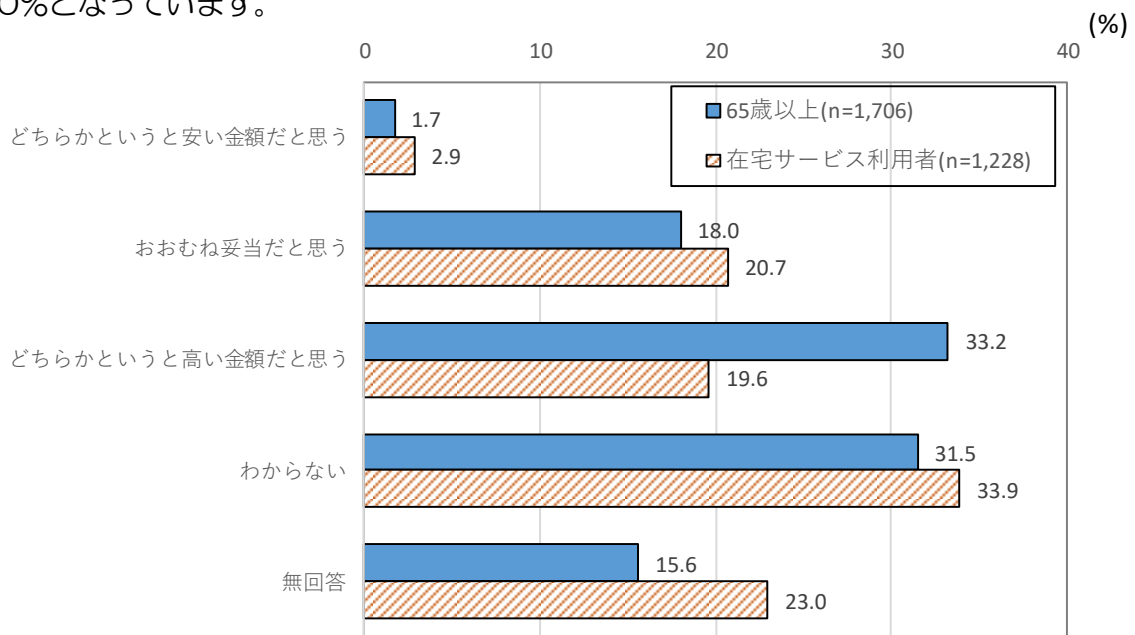


6.3.3 介護保険料の妥当性（SA）

65歳以上では、「どちらかという高い金額だと思う」が33.2%で最も高く、次いで「わからない」が31.5%、在宅サービス利用者では、「わからない」が33.9%で、次いで「おおむね妥当だと思う」が20.7%となっています。

65歳以上の年間の介護保険料別にみると、「どちらかという高い金額だと思う」は“第11段階”の78.9%が最も高くなっています。

在宅サービス利用者の介護保険料別にみると、“第11段階の”「おおむね妥当だと思う」が100%となっています。



(65歳以上)

	合計	Q85. 介護保険料の妥当性					
		どちらかという安い金額だと思う	おおむね妥当だと思う	どちらかという高い金額だと思う	わからない	無回答	
全体	1706	1.7	18.0	33.2	31.5	15.6	
年間の介護保険料	第1段階22,270円	135	4.4	25.2	25.2	35.6	9.6
	第2段階36,080円	78	1.3	23.1	34.6	29.5	11.5
	第3段階45,500円	95	0.0	32.6	34.7	17.9	14.7
	第4段階53,340円	96	0.0	18.8	40.6	29.2	11.5
	第5段階62,760円	102	0.0	19.6	46.1	27.5	6.9
	第6段階69,030円	110	0.9	19.1	45.5	24.5	10.0
	第7段階78,450円	53	0.0	15.1	58.5	18.9	7.5
	第8段階87,860円	76	1.3	25.0	43.4	17.1	13.2
	第9段階94,140円	40	5.0	20.0	55.0	15.0	5.0
	第10段階100,410円	27	7.4	22.2	44.4	14.8	11.1
	第11段階106,690円	19	0.0	10.5	78.9	5.3	5.3
	第12段階112,960円	19	0.0	26.3	52.6	5.3	15.8
	第13段階119,240円	8	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5
	第14段階125,520円	15	6.7	6.7	73.3	13.3	0.0
	第15段階131,790円	8	12.5	12.5	75.0	0.0	0.0
	第16段階138,070円	10	0.0	30.0	40.0	10.0	20.0
	第17段階144,340円	27	0.0	33.3	37.0	14.8	14.8
わからない	371	0.5	10.0	19.7	56.9	12.9	

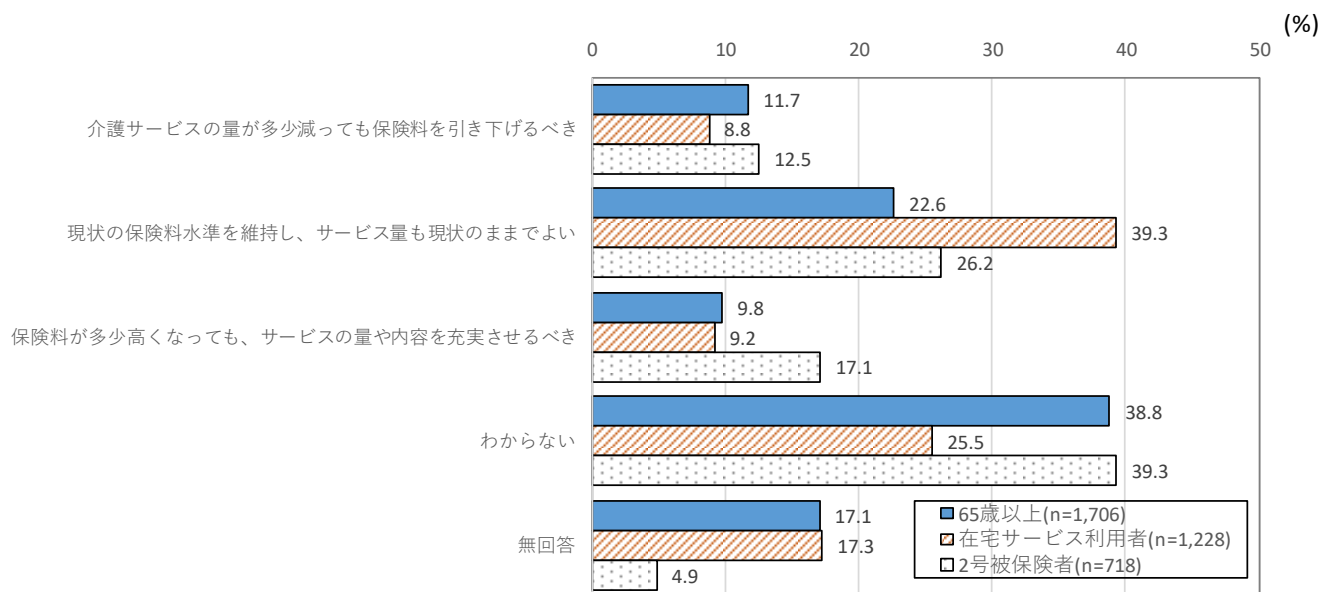
(在宅サービス利用者)

		合計	Q19. 介護保険料の妥当性				
			どちらか という 安い金額 だと思う	おおむね 妥当だ と思う	どちらか という 高い金額 だと思う	わから ない	無回答
全体		1228	2.9	20.7	19.6	33.9	23.0
年間の介護保険料	第1段階 22,270円	126	7.9	35.7	20.6	27.8	7.9
	第2段階 36,080円	48	0.0	37.5	25.0	33.3	4.2
	第3段階 45,500円	72	2.8	37.5	20.8	26.4	12.5
	第4段階 53,340円	72	1.4	33.3	33.3	26.4	5.6
	第5段階 62,760円	51	0.0	39.2	25.5	29.4	5.9
	第6段階 69,030円	43	2.3	27.9	48.8	16.3	4.7
	第7段階 78,450円	22	4.5	40.9	36.4	13.6	4.5
	第8段階 87,860円	34	5.9	20.6	44.1	20.6	8.8
	第9段階 94,140円	19	5.3	21.1	63.2	5.3	5.3
	第10段階 100,410円	18	0.0	38.9	44.4	16.7	0.0
	第11段階 106,690円	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	第12段階 112,960円	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
	第13段階 119,240円	4	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	第14段階 125,520円	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	第15段階 131,790円	5	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0
	第16段階 138,070円	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	第17段階 144,340円	13	7.7	23.1	38.5	23.1	7.7
	わからない	320	2.5	10.9	11.6	67.2	7.8

6.3.4 今後の介護保険料と介護サービスのあり方について (SA)

65歳以上と2号被保険者は「わからない」が最も高く、在宅サービス利用者は、「現状の保険料水準を維持し、サービス料も現状のままでよい」が最も高くなっています。

65歳以上と2号被保険者の年齢別にみても、大きな違いはみられません。



## II 市民意識調査結果の概要

### (65歳以上)

		合計	Q87. 今後の介護保険料と介護サービスのあり方について				
			介護サービスの量が多少減っても保険料を引き下げるべき	現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい	保険料が多少高くなって、サービス量や内容を充実させるべき	わからない	無回答
全体		1706	11.7	22.6	9.8	38.8	17.1
年齢(統合)	前期高齢者	609	15.4	23.2	10.5	39.1	11.8
	後期高齢者	1054	9.6	23.0	9.4	38.9	19.2

### (2号被保険者：55～64歳)

		合計	問38. 今後の介護保険料と介護サービスのあり方について				
			介護サービスの量が多少減っても保険料を引き下げるべき	現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい	保険料が多少高くなって、サービス量や内容を充実させるべき	わからない	無回答
全体		718	12.5	26.2	17.1	39.3	4.9
年齢	55～59歳	364	12.6	22.8	19.5	41.8	3.3
	60～64歳	345	12.8	30.4	14.5	36.5	5.8

### (在宅サービス利用者)

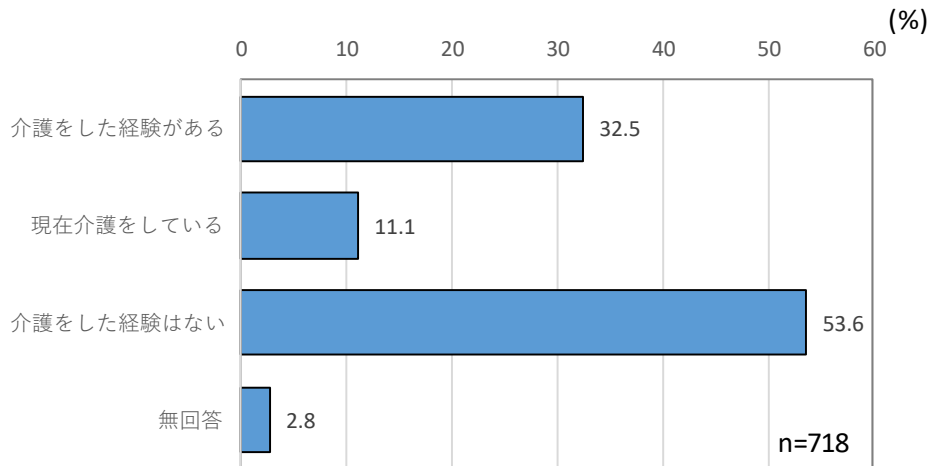
		合計	Q21. 今後の介護保険料と介護サービスのあり方について				
			介護サービスの量が多少減っても保険料を引き下げるべき	現状の保険料水準を維持し、サービス量も現状のままでよい	保険料が多少高くなって、サービス量や内容を充実させるべき	わからない	無回答
全体		1228	8.8	39.3	9.2	25.5	17.3
要介護度(統合)	要支援(1・2)	208	9.6	38.5	10.1	28.4	13.5
	要介護(1・2)	537	11.5	44.9	9.7	26.6	7.3
	要介護(3～5)	337	7.4	45.1	9.8	29.1	8.6

6.4.1 家族等の介護経験（SA）

「介護をした経験はない」が53.6%で最も高く、次いで「介護をした経験がある」が32.5%となっています。

年齢別にみると「介護をした経験がある」は、「60～64歳」が「55～59歳」より高くなっています。

（2号被保険者：55～64歳）



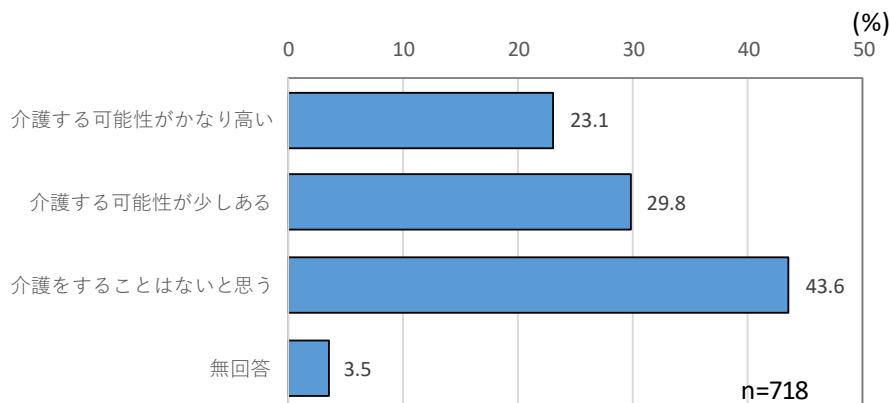
		合計	問39. 家族等の介護経験			
			介護をした経験がある	現在介護をしている	介護をした経験はない	無回答
	全体	718	32.5	11.1	53.6	2.8
年齢	55～59歳	364	29.4	11.8	56.0	2.7
	60～64歳	345	35.7	10.1	52.5	1.7

6.4.2 近い将来家族の介護を行う可能性（SA）

「介護をすることはないと思う」が43.6%と最も高く、次いで「介護する可能性がある」が29.8%、「介護をする可能性がかなり高い」が23.1%となっています。

年齢別にみると、「介護をする可能性がかなり高い」は「55～59歳」で高くなっています。

（2号被保険者：55～64歳）



(2号被保険者：55～64歳)

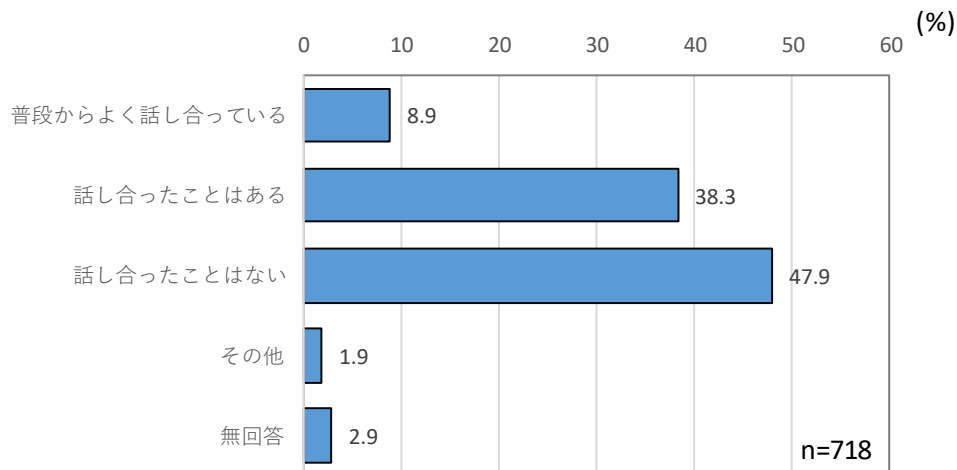
		合計	問40. 近い将来家族の介護を行う可能性			
			介護する可能性がかなり高い	介護する可能性が少しある	介護をすることは無いと思う	無回答
全体		718	23.1	29.8	43.6	3.5
年齢	55～59歳	364	27.7	33.5	36.0	2.7
	60～64歳	345	18.3	26.1	52.5	3.2

6.4.3 介護について家族等との話し合い状況 (SA)

「話し合ったことはない」が47.9%で最も高く、次いで「話し合ったことはある」が38.3%、「普段からよく話し合っている」が80.9%となっています。

近い将来の介護を行う可能性別にみると、“介護する可能性がかなり高い”では「話し合ったことはある」が最も高くなっています。

(2号被保険者：55～64歳)



(2号被保険者：55～64歳)

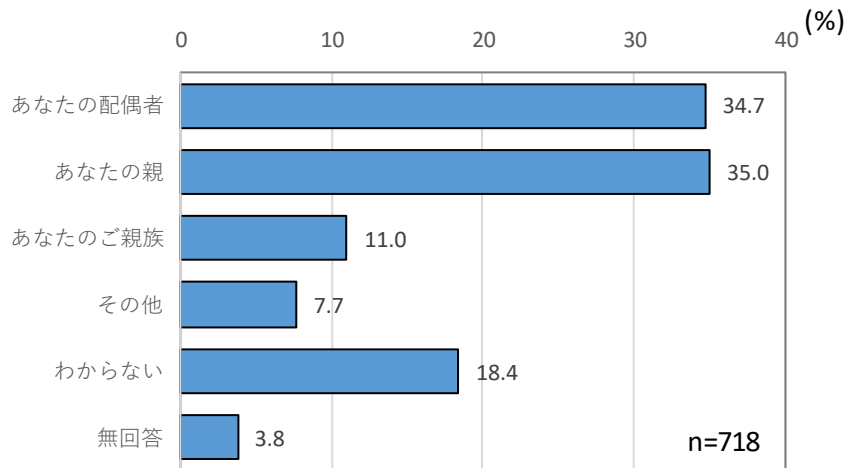
		合計	問41. 介護について家族等との話し合い状況				
			普段からよく話し合っている	話し合ったことはある	話し合ったことはない	その他	無回答
全体		718	8.9	38.3	47.9	1.9	2.9
近い将来家族の介護を行う可能性	介護する可能性がかなり高い	166	19.3	56.6	23.5	0.6	0.0
	介護する可能性が少しある	214	6.5	38.3	52.8	0.5	1.9
	介護をすることは無いと思う	313	4.8	30.4	60.7	3.5	0.6



6.4.4 介護をすることになると思われる相手（MA）

「あなたの親」が35.0%で最も高く、次いで「あなたの配偶者」が34.7%、「わからない」が18.4%の順になっています。

（2号被保険者：55～64歳）

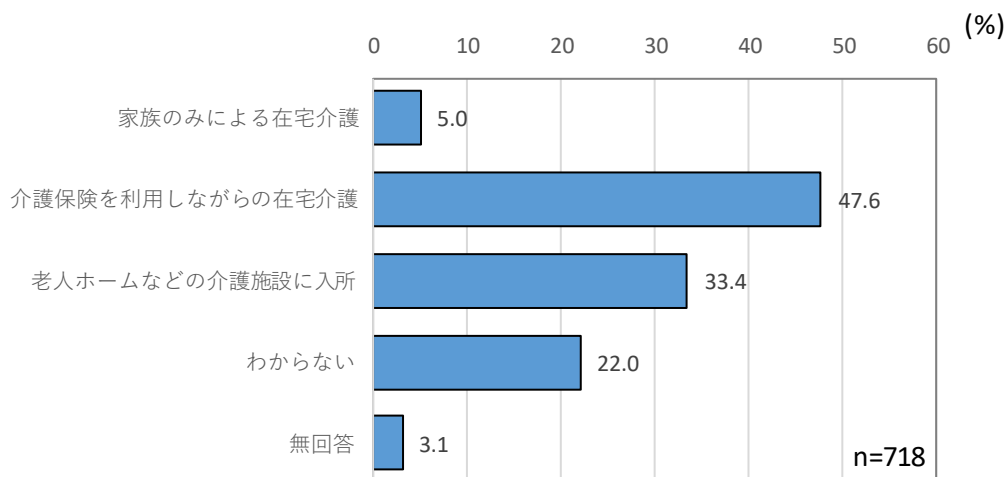


6.4.5 家族の介護が必要になった場合に望む介護形態（MA）

「介護保険を利用しながらの在宅介護」が47.6%と最も高く、次いで「老人ホームなどの施設に入所」が33.4%、「わからない」が22.0%の順となっています。

年齢別にみても大きな違いはみられません。

（2号被保険者：55～64歳）



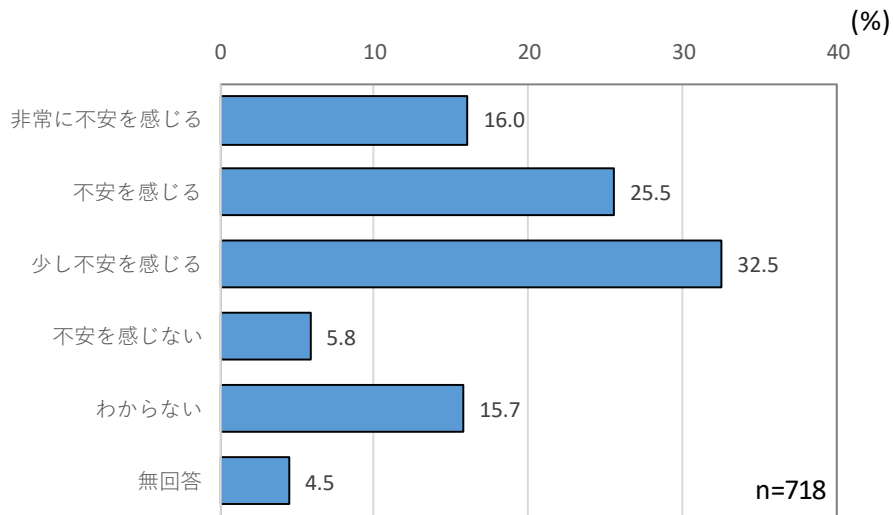
		合計	問43. 家族の介護が必要になった場合に望む介護形態				
			家族のみによる在宅介護	介護保険を利用しながらの在宅介護	老人ホームなどの介護施設に入所	わからない	無回答
	全体	718	5.0	47.6	33.4	22.0	3.1
年齢	55～59歳	364	4.9	48.1	33.5	22.0	2.7
	60～64歳	345	5.2	47.8	33.6	22.3	2.3

6.4.6 介護をすることについての不安感（SA）

「非常に不安を感じる」が16.0%、「不安を感じる」が25.5%、「少し不安を感じる」が32.5%で合わせると『不安を感じる』は74.0%となっています。

年齢別にみると、『不安を感じる』は“60～64歳”は75.3%で、“55～59歳”の74.0%より若干高くなっています。

（2号被保険者：55～64歳）



（2号被保険者：55～64歳）

		合計	問44. 介護をすることについての不安感					
			非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安を感じない	わからない	無回答
全体		718	16.0	25.5	32.5	5.8	15.7	4.5
年齢	55～59歳	364	16.8	24.5	32.7	6.6	15.1	4.4
	60～64歳	345	15.1	27.2	33.0	5.2	15.9	3.5

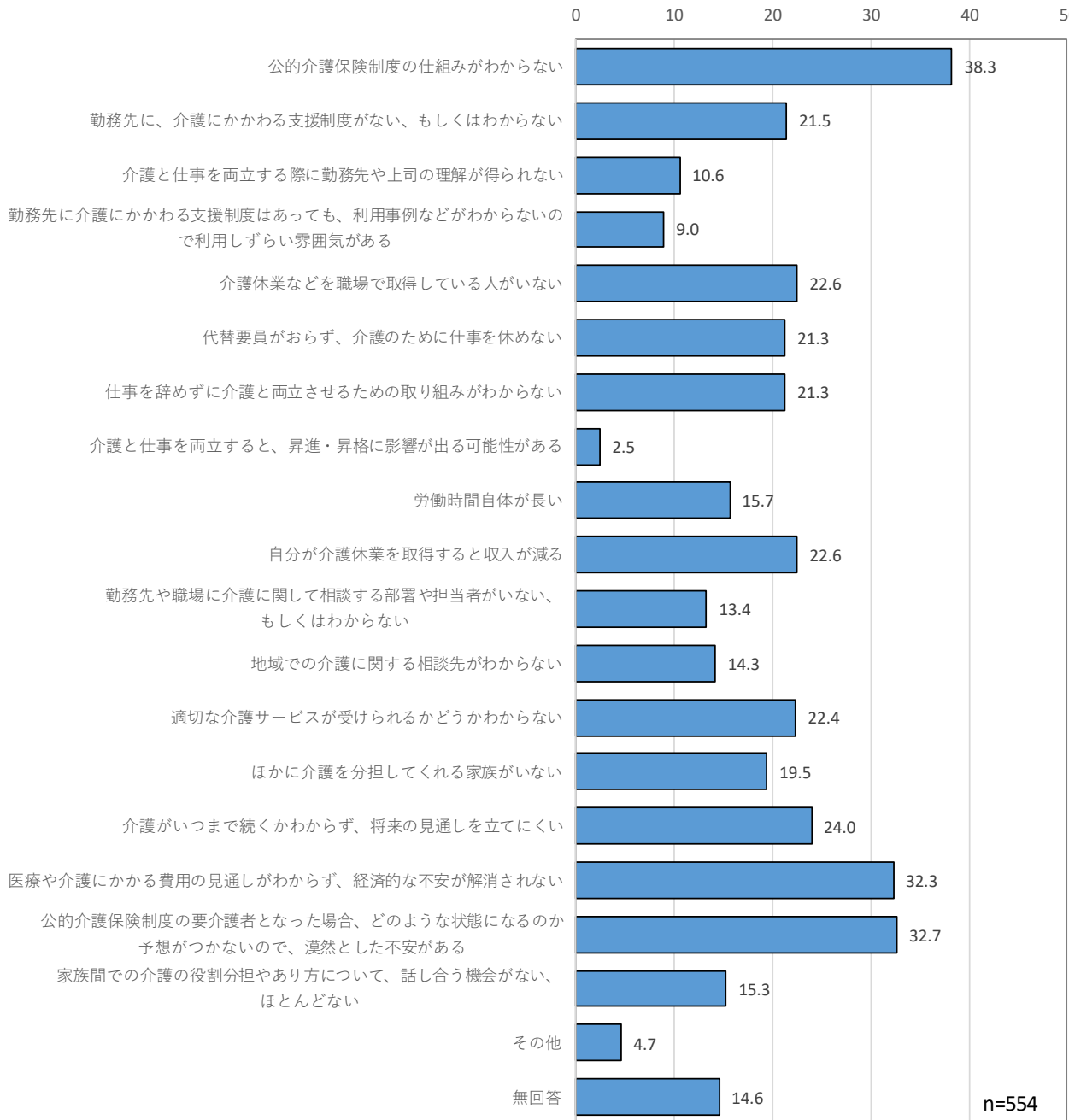
6.4.7 介護について感じている不安（有職者への質問）（MA）

「公的介護保険制度の仕組みがわからない」が38.3%で最も高く、次いで「公的介護保険制度の要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないので、漠然とした不安がある」が32.7%、「医療や介護にかかる費用の見通しがわからず、経済的な不安が解消されない」が32.3%の順となっています。

年齢別にみても大きな違いはみられません。

（2号被保険者：55～64歳）

(%)



## II 市民意識調査結果の概要

(2号被保険者：55～64歳)

		合計	問45. 介護について感じている不安 (有職者への質問)						
			公的介護 保険制度 の仕組み がわから ない	勤務先 に、介護 にかかわ る支援制 度がな い、もし くはわか らない	介護と仕 事を両立 する際に 勤務先や 上司の理 解が得ら れない	勤務先に 介護にか かわる支 援制度は あっても、利用 事例など がわから ないので 利用しづ らい雰囲気 がある	介護休業 などを職 場で取得 している 人がいな い	代替要員 がおら ず、介護 のために 仕事を休 めない	仕事を辞 めずに介 護と両立 させるた めの取り 組みがわ からない
全体		554	38.3	21.5	10.6	9.0	22.6	21.3	21.3
年齢	55～59歳	304	40.5	20.7	12.8	11.5	23.7	25.0	24.3
	60～64歳	248	35.5	22.2	8.1	6.0	21.4	16.9	17.3

		合計	問45. 介護について感じている不安 (有職者への質問)						
			介護と仕 事を両立 すると、 昇進・昇 格に影響 が出る可 能性があ る	労働時間 自体が長 い	自分が介 護休業を 取得する と収入が 減る	勤務先や 職場に介 護に関し て相談す る部署や 担当者が いない、 もしくは わからない	地域での 介護に関 する相談 先がわか らない	適切な介 護サービ スが受け られるか どうかわ からない	ほかに介 護を分担 してくれ る家族が いない
全体		554	2.5	15.7	22.6	13.4	14.3	22.4	19.5
年齢	55～59歳	304	3.6	17.1	27.3	13.5	14.8	22.4	20.4
	60～64歳	248	0.8	13.7	16.1	13.3	13.7	22.6	18.5

		合計	問45. 介護について感じている不安 (有職者への質問)					無回答
			介護がい つまで続 くかわか らず、将 来の見通 しを立て にくい	医療や介 護にかか る費用の 見通しが わから ず、経済 的な不安 が解消さ れない	公的介護 保険制度 の要介護 者となっ た場合、 どのよう な状態に なるのか 予想がつか ないの で、漠然 とした不 安がある	家族間で の介護の 役割分担 やあり方 について、話し 合う機会 がない、 ほとんど ない	その他	
全体		554	24.0	32.3	32.7	15.3	4.7	14.6
年齢	55～59歳	304	26.0	33.6	33.9	16.4	4.3	14.1
	60～64歳	248	21.4	30.2	30.6	13.7	5.2	15.3

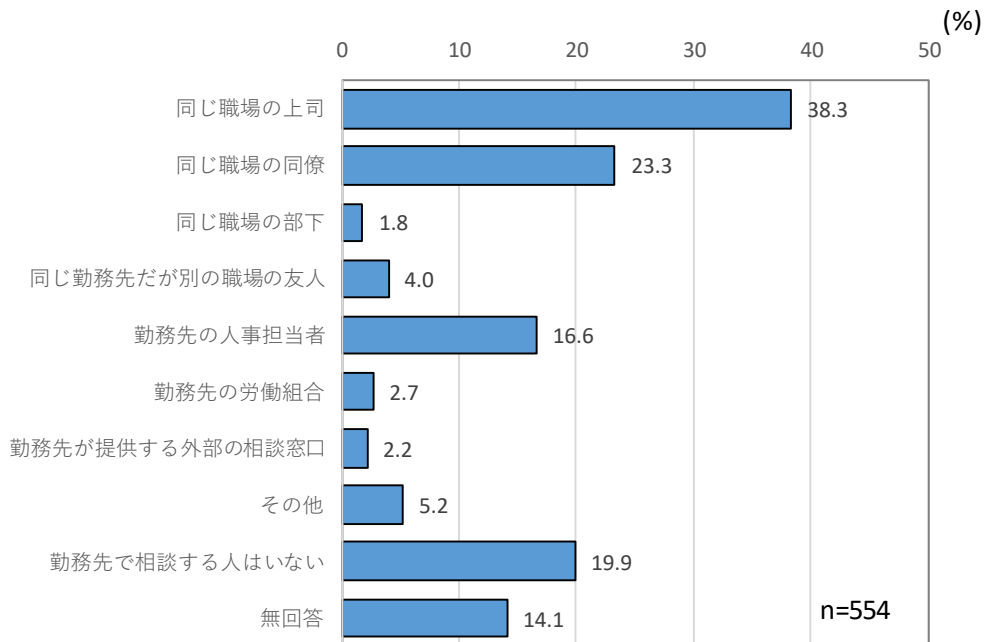
## II 市民意識調査結果の概要

### 6.4.8 勤務先における介護についての相談相手（有職者への質問）（MA）

「同じ職場の上司」が38.3%と最も高く、次いで「同じ職場の同僚」が23.3%、「勤務先で相談する人はいない」が19.9%の順となっています。

年齢別にみると、「勤務先で相談する人はいない」は、「60～64歳」でやや高くなっています。

#### （2号被保険者：55～64歳）



#### （2号被保険者：55～64歳）

		合計	問46. 勤務先における介護についての相談相手 (有職者への質問)				
			同じ職場 の上司	同じ職場 の同僚	同じ職場 の部下	同じ勤務 先だが別 の職場の 友人	勤務先の 人事担当 者
全体		554	38.3	23.3	1.8	4.0	16.6
年齢	55～59歳	304	42.4	26.0	1.6	4.6	17.1
	60～64歳	248	33.5	20.2	2.0	3.2	15.7

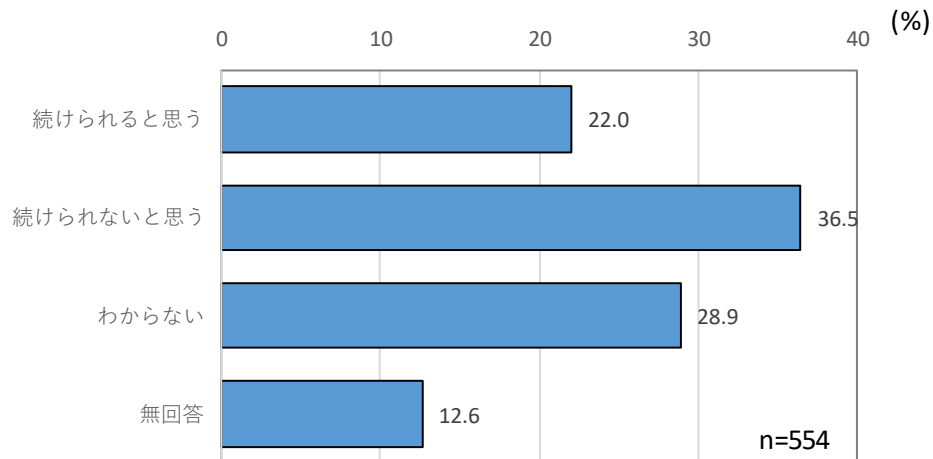
		合計	問46. 勤務先における介護についての相談相手 (有職者への質問)				
			勤務先の 労働組合	勤務先が 提供する 外部の相 談窓口	その他	勤務先で 相談する 人はいな い	無回答
全体		554	2.7	2.2	5.2	19.9	14.1
年齢	55～59歳	304	3.3	2.6	4.9	18.4	12.8
	60～64歳	248	2.0	1.6	5.6	21.4	15.7

6.4.9 介護しながらの継続勤務の可能性（有職者への質問）（SA）

「続けられないと思う」が36.5%と最も高く、次いで「わからない」が28.9%、「続けられると思う」が22.0%となっています。

年齢別にみると、「続けられないと思う」は“55～59歳”がやや高くなっています。

（2号被保険者：55～64歳）



（2号被保険者：55～64歳）

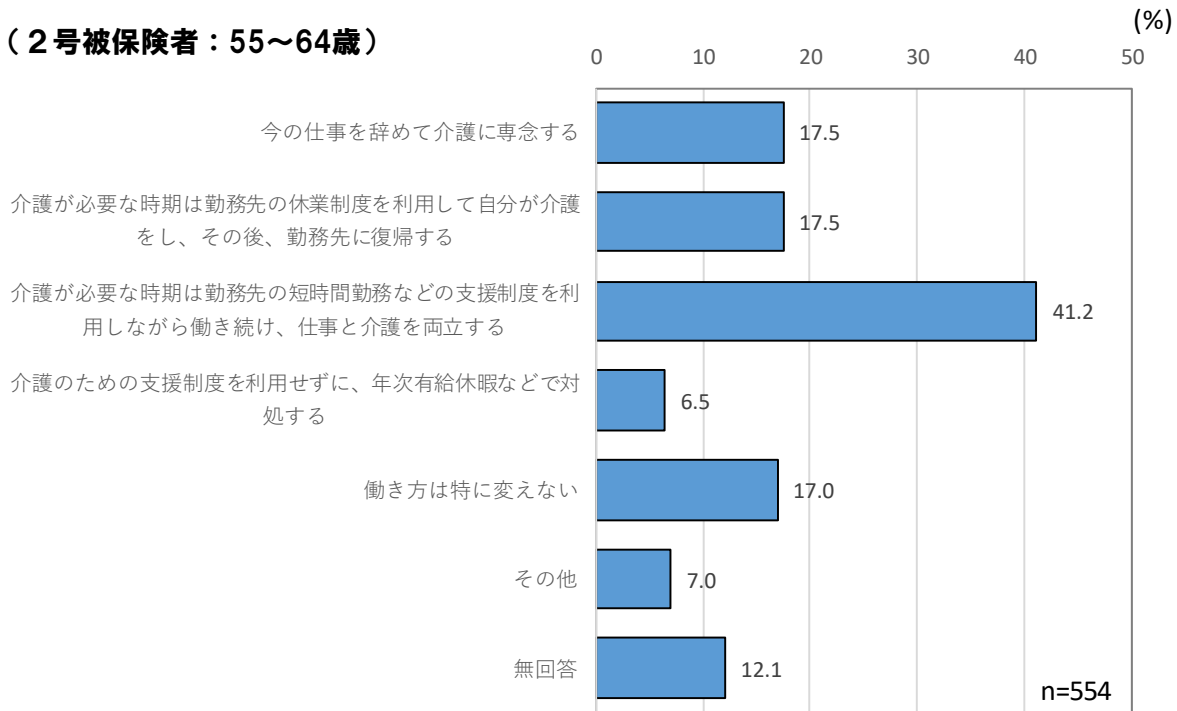
		合計	問47. 介護しながらの継続勤務の可能性（有職者への質問）			
			続けられると思う	続けられないと思う	わからない	無回答
全体		554	22.0	36.5	28.9	12.6
年齢	55～59歳	304	23.0	38.8	26.3	11.8
	60～64歳	248	21.0	33.5	31.9	13.7

## II 市民意識調査結果の概要

### 6.4.10 介護することになった場合の望ましい働き方（有職者への質問）（MA）

「介護が必要な時期は勤務先の短時間勤務などの支援制度を利用しながら働き続け仕事と介護を両立する」が41.2%と最も高く、次いで「今の仕事を辞めて介護に専念する」と「介護が必要な時期は勤務先の休業制度を利用して自分が介護をし、その後、勤務先に復帰する」が同率17.5%となっています。一方で、「働き方は特に変えない」と回答した方は17.0%います。

#### （2号被保険者：55～64歳）



#### （2号被保険者：55～64歳）

		合計	問48. 介護することになった場合に望む働き方（有職者への質問）						
			今の仕事を辞めて介護に専念する	介護が必要な時期は勤務先の休業制度を利用して自分が介護をし、その後、勤務先に復帰する	介護が必要な時期は勤務先の短時間勤務などの支援制度を利用しながら働き続け、仕事と介護を両立する	介護のための支援制度を利用せずに、年次有給休暇などで対処する	働き方は特に変えない	その他	無回答
全体		554	17.5	17.5	41.2	6.5	17.0	7.0	12.1
年齢	55～59歳	304	13.5	17.8	43.4	6.6	17.8	6.3	11.8
	60～64歳	248	22.6	17.3	38.3	6.5	16.1	7.7	12.5

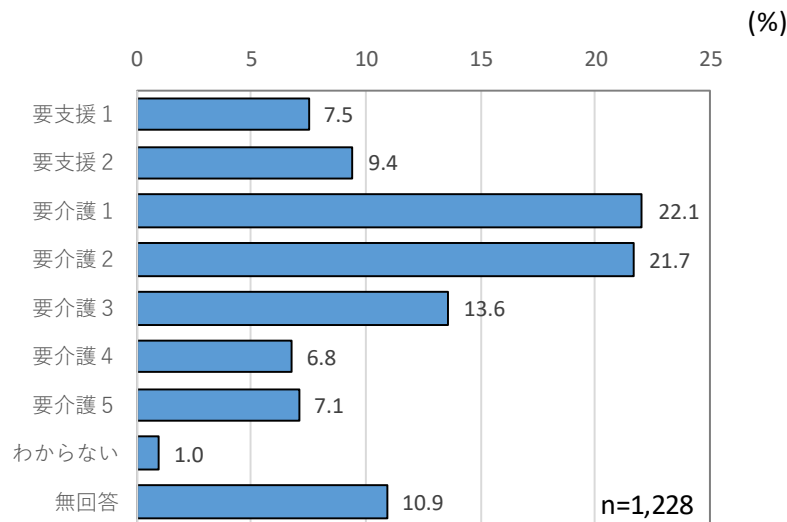
7. 本人の要介護状態（在宅サービス利用者）

7.1 要介護度（SA）

「要介護1」が22.1%で最も高く、次いで「要介護2」が21.7%、「要介護3」が13.6%の順になっています。

年齢別にみると、「前期高齢者（65～74歳）」は、「要介護2」が28.3%で最も高く、次いで「要介護1」が20.9%、「要介護3」が16.0%の順となっています。

“後期高齢者（75歳以上）”では、「要介護1」が26.6%で最も高く、「要介護2」が21.4%、「要介護3」が14.3%の順となっています。



		合計	Q 6. 要介護度				
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
全体		1228	7.5	9.4	22.1	21.7	13.6
年齢（統合）	前期高齢者	431	6.3	8.6	20.9	28.3	16.0
	後期高齢者	673	9.5	11.3	26.6	21.4	14.3

		合計	Q 6. 要介護度			
			要介護4	要介護5	わからない	無回答
全体		1228	6.8	7.1	1.0	10.9
年齢（統合）	前期高齢者	431	9.0	8.1	1.2	1.6
	後期高齢者	673	6.4	7.6	1.0	1.9

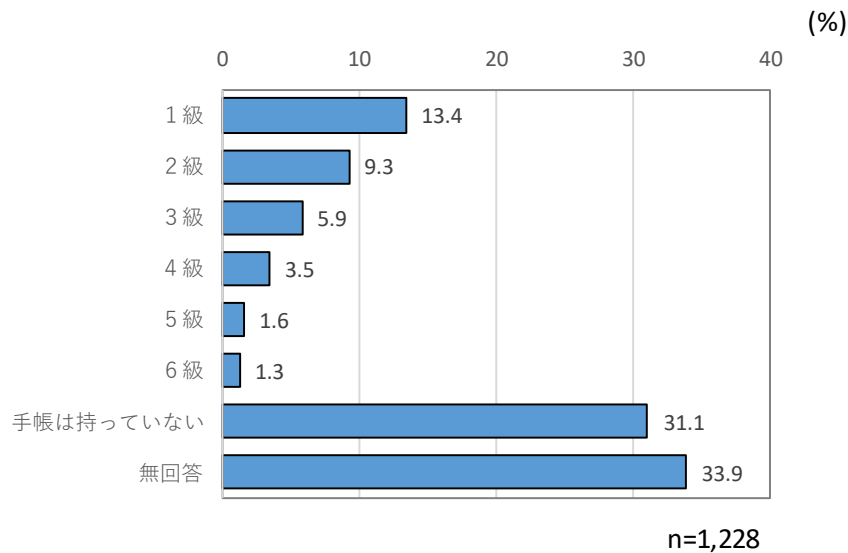


## II 市民意識調査結果の概要

### 7.2 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度（SA）

身体障害者手帳を持っている人は35.0%で、そのうち「1級」が13.4%、「2級」が9.3%、「3級」が5.9%となっています。「手帳は持っていない」は31.1%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4”“要介護5”の介護度の重度者は「1級」が最も高くなっています。



		合計	Q7. 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度			
			1級	2級	3級	4級
	全体	1228	13.4	9.3	5.9	3.5
要介護度	要支援1	92	8.7	2.2	2.2	4.3
	要支援2	116	5.2	12.9	9.5	7.8
	要介護1	271	8.9	7.4	5.9	4.4
	要介護2	266	16.2	12.8	7.9	4.1
	要介護3	167	16.2	12.0	7.8	1.2
	要介護4	83	32.5	10.8	3.6	4.8
	要介護5	87	31.0	11.5	5.7	0.0
	わからない	12	0.0	16.7	8.3	0.0

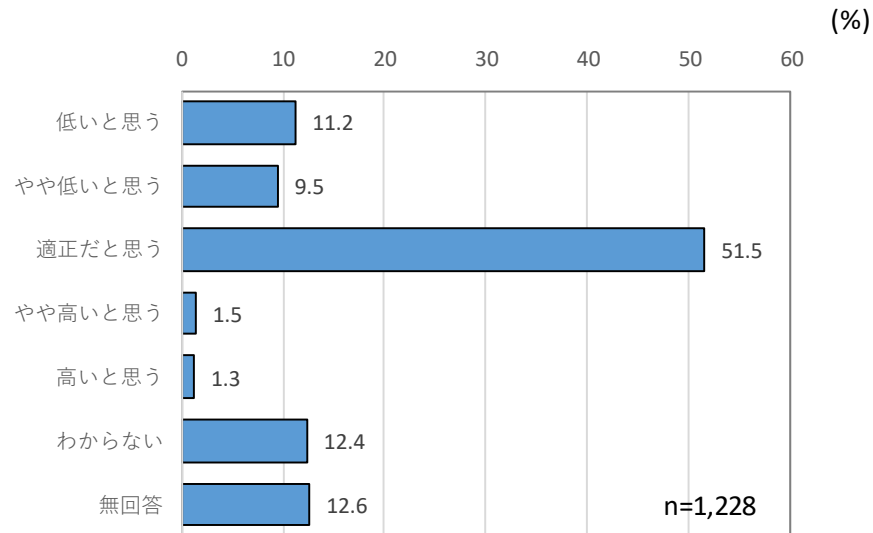
		合計	Q7. 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度			
			5級	6級	手帳は持っていない	無回答
	全体	1228	1.6	1.3	31.1	33.9
要介護度	要支援1	92	1.1	2.2	33.7	45.7
	要支援2	116	1.7	0.9	30.2	31.9
	要介護1	271	3.3	1.5	43.5	25.1
	要介護2	266	1.1	1.1	32.3	24.4
	要介護3	167	0.6	2.4	36.5	23.4
	要介護4	83	0.0	1.2	21.7	25.3
	要介護5	87	4.6	0.0	26.4	20.7
	わからない	12	0.0	0.0	58.3	16.7

## II 市民意識調査結果の概要

### 7.3 現在の要介護度の判定結果について（SA）

「適正だと思う」が51.5%と最も高く、次いで「わからない」が12.4%の順となっています。

要介護度別にみると、“要介護1”は「低いと思う」が19.6%で、他の要介護度に比べ高くなっています。



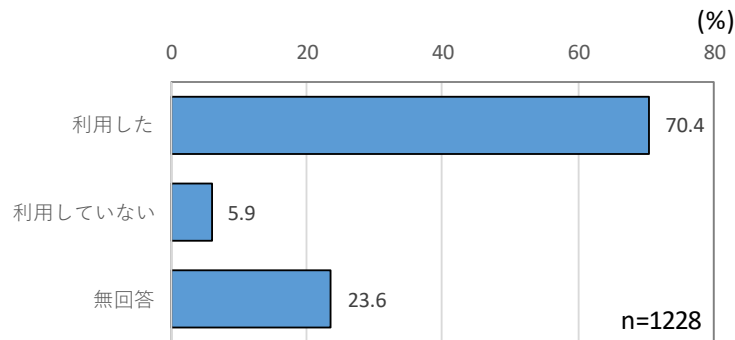
		合計	Q8. 現在の要介護度の判定結果について						
			低いと思 う	やや低 いと思 う	適正だ と思 う	やや高 いと思 う	高いと思 う	わから ない	無回答
全体		1228	11.2	9.5	51.5	1.5	1.3	12.4	12.6
世帯類型	単身世帯	259	16.6	14.7	50.2	2.3	1.2	11.2	3.9
	夫婦のみ世帯	376	13.0	8.8	58.2	1.3	2.4	12.5	3.7
	その他	444	9.0	10.1	60.4	1.6	0.9	14.6	3.4
性別	男性	466	11.8	9.0	60.3	1.1	1.5	13.1	3.2
	女性	639	12.5	11.7	54.3	2.0	1.4	13.8	4.2
年齢（統 合）	前期高齢者	431	12.1	9.7	59.9	0.9	1.4	13.2	2.8
	後期高齢者	673	12.6	11.0	54.7	2.1	1.5	13.8	4.3
要介護度	要支援1	92	16.3	13.0	51.1	0.0	1.1	10.9	7.6
	要支援2	116	17.2	12.1	49.1	1.7	3.4	10.3	6.0
	要介護1	271	19.6	14.0	51.7	1.1	1.1	9.6	3.0
	要介護2	266	8.6	12.8	59.8	1.5	0.8	14.3	2.3
	要介護3	167	7.8	7.8	63.5	3.6	0.0	15.6	1.8
	要介護4	83	6.0	2.4	63.9	1.2	3.6	20.5	2.4
	要介護5	87	4.6	1.1	70.1	2.3	3.4	14.9	3.4
わからない	12	16.7	8.3	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

8. 本人の介護サービス利用状況（在宅サービス利用者）

8.1.1 令和元年11月のサービスの有無（SA）

「利用した」が70.4%、「利用していない」が5.9%となっています。

「利用した」は、世帯状況別にみると“単身世帯”、要介護度別にみると“要介護5”で最も高くなっています。



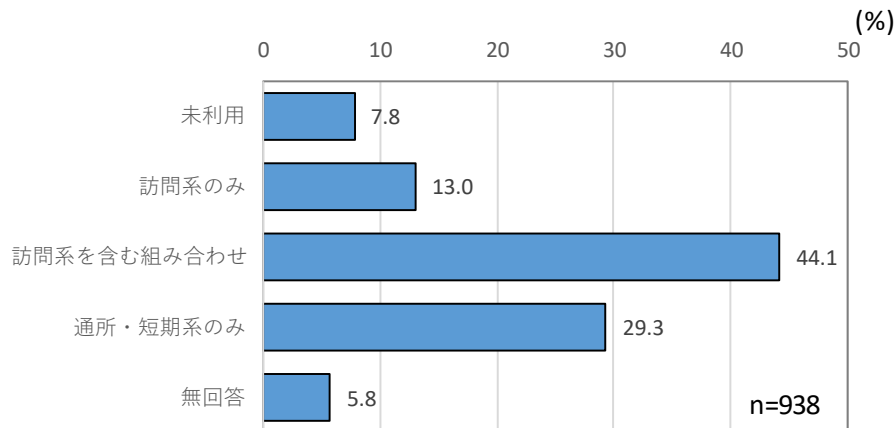
		合計	Q34. 令和元年11月のサービスの有無		
			利用した	利用していない	無回答
	全体	1228	70.4	5.9	23.6
世帯類型	単身世帯	259	80.7	4.6	14.7
	夫婦のみ世帯	376	75.5	7.7	16.8
	その他	444	80.0	6.3	13.7
性別	男性	466	78.5	7.1	14.4
	女性	639	77.3	5.9	16.7
年齢（統合）	前期高齢者	431	81.9	5.1	13.0
	後期高齢者	673	75.2	7.3	17.5
要介護度	要支援1	92	68.5	14.1	17.4
	要支援2	116	69.0	12.1	19.0
	要介護1	271	79.0	5.5	15.5
	要介護2	266	82.0	4.5	13.5
	要介護3	167	81.4	4.8	13.8
	要介護4	83	75.9	3.6	20.5
	要介護5	87	82.8	4.6	12.6
	わからない	12	66.7	8.3	25.0

8.1.2 令和元年11月のサービスの利用状況（SA）

【サービス利用の組み合わせ】

サービスの利用状況の回答者をサービス利用の組み合わせでみると、「訪問系を含む組み合わせ」が最も高い44.1%、次いで「通所・短期系のみ」が29.3%、「訪問系のみ」が13.0%、となっています。

要介護度別にみると「訪問系を含む組み合わせ」は、“要介護5”で60.5%と高くなっています。



	合計	サービス利用の組み合わせ				
		未利用	訪問系のみ	組み合わせ	通所・短期系のみ	無回答
全体	938	7.8	13.0	44.1	29.3	5.8
要介護度						
要支援1	76	17.1	13.2	26.3	32.9	10.5
要支援2	94	14.9	11.7	35.1	29.8	8.5
要介護1	229	6.6	14.8	41.5	32.8	4.4
要介護2	230	5.2	15.2	41.3	31.7	6.5
要介護3	144	5.6	4.9	56.3	28.5	4.9
要介護4	66	4.5	9.1	54.5	28.8	3.0
要介護5	76	5.3	15.8	60.5	14.5	3.9
わからない	9	11.1	22.2	44.4	11.1	11.1

【サービス利用の組み合わせ】

- ・「未利用」：住宅改修、福祉用具貸与・購入以外のサービスを利用していない人
  - ・「訪問系」：訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護のいずれかを利用している人
  - ・「通所系」：通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護のいずれかを利用している人
  - ・「短期系」：ショートステイ（短期入所生活介護）、短期入所療養介護のいずれかを利用している人
- ※小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は「訪問系を含む組み合わせ」に含む

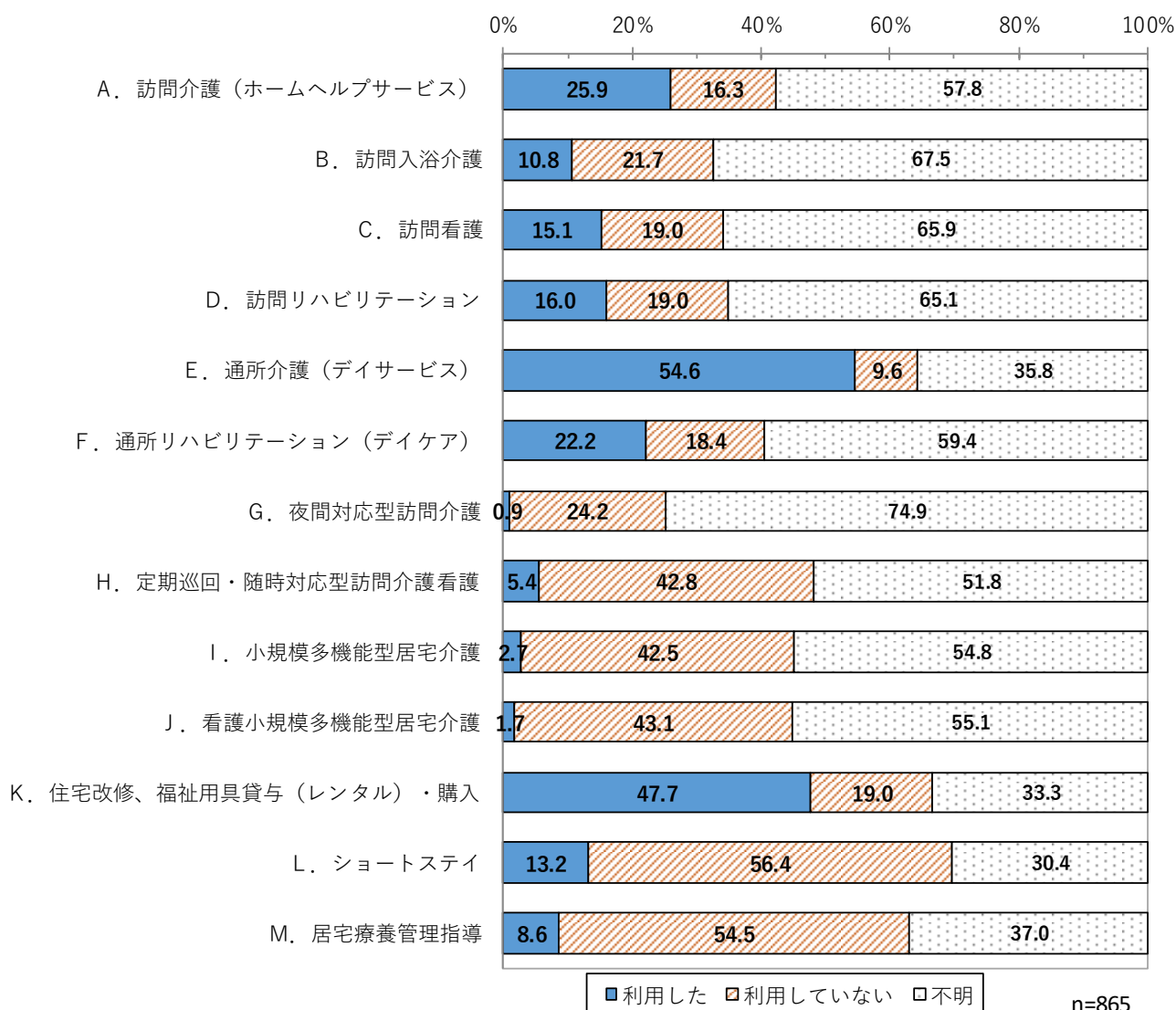
【訪問系サービスの利用回数】（SA）

要介護度別の訪問系サービスの利用回数をみると、要介護度が重度になるにつれて、「15回以上」の割合が高くなっています。

		合計	訪問系サービスの利用回数			
			0回	1～14回	15回以上	無回答
全体		865	33.9	25.2	34.7	6.2
要介護度	要支援1	63	41.3	28.6	17.5	12.7
	要支援2	80	35.0	36.3	18.8	10.0
	要介護1	214	37.9	21.5	36.0	4.7
	要介護2	218	35.3	27.1	30.7	6.9
	要介護3	136	31.6	18.4	44.9	5.1
	要介護4	63	34.9	23.8	38.1	3.2
	要介護5	72	16.7	22.2	56.9	4.2
	わからない	8	12.5	50.0	25.0	12.5

8.1.3 介護保険サービス別の利用状況（SA）

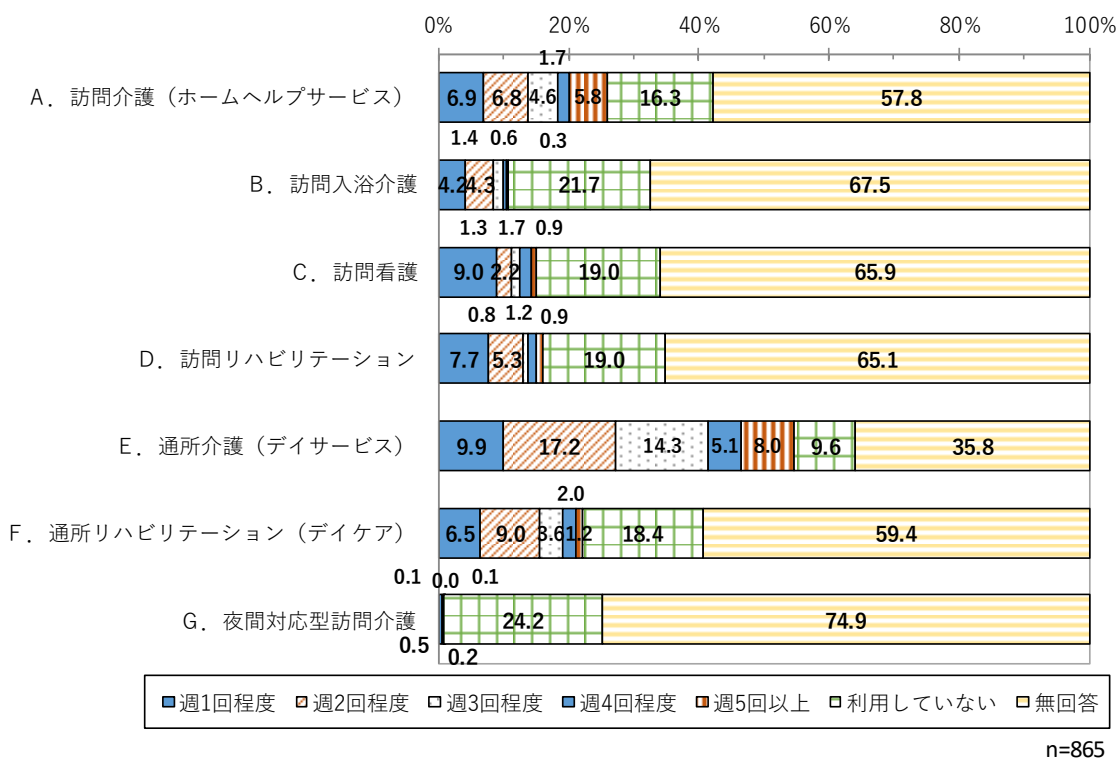
介護保険サービス別の利用状況は、「E. 通所介護（デイサービス）」の利用の割合が最も高く、次いで「K. 住宅改修、福祉用具貸与（レンタル）・購入」、「A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）」の順となっています。



## II 市民意識調査結果の概要

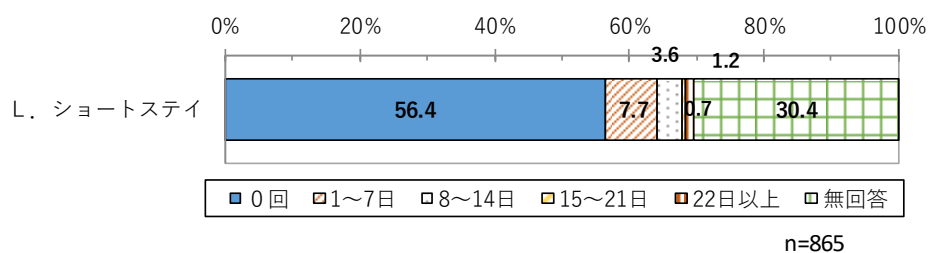
### 【1週間あたりのサービスの利用回数】（SA）

以下のA～Gのサービスについてみると、「E. 通所介護（デイサービス）」の利用の割合が最も高く、次いで「A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「F. 通所リハビリテーション（デイケア）」の順となっています。

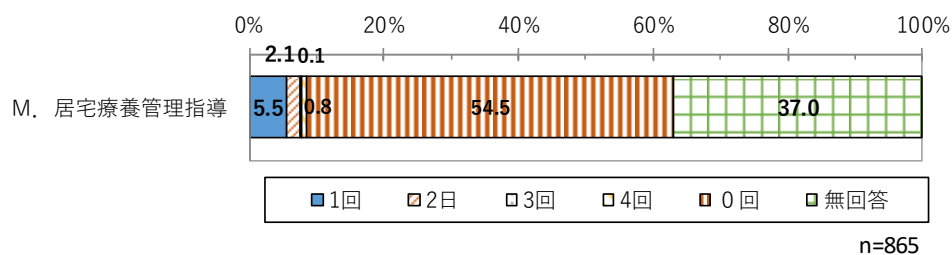


### 【1ヶ月あたりのサービスの利用日数・回数】（SA）

ショートステイの利用者の1ヶ月あたりの利用日数は、「1～7日」が7.7%で最も高くなっています。



居宅療養管理指導の利用者の1ヶ月あたりの利用回数は、「1回」が5.5%で最も高くなっています。



## II 市民意識調査結果の概要

	合計	Q35. 利用状況 A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）						Q35. 利用状況 B. 訪問入浴介護							
		週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用していない	無回答	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用していない	無回答
全体	865	6.9	6.8	4.6	1.7	5.8	16.3	57.8	4.2	4.3	1.4	0.6	0.3	21.7	67.5
世帯状況															
単身世帯	209	13.4	17.7	11.0	4.3	8.6	12.4	32.5	4.3	1.9	0.5	0.5	0.0	25.4	67.5
夫婦のみ世帯	284	5.6	4.2	3.2	0.7	4.6	14.8	66.9	3.5	4.9	2.5	0.0	0.4	19.0	69.7
その他	355	4.5	2.5	2.3	1.1	5.4	19.4	64.8	4.8	4.5	1.1	1.1	0.6	22.0	65.9
性別															
男性	366	6.3	3.8	3.8	1.1	5.5	15.8	63.7	3.6	3.0	2.2	0.8	0.3	20.5	69.7
女性	494	7.3	8.5	5.3	2.2	6.1	16.8	53.8	4.7	5.3	0.8	0.4	0.4	22.5	66.0
年齢（統合）															
前期高齢者	353	7.1	5.4	5.4	2.0	5.7	19.3	55.2	3.1	3.4	2.3	0.6	0.8	23.5	66.3
後期高齢者	506	6.9	7.7	4.2	1.6	5.9	14.4	59.3	4.9	4.9	0.8	0.6	0.0	20.8	68.0
要介護度															
要支援1	63	7.9	4.8	3.2	0.0	0.0	12.7	71.4	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	15.9	81.0
要支援2	80	11.3	13.8	2.5	0.0	0.0	8.8	63.8	1.3	2.5	0.0	0.0	0.0	13.8	82.5
要介護1	214	7.9	7.9	3.3	2.3	3.7	17.8	57.0	0.5	0.9	1.4	0.0	0.0	25.2	72.0
要介護2	218	6.9	6.4	5.5	1.4	3.7	16.1	60.1	5.5	4.1	0.5	0.0	0.5	19.7	69.7
要介護3	136	4.4	3.7	7.4	2.2	5.1	25.0	52.2	2.2	5.9	3.7	1.5	0.0	27.9	58.8
要介護4	63	4.8	3.2	0.0	3.2	12.7	15.9	60.3	4.8	12.7	0.0	0.0	1.6	20.6	60.3
要介護5	72	4.2	5.6	5.6	2.8	26.4	12.5	43.1	13.9	9.7	2.8	4.2	1.4	25.0	43.1
わからない	8	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	62.5

	合計	Q35. 利用状況 C. 訪問看護						Q35. 利用状況 D. 訪問リハビリテーション							
		週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用していない	無回答	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用していない	無回答
全体	865	9.0	2.2	1.3	1.7	0.9	19.0	65.9	7.7	5.3	0.8	1.2	0.9	19.0	65.1
世帯状況															
単身世帯	209	8.6	1.9	1.0	1.9	0.5	23.9	62.2	4.8	5.3	0.5	0.0	0.5	23.0	66.0
夫婦のみ世帯	284	11.6	3.5	1.1	1.8	1.1	13.7	67.3	9.9	6.3	1.4	2.5	1.1	13.0	65.8
その他	355	7.6	1.4	1.4	1.7	1.1	20.0	66.8	7.9	4.8	0.6	0.6	1.1	21.1	63.9
性別															
男性	366	10.1	2.5	1.1	1.4	0.8	17.8	66.4	8.5	6.0	1.1	1.1	1.1	17.8	64.5
女性	494	8.3	2.0	1.4	2.0	1.0	19.6	65.6	7.3	4.9	0.6	1.2	0.8	19.6	65.6
年齢（統合）															
前期高齢者	353	7.4	2.0	1.4	2.3	1.7	21.2	64.0	10.2	6.2	2.0	2.0	0.8	18.7	60.1
後期高齢者	506	10.3	2.4	1.2	1.4	0.4	17.6	66.8	6.1	4.7	0.0	0.6	1.0	19.4	68.2
要介護度															
要支援1	63	3.2	1.6	0.0	1.6	0.0	14.3	79.4	9.5	1.6	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8
要支援2	80	5.0	1.3	0.0	0.0	0.0	13.8	80.0	6.3	1.3	0.0	1.3	1.3	12.5	77.5
要介護1	214	8.9	0.5	0.0	0.9	0.0	23.8	65.9	5.6	6.1	0.0	1.9	0.9	22.0	63.6
要介護2	218	7.3	0.9	0.5	1.4	0.0	18.8	71.1	7.8	7.8	1.8	0.5	0.0	16.5	65.6
要介護3	136	9.6	2.2	3.7	2.2	0.0	22.8	59.6	8.8	5.9	0.7	1.5	0.0	25.7	57.4
要介護4	63	11.1	4.8	1.6	3.2	4.8	14.3	60.3	3.2	6.3	1.6	1.6	1.6	17.5	68.3
要介護5	72	23.6	11.1	4.2	5.6	5.6	12.5	37.5	12.5	2.8	1.4	1.4	5.6	22.2	54.2
わからない	8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	62.5

	合計	Q35. 利用状況 E. 通所介護（デイサービス）						Q35. 利用状況 F. 通所リハビリテーション（デイケア）							
		週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用していない	無回答	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用していない	無回答
全体	865	9.9	17.2	14.3	5.1	8.0	9.6	35.8	6.5	9.0	3.6	2.0	1.2	18.4	59.4
世帯状況															
単身世帯	209	11.0	17.2	13.9	4.8	1.9	11.5	39.7	6.2	6.2	2.9	1.4	1.0	23.0	59.3
夫婦のみ世帯	284	11.3	20.8	12.3	3.9	8.8	6.0	37.0	6.7	10.6	3.9	1.8	1.4	12.7	63.0
その他	355	8.2	14.1	16.3	6.5	10.7	11.8	32.4	6.5	9.3	3.9	2.5	0.8	20.3	56.6
性別															
男性	366	10.7	17.5	13.9	4.1	8.2	8.5	37.2	5.2	10.7	4.9	3.3	1.9	16.7	57.4
女性	494	9.5	17.2	14.6	5.9	7.7	10.3	34.8	7.5	7.7	2.6	1.0	0.6	19.6	60.9
年齢（統合）															
前期高齢者	353	8.8	12.5	12.2	5.1	9.1	11.9	40.5	7.6	9.6	5.1	3.4	2.3	18.4	53.5
後期高齢者	506	10.9	20.6	15.6	5.1	7.1	8.1	32.6	5.5	8.7	2.6	1.0	0.4	18.6	63.2
要介護度															
要支援1	63	9.5	9.5	12.7	1.6	3.2	9.5	54.0	15.9	4.8	1.6	4.8	0.0	11.1	61.9
要支援2	80	8.8	20.0	3.8	0.0	7.5	8.8	51.3	8.8	21.3	0.0	0.0	1.3	8.8	60.0
要介護1	214	11.2	21.0	17.8	2.8	2.8	8.4	36.0	5.6	9.3	4.2	2.3	0.9	21.0	56.5
要介護2	218	11.5	17.4	14.7	4.1	6.0	11.0	35.3	6.9	9.2	4.1	1.8	0.9	14.7	62.4
要介護3	136	8.8	19.1	16.9	11.0	11.0	8.8	24.3	4.4	6.6	3.7	1.5	0.7	27.2	55.9
要介護4	63	6.3	15.9	14.3	12.7	20.6	6.3	23.8	4.8	4.8	11.1	3.2	3.2	15.9	57.1
要介護5	72	9.7	6.9	11.1	6.9	19.4	13.9	31.9	2.8	6.9	0.0	1.4	2.8	25.0	61.1
わからない	8	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

	合計	Q35. 利用状況 G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数）						
		週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用していない	無回答
全体	865	0.5	0.2	0.1	0.0	0.1	24.2	74.9
世帯状況								
単身世帯	209	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	27.3	71.3
夫婦のみ世帯	284	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	19.4	79.9
その他	355	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	26.2	73.0
性別								
男性	366	0.8	0.3	0.0	0.0	0.3	21.9	76.8
女性	494	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	25.7	73.7
年齢（統合）								
前期高齢者	353	0.8	0.3	0.3	0.0	0.3	26.1	72.2
後期高齢者	506	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	23.1	76.5
要介護度								
要支援1	63	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	84.1
要支援2	80	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	85.0
要介護1	214	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.2	74.3
要介護2	218	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0	77.5
要介護3	136	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	32.4	66.9
要介護4	63	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	25.4	69.8
要介護5	72	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	31.9	66.7
わからない	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0

## II 市民意識調査結果の概要

	合計	Q35. 利用状況 H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護			Q35. 利用状況 I. 小規模多機能型居宅介護			Q35. 利用状況 J. 看護小規模多機能型居宅介護			Q35. 利用状況 K. 住宅改修、福祉用具貸与（レンタル）・購入		
		利用していない	利用した	無回答	利用していない	利用した	無回答	利用していない	利用した	無回答	利用していない	利用した	無回答
全体	865	42.8	5.4	51.8	42.5	2.7	54.8	43.1	1.7	55.1	19.0	47.7	33.3
世帯状況													
単身世帯	209	50.7	3.8	45.5	48.8	1.4	49.8	49.3	0.5	50.2	23.9	45.0	31.1
夫婦のみ世帯	284	36.3	8.5	55.3	35.9	3.9	60.2	36.6	2.1	61.3	15.5	51.8	32.7
その他	355	43.1	4.2	52.7	44.2	2.5	53.2	44.8	1.7	53.5	18.3	47.6	34.1
性別													
男性	366	39.3	6.0	54.6	37.4	2.7	59.8	38.3	2.2	59.6	18.3	47.0	34.7
女性	494	45.3	5.1	49.6	46.4	2.6	51.0	46.8	1.4	51.8	19.6	48.4	32.0
年齢（統合）													
前期高齢者	353	47.0	4.5	48.4	47.3	2.0	50.7	47.6	2.0	50.4	21.2	47.6	31.2
後期高齢者	506	39.9	6.1	54.0	39.3	3.2	57.5	40.1	1.6	58.3	17.2	48.2	34.6
要介護度													
要支援1	63	33.3	3.2	63.5	31.7	4.8	63.5	33.3	0.0	66.7	22.2	36.5	41.3
要支援2	80	42.5	3.8	53.8	36.3	0.0	63.8	36.3	0.0	63.8	13.8	41.3	45.0
要介護1	214	42.1	5.1	52.8	41.1	2.3	56.5	41.6	1.9	56.5	22.0	43.9	34.1
要介護2	218	47.7	2.8	49.5	46.3	1.8	51.8	46.8	1.8	51.4	22.9	46.3	30.7
要介護3	136	47.8	8.1	44.1	50.7	3.7	45.6	50.0	2.9	47.1	18.4	55.9	25.7
要介護4	63	33.3	7.9	58.7	36.5	6.3	57.1	39.7	0.0	60.3	7.9	55.6	36.5
要介護5	72	41.7	12.5	45.8	45.8	2.8	51.4	47.2	2.8	50.0	13.9	62.5	23.6
わからない	8	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	12.5	50.0	37.5

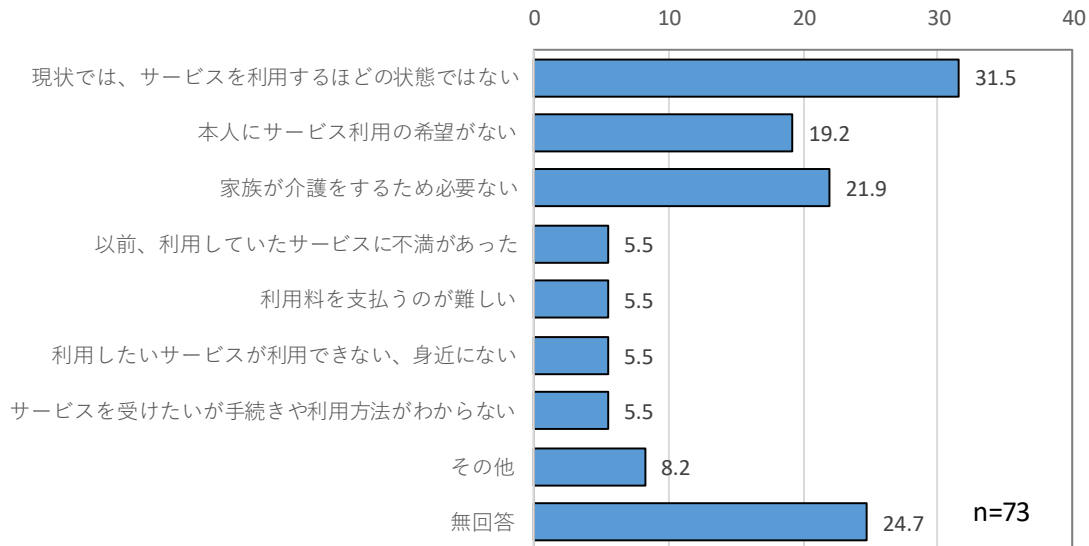
	合計	Q35. 利用状況 L. ショートステイ						Q35. 利用状況 M. 居宅療養管理指導					
		0回	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上	無回答	1回	2日	3回	4回	0回	無回答
全体	865	56.4	7.7	3.6	0.7	1.2	30.4	5.5	2.1	0.1	0.8	54.5	37.0
世帯状況													
単身世帯	209	61.7	4.3	2.4	0.0	1.4	30.1	4.3	2.4	0.0	1.9	57.9	33.5
夫婦のみ世帯	284	56.0	8.1	5.3	1.4	1.1	28.2	8.8	2.5	0.0	0.7	48.2	39.8
その他	355	54.6	9.3	3.1	0.6	1.1	31.3	3.7	1.7	0.3	0.3	58.0	36.1
性別													
男性	366	54.6	9.3	4.1	0.3	0.8	30.9	7.1	1.4	0.3	0.8	52.5	38.0
女性	494	57.7	6.7	3.0	1.0	1.4	30.2	4.5	2.6	0.0	0.8	55.9	36.2
年齢（統合）													
前期高齢者	353	59.8	8.2	4.0	0.6	0.8	26.6	5.9	0.8	0.3	0.8	58.6	33.4
後期高齢者	506	54.2	7.5	3.4	0.8	1.4	32.8	5.1	3.0	0.0	0.8	51.6	39.5
要介護度													
要支援1	63	46.0	9.5	0.0	0.0	1.6	42.9	4.8	0.0	0.0	1.6	42.9	50.8
要支援2	80	50.0	5.0	2.5	0.0	0.0	42.5	5.0	1.3	0.0	1.3	46.3	46.3
要介護1	214	63.6	3.3	2.3	0.5	1.4	29.0	5.1	1.4	0.0	0.9	57.9	34.6
要介護2	218	59.6	3.2	3.2	0.5	0.5	33.0	1.8	0.9	0.5	0.0	59.2	37.6
要介護3	136	58.1	16.9	2.2	0.7	0.7	21.3	8.1	2.2	0.0	0.7	61.8	27.2
要介護4	63	47.6	14.3	3.2	1.6	3.2	30.2	7.9	1.6	0.0	0.0	47.6	42.9
要介護5	72	48.6	15.3	15.3	2.8	1.4	16.7	12.5	11.1	0.0	2.8	47.2	26.4
わからない	8	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0



8.1.4 介護保険サービス未利用の理由（MA）

サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が31.5%で最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が21.9%、「本人にサービス利用の希望がない」が19.2%の順となっています。

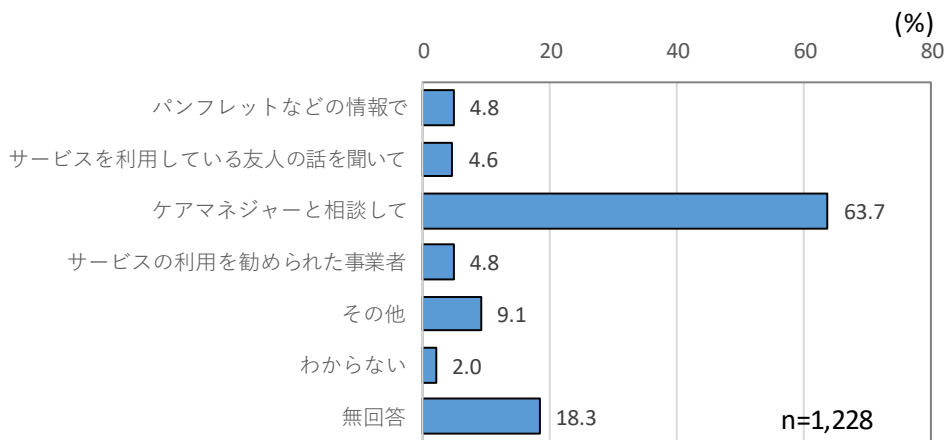
世帯状況別にみると“夫婦のみ世帯”、性別にみると“男性”、要介護度別にみると“要介護4”“要介護5”では、「家族が介護をするため必要ない」が最も高くなっています。(%)



	合計	Q36. 介護保険サービス未利用の理由								
		現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	無回答
全体	73	31.5	19.2	21.9	5.5	5.5	5.5	5.5	8.2	24.7
世帯状況	単身世帯	12	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	41.7
	夫婦のみ世帯	29	31.0	31.0	37.9	10.3	6.9	6.9	0.0	13.8
	その他	28	25.0	10.7	14.3	3.6	7.1	7.1	14.3	32.1
性別	男性	33	27.3	15.2	30.3	3.0	6.1	6.1	9.1	21.2
	女性	38	31.6	23.7	15.8	7.9	5.3	5.3	7.9	28.9
年齢（統合）	前期高齢者	22	22.7	18.2	18.2	4.5	4.5	9.1	13.6	31.8
	後期高齢者	49	34.7	18.4	22.4	6.1	6.1	4.1	6.1	22.4
要介護度	要支援1	13	53.8	23.1	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8
	要支援2	14	28.6	28.6	21.4	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1
	要介護1	15	40.0	26.7	26.7	0.0	13.3	0.0	0.0	26.7
	要介護2	12	16.7	25.0	8.3	16.7	0.0	8.3	16.7	33.3
	要介護3	8	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5
	要介護4	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	要介護5	4	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

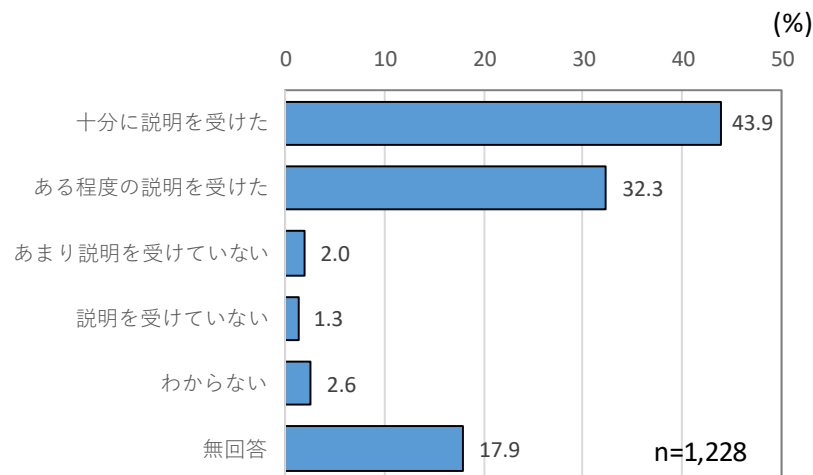
8.2.1 介護サービス事業者の選択方法（MA）

「ケアマネジャーと相談して」が63.7%と最も高く、次いで「その他」が9.1%となっています。



8.2.2 介護サービスを利用するにあたって受けた内容や費用等の説明（SA）

「十分に説明を受けた」が43.9%と最も高く、次いで「ある程度の説明を受けた」が32.3%で合わせた『説明を受けた』は、76.2%となっています。

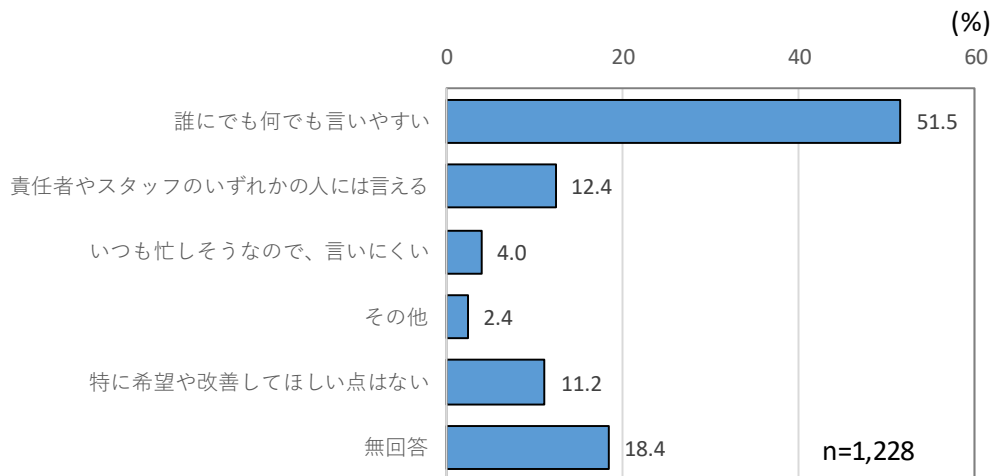


## II 市民意識調査結果の概要

### 8.2.3 サービス事業者やケアマネジャーに対する希望・改善要望の伝えやすさ (SA)

「誰にでも何でも言いやすい」が51.5%で最も高く、次いで「責任者やスタッフのいずれかの人には言える」が12.4%で合わせた『言える』は63.9%となっています。

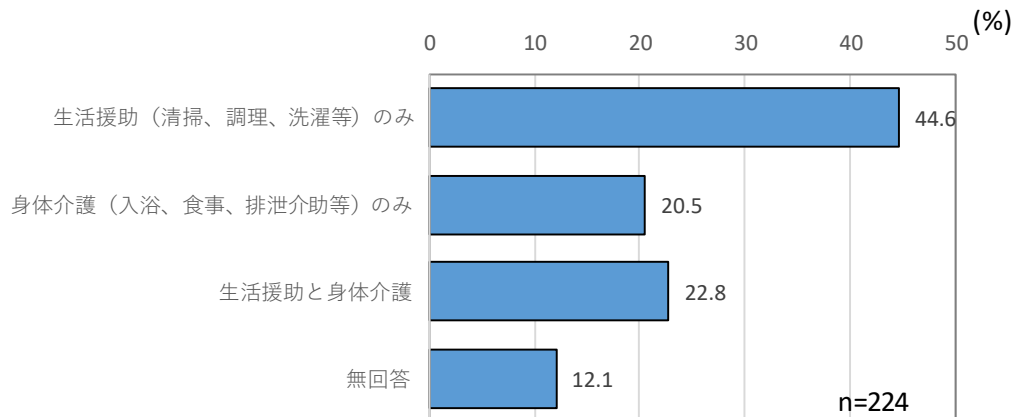
要介護度別にみても、大きな違いはみられません。



		Q42. サービス事業者やケアマネジャーに対する希望・改善要望の伝えやすさ						
		合計	誰にでも何でも言いやすい	責任者やスタッフのいずれかの人には言える	いつも忙しそうなので、言いにくい	その他	特に希望や改善してほしい点はない	無回答
	全体	1228	51.5	12.4	4.0	2.4	11.2	18.4
要介護度	要支援1	92	43.5	6.5	3.3	3.3	18.5	25.0
	要支援2	116	53.4	7.8	5.2	3.4	10.3	19.8
	要介護1	271	59.0	14.0	5.2	3.0	13.7	5.2
	要介護2	266	57.5	17.7	4.5	2.6	10.2	7.5
	要介護3	167	60.5	15.0	2.4	2.4	12.6	7.2
	要介護4	83	60.2	10.8	4.8	1.2	14.5	8.4
	要介護5	87	63.2	13.8	3.4	2.3	9.2	8.0
	わからない	12	58.3	16.7	0.0	0.0	25.0	0.0

8.3.1 訪問介護（ホームヘルプ）利用種類（SA）

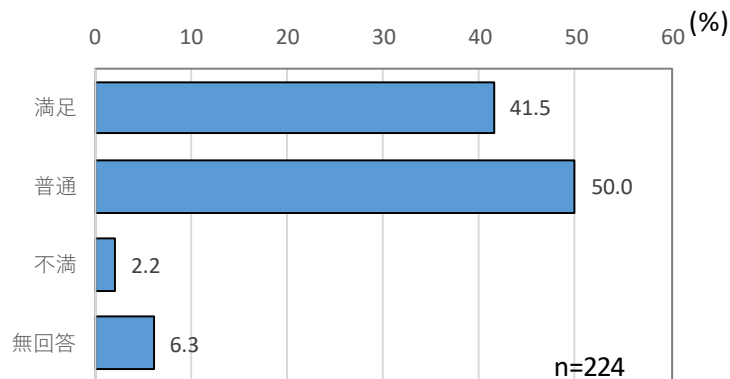
「生活援助（清掃、調理、洗濯等）のみ」が44.6%と最も高くなっています。



8.3.2 訪問介護（ホームヘルプ）利用満足度（SA）

「普通」が50.0%、「満足」が41.5%となっています。

要介護度別にみると、「満足」は“要支援1”“要介護1”で過半数と高くなっています。利用種類別でみると、“生活援助と身体介護”の「満足」が56.9%と高くなっています。

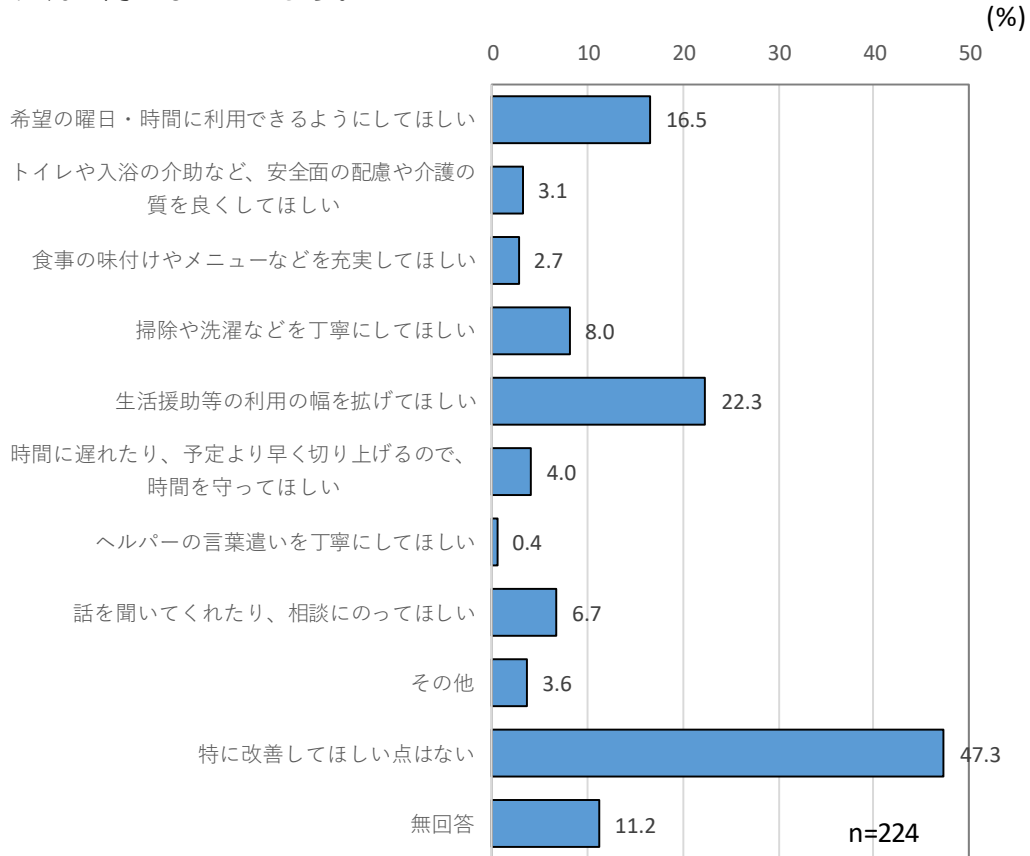


		合計	Q37-1. 訪問介護の利用満足度			
			満足	普通	不満	無回答
	全体	224	41.5	50.0	2.2	6.3
要介護度	要支援1	10	60.0	40.0	0.0	0.0
	要支援2	22	36.4	54.5	0.0	9.1
	要介護1	54	51.9	37.0	3.7	7.4
	要介護2	52	30.8	59.6	1.9	7.7
	要介護3	31	41.9	51.6	3.2	3.2
	要介護4	15	26.7	66.7	0.0	6.7
	要介護5	32	46.9	50.0	0.0	3.1
	わからない	4	25.0	75.0	0.0	0.0
訪問介護の利用種類	生活援助（清掃、調理、洗濯等）のみ	100	40.0	56.0	2.0	2.0
	身体介護（入浴、食事、排泄介助等）のみ	46	43.5	52.2	4.3	0.0
	生活援助と身体介護	51	56.9	43.1	0.0	0.0

8.3.3 訪問介護（ホームヘルプ）の改善点（MA）

訪問介護の改善点は、「特に改善してほしい点はない」が最も高くなっています。改善してほしい点としては、「生活援助等の利用の幅を広げてほしい」が22.3%、次いで「希望の曜日・時間に利用できるようにしてほしい」が16.5%となっています。

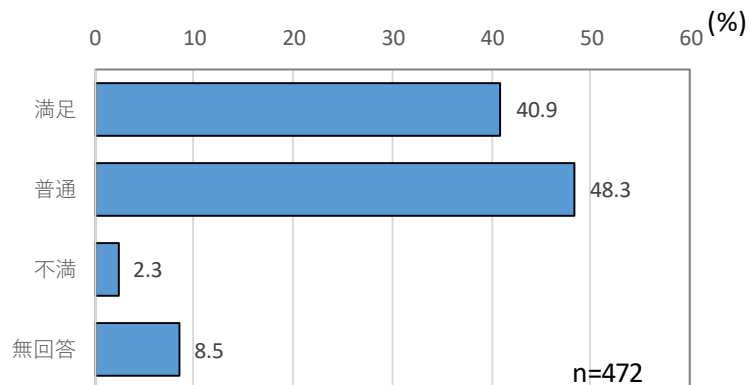
利用種別でみると、“生活援助と身体介護”では、「生活援助等の利用の幅を広げてほしい」が29.4%と高くなっています。



	合計	Q37-2. 具体的に改善してほしいこと										
		希望の曜日・時間に利用できるようにしてほしい	トイレや入浴の介助など、安全面の配慮や介護の質を良くしてほしい	食事の味付けやメニューなどを充実してほしい	掃除や洗濯などを丁寧にしてほしい	生活援助等の利用の幅を広げてほしい	時間に遅れたり、予定より早く切り上げるので、時間を守ってほしい	ヘルパーの言葉遣いを丁寧にしてほしい	話を聞いてくれたり、相談にのってほしい	その他	特に改善してほしい点はない	無回答
全体	224	16.5	3.1	2.7	8.0	22.3	4.0	0.4	6.7	3.6	47.3	11.2
訪問介護の利用種類												
調理、洗濯等)のみ	100	11.0	2.0	2.0	12.0	22.0	4.0	1.0	4.0	5.0	50.0	8.0
食事、排泄介助等)のみ	46	23.9	6.5	2.2	0.0	15.2	4.3	0.0	10.9	0.0	52.2	10.9
生活援助と身体介護	51	21.6	2.0	5.9	9.8	29.4	0.0	0.0	7.8	2.0	49.0	5.9

8.4.1 通所介護（デイサービス）利用満足度（SA）

「普通」が48.3%で最も高く、次いで「満足」が40.9%、「不満」が2.3%となっています。要介護度別にみると、“要介護4”では「普通」が最も高くなっています。



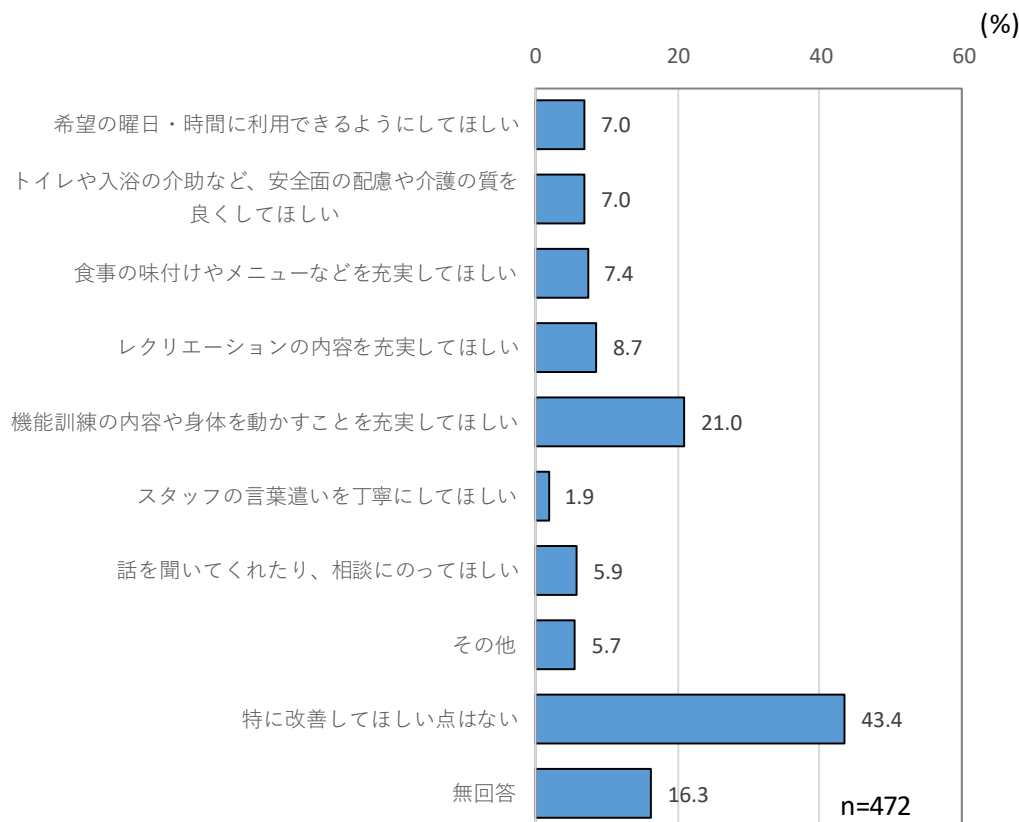
		合計	Q38. 通所介護の利用満足度			
			満足	普通	不満	無回答
全体		472	40.9	48.3	2.3	8.5
要介護度	要支援1	23	43.5	43.5	4.3	8.7
	要支援2	32	46.9	46.9	3.1	3.1
	要介護1	119	40.3	47.1	2.5	10.1
	要介護2	117	35.0	50.4	3.4	11.1
	要介護3	91	47.3	44.0	2.2	6.6
	要介護4	44	34.1	61.4	0.0	4.5
	要介護5	39	48.7	46.2	0.0	5.1
	わからない	3	66.7	33.3	0.0	0.0

8.4.2 通所介護（デイサービス）改善点（MA）

「特に改善してほしい点はない」が43.4%となっています。

改善してほしい点としては、「機能訓練の内容や身体を動かすことを充実してほしい」が21.0%で最も高く、次いで「レクリエーションの内容を充実してほしい」が8.7%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4”では「機能訓練の内容や身体を動かすことを充実してほしい」が31.8%で最も高くなっています。



	合計	Q38-1. 通所介護（デイサービス）の改善点										
		希望の曜日・時間に利用できるようにしてほしい	トイレや入浴の介助など、安全面の配慮や介護の質を良くしてほしい	食事の味付けやメニューなどを充実してほしい	レクリエーションの内容を充実してほしい	機能訓練の内容や身体を動かすことを充実してほしい	スタッフの言葉遣いを丁寧にしてほしい	話を聞いてくれたり、相談にのってほしい	その他	特に改善してほしい点はない	無回答	
全体	472	7.0	7.0	7.4	8.7	21.0	1.9	5.9	5.7	43.4	16.3	
要介護度	要支援1	23	0.0	0.0	0.0	13.0	21.7	0.0	4.3	4.3	39.1	21.7
	要支援2	32	0.0	6.3	0.0	12.5	15.6	0.0	6.3	6.3	46.9	21.9
	要介護1	119	4.2	2.5	6.7	9.2	19.3	1.7	9.2	5.9	46.2	16.0
	要介護2	117	6.8	10.3	6.8	10.3	22.2	3.4	6.0	8.5	40.2	17.1
	要介護3	91	13.2	5.5	11.0	6.6	17.6	2.2	6.6	3.3	42.9	16.5
	要介護4	44	11.4	18.2	15.9	6.8	31.8	2.3	2.3	4.5	31.8	13.6
	要介護5	39	7.7	7.7	2.6	5.1	20.5	0.0	0.0	5.1	56.4	10.3
	わからない	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

## II 市民意識調査結果の概要

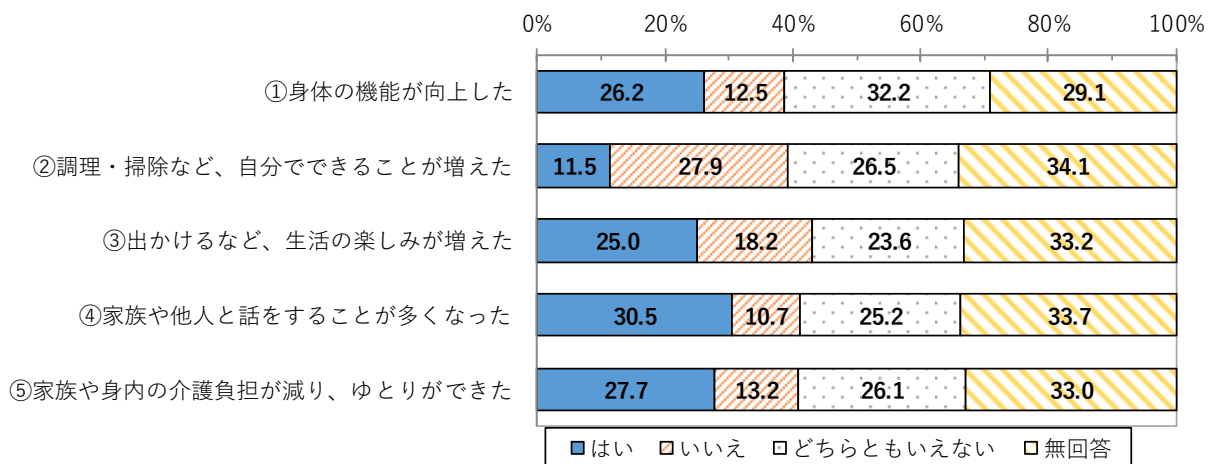
### 8.5 介護保険サービス利用による体や気持ちの変化について（SA）

「はい」の割合は、“家族や他人と話す機会が多くなった”が30.5%で最も高く、次いで“家族や身内の介護負担が減り、ゆとりができた”が27.7%、“出かけるなど、生活の楽しみが増えた”が25.0%の順となっています。

逆に「いいえ」の割合は、「調理・掃除など、自分でできることが増えた」が27.9%で高くなっています。

要介護度別にみると、『①身体の機能が向上したについては』“要支援1”“要支援2”では、「はい」の割合が高くなっています。

『②調理・掃除など、自分でできることが増えた』は、“要介護3”以上の重度者では「いいえ」の割合が高くなっています。



n=1228

		合計	Q43. ①身体の機能が向上した				Q43. ②調理・掃除など、自分でできることが増えた			
			はい	いいえ	どちらともいえない	無回答	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
	全体	1228	26.2	12.5	32.2	29.1	11.5	27.9	26.5	34.1
要介護度	要支援1	92	26.1	6.5	20.7	46.7	17.4	9.8	21.7	51.1
	要支援2	116	31.0	6.9	26.7	35.3	15.5	19.0	26.7	38.8
	要介護1	271	33.2	14.4	35.8	16.6	16.2	27.7	35.1	21.0
	要介護2	266	31.2	12.8	38.3	17.7	13.2	29.7	33.1	24.1
	要介護3	167	25.1	18.6	43.1	13.2	7.8	43.1	29.9	19.2
	要介護4	83	21.7	13.3	44.6	20.5	3.6	44.6	20.5	31.3
	要介護5	87	19.5	27.6	33.3	19.5	5.7	47.1	21.8	25.3
	わからない	12	58.3	0.0	25.0	16.7	25.0	16.7	33.3	25.0

		合計	Q43. ③出かけるなど、生活の楽しみが増えた				Q43. ④家族や他人と話すことが多くなった			
			はい	いいえ	どちらともいえない	無回答	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
	全体	1228	25.0	18.2	23.6	33.2	30.5	10.7	25.2	33.7
要介護度	要支援1	92	19.6	10.9	19.6	50.0	19.6	12.0	16.3	52.2
	要支援2	116	25.0	12.9	22.4	39.7	30.2	9.5	21.6	38.8
	要介護1	271	31.4	21.0	27.7	19.9	38.0	13.7	26.2	22.1
	要介護2	266	27.4	18.0	32.3	22.2	36.8	8.6	32.0	22.6
	要介護3	167	31.7	26.3	24.0	18.0	38.9	12.0	32.9	16.2
	要介護4	83	25.3	20.5	25.3	28.9	26.5	15.7	28.9	28.9
	要介護5	87	20.7	31.0	23.0	25.3	29.9	16.1	28.7	25.3
	わからない	12	50.0	16.7	8.3	25.0	25.0	0.0	33.3	41.7



## II 市民意識調査結果の概要

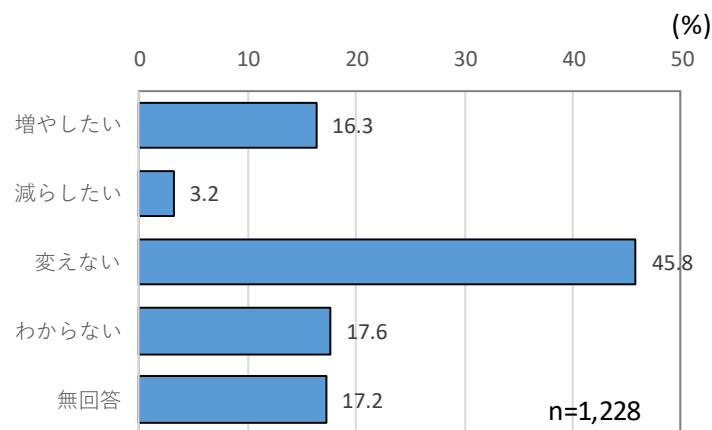
		合計	Q43. ⑤家族や身内の介護負担が減り、ゆとりができた			
			はい	いいえ	どちらともいえ ない	無回答
全体		1228	27.7	13.2	26.1	33.0
要介護度	要支援1	92	15.2	10.9	18.5	55.4
	要支援2	116	16.4	9.5	31.0	43.1
	要介護1	271	32.5	17.3	27.7	22.5
	要介護2	266	30.1	13.9	35.3	20.7
	要介護3	167	44.3	14.4	28.1	13.2
	要介護4	83	30.1	16.9	31.3	21.7
	要介護5	87	34.5	18.4	23.0	24.1
	わからない	12	25.0	8.3	33.3	33.3

### 8.6 今後1年間の介護サービスの利用意向（SA）

「変えない」が45.8%で最も高く、次いで「わからない」が17.6%、「増やしたい」が16.3%となっており、「減らしたい」は3.2%と低くなっています。

要介護度別にみると、「増やしたい」は“要介護3”、「減らしたい」は“要介護5”で高くなっています。

サービス利用の組み合わせでみると、「増やしたい」は“通所・短期系のみ”で高く、介護者の1日当たりの介護時間でみると、“半日程度”で高くなっています。



		合計	Q46. 今後1年間の介護サービスの利用意向				
			増やしたい	減らしたい	変えない	わからない	無回答
全体		1228	16.3	3.2	45.8	17.6	17.2
要介護度	要支援1	92	8.7	3.3	46.7	22.8	18.5
	要支援2	116	19.0	2.6	42.2	17.2	19.0
	要介護1	271	20.3	4.1	53.9	14.4	7.4
	要介護2	266	16.5	3.0	54.9	20.3	5.3
	要介護3	167	21.6	2.4	53.3	19.2	3.6
	要介護4	83	13.3	4.8	53.0	19.3	9.6
	要介護5	87	20.7	5.7	39.1	27.6	6.9
	わからない	12	16.7	0.0	41.7	25.0	16.7
サービス利用の組み合わせ	未利用	73	9.6	4.1	28.8	35.6	21.9
	訪問系のみ	122	18.0	4.9	51.6	18.9	6.6
	組み合わせ	414	20.0	3.4	55.1	17.9	3.6
	通所・短期系のみ	275	21.1	3.3	57.1	15.3	3.3
介護者の一日あたりの介護時間	必要ときに手を貸す程度	312	17.0	3.5	59.3	16.7	3.5
	2～3時間程度	77	29.9	5.2	46.8	16.9	1.3
	半日程度	92	33.7	3.3	42.4	19.6	1.1
	ほとんど終日	135	21.5	5.2	45.2	25.9	2.2

## II 市民意識調査結果の概要

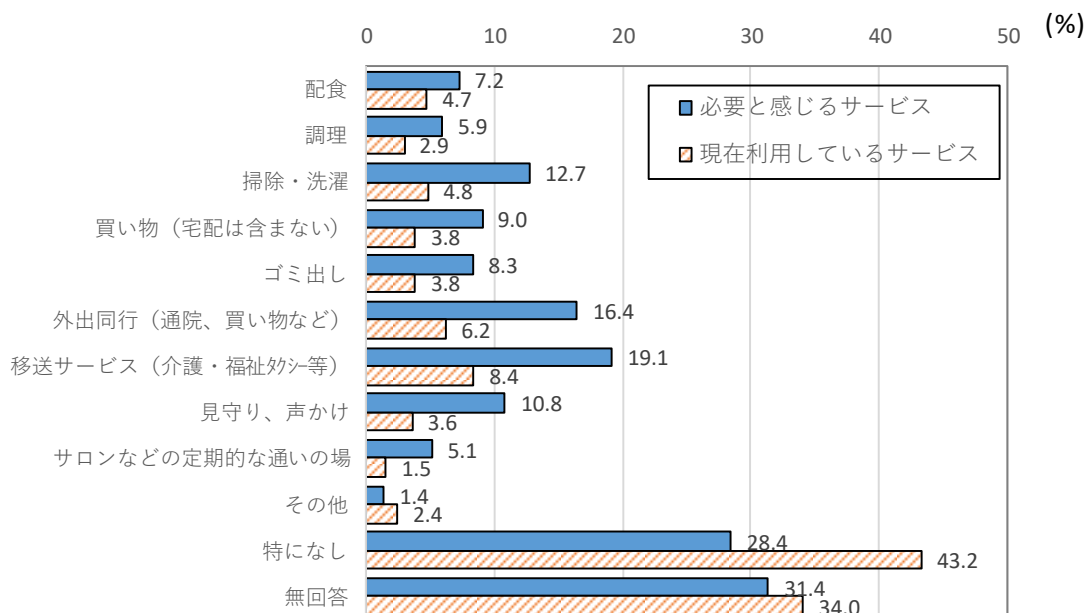
### 8.7 現在の介護サービス以外に必要なサービスと現在利用しているサービス（MA）

必要なサービス、現在利用しているサービスともに「特になし」が最も高くなっています。

必要と感じるサービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.1%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が16.4%となっています。

現在利用しているサービスも、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.4%で最も高く、次いで「外出動向（通院、買い物など）」が6.2%となっています。

要介護度別にみると、必要なサービスについては、“要支援2”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.3%で最も高くなっています。



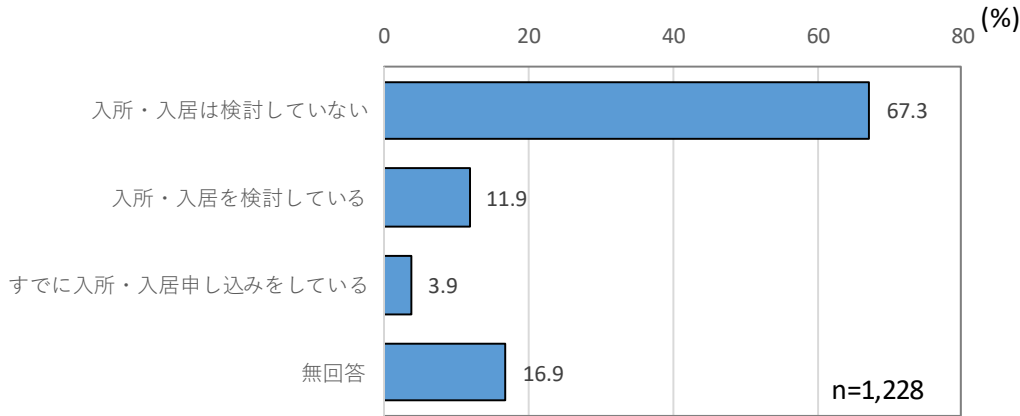
	合計	Q47. 現在の介護サービス以外に必要なサービス												
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	
全体	1228	7.2	5.9	12.7	9.0	8.3	16.4	19.1	10.8	5.1	1.4	28.4	31.4	
要介護度	要支援1	92	7.6	1.1	12.0	3.3	8.7	15.2	14.1	3.3	3.3	0.0	31.5	34.8
	要支援2	116	5.2	5.2	18.1	14.7	12.1	15.5	23.3	10.3	4.3	1.7	20.7	35.3
	要介護1	271	9.6	8.5	18.1	15.9	11.4	18.8	17.3	14.0	8.9	2.2	29.2	21.4
	要介護2	266	7.1	6.4	11.3	7.9	7.9	20.3	22.6	9.4	6.8	1.5	32.3	24.4
	要介護3	167	11.4	7.8	12.6	7.8	8.4	20.4	25.7	15.0	4.8	0.6	37.1	18.6
	要介護4	83	8.4	4.8	9.6	6.0	6.0	18.1	20.5	13.3	3.6	1.2	34.9	21.7
	要介護5	87	3.4	4.6	10.3	6.9	2.3	14.9	25.3	17.2	0.0	3.4	37.9	20.7
わからない	12	8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	33.3	25.0	

	合計	Q48. 現在利用しているサービス												
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	
全体	1228	4.7	2.9	4.8	3.8	3.8	6.2	8.4	3.6	1.5	2.4	43.2	34.0	
要介護度	要支援1	92	3.3	1.1	4.3	3.3	2.2	5.4	4.3	2.2	0.0	4.3	37.0	43.5
	要支援2	116	1.7	2.6	6.9	4.3	4.3	13.8	10.3	3.4	1.7	1.7	33.6	39.7
	要介護1	271	7.7	2.6	5.9	5.2	6.6	7.7	8.5	4.4	3.3	2.2	50.2	22.1
	要介護2	266	6.0	3.8	4.1	4.9	4.5	7.5	10.9	4.9	2.3	2.3	48.5	27.8
	要介護3	167	6.0	4.2	5.4	4.8	3.6	5.4	10.2	3.6	1.2	3.6	53.3	21.0
	要介護4	83	3.6	1.2	4.8	2.4	0.0	3.6	8.4	2.4	0.0	3.6	54.2	25.3
	要介護5	87	2.3	4.6	3.4	0.0	1.1	1.1	10.3	1.1	0.0	2.3	54.0	23.0
わからない	12	8.3	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	50.0	25.0	

8.8.1 介護保険施設入所の申し込み状況（SA）

「入所・入居は検討していない」が67.3%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が11.9%、「既に入所・入居申し込みをしている」が3.9%となっています。

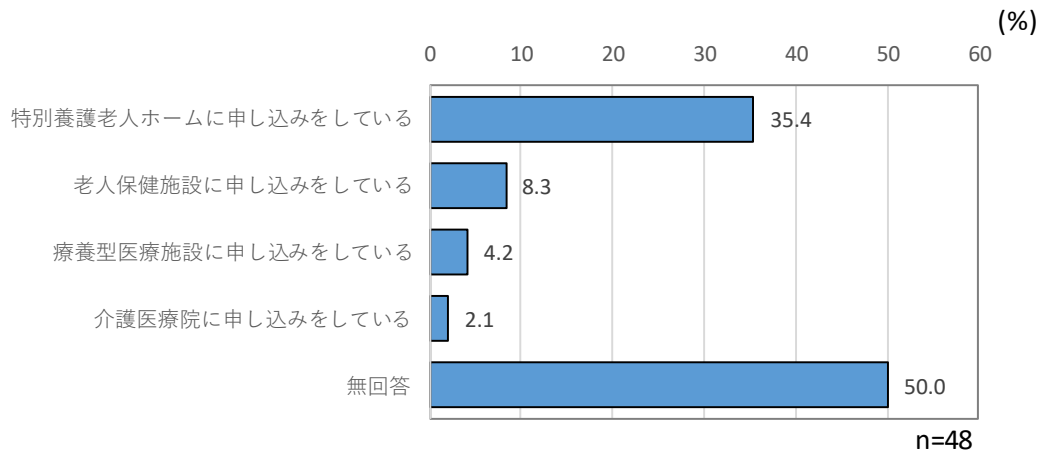
「既に入所・入居申し込みをしている」は、要介護度別にみると、“要介護4”で15.7%、サービス利用の組み合わせでみると“未利用”で5.5%、介護者の1日あたりの介護時間でみると“半日程度”で5.4%が高くなっています。



		合計	Q10. 介護保険施設入所の申し込み状況			
			入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全体		1228	67.3	11.9	3.9	16.9
要介護度	要支援1	92	73.9	10.9	2.2	13.0
	要支援2	116	76.7	8.6	2.6	12.1
	要介護1	271	81.5	10.3	0.4	7.7
	要介護2	266	78.2	10.5	3.0	8.3
	要介護3	167	66.5	20.4	7.8	5.4
	要介護4	83	63.9	10.8	15.7	9.6
	要介護5	87	63.2	25.3	6.9	4.6
	わからない	12	66.7	8.3	8.3	16.7
サービス利用の組み合わせ	未利用	73	75.3	11.0	5.5	8.2
	訪問系のみ	122	77.0	13.1	0.8	9.0
	組み合わせ	414	81.2	10.9	4.3	3.6
	通所・短期系のみ	275	70.9	18.5	1.8	8.7
介護者の一日あたりの介護時間	必要なときに手を貸す程度	312	83.0	11.5	1.3	4.2
	2～3時間程度	77	72.7	14.3	5.2	7.8
	半日程度	92	68.5	21.7	5.4	4.3
	ほとんど終日	135	72.6	21.5	1.5	4.4

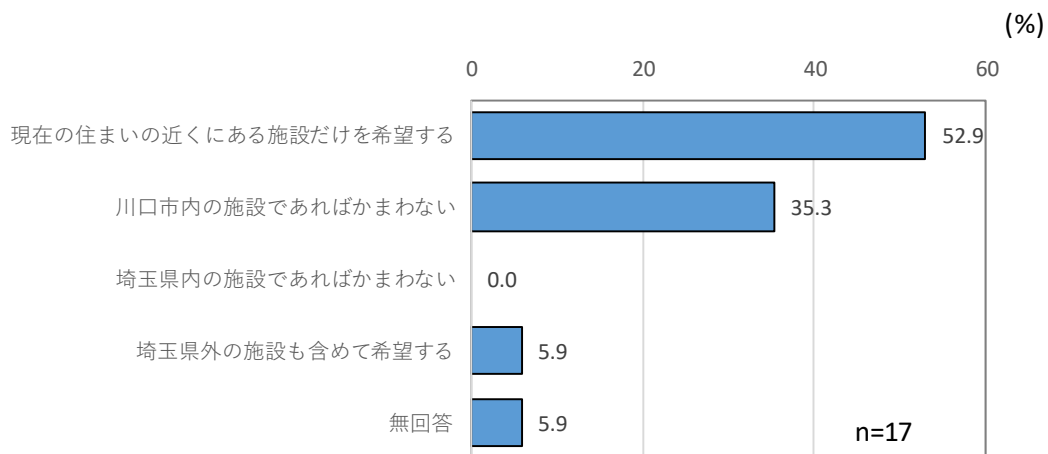
8.8.2 すでに入所・入居を申し込んでいる施設の種類（MA）

すでに入所・入居を申し込んでいる施設については「特別養護老人ホームに申し込みをしている」が35.4%で最も高く、次いで「老人保健施設に申し込みをしている」が8.3%、「療養型医療施設に申し込みをしている」が2.1%となっています。



8.8.3 特別養護老人ホームの入所希望場所（SA）

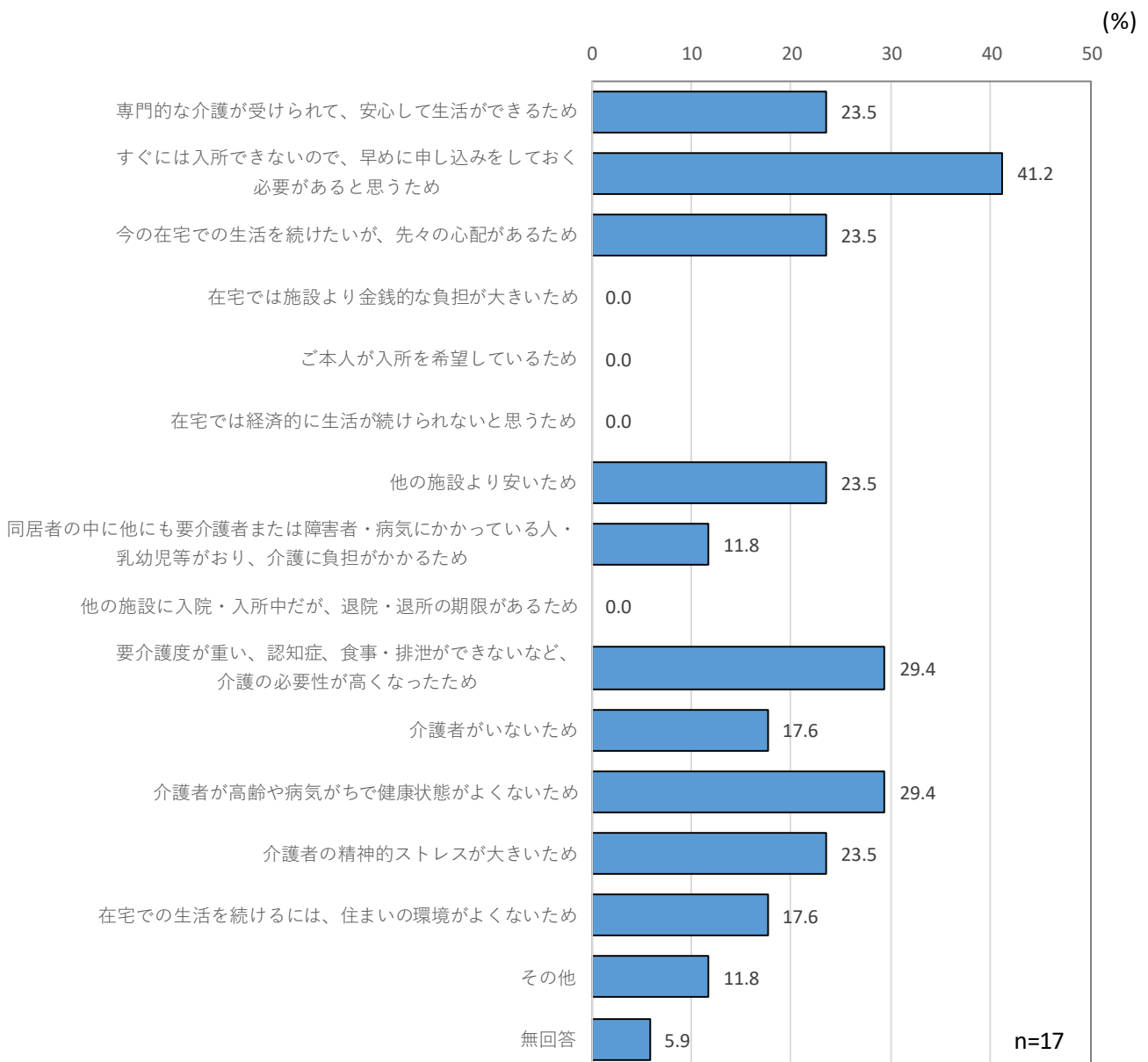
希望場所については「現在の住まいの近くにある施設だけを希望する」が52.9%で最も高く、次いで「川口市内の施設であればかまわない」が35.3%となっています。



8.8.4 特別養護老人ホームに入所申し込みをした理由（MA）

「すぐには入所できないので、早めに申し込みをしておく必要があると思うため」が41.2%で最も高く、次いで「要介護度が重い、認知症、食事・排泄ができないなど、介護の必要性が多くなったため」及び「介護者が高齢や病気がちで健康状態がよくないため」が同率の29.4%となっています。

要介護度別にみると、“要介護3”では最も回答数が多く、「すぐには入所できないので、早めに申し込みをしておく必要があると思うため」、「他の施設より安いため」が共に40.0%で最も高くなっています。“要介護4”では「専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため」、「すぐには入所できないので、早めに申し込みをしておく必要があると思うため」、「要介護度が重い、認知症、食事・排泄ができないなど、介護の必要性が高くなったため」、「在宅での生活を続けるには、住まいの環境がよくないため」が高くなっています。“要介護5”では、「すぐには入所できないので、早めに申し込みをしておく必要があると思うため」、「要介護度が重い、認知症、食事・排泄ができないなど、介護の必要性が高くなったため」、「介護者が高齢や病気がちで健康状態がよくないため」が高くなっています。



## II 市民意識調査結果の概要

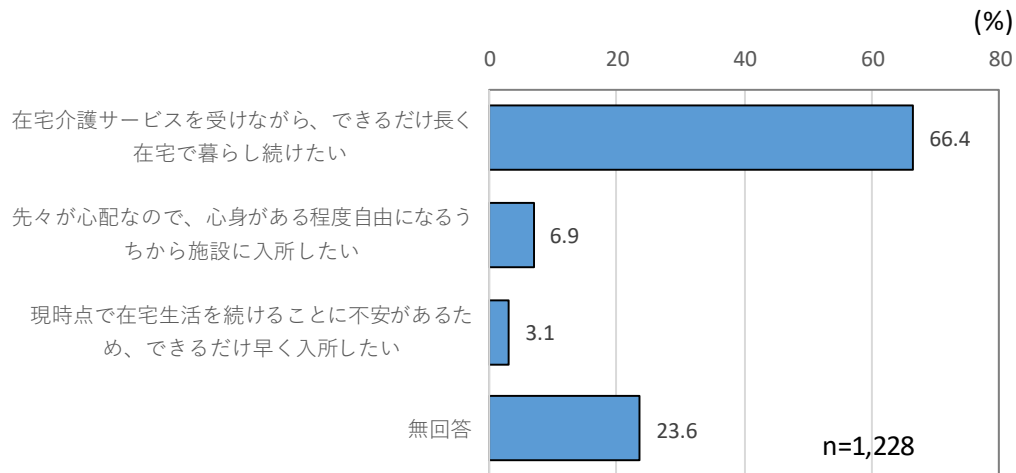
		Q11-3. 特別養護老人ホームに入所申し込みをした理由									
		合計	専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため	すぐには入所できないので、早めに申し込みをしておく必要があると思うため	今の在宅での生活を続けたいが、先々の心配があるため	在宅では施設より金銭的な負担が大きい	ご本人が入所を希望しているため	在宅では経済的に生活が続けられないと思うため	他の施設より安い	同居者の中に他にも要介護者または障害者・病気にかかっている人・乳幼児等がおり、介護に負担がかかるため	
	全体	17	23.5	41.2	23.5	0.0	0.0	0.0	23.5	11.8	
要介護度	要支援1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要支援2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護3	10	20.0	40.0	30.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0	
	要介護4	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護5	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

		Q11-3. 特別養護老人ホームに入所申し込みをした理由									
		合計	他の施設に入院・入所中だが、退院・退所の期限があるため	要介護度が重い、認知症、食事・排泄ができないなど、介護の必要性が高くなったため	介護者がいないため	介護者が高齢や病気がちで健康状態がよくないため	介護者の精神的ストレスが大きい	在宅での生活を続けるには、住まいの環境がよくないため	その他	無回答	
	全体	17	0.0	29.4	17.6	29.4	23.5	17.6	11.8	5.9	
要介護度	要支援1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要支援2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護3	10	0.0	20.0	30.0	30.0	30.0	20.0	10.0	0.0	
	要介護4	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	
	要介護5	4	0.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

8.8.5 施設入所に対する考え（SA）

「在宅介護サービスを受けながら、できるだけ長く在宅で暮らし続けたい」が66.4%で最も高く、次いで「先々が心配なので、心身がある程度自由になるうちから施設に入所したい」が6.9%となっています。

「現時点で在宅生活を続けることに不安があるため、できるだけ早く入所したい」は、要介護度別にみると、“要介護4”が9.6%、サービス利用の組み合わせでみると“未利用”が5.5%、介護者の1日あたりの介護時間でみると“半日程度”が5.4%で高くなっています。



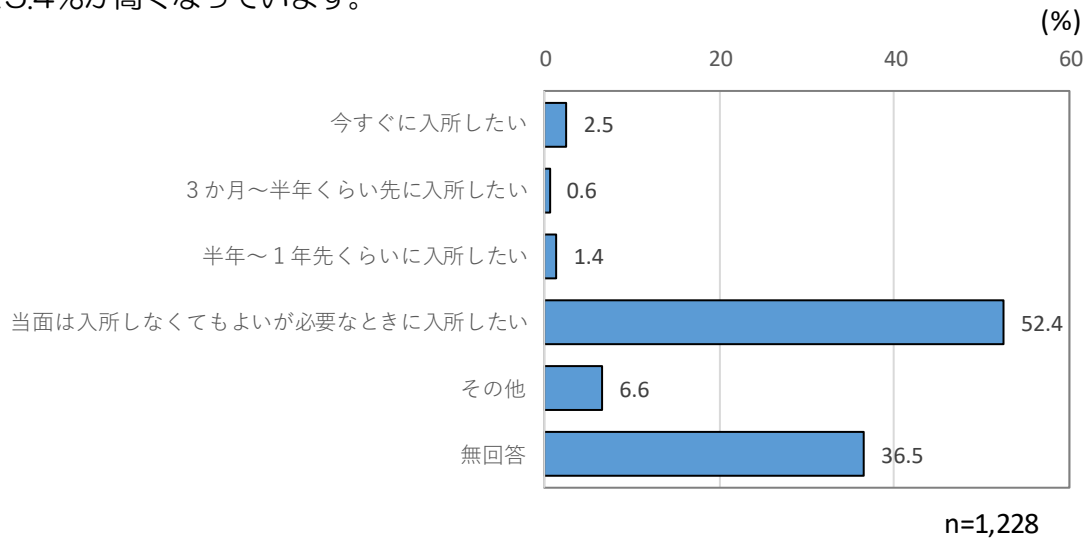
	合計	Q12. 施設への入所に対する考え				
		在宅介護サービスを受けながら、できるだけ長く在宅で暮らし続けたい	先々が心配なので、心身がある程度自由になるうちから施設に入所したい	現時点で在宅生活を続けることに不安があるため、できるだけ早く入所したい	無回答	
全体	1228	66.4	6.9	3.1	23.6	
要介護度	要支援1	92	66.3	5.4	2.2	26.1
	要支援2	116	66.4	9.5	0.9	23.3
	要介護1	271	80.1	7.7	1.5	10.7
	要介護2	266	75.2	8.3	1.9	14.7
	要介護3	167	75.4	7.8	5.4	11.4
	要介護4	83	63.9	6.0	9.6	20.5
	要介護5	87	69.0	6.9	8.0	16.1
	わからない	12	58.3	0.0	8.3	33.3
サービス利用の組み合わせ	未利用	73	71.2	8.2	5.5	15.1
	訪問系のみ	122	76.2	9.0	0.8	13.9
	組み合わせ	414	78.0	8.7	2.9	10.4
	通所・短期系のみ	275	76.7	6.2	4.0	13.1
介護者の一日あたりの介護時間	必要なときに手を貸す程度	312	82.4	6.7	2.9	8.0
	2～3時間程度	77	80.5	5.2	2.6	11.7
	半日程度	92	75.0	10.9	5.4	8.7
	ほとんど終日	135	70.4	11.1	5.2	13.3

## II 市民意識調査結果の概要

### 8.8.6 特別養護老人ホームに入所したい時期（SA）

「当面は入所しなくてもよいが必要なときに入所したい」が、52.4%で最も高く、次いで「その他」が6.6%、「今すぐ入所したい」が2.5%となっています。

「今すぐ入所したい」は、要介護度別にみると、“要介護5”で5.7%、サービス利用の組み合わせでみると“未利用”で5.5%、介護者の1日あたりの介護時間でみると“半日程度”で5.4%が高くなっています。

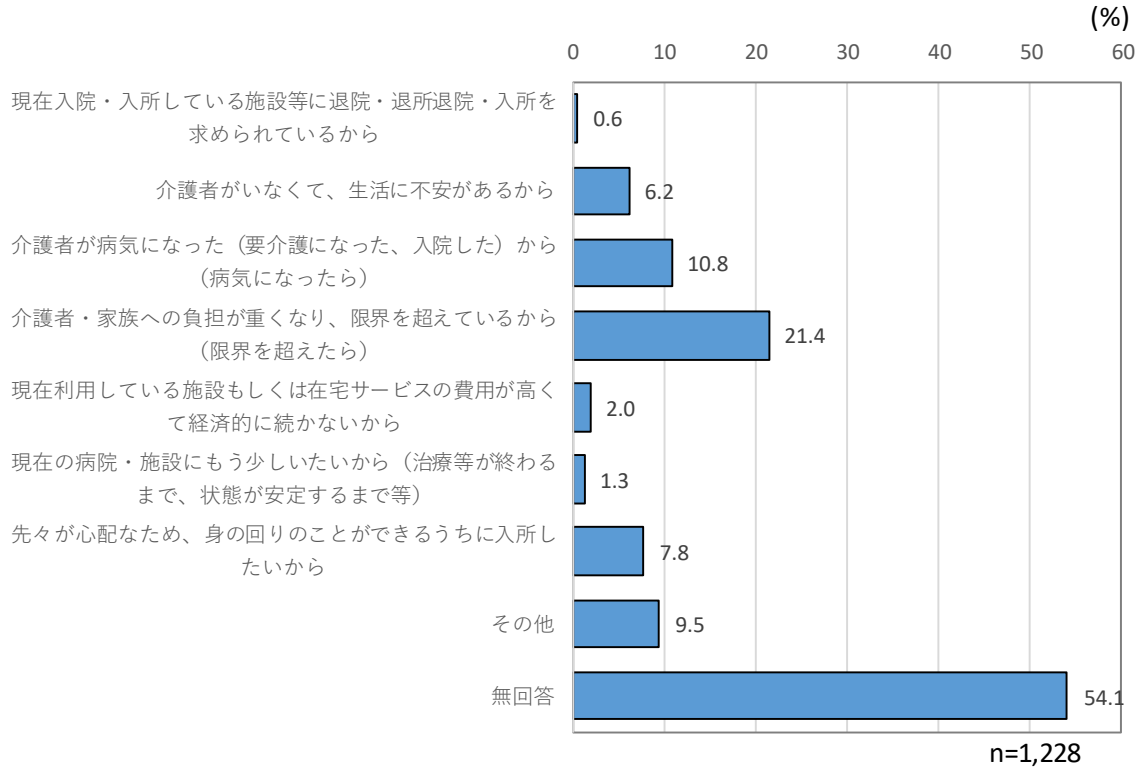


	合計	Q13. 特別養護老人ホームに入所したい時期						
		今すぐに入所したい	3か月～半年くらい先に入所したい	半年～1年先くらいに入所したい	当面は入所しなくてもよいが必要なときに入所したい	その他	無回答	
全体	1228	2.5	0.6	1.4	52.4	6.6	36.5	
要介護度	要支援1	92	1.1	0.0	0.0	53.3	4.3	41.3
	要支援2	116	0.9	0.9	0.9	52.6	5.2	39.7
	要介護1	271	1.1	0.0	1.1	66.4	6.6	24.7
	要介護2	266	1.1	0.8	2.3	56.8	7.9	31.2
	要介護3	167	7.8	0.6	2.4	61.1	9.6	18.6
	要介護4	83	3.6	1.2	3.6	51.8	7.2	32.5
	要介護5	87	5.7	2.3	0.0	55.2	6.9	29.9
	わからない	12	8.3	0.0	0.0	33.3	8.3	50.0
サービス利用の組み合わせ	未利用	73	5.5	0.0	1.4	61.6	6.8	24.7
	訪問系のみ	122	0.8	0.8	1.6	50.8	10.7	35.2
	組み合わせ	414	1.7	0.5	1.9	66.9	9.4	19.6
	通所・短期系のみ	275	3.3	0.7	1.8	63.3	4.4	26.5
介護者の一日あたりの介護時間	必要ときに手を貸す程度	312	1.9	0.6	1.0	68.6	7.4	20.5
	2～3時間程度	77	1.3	1.3	0.0	70.1	3.9	23.4
	半日程度	92	5.4	1.1	5.4	67.4	7.6	13.0
	ほとんど終日	135	4.4	0.7	2.2	58.5	6.7	27.4



8.8.7 入所希望時期の理由（MA）

「介護者・家族への負担が重くなり、限界を超えているから（限界を超えたら）」が21.4%で最も高く、次いで「介護者が病気になった（要介護になった、入院した）から（病気になったら）」が10.8%、「その他」が9.5%の順となっています。



	合計	Q13-1. 入所希望時期の理由								無回答	
		現在入院・入所している施設等に退院・退所退院・入所を求められているから	介護者がいなくて、生活に不安があるから	介護者が病気になった（要介護になった、入院した）から（病気になったら）	介護者・家族への負担が重くなり、限界を超えているから（限界を超えたら）	現在利用している施設もしくは在宅サービスの費用が高くて経済的に続かないから	現在の病院・施設にもう少しいたいから（治療等が終わるまで、状態が安定するまで等）	先々が心配なため、身の回りのことができるうちに入所したいから	その他		
全体	1228	0.6	6.2	10.8	21.4	2.0	1.3	7.8	9.5	54.1	
Q6. 要介護度	要支援1	92	1.1	8.7	5.4	8.7	2.2	4.3	4.3	12.0	65.2
	要支援2	116	0.0	9.5	9.5	13.8	0.0	0.9	14.7	9.5	52.6
	要介護1	271	0.0	5.9	11.1	21.0	1.1	1.1	12.2	11.8	48.0
	要介護2	266	0.8	9.4	10.5	20.3	2.6	0.4	7.1	10.2	54.1
	要介護3	167	0.6	5.4	15.0	37.7	2.4	1.8	8.4	13.8	35.3
	要介護4	83	2.4	4.8	21.7	31.3	6.0	3.6	7.2	2.4	47.0
	要介護5	87	0.0	2.3	13.8	37.9	3.4	1.1	3.4	9.2	42.5
わからない	12	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	58.3	
サービス利用の組み合わせ	未利用	73	2.7	6.8	6.8	16.4	2.7	1.4	12.3	11.0	50.7
	訪問系のみ	122	0.8	12.3	6.6	18.9	0.8	0.8	6.6	9.8	54.1
	組み合わせ	414	0.5	7.7	17.9	30.0	2.7	1.2	9.2	14.3	37.0
介護者の一日あたりの介護時間	通所・短期系のみ	275	0.4	4.0	11.6	25.8	1.8	2.2	10.5	8.4	49.8
	必要なときに手を貸す程度	312	0.0	4.8	12.5	26.3	1.6	1.3	10.3	12.8	45.2
	2～3時間程度	77	1.3	3.9	15.6	35.1	3.9	2.6	7.8	16.9	36.4
半日程度	92	0.0	2.2	20.7	43.5	3.3	1.1	9.8	9.8	31.5	
ほとんど終日	135	0.0	1.5	21.5	40.7	1.5	0.7	8.9	8.1	39.3	

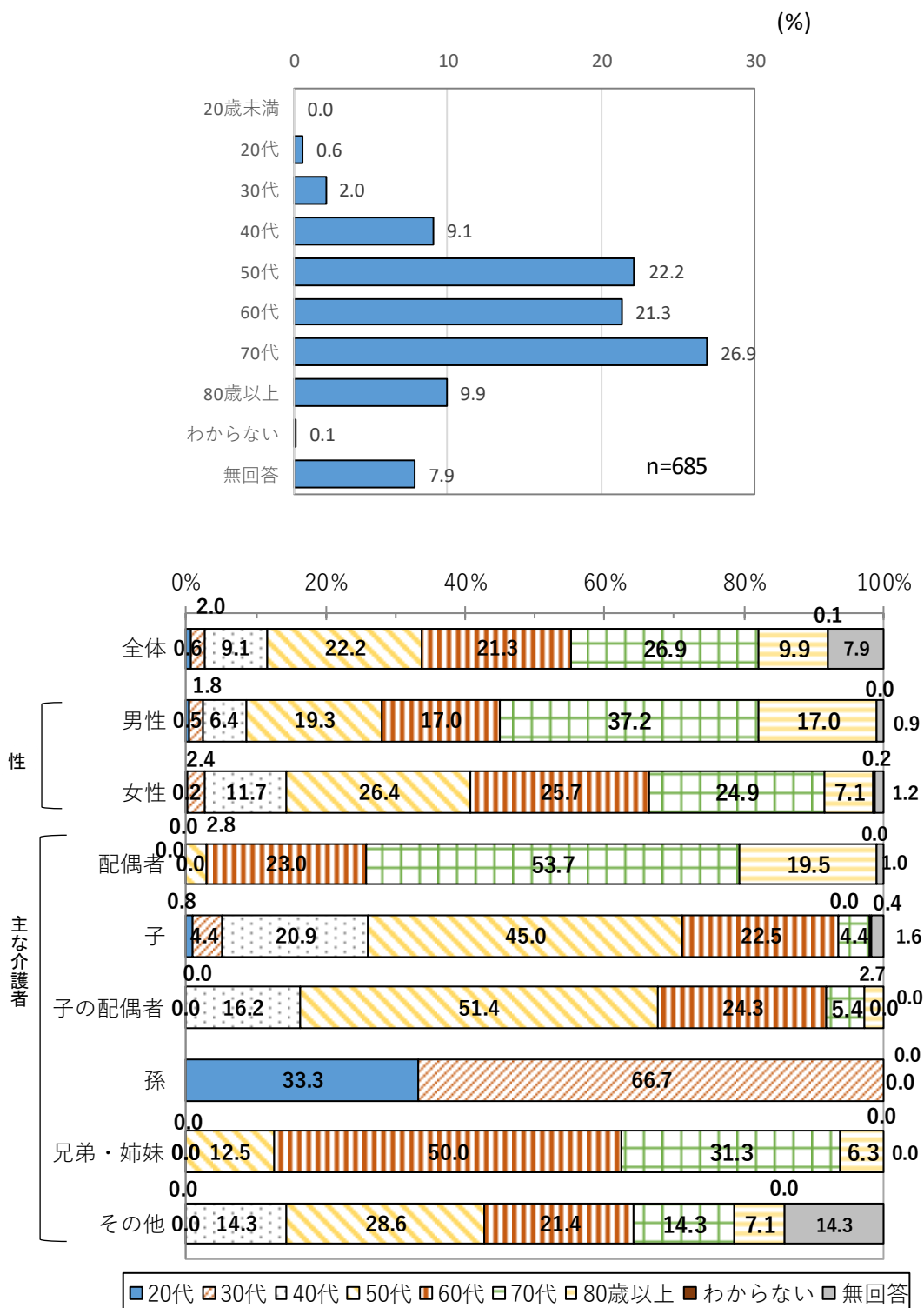
9. 主な介護者について（在宅サービス利用者）

9.1 主な介護者の基本属性（SA）

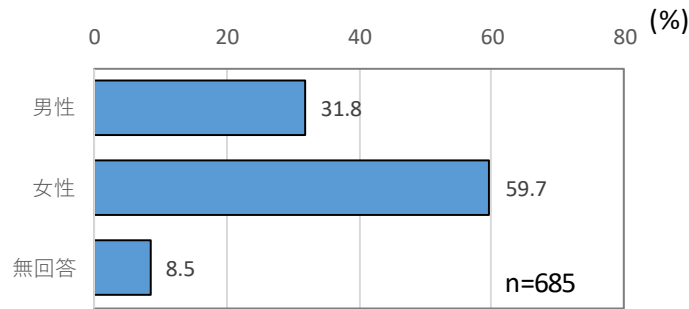
年齢は、「70代」が26.9%で最も高く、次いで「50代」が22.2%、「60代」が21.3%の順となっています。

性別にみると、「男性」は「70代」が37.2%で最も高く、「女性」は「50代」が26.9%で最も高くなっています。

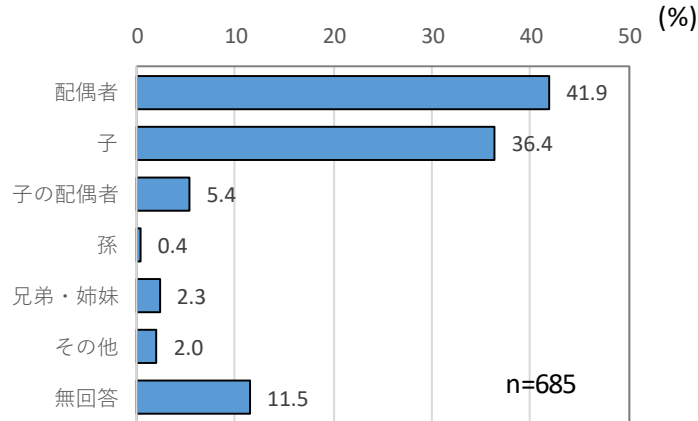
主な介護者別にみると、「配偶者」は「70代」が53.7%となっています。



【性別】

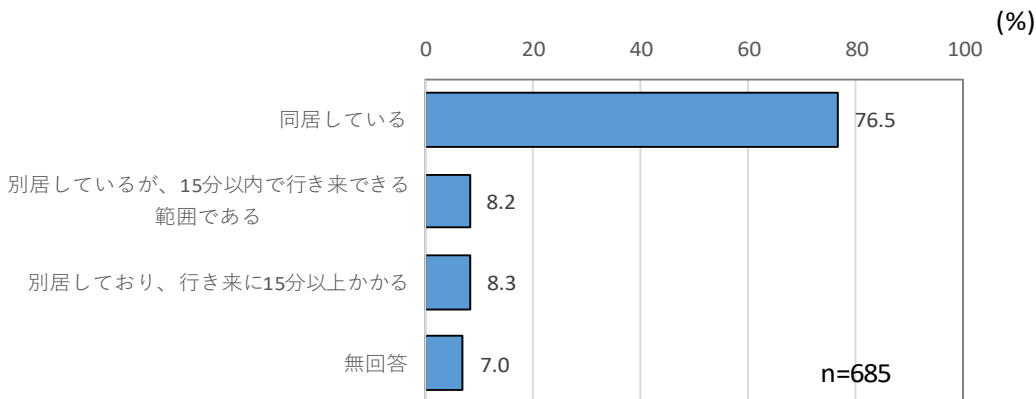


【主な介護者】



9.2 主な介護者の同居状況 (SA)

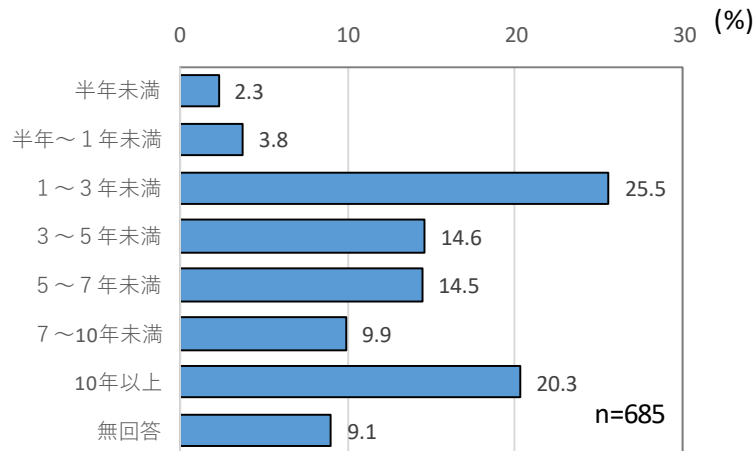
「同居している」が76.5%で最も高く、次いで「別居しており、行き来に15分以上かかる」が8.3%、「別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である」が8.2%となっています。介護度別にみると、要介護度が重度の方が「同居している」割合が高くなっています。



		合計	Q57-1. 主な介護者の同居状況			
			同居している	別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である	別居しており、行き来に15分以上かかる	無回答
全体		685	76.5	8.2	8.3	7.0
要介護度	要支援1	32	62.5	6.3	18.8	12.5
	要支援2	53	56.6	7.5	11.3	24.5
	要介護1	170	71.8	10.0	12.4	5.9
	要介護2	170	78.2	8.2	8.8	4.7
	要介護3	127	81.9	8.7	4.7	4.7
	要介護4	50	88.0	4.0	2.0	6.0
	要介護5	64	92.2	4.7	0.0	3.1
	わからない	4	50.0	50.0	0.0	0.0
介護者の一日あたりの介護時間	必要なときに手を貸す程度	312	81.1	8.3	9.3	1.3
	2～3時間程度	77	71.4	22.1	6.5	0.0
	半日程度	92	76.1	5.4	17.4	1.1
	ほとんど終日	135	94.8	3.7	1.5	0.0

9.3 介護を始めてからの年数（SA）

「1～3年未満」が25.5%で最も高くなっています。次いで「10年以上」20.3%、「3～5年未満」14.6%の順になっています。

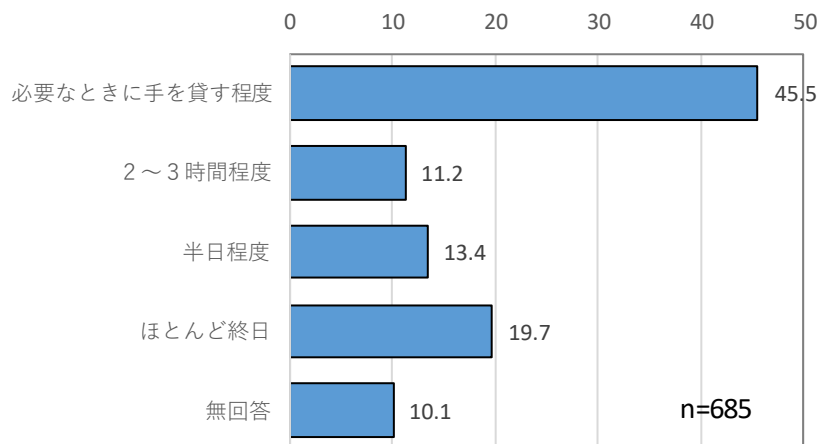


9.4 介護者の1日あたりの介護時間（SA）

「必要なときに手を貸す程度」が45.5%で最も高く、次いで「ほとんど終日」が19.7%、「半日程度」が13.4%の順になっています。

要介護度別にみると、“要介護4”“要介護5”は「ほとんど終日」が最も高くなっています。

介護者の勤務形態別にみると、“働いていない”は「ほとんど終日」が他の勤務形態に比べ高くなっています。



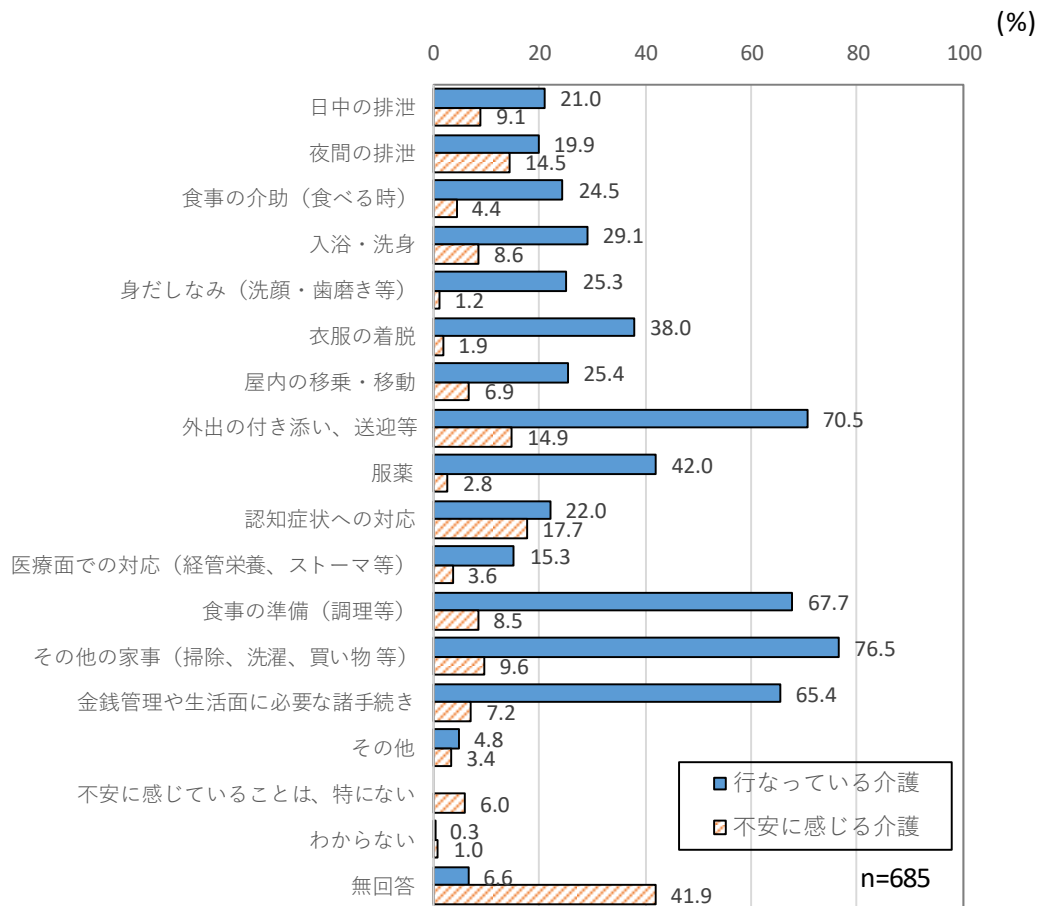
	合計	Q57-3. 一日あたりの介護時間					
		必要なときに手を貸す程度	2～3時間程度	半日程度	ほとんど終日	無回答	
全体	685	45.5	11.2	13.4	19.7	10.1	
要介護度	要支援1	32	68.8	6.3	6.3	6.3	12.5
	要支援2	53	49.1	5.7	11.3	7.5	26.4
	要介護1	170	64.1	10.0	8.8	8.2	8.8
	要介護2	170	52.9	11.2	8.8	18.2	8.8
	要介護3	127	33.9	14.2	18.9	25.2	7.9
	要介護4	50	22.0	18.0	16.0	38.0	6.0
	要介護5	64	10.9	10.9	28.1	43.8	6.3
	わからない	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
介護者の勤務形態	フルタイムで働いている	143	54.5	22.4	11.2	8.4	3.5
	パートタイムで働いている	127	51.2	10.2	18.1	11.0	9.4
	働いていない	308	39.6	7.8	16.2	29.5	6.8
	わからない	9	55.6	0.0	0.0	22.2	22.2

9.5 主な介護者が行っている介護行為と不安を感じる介護行為（MA）

主な介護者が行っている介護行為は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が76.5%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」70.5%、「食事の準備（調理等）」67.7%の順となっています。

不安を感じる介護行為は、「認知症への対応」が17.7%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が14.9%、「夜間の排泄」が14.5%の順となっています。

「認知症への対応」は行っている割合に対し、不安を感じる割合が最も高くなっています。要介護度別にみると、「要介護1」「要介護3」「要介護5」では「認知症状への対応」が最も高くなっています。「要支援1」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が31.3%で最も高くなっています。「要支援2」では「外出の付き添い、送迎等」が37.7%で最も高くなっています。「要介護2」では「夜間の排泄」が20.0%で最も高くなっています。「要介護4」では、「夜間の排泄」及び「認知症状への対応」が同率の20.0%で最も高くなっています。



## II 市民意識調査結果の概要

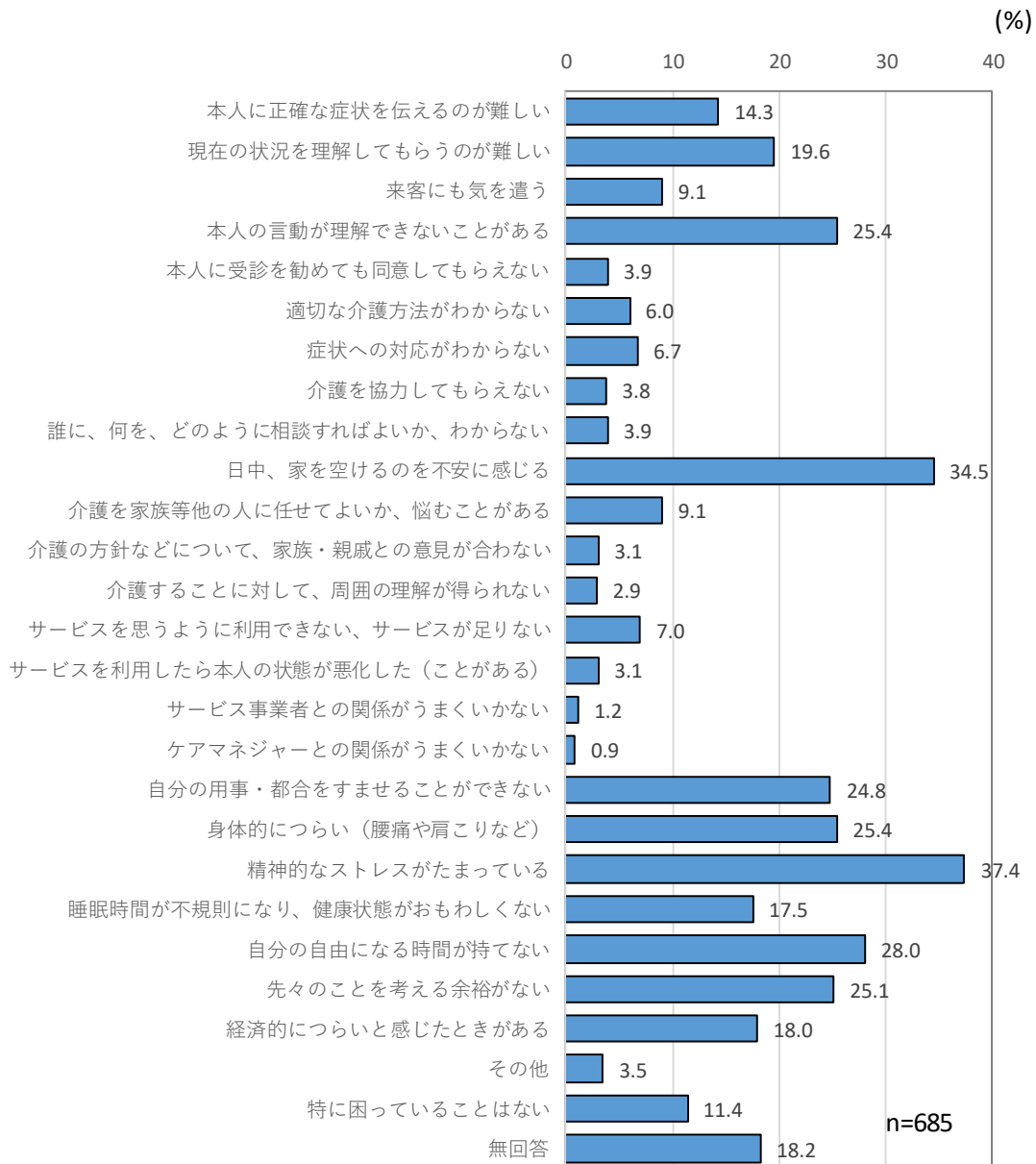
	合計	Q59. 主な介護者が行っている介護行為と不安に感じる介護行為									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	
全体	685	9.1	14.5	4.4	8.6	1.2	1.9	6.9	14.9	2.8	
Q6. 要介護度	要支援1	32	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	9.4	9.4	
	要支援2	53	7.5	3.8	0.0	9.4	0.0	0.0	5.7	37.7	
	要介護1	170	5.9	10.0	3.5	9.4	0.6	1.8	4.7	14.7	
	要介護2	170	10.6	20.0	3.5	7.1	1.2	1.8	6.5	12.4	
	要介護3	127	10.2	17.3	3.9	11.0	3.1	2.4	7.9	11.8	
	要介護4	50	12.0	20.0	8.0	6.0	2.0	4.0	8.0	12.0	
	要介護5	64	14.1	17.2	12.5	7.8	0.0	1.6	10.9	14.1	
わからない	4	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	

	合計	Q59. 主な介護者が行っている介護行為と不安に感じる介護行為									
		認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しない	わからない	無回答
全体	685	17.7	3.6	8.5	9.6	7.2	3.4	6.0	1.0	41.9	
Q6. 要介護度	要支援1	32	9.4	9.4	18.8	31.3	15.6	0.0	3.1	0.0	34.4
	要支援2	53	5.7	3.8	7.5	22.6	3.8	3.8	11.3	1.9	34.0
	要介護1	170	18.8	2.9	7.6	8.8	11.8	2.9	7.6	1.2	43.5
	要介護2	170	18.8	1.8	8.2	8.8	3.5	4.1	5.3	0.6	44.1
	要介護3	127	20.5	2.4	7.1	9.4	4.7	2.4	7.1	0.8	41.7
	要介護4	50	20.0	4.0	8.0	2.0	6.0	2.0	0.0	0.0	46.0
	要介護5	64	23.4	10.9	12.5	1.6	9.4	6.3	3.1	3.1	34.4
わからない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	

9.6 在宅介護で困ったこと・負担に感じること（MA）

「精神的なストレスがたまっている」が37.4%で最も高く、次いで「日中、家を空けるのを不安に感じる」が34.5%、「本人の言動が理解できないことがある」25.4%の順となっています。

要介護度別にみると、“要介護3” “要介護4” では「日中、家を空けるのを不安に感じる」、「要介護5」では「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」、「要支援2」では「特に困っていることはない」が最も高くなっています。



## II 市民意識調査結果の概要

		Q60. 在宅介護で困ったこと・負担に感じること														
合計		本人に正確な症状を伝えるのが難しい	現在の状況を理解してもらいにくい	来客にも気を遣う	本人の言葉が理解できないことがある	本人に受診を勧めても同意してもらえない	適切な介護方法がわからない	症状への対応がわからない	介護を協力してもらえない	誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない	日中、家を空けるのを不安に感じる	介護を家族等に任せようか、悩むことがある	介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	介護することに対して、周囲の理解が得られない	サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	
	全体	685	14.3	19.6	9.1	25.4	3.9	6.0	6.7	3.8	3.9	34.5	9.1	3.1	2.9	7.0
要介護度	要支援1	32	6.3	6.3	0.0	21.9	3.1	3.1	0.0	3.1	6.3	15.6	6.3	0.0	0.0	9.4
	要支援2	53	7.5	9.4	3.8	7.5	7.5	3.8	0.0	1.9	1.9	18.9	5.7	3.8	1.9	0.0
	要介護1	170	10.6	16.5	8.2	22.4	3.5	5.3	6.5	1.8	3.5	30.6	8.2	3.5	3.5	6.5
	要介護2	170	11.8	15.3	7.6	24.7	5.3	4.1	5.3	3.5	3.5	36.5	6.5	1.8	2.4	6.5
	要介護3	127	20.5	30.7	13.4	30.7	3.1	9.4	9.4	5.5	4.7	43.3	13.4	6.3	4.7	7.1
	要介護4	50	18.0	20.0	6.0	32.0	0.0	4.0	8.0	4.0	4.0	48.0	12.0	4.0	2.0	8.0
	要介護5	64	29.7	35.9	15.6	40.6	3.1	10.9	14.1	6.3	6.3	35.9	9.4	0.0	1.6	12.5
わからない	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	

		Q60. 在宅介護で困ったこと・負担に感じること														
合計		サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)	サービス事業者との関係がうまくいかない	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	自分の用事・都合をすませることができない	身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	精神的なストレスがたまっている	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	自分の自由になる時間が持たない	先々のことを考える余裕がない	経済的に感じるきがある	その他	特に困っていることはない	無回答		
	全体	685	3.1	1.2	0.9	24.8	25.4	37.4	17.5	28.0	25.1	18.0	3.5	11.4	18.2	
要介護度	要支援1	32	3.1	3.1	0.0	15.6	15.6	21.9	6.3	15.6	12.5	6.3	3.1	18.8	34.4	
	要支援2	53	0.0	0.0	0.0	13.2	18.9	24.5	7.5	13.2	13.2	11.3	1.9	28.3	28.3	
	要介護1	170	1.2	1.2	1.8	18.8	18.8	34.1	12.4	20.6	20.0	14.1	4.7	11.8	16.5	
	要介護2	170	2.4	0.6	1.8	22.4	19.4	38.8	12.9	28.2	28.8	18.2	2.4	10.6	17.6	
	要介護3	127	3.1	0.0	0.0	33.1	29.9	43.3	29.1	42.5	28.3	17.3	5.5	7.9	15.0	
	要介護4	50	2.0	2.0	0.0	32.0	40.0	48.0	24.0	34.0	28.0	26.0	2.0	12.0	14.0	
	要介護5	64	14.1	4.7	0.0	37.5	46.9	43.8	29.7	34.4	35.9	34.4	3.1	3.1	10.9	
わからない	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0		



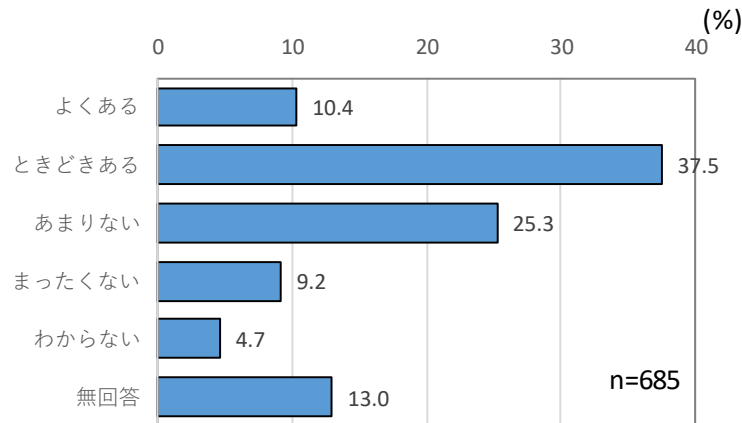
## II 市民意識調査結果の概要

### 9.7.1 介護時にイライラして当たってしまった経験（SA）

「ときどきある」が37.5%、「あまりない」が25.3%、「よくある」が10.4となっています。

当たってしまった状況別にみると「よくある」は“たたいてしまうことがよくある”、“つねってしまうことがある”“おむつを交換しないことがある”“部屋に閉じ込めてしまうことがある”となっています。

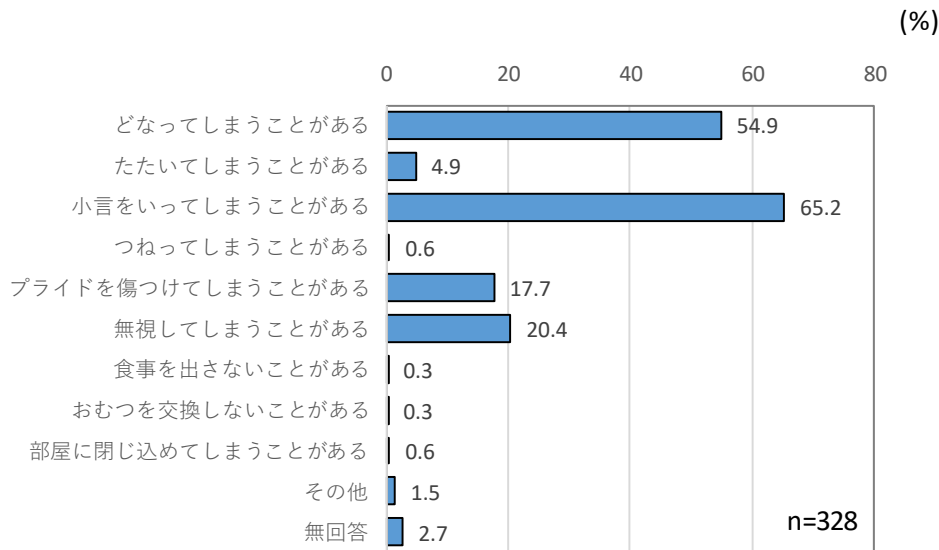
介護度別にみると、「よくある」は“要介護3”、「ときどきある」は“要介護4”で高くなっています。



		合計	Q61. 介護時にイライラして当たってしまった経験					無回答
			よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない	
全体		685	10.4	37.5	25.3	9.2	4.7	13.0
当たってしまった状況	どなってしまうことがある	180	31.7	68.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	たたいてしまうことがある	16	68.8	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	小言をいってしまうことがある	214	19.6	80.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	つねってしまうことがある	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	プライドを傷つけてしまうことがある	58	39.7	60.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	無視してしまうことがある	67	41.8	58.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	食事を出さないことがある	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	おむつを交換しないことがある	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	部屋に閉じ込めてしまうことがある	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 6. 要介護度	要支援1	32	6.3	25.0	15.6	15.6	6.3	31.3
	要支援2	53	5.7	26.4	26.4	7.5	9.4	24.5
	要介護1	170	11.2	32.9	29.4	7.6	2.9	15.9
	要介護2	170	7.6	41.8	27.6	5.9	7.1	10.0
	要介護3	127	15.7	44.9	18.9	11.0	3.1	6.3
	要介護4	50	10.0	52.0	20.0	8.0	4.0	6.0
	要介護5	64	12.5	31.3	26.6	17.2	3.1	9.4
	わからない	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0

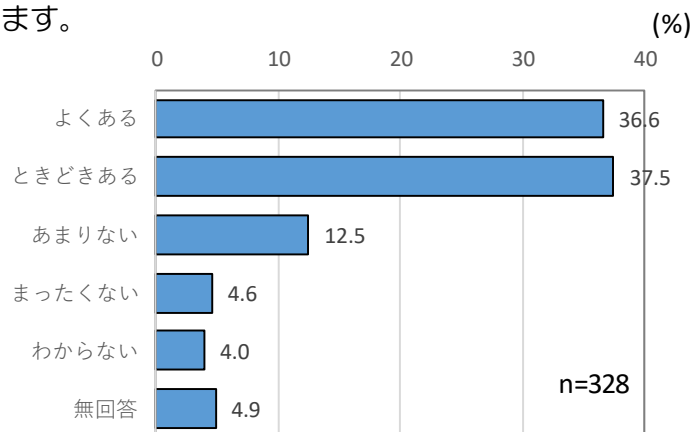
9.7.2 当たってしまった状況（MA）

「小言を言ってしまうことがある」が65.2%と最も高く、次いで「どなってしまうことがある」が54.9%、「無視してしまうことがある」が20.4%の順になっています。



9.7.3 当たってしまった後の後悔や悩み（SA）

「ときどきある」が37.5%と最も高く、次いで「よくある」が36.6%で、合わせた『ある』は74.1%となっています。



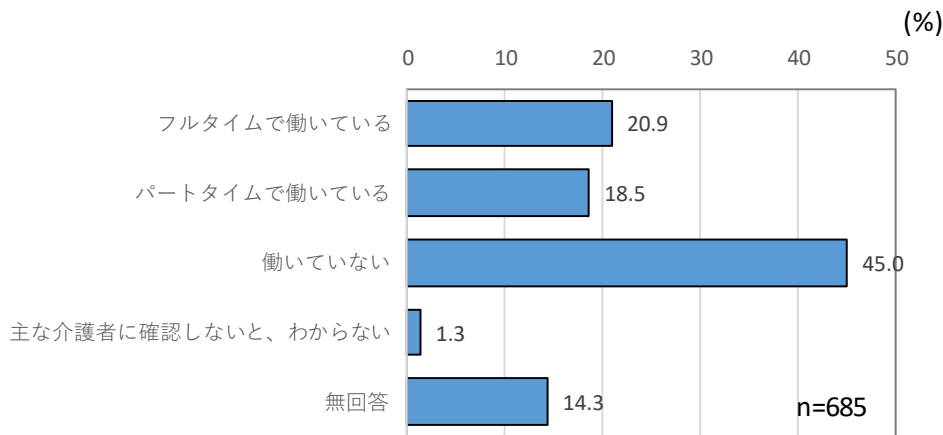
	合計	Q61-2. 当たってしまった後の後悔や悩み						
		よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	
全体	328	36.6	37.5	12.5	4.6	4.0	4.9	
要介護度	要支援1	10	50.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0
	要支援2	17	23.5	35.3	11.8	5.9	11.8	11.8
	要介護1	75	30.7	40.0	16.0	5.3	4.0	4.0
	要介護2	84	39.3	33.3	10.7	3.6	4.8	8.3
	要介護3	77	45.5	35.1	11.7	3.9	2.6	1.3
	要介護4	31	35.5	48.4	9.7	3.2	3.2	0.0
	要介護5	28	32.1	46.4	3.6	10.7	3.6	3.6
	わからない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護者の一日あたりの介護時間	必要ときに手を貸す程度	136	37.5	36.8	11.0	5.9	2.9	5.9
	2～3時間程度	38	28.9	36.8	15.8	2.6	13.2	2.6
	半日程度	47	38.3	36.2	21.3	0.0	2.1	2.1
	ほとんど終日	83	37.3	42.2	9.6	3.6	1.2	6.0

9.8.1 介護者の勤務形態（SA）

「働いていない」が45.0%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が20.9%、「パートタイムで働いている」が18.5%の順となっています。

主な介護者の性別にみると、“男性”が“女性”に比べ「フルタイムで働いている」割合が高くなっています。

主な介護者の年齢別にみると、“20代”～“50代”は「フルタイムで働いている」が最も高くなっています。



		合計	Q62. 主な介護者の勤務形態			主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
			フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない		
全体		685	20.9	18.5	45.0	1.3	14.3
主な介護者の性別	男性	218	27.1	12.4	45.0	0.9	14.7
	女性	409	18.8	22.5	47.7	1.2	9.8
主な介護者の年齢	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	4	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0
	30代	14	50.0	14.3	21.4	0.0	14.3
	40代	62	40.3	25.8	25.8	0.0	8.1
	50代	152	35.5	30.9	25.0	0.7	7.9
	60代	146	19.2	19.9	50.7	0.7	9.6
	70代	184	10.3	11.4	65.2	1.6	11.4
	80歳以上	68	4.4	4.4	63.2	2.9	25.0
	わからない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1	32	9.4	21.9	40.6	3.1	25.0
	要支援2	53	18.9	22.6	30.2	0.0	28.3
	要介護1	170	20.0	20.0	42.9	2.9	14.1
	要介護2	170	24.1	20.0	40.0	0.6	15.3
	要介護3	127	21.3	15.7	54.3	0.0	8.7
	要介護4	50	18.0	28.0	46.0	0.0	8.0
	要介護5	64	26.6	7.8	56.3	1.6	7.8
	わからない	4	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0

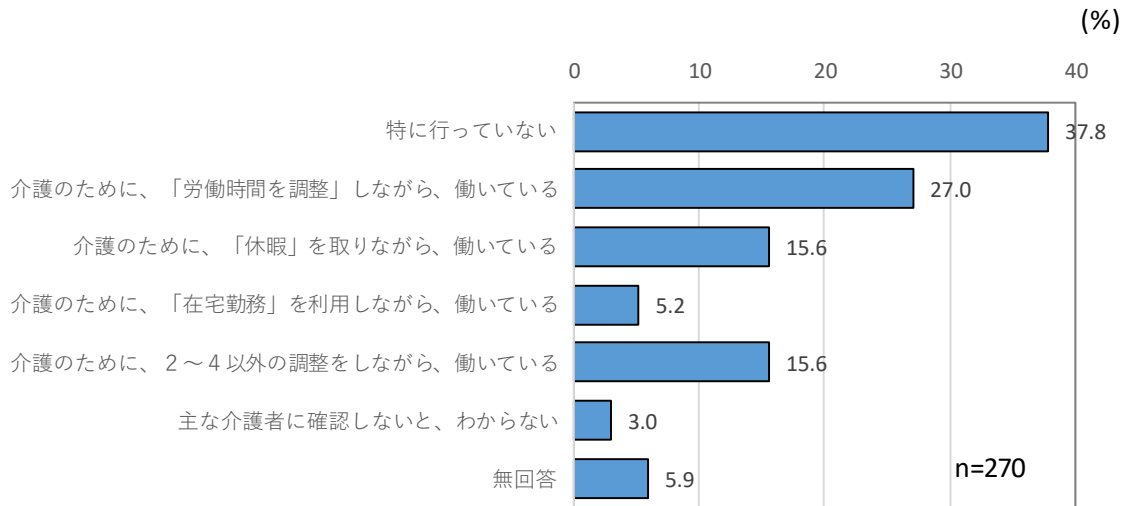
## II 市民意識調査結果の概要

### 9.8.2 介護をするにあたり働き方の調整等の状況（MA）

「特に行っていない」が37.8%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が27.0%、「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」と「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が15.6%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4”“要介護5”では「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が最も高くなっています。

介護者の就労形態別にみると、「特に行っていない」は“フルタイムで働いている”が“パートタイムで働いている”に比べ高くなっています。

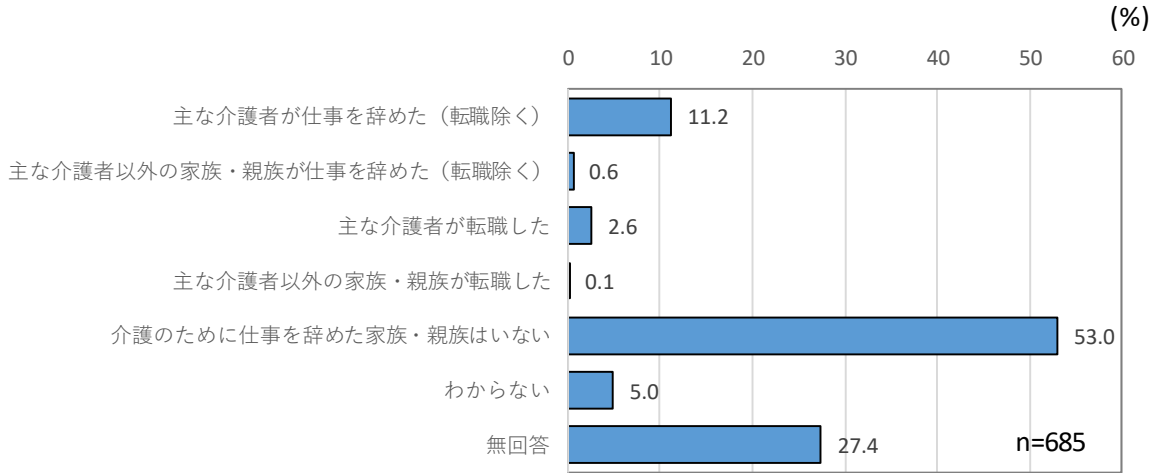


		合計	Q63. 介護をするにあたり働き方の調整等の状況					主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
			特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	介護のために、「休暇」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている		
全体		270	37.8	27.0	15.6	5.2	15.6	3.0	5.9
要介護度	要支援1	10	40.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	20.0
	要支援2	22	31.8	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	4.5
	要介護1	68	42.6	26.5	14.7	2.9	16.2	2.9	5.9
	要介護2	75	40.0	17.3	12.0	5.3	17.3	4.0	8.0
	要介護3	47	38.3	31.9	21.3	4.3	12.8	2.1	2.1
	要介護4	23	30.4	34.8	13.0	4.3	26.1	0.0	4.3
	要介護5	22	31.8	45.5	27.3	4.5	13.6	0.0	0.0
	わからない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護者の勤務形態	フルタイムで働いている	143	41.3	22.4	20.3	4.9	11.9	3.5	4.9
	パートタイムで働いている	127	33.9	32.3	10.2	5.5	19.7	2.4	7.1

9.8.3 介護による就労変更の状況（MA）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が53.0%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が11.2%、「主な介護者が転職した」が2.6%の順で、『就労変更』の割合は、合わせて14.5%となっています。

要介護度別にみても、大きな違いはみられません。



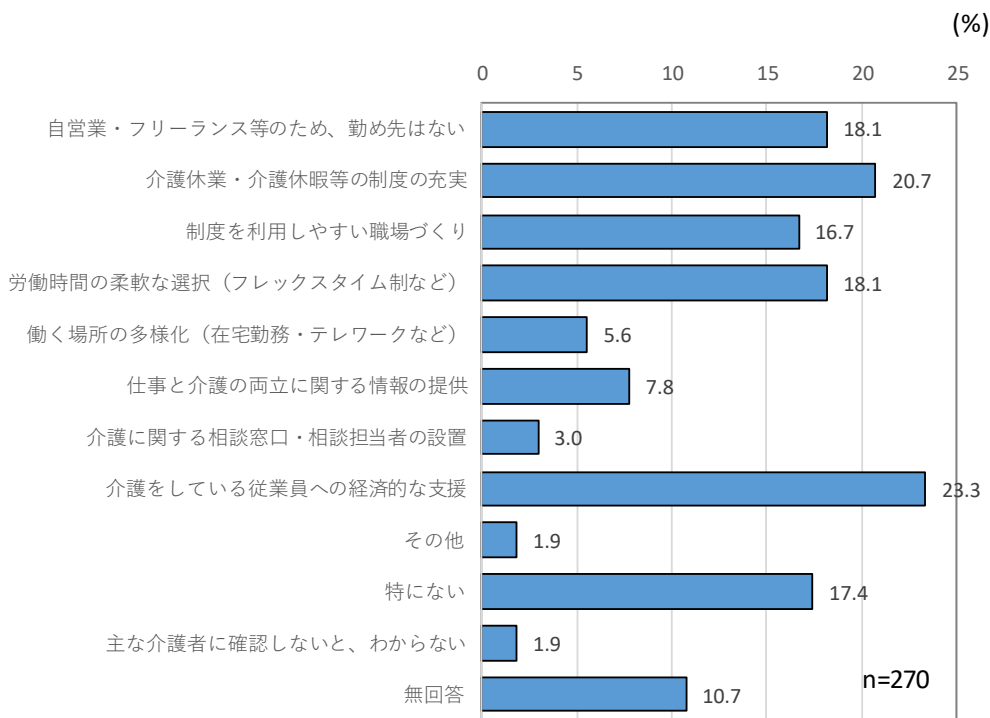
		合計	Q54. 介護による就労変更の状況						
			主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体		685	11.2	0.6	2.6	0.1	53.0	5.0	27.4
要介護度	要支援1	32	12.5	0.0	3.1	0.0	46.9	9.4	28.1
	要支援2	53	1.9	0.0	3.8	0.0	43.4	9.4	41.5
	要介護1	170	6.5	1.2	2.4	0.0	58.2	5.3	26.5
	要介護2	170	12.4	1.2	2.4	0.0	54.1	3.5	26.5
	要介護3	127	15.0	0.0	5.5	0.8	51.2	3.1	24.4
	要介護4	50	16.0	0.0	0.0	0.0	54.0	2.0	28.0
	要介護5	64	14.1	0.0	0.0	0.0	59.4	6.3	20.3
	わからない	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0
介護者の勤務形態	フルタイムで働いている	143	2.1	0.0	3.5	0.7	73.4	3.5	16.8
	パートタイムで働いている	127	7.1	0.8	8.7	0.0	67.7	1.6	14.2
	働いていない	308	18.2	0.6	0.3	0.0	45.5	5.8	29.5
	わからない	9	22.2	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	11.1

9.8.4 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援（MA）

「介護をしている従業者への経済的な支援」が23.3%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が20.7%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」と「介護をしている従業員への経済的な支援」が18.1%の順となっています。

要介護度別にみると、“要支援1” “要介護5” では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高くなっています。

介護者の勤務形態別にみると、“フルタイムで働いている” は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.3%で、“パートタイムで働いている” は、「介護をしている従業者への経済的な支援」及び「特にない」が22.8%と同率で最も高くなっています。



	合計	Q63-1. 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援											
		自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	270	18.1	20.7	16.7	18.1	5.6	7.8	3.0	23.3	1.9	17.4	1.9	10.7
要介護度	要支援1	10	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	40.0
	要支援2	22	13.6	18.2	22.7	22.7	9.1	4.5	0.0	9.1	4.5	31.8	4.5
	要介護1	68	16.2	16.2	11.8	16.2	2.9	7.4	5.9	27.9	1.5	20.6	4.4
	要介護2	75	17.3	21.3	16.0	20.0	6.7	9.3	1.3	24.0	2.7	13.3	2.7
	要介護3	47	17.0	23.4	21.3	19.1	8.5	12.8	0.0	29.8	0.0	14.9	0.0
	要介護4	23	21.7	13.0	8.7	17.4	4.3	4.3	0.0	13.0	0.0	26.1	0.0
	要介護5	22	31.8	40.9	27.3	13.6	4.5	0.0	13.6	27.3	4.5	4.5	0.0
わからない	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
サービス利用の組み合わせ	未利用	16	6.3	31.3	0.0	18.8	0.0	6.3	0.0	37.5	0.0	18.8	0.0
	訪問系のみ	23	8.7	21.7	26.1	30.4	4.3	8.7	8.7	8.7	0.0	26.1	0.0
	組み合わせ	131	23.7	22.1	19.1	16.8	5.3	6.9	3.1	20.6	3.1	16.0	1.5
勤務形態	通所・短期系のみ	60	8.3	21.7	16.7	20.0	8.3	8.3	1.7	28.3	1.7	18.3	5.0
	フルタイム	143	23.8	27.3	21.7	18.9	4.9	9.8	4.2	23.8	2.1	12.6	1.4
	パートタイム	127	11.8	13.4	11.0	17.3	6.3	5.5	1.6	22.8	1.6	22.8	2.4

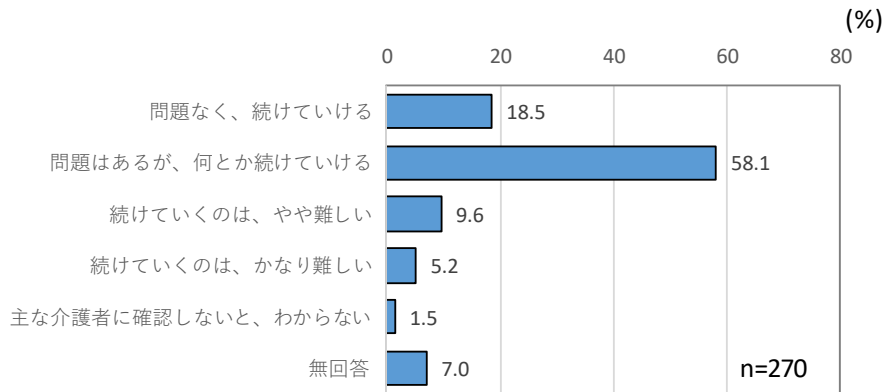
9.8.5 今後働きながらの介護継続状況（SA）

「問題はあるが、何とか続けていける」が58.1%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が18.5%、「続けていくのは難しい」が9.6%となっています。

「続けていくのはかなり難しい」と「続けていくのは難しい」を合わせた『難しい』は14.8%となっています。

『難しい』は、要介護度別にみると“要介護5”で36.3%、主な介護者の1日当たりの介護時間別にみると、“半日程度”が25.7%で高くなっています。

勤務形態別では、大きな違いはみられません。

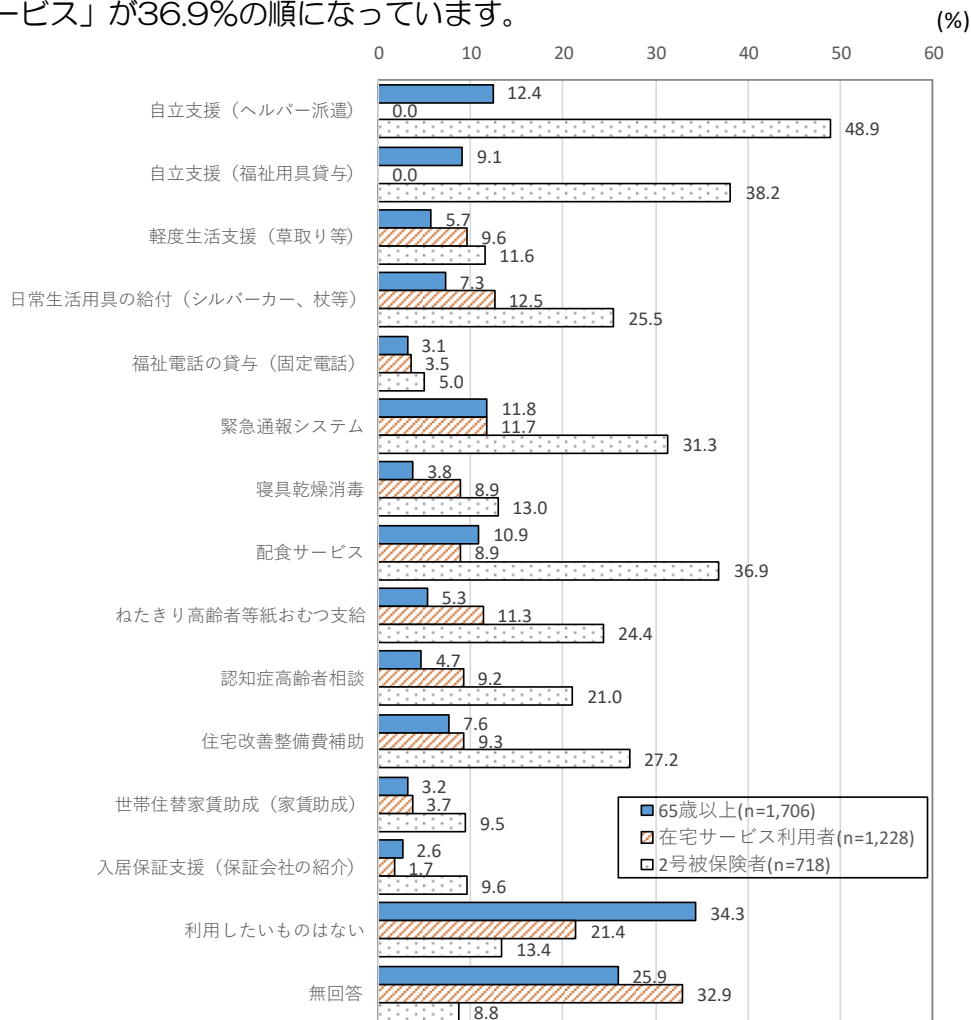


	合計	Q63-2. 今後働きながらの介護継続状況					
		問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	270	18.5	58.1	9.6	5.2	1.5	7.0
Q 6. 要介護度	要支援1	10	30.0	60.0	0.0	0.0	10.0
	要支援2	22	22.7	45.5	18.2	4.5	4.5
	要介護1	68	17.6	64.7	4.4	2.9	8.8
	要介護2	75	21.3	53.3	6.7	8.0	9.3
	要介護3	47	17.0	57.4	10.6	6.4	6.4
	要介護4	23	17.4	65.2	8.7	4.3	4.3
	要介護5	22	9.1	54.5	31.8	4.5	0.0
わからない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
主な介護者の一日あたりの介護時間	必要なときに手を貸す程度	143	26.6	53.8	8.4	4.2	5.6
	2～3時間程度	45	4.4	73.3	11.1	0.0	8.9
	半日程度	39	15.4	51.3	15.4	2.6	5.1
勤務形態	ほとんど終日	26	3.8	65.4	7.7	0.0	7.7
	フルタイムで働いている	143	16.1	60.8	11.2	1.4	7.0
	パートタイムで働いている	127	21.3	55.1	7.9	1.6	7.1

10. 施策・取り組みについて

10.1 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス（SA）

65歳以上、在宅サービス利用者では共に「利用したいものはない」最も高くなっています。一方で、2号被保険者の回答率が全体的に高くなっており、「自立支援（ヘルパー派遣）」が48.9%で最も高くなっています。次いで「自立支援（福祉用具貸与）」が38.2%、「配食サービス」が36.9%の順になっています。



（65歳以上）

		合計	Q89. 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス							
			自立支援（ヘルパー派遣）	自立支援（福祉用具貸与）	軽度生活支援（草取り等）	日常生活用具の給付（シルバーカー、杖等）	福祉電話の貸与（固定電話）	緊急通報システム	寝具乾燥消毒	配食サービス
全体		1706	12.4	9.1	5.7	7.3	3.1	11.8	3.8	10.9
年齢（統合）	前期高齢者（65歳～74歳）	609	6.6	5.3	5.4	3.6	1.6	11.3	2.5	8.2
	後期高齢者（75歳以上）	1054	16.0	11.4	6.2	9.6	3.8	12.2	4.4	12.4

		合計	Q89. 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス							利用したくないものはない	無回答
			ねたきり高齢者等紙おむつ支給	認知症高齢者相談	住宅改善整備費補助	世帯住替家賃助成（家賃助成）	入居保証支援（保証会社の紹介）	利用したくないものはない	無回答		
全体		1706	5.3	4.7	7.6	3.2	2.6	34.3	25.9		
年齢（統合）	前期高齢者（65歳～74歳）	609	2.5	3.3	6.4	3.6	2.6	48.1	20.2		
	後期高齢者（75歳以上）	1054	6.9	5.5	8.3	2.9	2.5	26.9	28.3		



## II 市民意識調査結果の概要

### (2号被保険者：55～64歳)

		合計	問50. 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス							
			自立支援 (ヘルパー派遣)	自立支援 (福祉用具貸与)	軽度生活 支援(草 取り等)	日常生活 用具の給 付(シル バー カー、杖 等)	福祉電話 の貸与 (固定電 話)	緊急通報 システム	寝具乾燥 消毒	配食サー ビス
全体		718	48.9	38.2	11.6	25.5	5.0	31.3	13.0	36.9
年齢	55～59歳	364	50.0	36.3	11.8	24.7	5.2	29.9	14.0	39.0
	60～64歳	345	48.7	40.6	11.3	26.4	4.9	33.3	12.2	35.7

		合計	問50. 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス						無回答
			寝たきり 高齢者等 紙おむつ 支給	認知症高 齢者相談	住宅改善 整備費補 助	世帯住替 家賃助成 (家賃助 成)	入居保証 支援(保 証会社の 紹介)	特に利用 したいと 思うもの はない	
全体		718	24.4	21.0	27.2	9.5	9.6	13.4	8.8
年齢	55～59歳	364	25.3	21.7	27.7	10.7	9.3	12.4	7.1
	60～64歳	345	23.5	20.6	27.0	8.4	9.9	14.5	9.0

### (在宅サービス利用者)

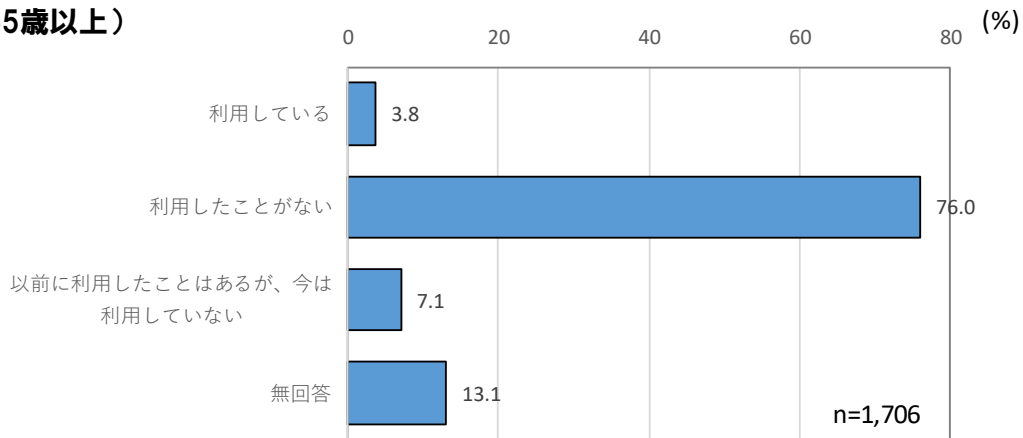
		合計	Q50. 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス						
			軽度生活 支援(草 取り等)	日常生活 用具の給 付(シル バー カー、杖 等)	福祉電話 の貸与 (固定電 話)	緊急通報 システム	寝具乾燥 消毒	配食サー ビス	ねたきり 高齢者等 紙おむつ 支給
全体		1228	9.6	12.5	3.5	11.7	8.9	8.9	11.3
要介護度 (統合)	要支援(1・2)	208	13.9	18.8	5.8	11.5	9.6	11.1	3.8
	要介護(1・2)	537	8.9	13.8	3.4	12.7	10.4	10.1	9.7
	要介護(3～5)	337	10.7	10.7	3.6	14.8	8.6	8.3	22.8

		合計	Q50. 今後3年間に利用したい高齢者福祉サービス						無回答
			認知症高 齢者相談	住宅改善 整備費補 助	世帯住替 家賃助成 (家賃助 成)	入居保証 支援(保 証会社の 紹介)	利用した いものは ない		
全体		1228	9.2	9.3	3.7	1.7	21.4	32.9	
要介護度 (統合)	要支援(1・2)	208	5.3	11.5	3.4	0.5	21.6	33.2	
	要介護(1・2)	537	11.7	8.9	4.8	2.4	24.8	25.3	
	要介護(3～5)	337	10.7	11.3	3.3	1.8	23.4	21.1	

10.2.1 川口市老人福祉センター「たたら荘」の利用状況（SA）

「利用したことがない」が最も高くなっています。これを年齢別にみると、“前期高齢者（65～74歳）”では86.0%で、“後期高齢者（75歳以上）”は71.5%で“前期高齢者”が高くなっています。

（65歳以上）

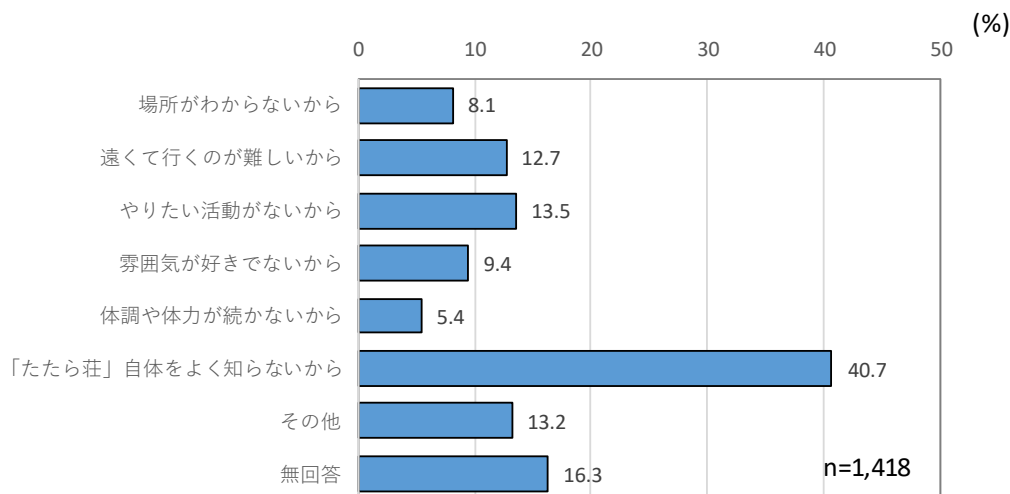


	合計	Q90. 川口市老人福祉センター「たたら荘」の利用状況			
		利用している	利用したことがない	以前に利用したことはあるが、今は利用していない	無回答
全体	1706	3.8	76.0	7.1	13.1
年齢（統合）					
前期高齢者（65歳～74歳）	609	2.6	86.0	2.3	9.0
後期高齢者（75歳以上）	1054	4.4	71.5	9.8	14.3

10.2.2 川口市老人福祉センター「たたら荘」を利用しない理由（MA）

「たたら荘」自体を良く知らないから」が最も高くなっています。

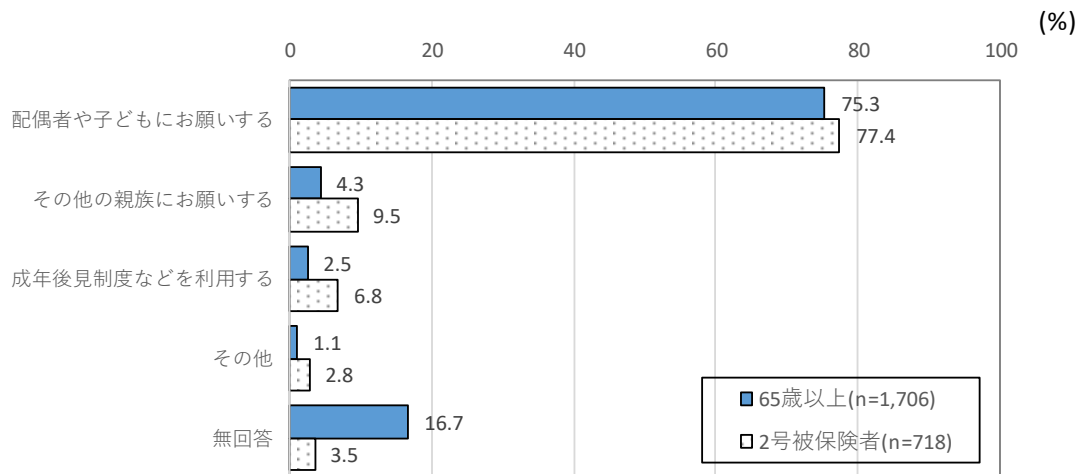
（65歳以上）



## II 市民意識調査結果の概要

### 10.3 判断能力低下時の金銭管理やサービス手続きについて（SA）

65歳以上、2号被保険者共に「配偶者や子どもにお願いする」が最も高くなっています。



#### （65歳以上）

		合計	Q91. 判断能力低下時の金銭管理やサービス手続きについて				
			配偶者や子どもにお願いする	その他の親族にお願いする	成年後見制度などを利用する	その他	無回答
全体		1706	75.3	4.3	2.5	1.1	16.7
年齢（統合）	前期高齢者（65歳～74歳）	609	77.8	4.4	4.4	1.5	11.8
	後期高齢者（75歳以上）	1054	75.1	4.2	1.5	0.9	18.3

#### （2号被保険者：55～64歳）

		合計	問51. 判断能力低下時の金銭管理やサービス手続きについて				
			配偶者や子どもにお願いする	その他の親族にお願いする	成年後見制度などを利用する	その他	無回答
全体		718	77.4	9.5	6.8	2.8	3.5
年齢	55～59歳	364	75.0	10.2	8.8	2.7	3.3
	60～64歳	345	81.2	8.7	4.6	2.9	2.6

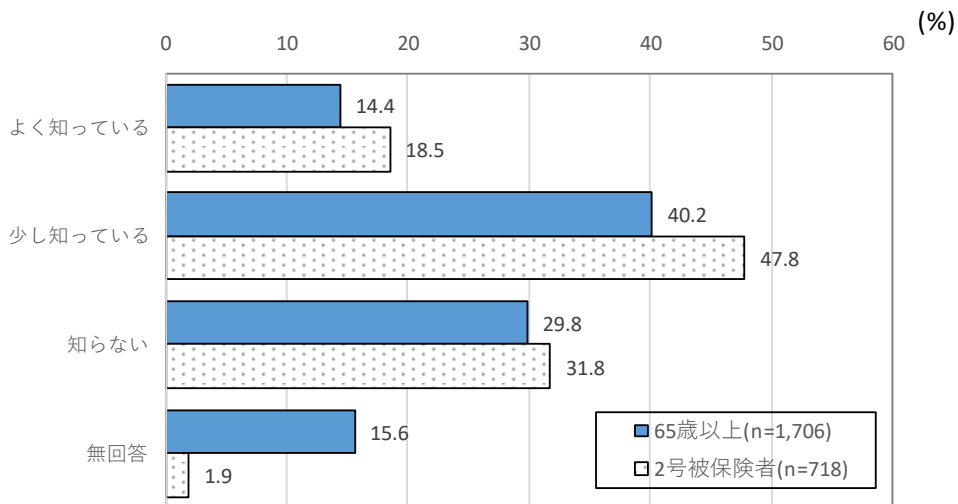
## II 市民意識調査結果の概要

### 10.4.1 成年後見制度認知状況（SA）

65歳以上、2号被保険者共に「少し知っている」が最も高くなっています。65歳以上では40.2%、2号被保険者では47.8%と65歳以上より高くなっています。

65歳以上を年齢別にみると、「前期高齢者（65～74歳）」は45.5%、「後期高齢者（75歳以上）」は37.9%で「前期高齢者」の方が高くなっています。

2号被保険者では、「55～59歳」は43.7%、「60～64歳」は52.5%で「60～64歳」が高くなっています。



#### （65歳以上）

		合計	Q91-1. 成年後見制度認知状況			
			よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
全体		1706	14.4	40.2	29.8	15.6
年齢（統合）	前期高齢者（65歳～74歳）	609	16.7	45.5	28.2	9.5
	後期高齢者（75歳以上）	1054	13.1	37.9	31.1	17.9

#### （2号被保険者：55～64歳）

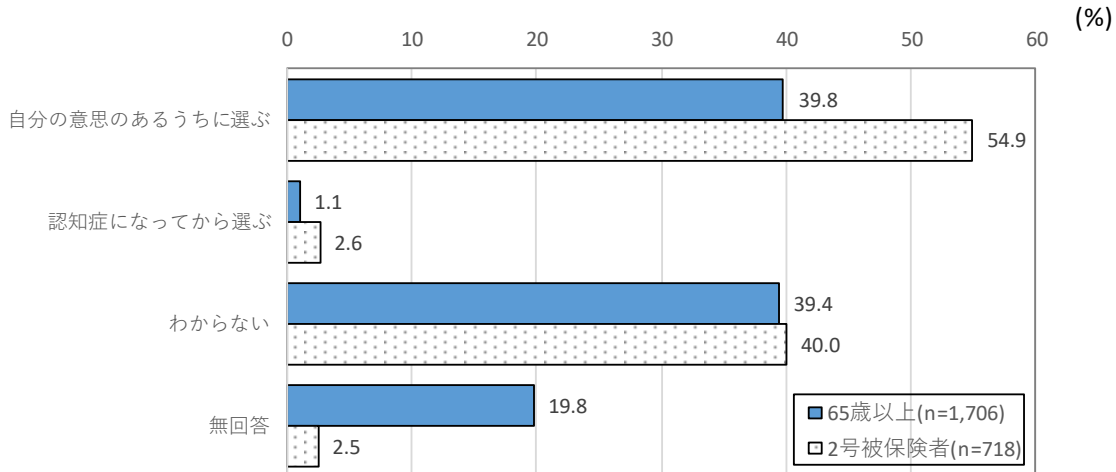
		合計	問51-1. 成年後見制度認知状況			
			よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
全体		718	18.5	47.8	31.8	1.9
年齢	55～59歳	364	18.1	43.7	36.8	1.4
	60～64歳	345	19.1	52.5	27.0	1.4

## II 市民意識調査結果の概要

### 10.4.2 成年後見人選出時期（SA）

65歳以上、2号被保険者共に「自分の意志があるうちに選ぶ」が最も高くなっています。65歳以上の39.8%より2号被保険者54.9%が高くなっています。

65歳以上の“後期高齢者（75歳以上）”は「わからない」が38.9%で最も高くなっています。



#### （65歳以上）

		合計	Q91-2. 成年後見人選出時期			
			自分の意思のあるうちに選ぶ	認知症になってから選ぶ	わからない	無回答
全体		1706	39.8	1.1	39.4	19.8
年齢（統合）	前期高齢者（65歳～74歳）	609	46.6	1.0	41.4	11.0
	後期高齢者（75歳以上）	1054	36.5	1.0	38.9	23.5

#### （2号被保険者：55～64歳）

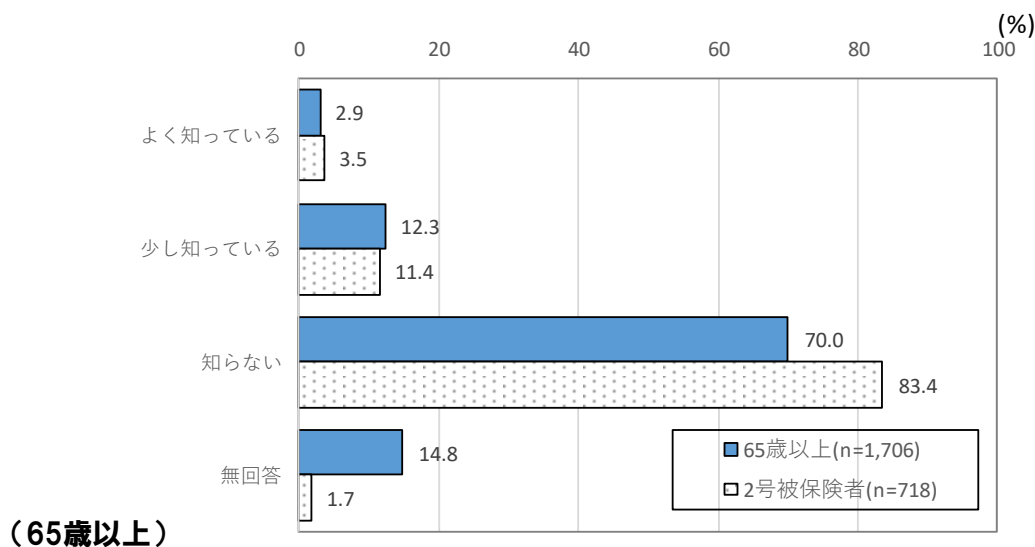
		合計	問51-2. 成年後見人選出時期			
			自分の意思のあるうちに選ぶ	認知症になってから選ぶ	わからない	無回答
全体		718	54.9	2.6	40.0	2.5
年齢	55～59歳	364	51.6	3.0	43.7	1.6
	60～64歳	345	58.6	2.3	36.8	2.3

10.4.3 川口市成年後見センター事業内容認知状況（SA）

65歳以上、2号被保険者共に「知らない」が最も高くなっています。「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた割合は、65歳以上では15.2%、2号被保険者では14.9%となっています。

65歳以上を年齢別にみると、“前期高齢者（65～74歳）”が74.1%、“後期高齢者（75歳以上）”が68.6%となっており、「知らない」と回答されたのは、“前期高齢者”が多くなっています。

2号被保険者を年齢別にみると、“55～59歳”は83.2%、“60～64歳”は84.6%で若干“60～64歳”が高くなっています。



(65歳以上)

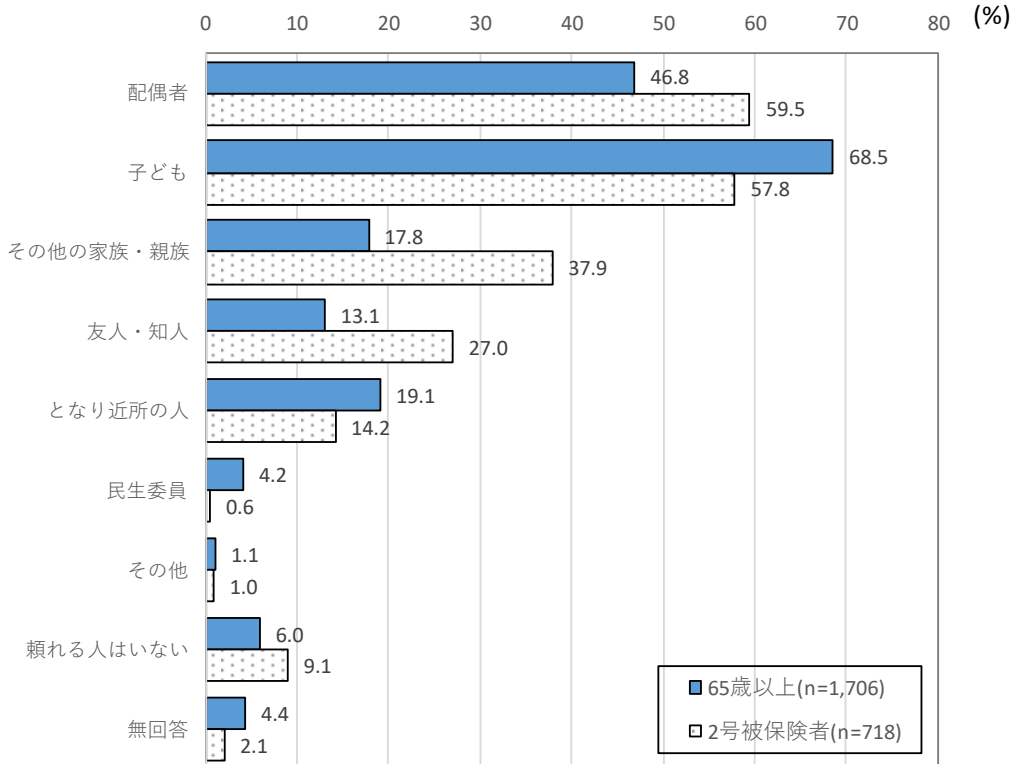
		合計	Q91-3. 川口市成年後見センター事業内容認知状況			
			よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
全体		1706	2.9	12.3	70.0	14.8
年齢 (統合)	前期高齢者 (65歳～74歳)	609	3.3	12.8	74.1	9.9
	後期高齢者 (75歳以上)	1054	2.6	12.1	68.6	16.7

(2号被保険者：55～64歳)

		合計	問51-3. 川口市成年後見センター事業内容認知状況			
			よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
全体		718	3.5	11.4	83.4	1.7
年齢	55～59歳	364	4.7	11.3	83.2	0.8
	60～64歳	345	2.0	11.9	84.6	1.4

10.5 地震・火災や風水害時に頼れる人（MA）

「配偶者」は65歳以上では46.8%、2号被保険者では59.5%と2号被保険者が高くなっています。「子ども」は65歳以上で68.5%、2号被保険者では57.8%で65歳以上が高くなっています。

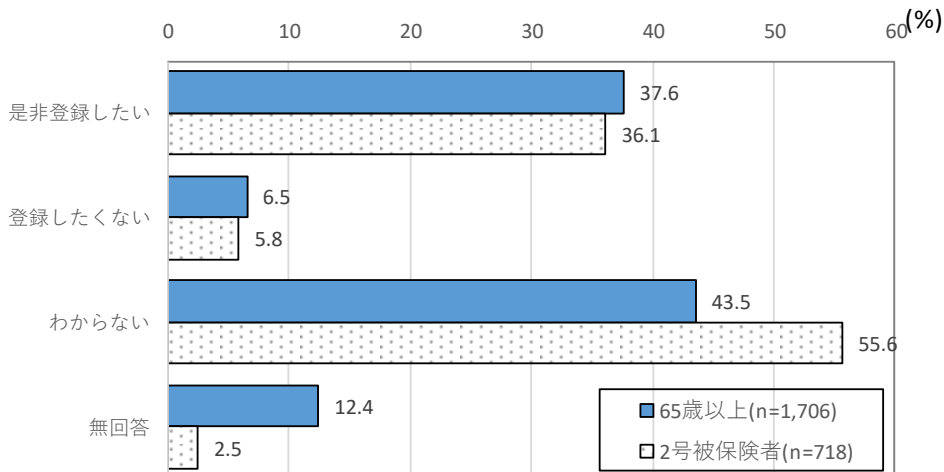


（2号被保険者：55～64歳）

		問52. 地震・火災や風水害時に頼れる人									
		合計	配偶者	子ども	その他の家族・親族	友人・知人	となり近所の人	民生委員	その他	頼れる人はいない	無回答
全体		718	59.5	57.8	37.9	27.0	14.2	0.6	1.0	9.1	2.1
年齢	55～59歳	364	56.0	55.5	39.8	26.9	13.2	0.8	1.6	10.7	0.8
	60～64歳	345	63.8	61.2	36.5	27.8	15.7	0.3	0.3	7.5	2.0

10.6 災害発生時の援助活動名簿への登録意向（SA）

「是非登録したい」は、65歳以上では37.6%、2号被保険者では36.1%となっています。

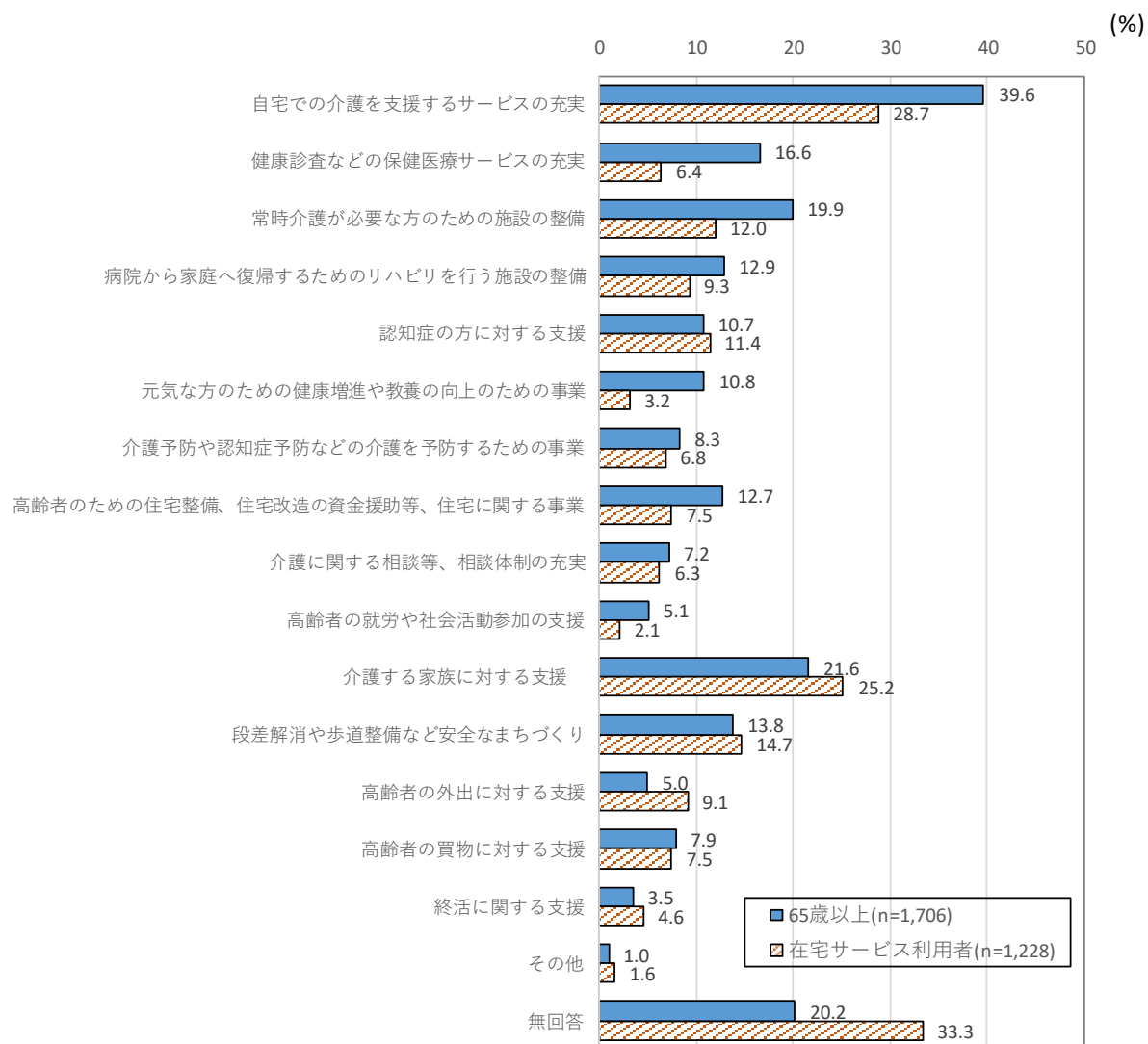


(2号被保険者：55～64歳)

		合計	問53. 災害発生時の援助活動名簿への登録意向			
			是非登録したい	登録したくない	わからない	無回答
全体		718	36.1	5.8	55.6	2.5
年齢	55～59歳	364	36.8	5.5	56.3	1.4
	60～64歳	345	35.4	6.4	55.7	2.6

10.7 今後市が優先して取り組むべき内容（MA）

65歳以上、在宅サービス利用者共に「自宅での介護を支援するサービスの充実」が最も高く、65歳以上では39.6%、在宅サービス利用者では28.7%となっています。次いで「介護する家族に対する支援」となっており、65歳以上では21.6%、在宅サービス利用者では25.2%となっています。





11. 生活機能評価について

65歳以上調査における基本チェックリスト設問等については、生活機能評価を行います。

11.1 生活機能評価手法の概要

(1) 生活機能

①運動器機能低下：次の設問で3項目以上、該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
Q11①	階段	「3. できない」
Q11②	椅子からの立ち上がり	「3. できない」
Q11③	15分歩行	「3. できない」
Q12	転倒経験	「1. 何度もある」「2. 1度ある」
Q13	転倒不安	「1. とても不安である」「2. やや不安である」

②転倒リスク：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
Q12	転倒経験	「1. 何度もある」「2. 1度ある」

③閉じこもり傾向：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

※Q15 に該当する方がリスク該当者（かつ問Q16 に該当は要注意者）

問番号	項目	選択肢
Q14	週1回の外出	「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」
Q15	外出回数減少	「1. とても減っている」「2. 減っている」

④低栄養：次の設問が2問ともに該当する場合

問番号	項目	選択肢
Q22	身長・体重	( ) cm ( ) kg BMI (体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)})が18.5以下の 場合
Q28	体重減	「1. はい」

⑤口腔機能低下：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
Q27	咀嚼	「3. あまり噛めないので、食べるものが限られて いる」「4. ほとんど噛めない」

⑥認知機能低下：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
Q32①	物忘れ	「1. はい」
Q32②	電話をかける	「2. いいえ」
Q32③	今日の日付が不明	「1. はい」

⑦うつ傾向：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
Q70	ゆううつな気持ち	「1. はい」
Q71	こころから楽しめない	「1. はい」

(2) 老研式活動能力指標

①手段的自立度 (IADL<sup>2</sup>) : 以下の5設問の合計点数で評価

・ 5点 : 高い ・ 4点 : やや低い ・ 0~3点 : 低い

問番号	項目	配点	選択肢
Q34①	外出	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」
Q34②	買い物	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」
Q34③	支払い	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」
Q34④	預貯金	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」
Q34⑤	食事用意	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」

②知的能動性 : 以下の4設問の合計点数で評価

・ 4点 : 高い ・ 3点 : やや低い ・ 0~2点 : 低い

問番号	項目	配点	選択肢
Q36①	年金書類	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
Q36②	新聞	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
Q36③	本や雑誌	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
Q36④	健康への関心	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」

③社会的役割 : 以下の4項目の合計点数で評価

・ 4点 : 高い ・ 3点 : やや低い ・ 0~2点 : 低い

問番号	項目	配点	選択肢
Q36⑤	友人の家訪問	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
Q36⑥	家族・友人からの相談	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
Q36⑦	病人の見舞い	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
Q36⑧	若い人への話しかけ	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」

<sup>2</sup> IADL : 買物・電話・外出など高い自立した日常生活をおくる能力。手段的日常生活動作能力。

(3) 大友式認知症予測テスト

認知症のごく初期、認知症の始まり、あるいは認知症に進展する可能性のある状態を判定

・ 0～8点：正常 ・ 9～13点：要注意 ・ 14～20点：要診断

問番号	項目	配点	選択肢
Q41①	同じ話を繰り返す	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41②	名前を思い出せない	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41③	物のしまい場所を忘れる	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41④	漢字を忘れる	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41⑤	今しようとしていることを忘れる	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41⑥	器具の説明を読むのを面倒がる	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41⑦	理由もないのに気がふさぐ	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41⑧	身だしなみに無関心である	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41⑨	外出がおっくうである	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」
Q41⑩	物が見当たらないことを他人のせいにする	0	「1. ほとんどない」
		1	「2. 時々ある」
		2	「3. 頻繁にある」

11.2 評価結果

(1) 生活機能

生活機能の評価項目ごとの該当者（リスクあり）の割合をみると、“認定なし”でその割合が最も低く、また、全体的には、要支援1よりも要支援2で該当者の割合は高く、生活機能のレベルを反映した結果となっていますが、閉じこもり傾向や低栄養、認知機能低下、うつ傾向については、“介護予防・日常生活支援総合事業対象者<sup>3</sup>”が、“要介護1”に比べて高くなっています。

性別では、口腔機能低下と認知機能低下で“男性”の該当者割合が高く、年齢別では、すべての項目で、“後期高齢者”が高くなっています。

項目別では、低栄養については、該当者（リスク者）割合は、すべての要介護状態区分においても少なく、認知機能低下やうつ傾向は、“認定なし”にも一定の該当者がみられます。

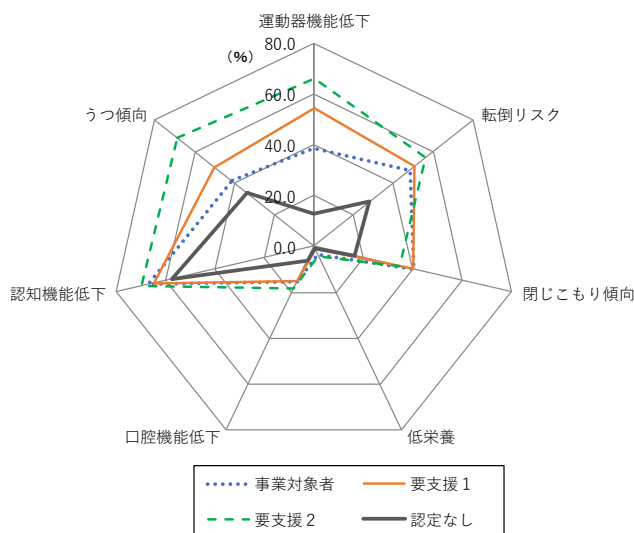
**市全体**

日常生活圏域別該当者割合

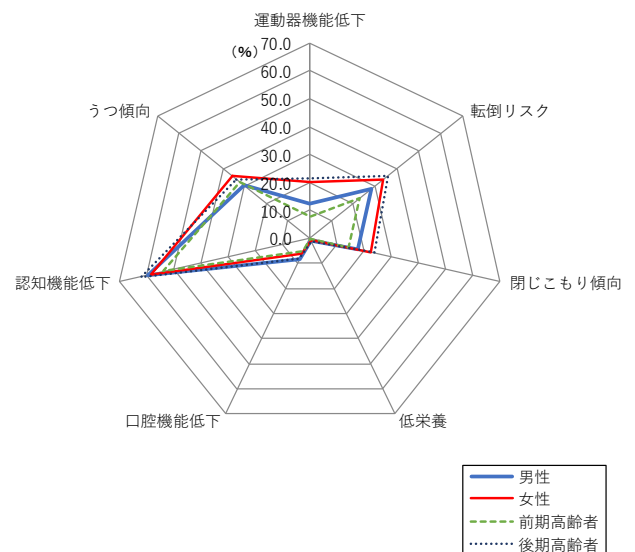
(%)

	要介護状態区分別				性別		年齢別	
	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし	男性	女性	前期高齢者	後期高齢者
運動器機能低下	38.5	54.4	65.9	12.9	12.4	20.0	7.7	21.4
転倒リスク	48.3	50.6	56.5	28.2	28.0	33.7	22.8	36.0
閉じこもり傾向	40.6	40.0	34.8	16.6	17.6	22.4	14.3	23.9
低栄養	3.4	1.2	4.3	0.9	0.9	1.0	0.5	1.2
口腔機能低下	15.2	15.4	18.4	6.0	8.3	6.3	5.4	8.3
認知機能低下	66.7	64.8	69.4	57.2	59.6	58.4	53.7	62.1
うつ傾向	41.4	50.0	68.9	33.8	30.2	35.5	32.0	33.7

【要介護状態区分別】



【性別・年齢別】



<sup>3</sup> 「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」は、表やグラフでは「事業対象者」と略表記

## II 市民意識調査結果の概要

	合計	運動器機能低下			転倒リスク			閉じこもり傾向 (3区分)				
		該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	要注意	該当者	非該当者	無回答	
全体	1706	274	1244	188	528	1122	56	218	123	1326	39	
	100.0	16.1	72.9	11.0	30.9	65.8	3.3	12.8	7.2	77.7	2.3	
日常生活圏域	中央	86	15	65	6	24	62	0	12	6	68	0
	100.0	17.4	75.6	7.0	27.9	72.1	0.0	14.0	7.0	79.1	0.0	
	横曽根	75	16	53	6	26	47	2	6	4	65	0
	100.0	21.3	70.7	8.0	34.7	62.7	2.7	8.0	5.3	86.7	0.0	
	西	102	15	77	10	26	72	4	15	6	77	4
	100.0	14.7	75.5	9.8	25.5	70.6	3.9	14.7	5.9	75.5	3.9	
	青木	79	11	58	10	23	52	4	12	3	64	0
	100.0	13.9	73.4	12.7	29.1	65.8	5.1	15.2	3.8	81.0	0.0	
	上青木	84	7	69	8	22	60	2	7	8	67	2
	100.0	8.3	82.1	9.5	26.2	71.4	2.4	8.3	9.5	79.8	2.4	
	前川	75	13	53	9	19	54	2	9	8	58	0
	100.0	17.3	70.7	12.0	25.3	72.0	2.7	12.0	10.7	77.3	0.0	
	南平	78	12	56	10	17	59	2	13	7	56	2
	100.0	15.4	71.8	12.8	21.8	75.6	2.6	16.7	9.0	71.8	2.6	
	南平みなみ	73	14	50	9	27	46	0	9	6	58	0
	100.0	19.2	68.5	12.3	37.0	63.0	0.0	12.3	8.2	79.5	0.0	
	新郷	82	16	55	11	34	46	2	9	7	64	2
	100.0	19.5	67.1	13.4	41.5	56.1	2.4	11.0	8.5	78.0	2.4	
	新郷東	83	15	58	10	27	55	1	12	8	62	1
	100.0	18.1	69.9	12.0	32.5	66.3	1.2	14.5	9.6	74.7	1.2	
神根	77	10	59	8	22	53	2	10	7	60	0	
100.0	13.0	76.6	10.4	28.6	68.8	2.6	13.0	9.1	77.9	0.0		
神根東	85	16	60	9	26	55	4	15	8	58	4	
100.0	18.8	70.6	10.6	30.6	64.7	4.7	17.6	9.4	68.2	4.7		
芝	68	12	50	6	26	40	2	7	5	54	2	
100.0	17.6	73.5	8.8	38.2	58.8	2.9	10.3	7.4	79.4	2.9		
芝伊刈	85	18	59	8	26	57	2	15	5	64	1	
100.0	21.2	69.4	9.4	30.6	67.1	2.4	17.6	5.9	75.3	1.2		
芝西	84	13	62	9	26	54	4	8	4	70	2	
100.0	15.5	73.8	10.7	31.0	64.3	4.8	9.5	4.8	83.3	2.4		
安行	86	18	60	8	30	53	3	16	4	62	4	
100.0	20.9	69.8	9.3	34.9	61.6	3.5	18.6	4.7	72.1	4.7		
戸塚	88	9	71	8	29	59	0	9	4	75	0	
100.0	10.2	80.7	9.1	33.0	67.0	0.0	10.2	4.5	85.2	0.0		
戸塚西	80	10	64	6	25	54	1	12	7	61	0	
100.0	12.5	80.0	7.5	31.3	67.5	1.3	15.0	8.8	76.3	0.0		
鳩ヶ谷東部	82	17	63	2	28	53	1	5	7	70	0	
100.0	20.7	76.8	2.4	34.1	64.6	1.2	6.1	8.5	85.4	0.0		
鳩ヶ谷西部	74	9	60	5	19	51	4	7	6	60	1	
100.0	12.2	81.1	6.8	25.7	68.9	5.4	9.5	8.1	81.1	1.4		
性別	男性	785	97	618	70	220	549	16	88	50	637	10
	100.0	12.4	78.7	8.9	28.0	69.9	2.0	11.2	6.4	81.1	1.3	
	女性	876	175	605	96	295	554	27	126	70	663	17
	100.0	20.0	69.1	11.0	33.7	63.2	3.1	14.4	8.0	75.7	1.9	
年齢	前期高齢者	609	47	531	31	139	462	8	47	40	515	7
	100.0	7.7	87.2	5.1	22.8	75.9	1.3	7.7	6.6	84.6	1.1	
	後期高齢者	1054	226	691	137	379	640	35	169	83	783	19
	100.0	21.4	65.6	13.0	36.0	60.7	3.3	16.0	7.9	74.3	1.8	
要介護状態区分	事業対象者	33	10	16	7	14	15	4	11	2	19	1
	100.0	30.3	48.5	21.2	42.4	45.5	12.1	33.3	6.1	57.6	3.0	
	要支援1	91	43	36	12	44	43	4	28	8	54	1
	100.0	47.3	39.6	13.2	48.4	47.3	4.4	30.8	8.8	59.3	1.1	
要支援2	49	29	15	5	26	20	3	14	2	30	3	
100.0	59.2	30.6	10.2	53.1	40.8	6.1	28.6	4.1	61.2	6.1		
その他 (認定なし)	1182	142	955	85	327	832	23	108	85	973	16	
	100.0	12.0	80.8	7.2	27.7	70.4	1.9	9.1	7.2	82.3	1.4	

## II 市民意識調査結果の概要

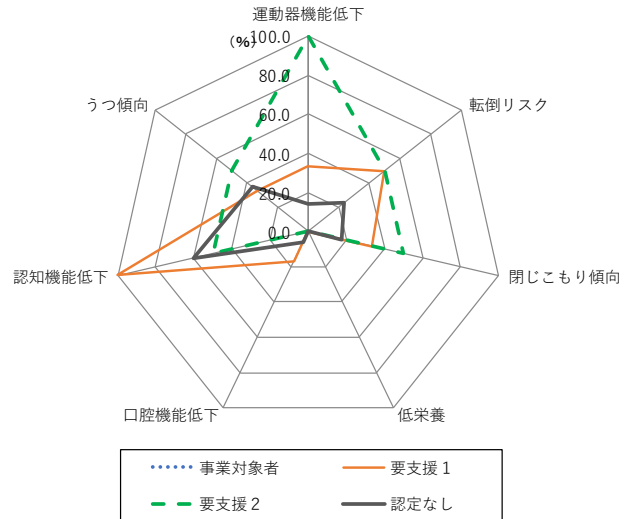
		低栄養			口腔機能低下			認知機能低下			うつ傾向			
		該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	該当	非該当	無回答	
全体		17 1.0	1560 91.4	129 7.6	122 7.2	1511 88.6	73 4.3	995 58.3	583 34.2	128 7.5	559 32.8	994 58.3	153 9.0	
日常生活圏域	中央	1 1.2	79 91.9	6 7.0	5 5.8	80 93.0	1 1.2	53 61.6	30 34.9	3 3.5	28 32.6	51 59.3	7 8.1	
	横曽根	1 1.3	66 88.0	8 10.7	6 8.0	68 90.7	1 1.3	44 58.7	26 34.7	5 6.7	31 41.3	36 48.0	8 10.7	
	西	3 2.9	93 91.2	6 5.9	8 7.8	92 90.2	2 2.0	59 57.8	38 37.3	5 4.9	37 36.3	56 54.9	9 8.8	
	青木	0 0.0	75 94.9	4 5.1	3 3.8	74 93.7	2 2.5	46 58.2	32 40.5	1 1.3	23 29.1	50 63.3	6 7.6	
	上青木	0 0.0	73 86.9	11 13.1	8 9.5	69 82.1	7 8.3	48 57.1	31 36.9	5 6.0	22 26.2	50 59.5	12 14.3	
	前川	0 0.0	71 94.7	4 5.3	3 4.0	68 90.7	4 5.3	49 65.3	19 25.3	7 9.3	25 33.3	41 54.7	9 12.0	
	南平	1 1.3	73 93.6	4 5.1	5 6.4	71 91.0	2 2.6	46 59.0	24 30.8	8 10.3	30 38.5	42 53.8	6 7.7	
	南平みなみ	1 1.4	64 87.7	8 11.0	7 9.6	64 87.7	2 2.7	39 53.4	27 37.0	7 9.6	27 37.0	40 54.8	6 8.2	
	新郷	1 1.2	75 91.5	6 7.3	3 3.7	77 93.9	2 2.4	52 63.4	22 26.8	8 9.8	27 32.9	48 58.5	7 8.5	
	新郷東	0 0.0	81 97.6	2 2.4	7 8.4	75 90.4	1 1.2	49 59.0	30 36.1	4 4.8	24 28.9	54 65.1	5 6.0	
	神根	3 3.9	68 88.3	6 7.8	4 5.2	68 88.3	5 6.5	53 68.8	21 27.3	3 3.9	31 40.3	41 53.2	5 6.5	
	神根東	1 1.2	78 91.8	6 7.1	7 8.2	76 89.4	2 2.4	54 63.5	25 29.4	6 7.1	26 30.6	56 65.9	3 3.5	
	芝	1 1.5	62 91.2	5 7.4	3 4.4	58 85.3	7 10.3	45 66.2	20 29.4	3 4.4	24 35.3	42 61.8	2 2.9	
	芝伊刈	1 1.2	81 95.3	3 3.5	10 11.8	75 88.2	0 0.0	53 62.4	26 30.6	6 7.1	31 36.5	46 54.1	8 9.4	
	芝西	0 0.0	79 94.0	5 6.0	5 6.0	74 88.1	5 6.0	49 58.3	29 34.5	6 7.1	26 31.0	50 59.5	8 9.5	
	安行	0 0.0	81 94.2	5 5.8	10 11.6	70 81.4	6 7.0	47 54.7	31 36.0	8 9.3	30 34.9	50 58.1	6 7.0	
	戸塚	0 0.0	82 93.2	6 6.8	7 8.0	81 92.0	0 0.0	41 46.6	42 47.7	5 5.7	26 29.5	57 64.8	5 5.7	
	戸塚西	2 2.5	74 92.5	4 5.0	4 5.0	74 92.5	2 2.5	47 58.8	27 33.8	6 7.5	17 21.3	54 67.5	9 11.3	
	鳩ヶ谷東部	0 0.0	75 91.5	7 8.5	7 8.5	72 87.8	3 3.7	45 54.9	31 37.8	6 7.3	29 35.4	50 61.0	3 3.7	
	鳩ヶ谷西部	0 0.0	69 93.2	5 6.8	8 10.8	64 86.5	2 2.7	36 48.6	34 45.9	4 5.4	20 27.0	46 62.2	8 10.8	
	性別	男性	7 0.9	726 92.5	52 6.6	65 8.3	691 88.0	29 3.7	468 59.6	265 33.8	52 6.6	237 30.2	478 60.9	70 8.9
		女性	9 1.0	806 92.0	61 7.0	55 6.3	791 90.3	30 3.4	512 58.4	306 34.9	58 6.6	311 35.5	502 57.3	63 7.2
	年齢	前期高齢者	3 0.5	586 96.2	20 3.3	33 5.4	567 93.1	9 1.5	327 53.7	253 41.5	29 4.8	195 32.0	390 64.0	24 3.9
		後期高齢者	13 1.2	947 89.8	94 8.9	88 8.3	918 87.1	48 4.6	655 62.1	319 30.3	80 7.6	355 33.7	585 55.5	114 10.8
要介護状態区分	事業対象者	1 3.0	28 84.8	4 12.1	5 15.2	28 84.8	0 0.0	22 66.7	7 21.2	4 12.1	12 36.4	17 51.5	4 12.1	
	要支援1	1 1.1	81 89.0	9 9.9	14 15.4	75 82.4	2 2.2	59 64.8	24 26.4	8 8.8	38 41.8	38 41.8	15 16.5	
	要支援2	2 4.1	44 89.8	3 6.1	9 18.4	39 79.6	1 2.0	34 69.4	11 22.4	4 8.2	31 63.3	14 28.6	4 8.2	
	その他	10 0.8	1103 93.3	69 5.8	71 6.0	1068 90.4	43 3.6	676 57.2	438 37.1	68 5.8	378 32.0	741 62.7	63 5.3	
	(認定なし)													

## II 市民意識調査結果の概要

### 中央

(%)

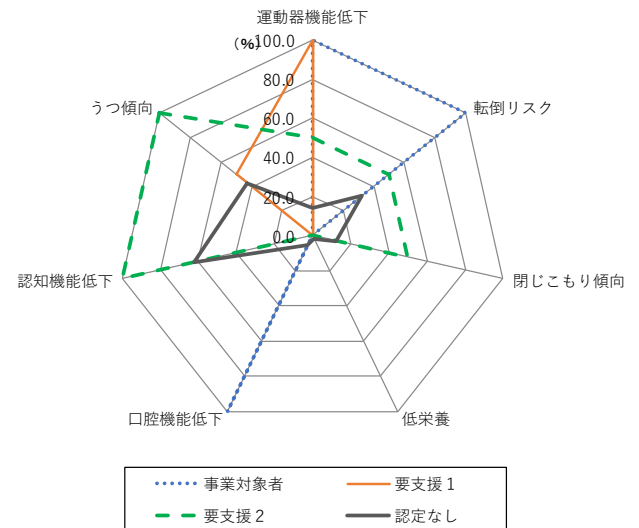
中央	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	-	33.3	100.0	14.3
転倒リスク	-	50.0	50.0	23.8
閉じこもり傾向	-	33.3	50.0	17.5
低栄養	-	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	-	16.7	0.0	6.3
認知機能低下	-	100.0	50.0	60.3
うつ傾向	-	33.3	50.0	36.5



### 横曽根

(%)

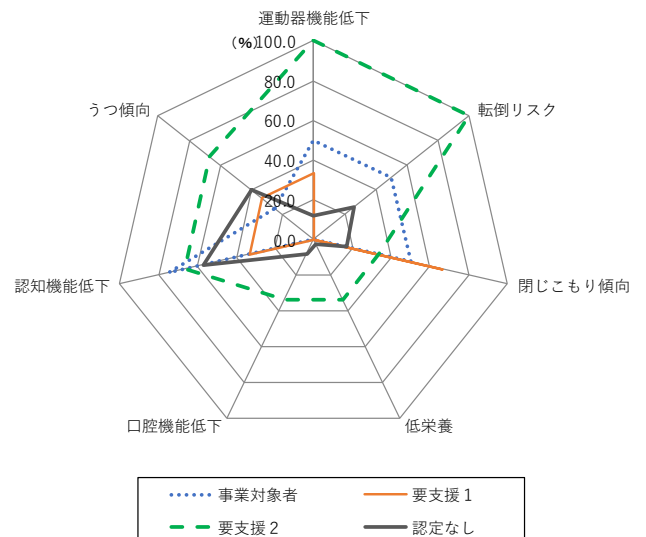
横曽根	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	100.0	100.0	50.0	14.3
転倒リスク	100.0	0.0	50.0	32.1
閉じこもり傾向	0.0	0.0	50.0	12.5
低栄養	0.0	0.0	0.0	1.8
口腔機能低下	100.0	0.0	0.0	5.4
認知機能低下	0.0	0.0	100.0	62.5
うつ傾向	0.0	50.0	100.0	42.9



### 西

(%)

西	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	50.0	33.3	100.0	11.7
転倒リスク	50.0	0.0	100.0	26.0
閉じこもり傾向	50.0	66.7	33.3	16.9
低栄養	0.0	0.0	33.3	2.6
口腔機能低下	0.0	0.0	33.3	7.8
認知機能低下	75.0	33.3	66.7	57.1
うつ傾向	25.0	33.3	66.7	40.3

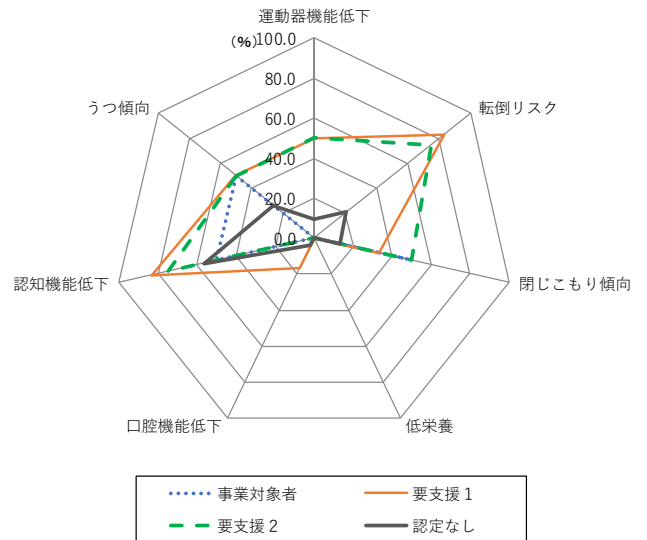


## II 市民意識調査結果の概要

### 青木

(%)

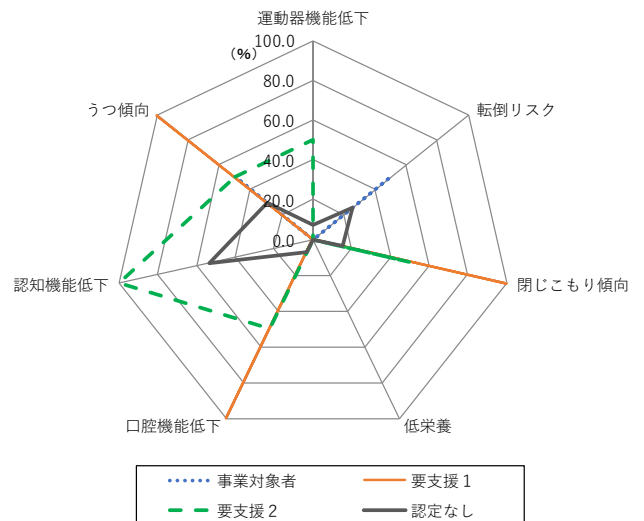
青木	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	0.0	50.0	50.0	9.4
転倒リスク	0.0	83.3	75.0	20.8
閉じこもり傾向	50.0	33.3	50.0	13.2
低栄養	0.0	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	0.0	16.7	0.0	3.8
認知機能低下	50.0	83.3	75.0	56.6
うつ傾向	50.0	50.0	50.0	26.4



### 上青木

(%)

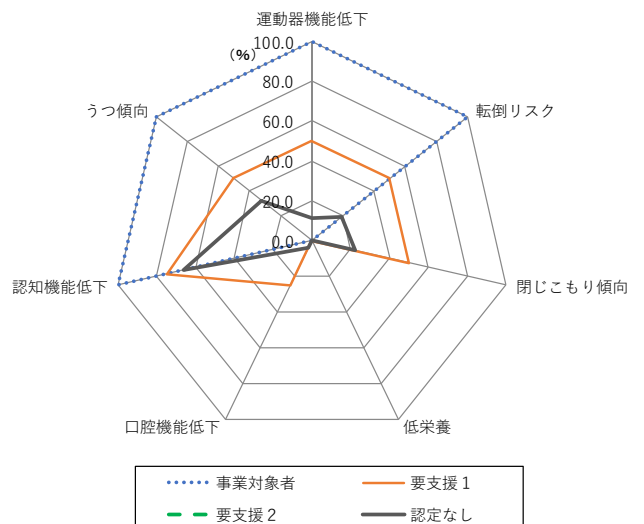
上青木	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	0.0	0.0	50.0	6.9
転倒リスク	50.0	0.0	0.0	25.9
閉じこもり傾向	0.0	100.0	50.0	15.5
低栄養	0.0	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	0.0	100.0	50.0	6.9
認知機能低下	0.0	0.0	100.0	53.4
うつ傾向	50.0	100.0	50.0	29.3



### 前川

(%)

前川	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	100.0	50.0	-	11.3
転倒リスク	100.0	50.0	-	18.9
閉じこもり傾向	0.0	50.0	-	22.6
低栄養	0.0	0.0	-	0.0
口腔機能低下	0.0	25.0	-	3.8
認知機能低下	100.0	75.0	-	66.0
うつ傾向	100.0	50.0	-	32.1



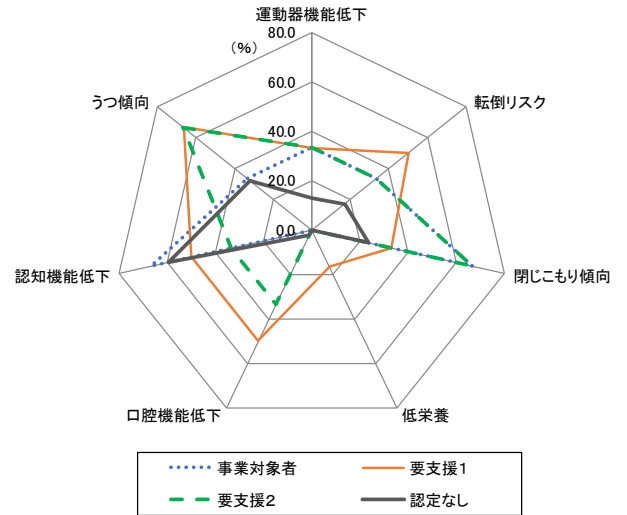


## II 市民意識調査結果の概要

### 南平

(%)

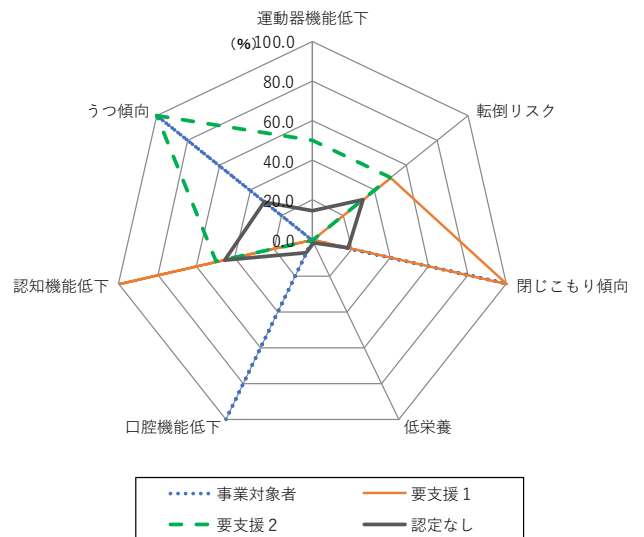
南平	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	33.3	33.3	33.3	12.8
転倒リスク	33.3	50.0	33.3	17.0
閉じこもり傾向	66.7	33.3	66.7	23.4
低栄養	0.0	16.7	0.0	0.0
口腔機能低下	0.0	50.0	33.3	2.1
認知機能低下	66.7	50.0	33.3	59.6
うつ傾向	33.3	66.7	66.7	31.9



### 南平みなみ

(%)

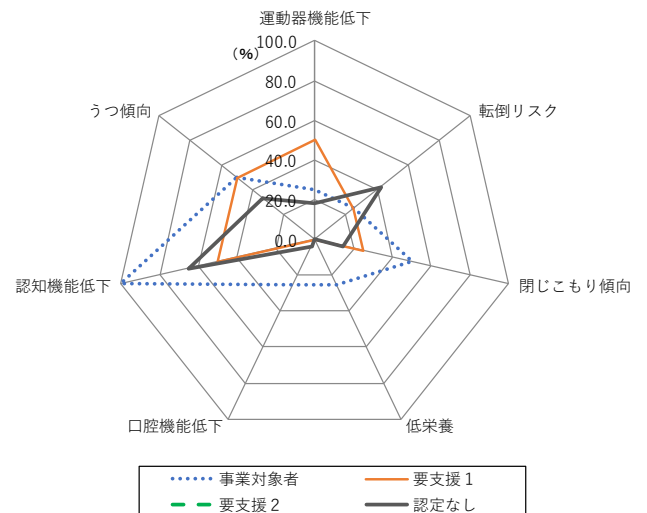
南平みなみ	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	0.0	0.0	50.0	14.5
転倒リスク	0.0	50.0	50.0	32.7
閉じこもり傾向	100.0	100.0	0.0	18.2
低栄養	0.0	0.0	0.0	1.8
口腔機能低下	100.0	0.0	0.0	7.3
認知機能低下	0.0	100.0	50.0	45.5
うつ傾向	100.0	0.0	100.0	30.9



### 新郷

(%)

新郷	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	25.0	50.0	0.0	18.5
転倒リスク	25.0	25.0	0.0	42.6
閉じこもり傾向	50.0	25.0	0.0	14.8
低栄養	25.0	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	25.0	0.0	0.0	3.7
認知機能低下	100.0	50.0	0.0	64.8
うつ傾向	50.0	50.0	0.0	33.3

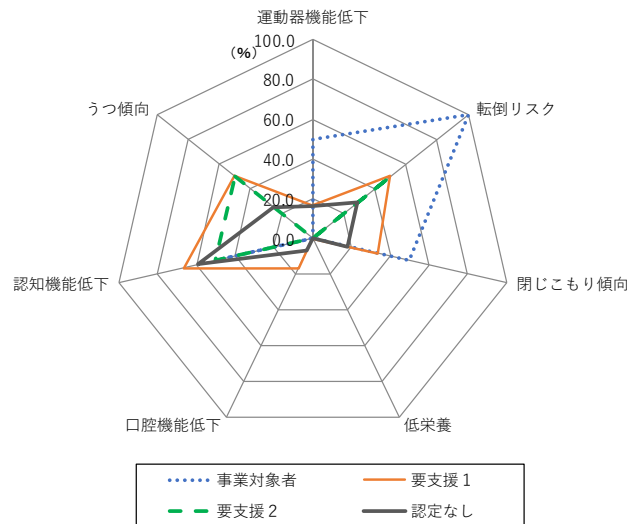


## II 市民意識調査結果の概要

### 新郷東

(%)

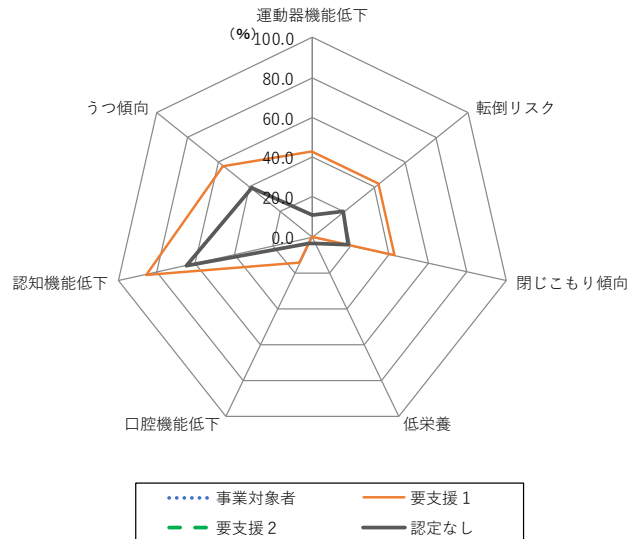
新郷東	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	50.0	16.7	0.0	16.1
転倒リスク	100.0	50.0	50.0	28.6
閉じこもり傾向	50.0	33.3	0.0	17.9
低栄養	0.0	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	0.0	16.7	0.0	7.1
認知機能低下	50.0	66.7	50.0	58.9
うつ傾向	0.0	50.0	50.0	25.0



### 神根

(%)

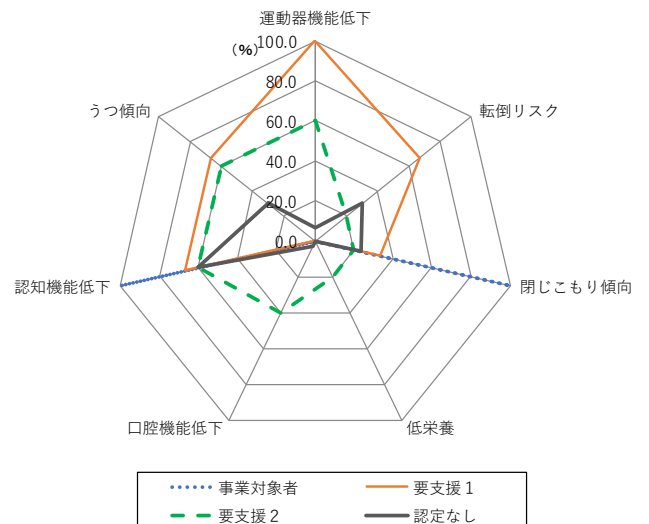
神根	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	-	42.9	-	11.1
転倒リスク	-	42.9	-	20.4
閉じこもり傾向	-	42.9	-	18.5
低栄養	-	0.0	-	3.7
口腔機能低下	-	14.3	-	3.7
認知機能低下	-	85.7	-	64.8
うつ傾向	-	57.1	-	38.9



### 神根東

(%)

神根東	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	-	100.0	60.0	6.7
転倒リスク	0.0	66.7	20.0	30.0
閉じこもり傾向	100.0	33.3	20.0	23.3
低栄養	0.0	0.0	20.0	0.0
口腔機能低下	0.0	0.0	40.0	3.3
認知機能低下	100.0	66.7	60.0	60.0
うつ傾向	0.0	66.7	60.0	30.0

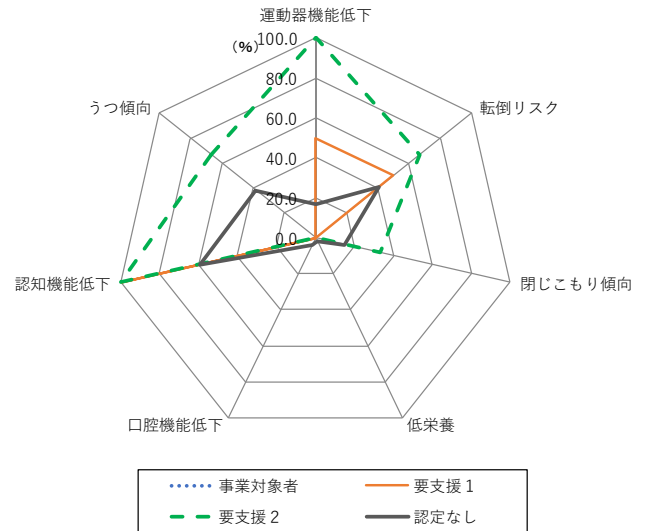


## II 市民意識調査結果の概要

### 芝

(%)

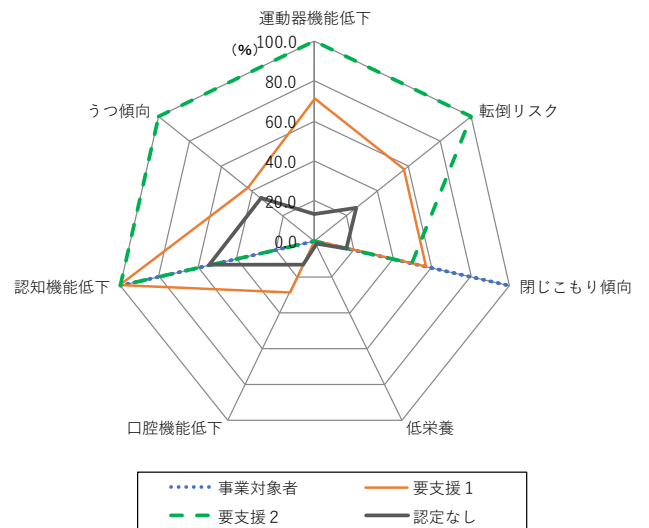
芝	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	-	50.0	100.0	17.0
転倒リスク	-	50.0	66.7	40.4
閉じこもり傾向	-	0.0	33.3	14.9
低栄養	-	0.0	0.0	2.1
口腔機能低下	-	0.0	0.0	4.3
認知機能低下	-	100.0	100.0	59.6
うつ傾向	-	0.0	66.7	38.3



### 芝伊刈

(%)

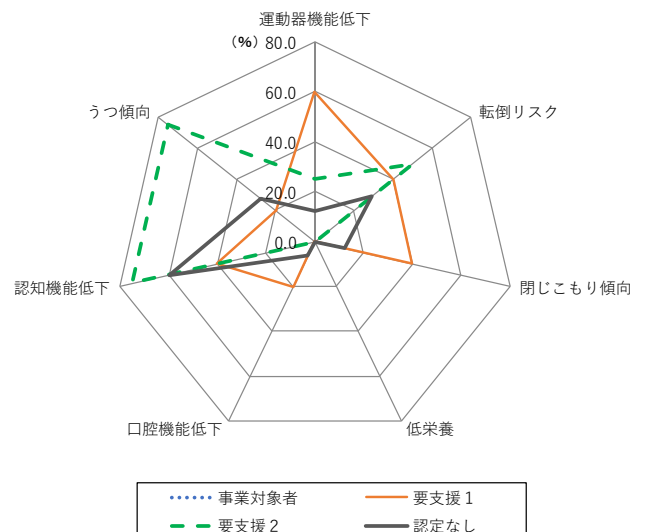
芝伊刈	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	-	71.4	100.0	13.1
転倒リスク	0.0	57.1	100.0	26.2
閉じこもり傾向	100.0	57.1	50.0	16.4
低栄養	0.0	0.0	0.0	1.6
口腔機能低下	0.0	28.6	0.0	13.1
認知機能低下	100.0	100.0	100.0	54.1
うつ傾向	0.0	42.9	100.0	34.4



### 芝西

(%)

芝西	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	-	60.0	25.0	12.3
転倒リスク	-	40.0	50.0	29.2
閉じこもり傾向	-	40.0	0.0	12.3
低栄養	-	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	-	20.0	0.0	6.2
認知機能低下	-	40.0	75.0	60.0
うつ傾向	-	20.0	75.0	27.7

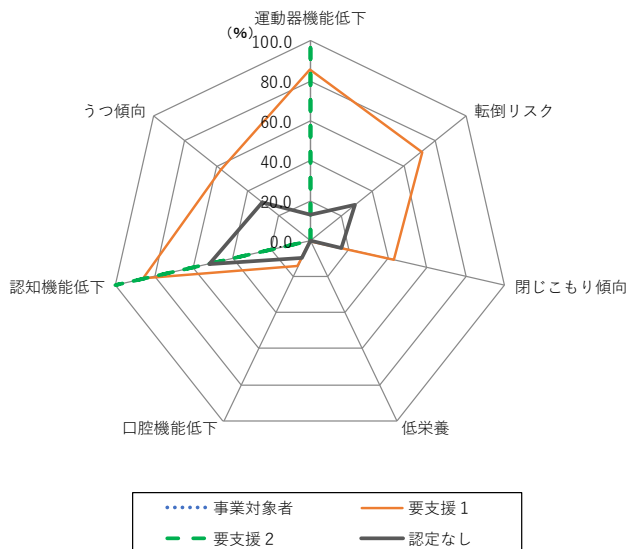


## II 市民意識調査結果の概要

### 安行

(%)

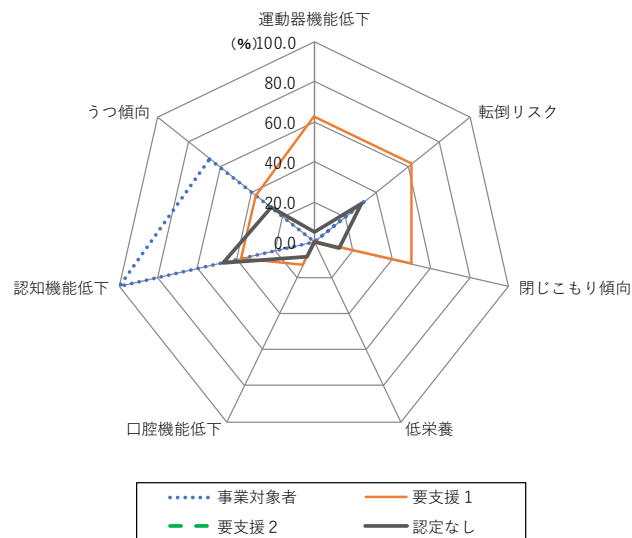
安行	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	-	85.7	100.0	12.9
転倒リスク	-	71.4	0.0	29.0
閉じこもり傾向	-	42.9	0.0	16.1
低栄養	-	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	-	14.3	0.0	9.7
認知機能低下	-	85.7	100.0	51.6
うつ傾向	-	57.1	0.0	30.6



### 戸塚

(%)

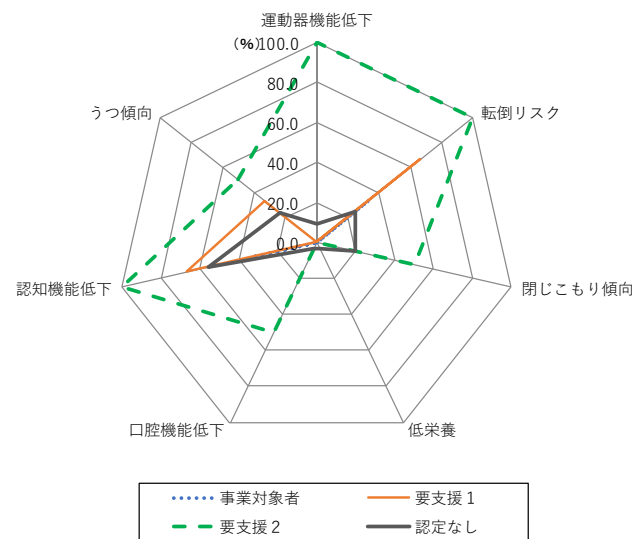
戸塚	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	0.0	62.5	0.0	4.8
転倒リスク	33.3	62.5	0.0	30.6
閉じこもり傾向	0.0	50.0	0.0	12.9
低栄養	0.0	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	0.0	12.5	0.0	8.1
認知機能低下	100.0	37.5	0.0	46.8
うつ傾向	66.7	37.5	0.0	27.4



### 戸塚西

(%)

戸塚西	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	0.0	0.0	100.0	8.9
転倒リスク	33.3	66.7	100.0	25.0
閉じこもり傾向	0.0	0.0	50.0	19.6
低栄養	0.0	0.0	0.0	3.6
口腔機能低下	0.0	0.0	50.0	3.6
認知機能低下	33.3	66.7	100.0	55.4
うつ傾向	0.0	33.3	50.0	23.2

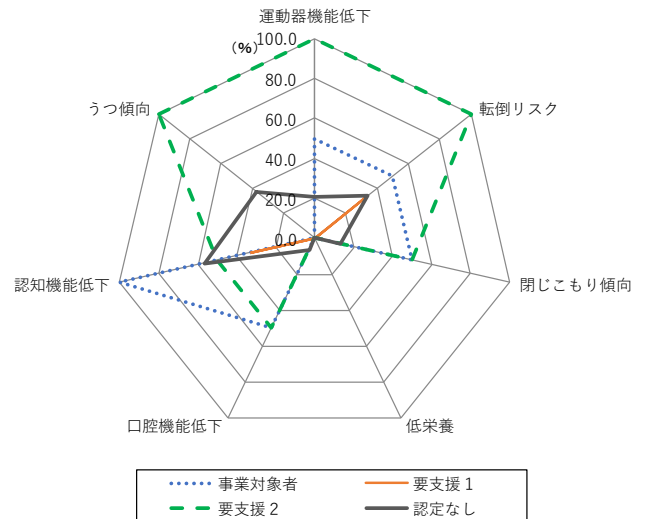


## II 市民意識調査結果の概要

### 鳩ヶ谷東部

(%)

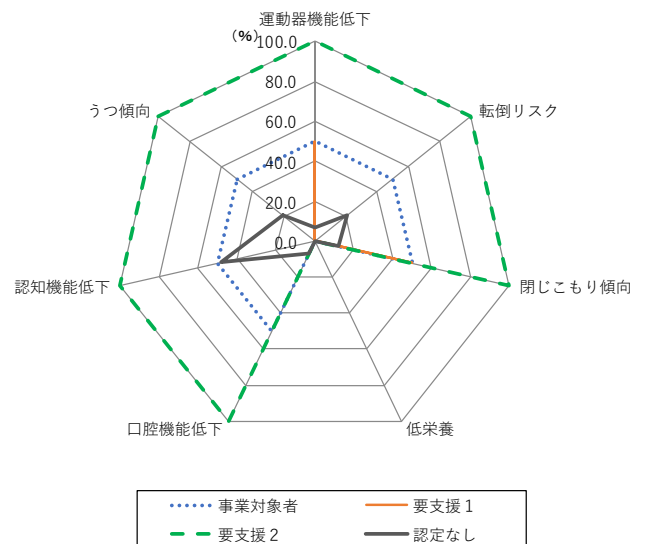
鳩ヶ谷東部	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	50.0	0.0	100.0	21.0
転倒リスク	50.0	33.3	100.0	33.9
閉じこもり傾向	50.0	0.0	50.0	12.9
低栄養	0.0	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	50.0	0.0	50.0	6.5
認知機能低下	100.0	33.3	50.0	56.5
うつ傾向	0.0	0.0	100.0	37.1



### 鳩ヶ谷西部

(%)

鳩ヶ谷西部	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし
運動器機能低下	50.0	50.0	100.0	6.9
転倒リスク	50.0	0.0	100.0	20.7
閉じこもり傾向	50.0	50.0	100.0	12.1
低栄養	0.0	0.0	0.0	0.0
口腔機能低下	50.0	0.0	100.0	6.9
認知機能低下	50.0	0.0	100.0	48.3
うつ傾向	50.0	0.0	100.0	20.7

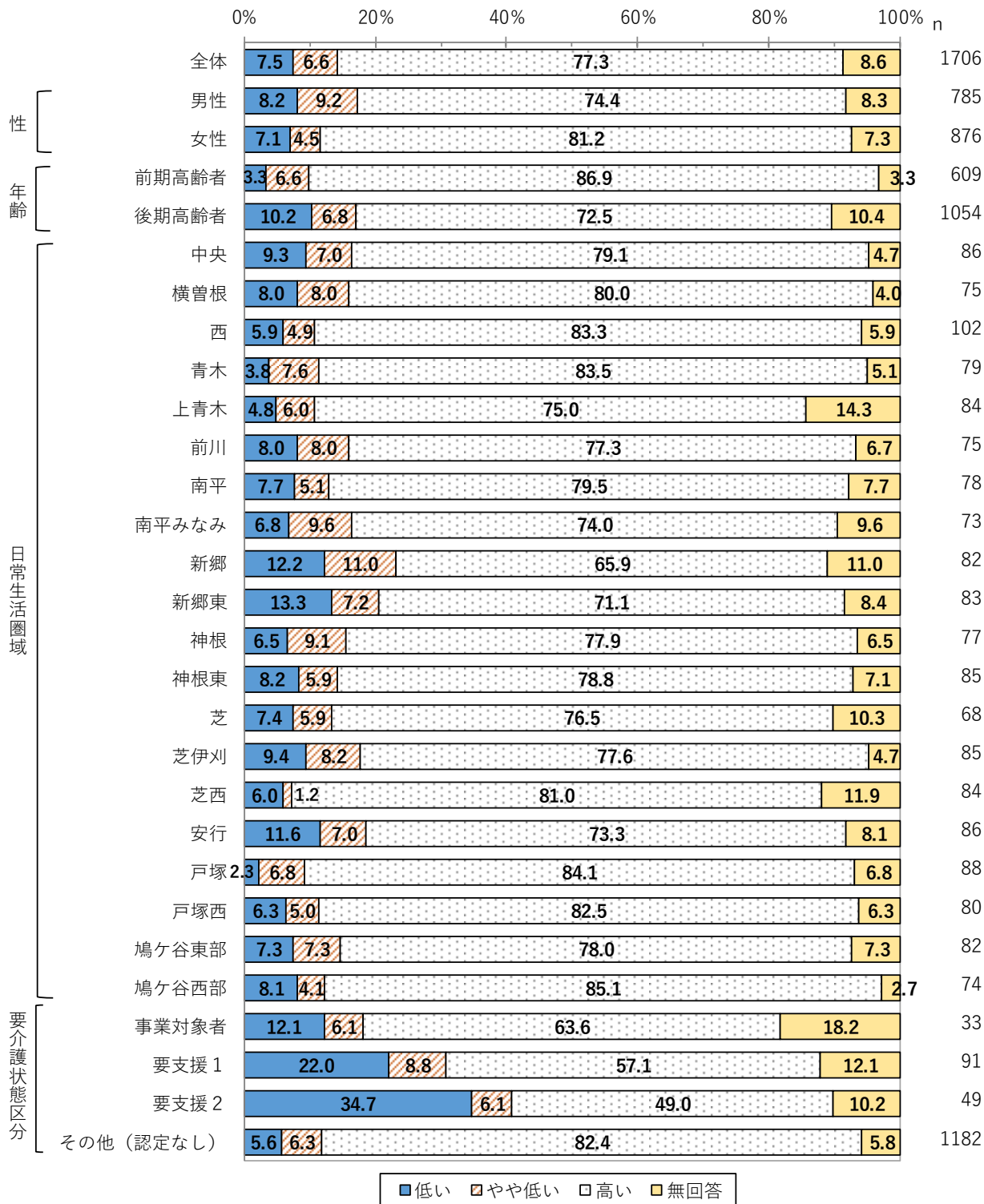


(2) 老研式活動能力指標

①手段的自立度 (IADL)

性別では“女性”が高く、年齢別では“前期高齢者”、日常生活圏域別にみると、“鳩ヶ谷西部”で最も高く“新郷”で最も低くなっています。

要介護状態区分別では、生活機能のレベルを反映し“認定なし”が最も高く、“要支援2”が最も低くなっています。

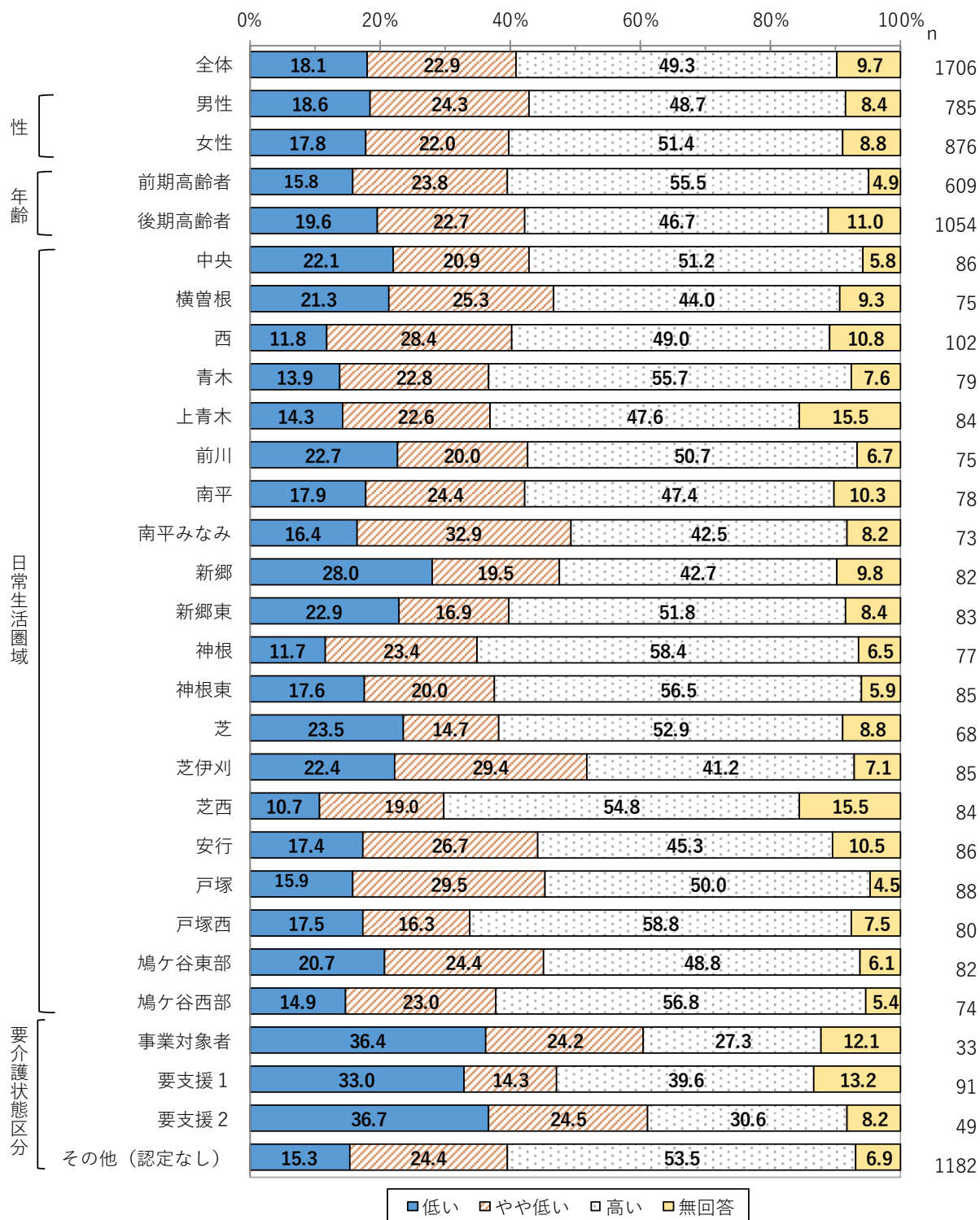


## II 市民意識調査結果の概要

### ②知的能動性

性別では“女性”が高く、年齢別では“前期高齢者”、日常生活圏域別に見ると、“戸塚西”で最も高く“芝伊刈”で最も低くなっています。

要介護状態区分別では、“要支援1”より“介護予防・日常生活支援総合事業対象者”が低くなっています。

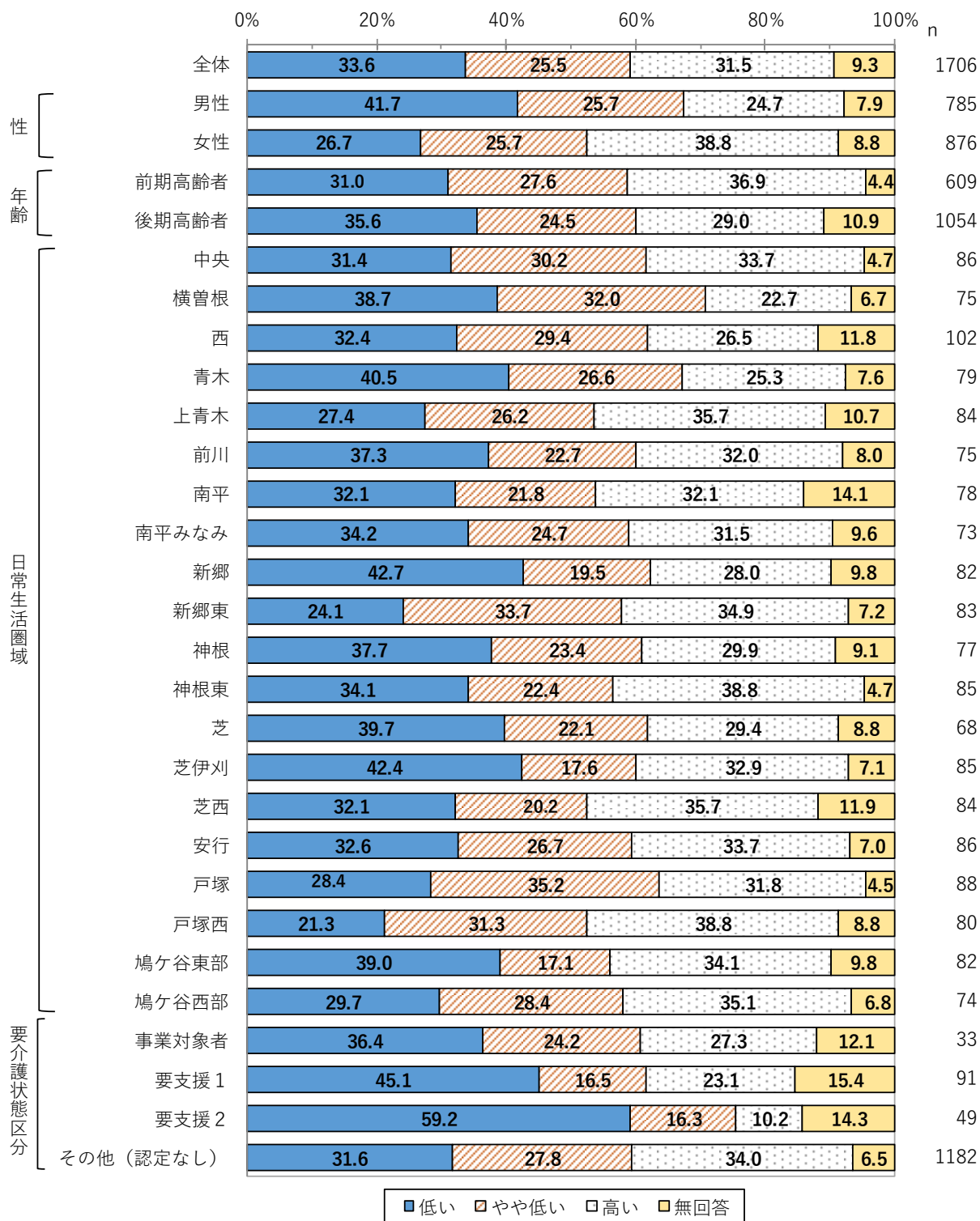


## II 市民意識調査結果の概要

### ③社会的役割

性別では“女性”が高く、年齢別では“前期高齢者”、日常生活圏域別みると、“神根東”と“戸塚西”で最も高く“横曽根”で最も低くなっています。

要介護状態区分別では、生活機能のレベルを反映し“認定なし”が最も高く、“要支援2”が最も低くなっています。



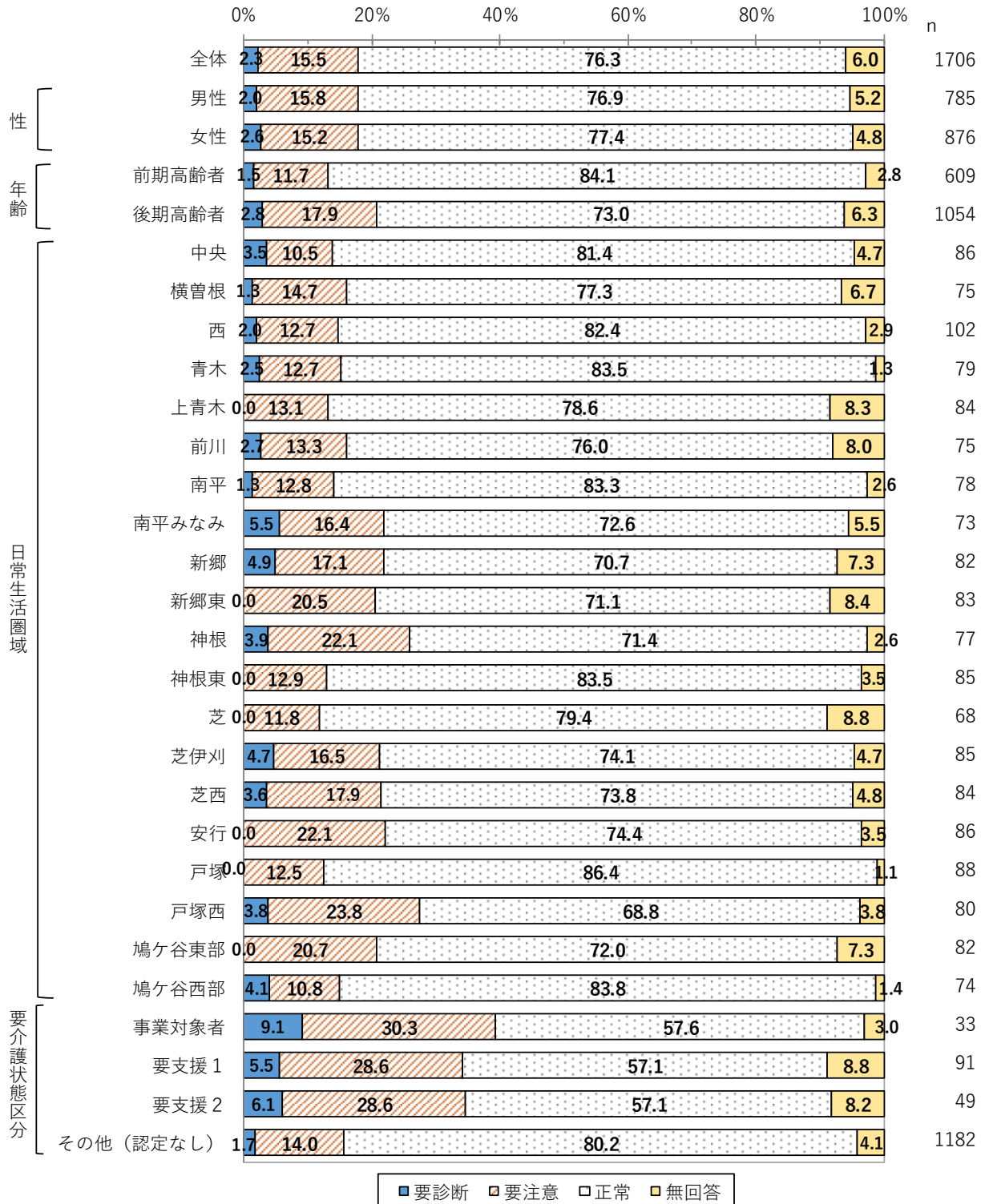


## II 市民意識調査結果の概要

### (3) 大友式認知症予測テスト

要診断は、性別では大きな違いはみられず、年齢別では“後期高齢者”が“前期高齢者”の約2倍の多さとなっています。後期高齢者では、要注意も含めると20.7%が認知症の始まり、あるいは認知症に進展する可能性のある状態となっています。

要診断は、日常生活圏域別にみると“南平みなみ”の5.5%が最も高く、要介護状態区分別では、“事業対象者”が9.1%と最も高くなっています。

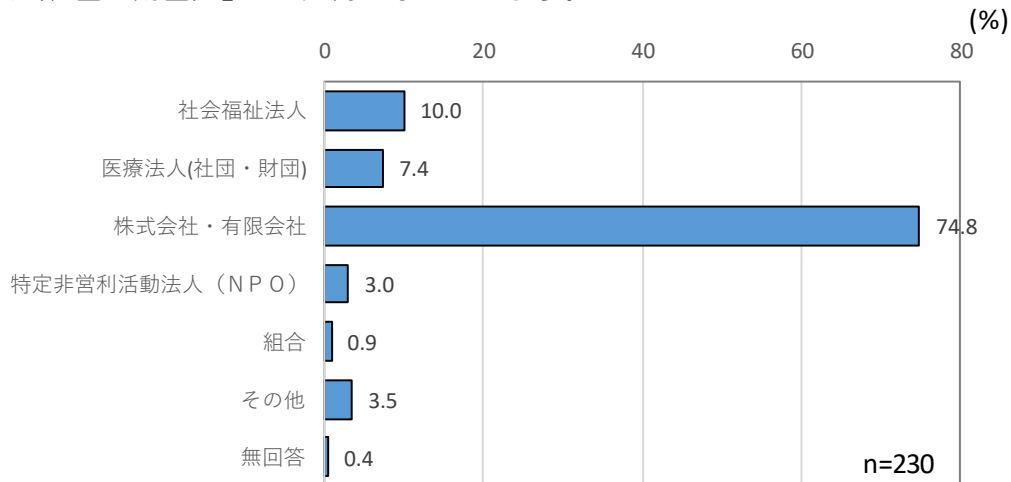


### III 事業所調査結果の概要

#### 1. 事業所属性

##### 1.1 経営主体 (SA)

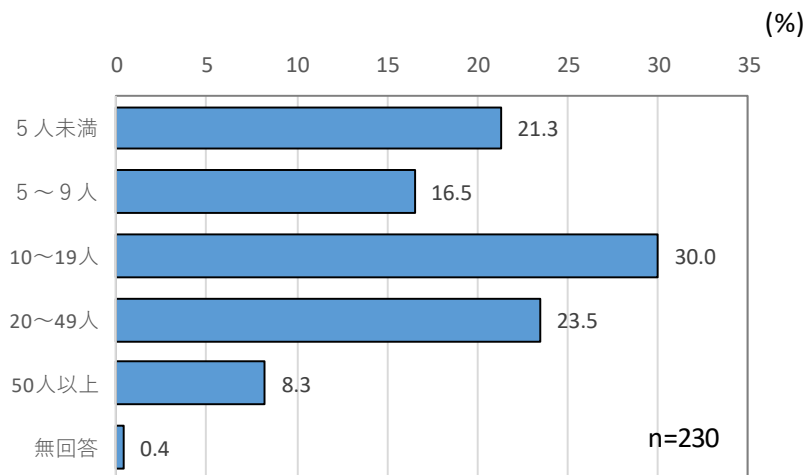
「株式会社・有限会社」が74.8%で最も高く、次いで「社会福祉法人」が10.0%、「医療法人(社団・財団)」が7.4%となっています。



##### 1.2 従業員数 (SA)

「10~19人」が30.0%で最も高く、次いで「20~49人」が23.5%、「5人未満」が21.3%となっています。

経営主体別にみると、「50人以上」は「社会福祉法人」と「医療法人(社団・財団)」となっています。

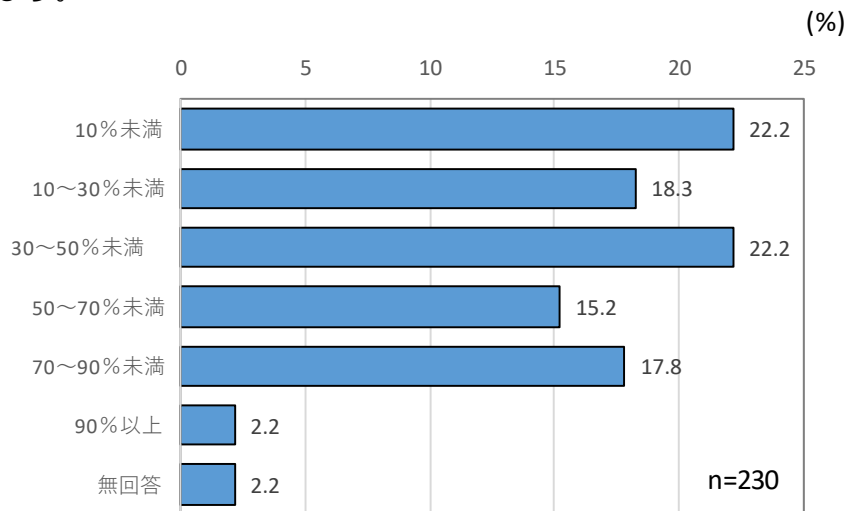


	合計	問2. 介護サービスに関わる従業員数					
		5人未満	5~9人	10~19人	20~49人	50人以上	無回答
全体	230	21.3	16.5	30.0	23.5	8.3	0.4
経営主体							
社会福祉法人	23	4.3	13.0	17.4	26.1	39.1	0.0
医療法人(社団・財団)	17	23.5	0.0	11.8	29.4	35.3	0.0
株式会社・有限会社	172	21.5	19.8	32.6	23.8	2.3	0.0
特定非営利活動法人	7	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0
組合	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
その他	8	62.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0

1.3 非常勤職員の割合 (SA)

「10%未満」及び「30～50%未満」が同率で22.2%と最も高くなっています。

従業員数別にみると、「70～90%未満」は、“10～19人”と“20～49人”の事業所となっています。



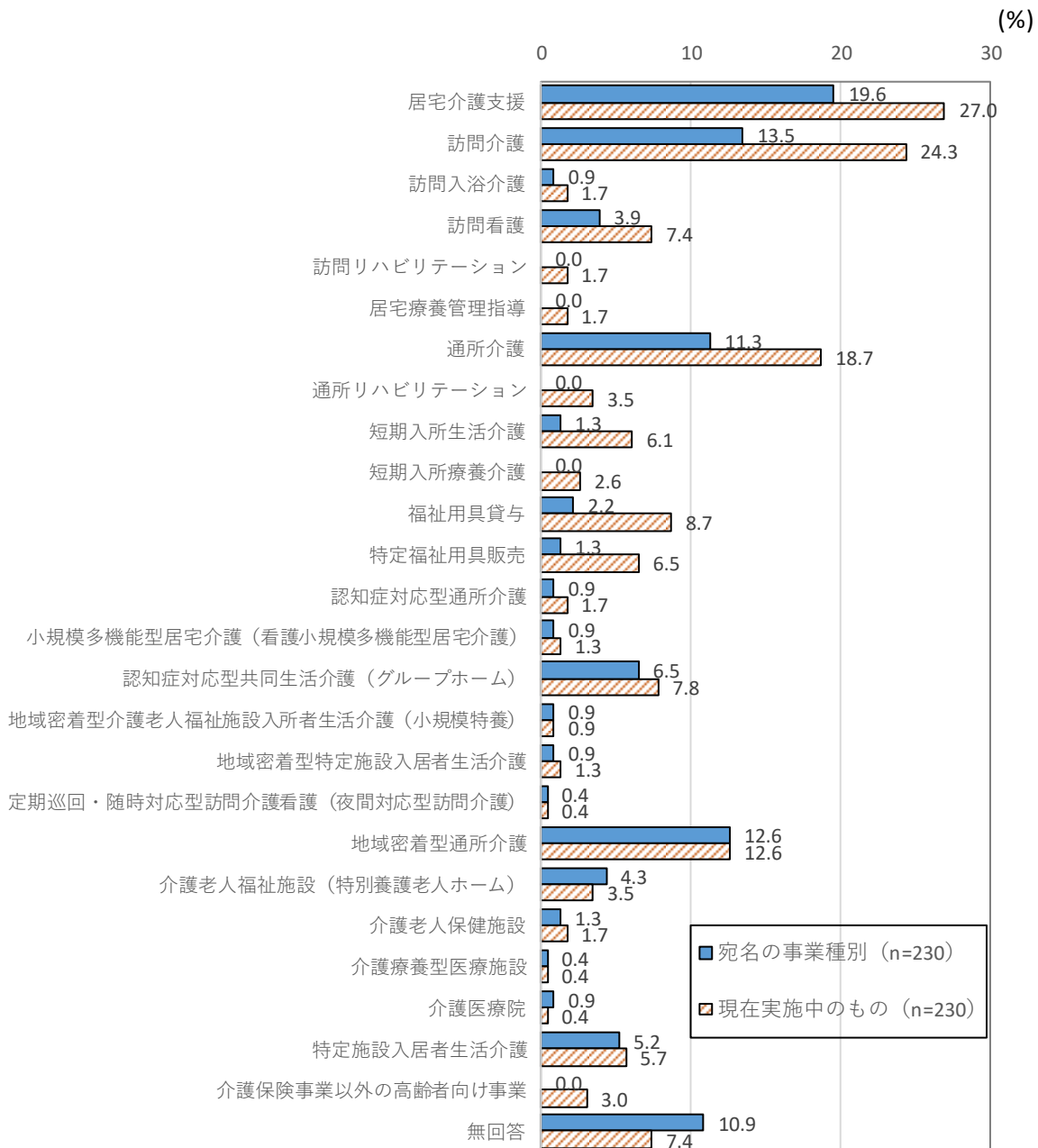
		合計	問3. 非常勤職員の割合						
			10%未満	10～30%未満	30～50%未満	50～70%未満	70～90%未満	90%以上	無回答
全体		230	22.2	18.3	22.2	15.2	17.8	2.2	2.2
従業員数	5人未満	49	57.1	10.2	18.4	4.1	4.1	2.0	4.1
	5～9人	38	23.7	15.8	28.9	10.5	18.4	0.0	2.6
	10～19人	69	7.2	18.8	23.2	21.7	23.2	5.8	0.0
	20～49人	54	5.6	24.1	14.8	24.1	27.8	0.0	3.7
	50人以上	19	31.6	26.3	36.8	0.0	5.3	0.0	0.0

### III 事業所調査結果の概要

#### 1.5 回答対象となる事業種別（宛名の事業種別）と実施中のサービス（SA）（MA）

あて名の事業種別では、「居宅介護支援」が19.6%で最も高く、次いで「訪問介護」が13.5%、「地域密着型通所介護」が12.6%の順となっています。

現在実施中のものでは、「居宅介護支援」が27.0%で最も高く、次いで「訪問介護」が24.3%、「通所介護」が18.7%の順となっています。

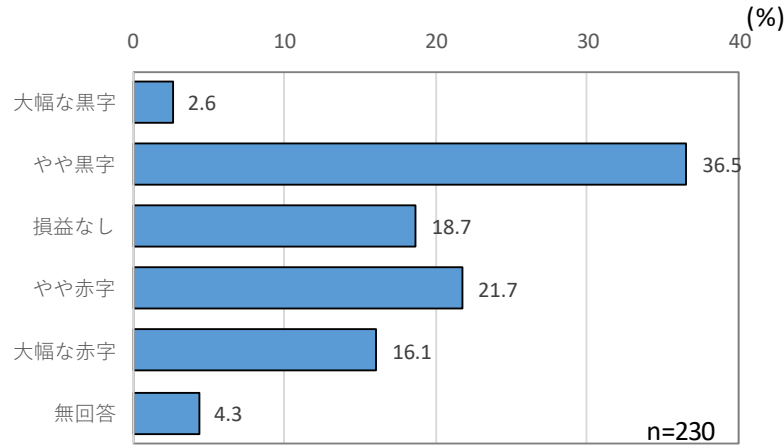


2. 経営状態・経営環境

2.1 昨年度の事業採算（SA）

「大幅な黒字」と「やや黒字」を合わせた『黒字』は39.1%となっており、「やや赤字」と「大幅な赤字」を合わせた『赤字』の37.8%に比べ、やや高くなっています。

従業員数別にみると、従業員数が多いほど、『黒字』の割合が高くなっています。



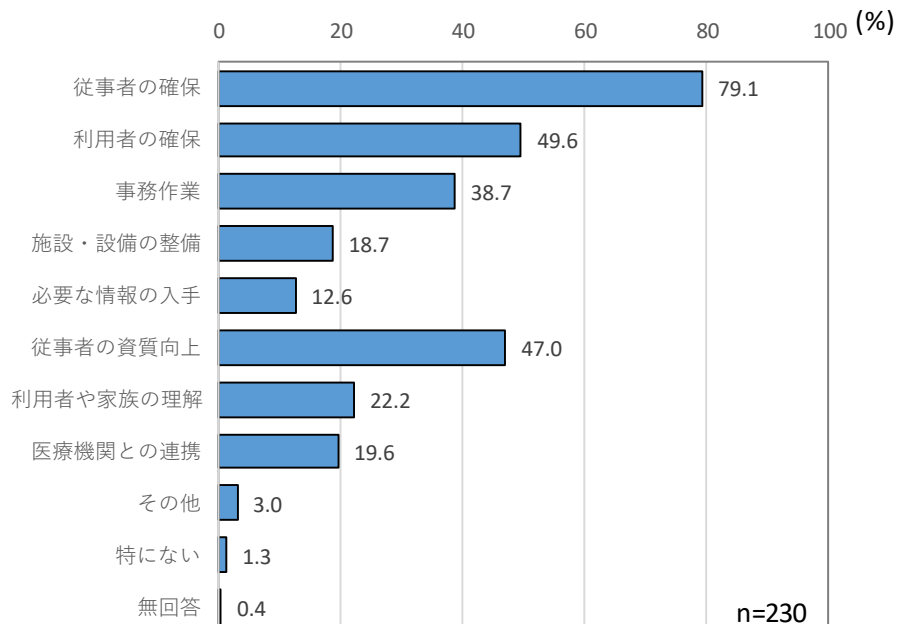
		合計	問4. 昨年度の事業採算					無回答
			大幅な黒字	やや黒字	損益なし	やや赤字	大幅な赤字	
全体		230	2.6	36.5	18.7	21.7	16.1	4.3
従業員数	5人未満	49	0.0	16.3	30.6	20.4	28.6	4.1
	5～9人	38	0.0	23.7	10.5	34.2	23.7	7.9
	10～19人	69	4.3	44.9	20.3	17.4	11.6	1.4
	20～49人	54	1.9	51.9	14.8	14.8	9.3	7.4
	50人以上	19	10.5	42.1	10.5	31.6	5.3	0.0

2.2 円滑な事業運営を進めるうえで困難を感じる点（MA）

「従業員の確保」が79.1%で最も高く、次いで「利用者の確保」が49.6%、「事業者の資質向上」が47.0%の順になっています。「特にない」は1.3%にとどまっています。

経営主体別にみると、“特定非営利活動法人”は「必要な情報の入手」、「その他」は「利用者や家族の理解」が、「従業員の確保」と同率で高くなっています。

従業員数別にみると、“5人未満”では、「利用者の確保」が61.2%で最も高くなっています。



### III 事業所調査結果の概要

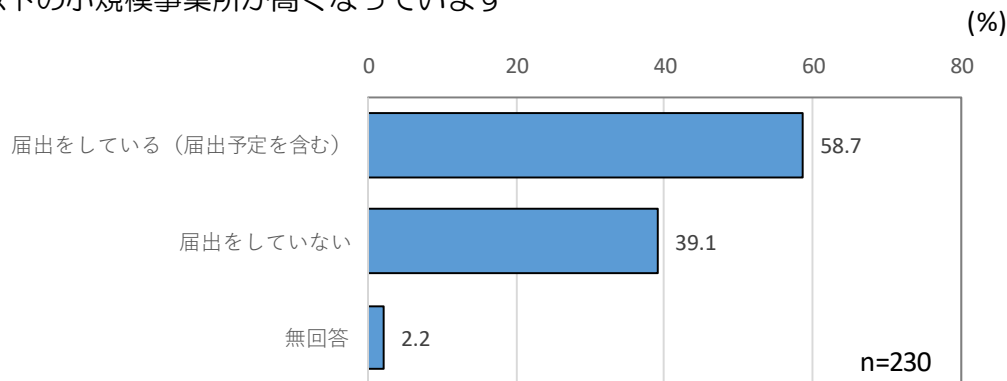
	合計	問6. 事業運営を進めていく上で困難を感じること										
		従事者の確保	利用者の確保	事務作業	施設・設備の整備	必要な情報の入手	従事者の資質向上	利用者や家族の理解	医療機関との連携	その他	特になし	無回答
全体	230	79.1	49.6	38.7	18.7	12.6	47.0	22.2	19.6	3.0	1.3	0.4
経営主体	社会福祉法人	23	82.6	60.9	34.8	47.8	8.7	69.6	30.4	34.8	0.0	0.0
	医療法人(社団・財団)	17	82.4	52.9	23.5	41.2	5.9	47.1	29.4	17.6	0.0	5.9
	株式会社・有限会社	172	80.8	50.0	42.4	13.4	12.2	45.9	18.6	18.0	4.1	1.2
	特定非営利活動法人	7	42.9	28.6	14.3	14.3	42.9	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0
	組合	2	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	8	62.5	37.5	37.5	0.0	25.0	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0
従業員数	5人未満	49	59.2	61.2	44.9	8.2	18.4	40.8	26.5	16.3	4.1	2.0
	5～9人	38	71.1	60.5	42.1	7.9	15.8	31.6	10.5	15.8	5.3	0.0
	10～19人	69	85.5	42.0	37.7	17.4	11.6	40.6	13.0	20.3	1.4	1.4
	20～49人	54	90.7	38.9	33.3	31.5	9.3	61.1	29.6	14.8	3.7	0.0
	50人以上	19	94.7	57.9	36.8	36.8	5.3	78.9	47.4	47.4	0.0	5.3

### 3. 介護職員等処遇加算について

#### 3.1 介護職員処遇改善加算の届出状況 (SA)

「届出をしている(届出予定を含む)」が58.7%、「届出をしていない」が39.1%となっています。

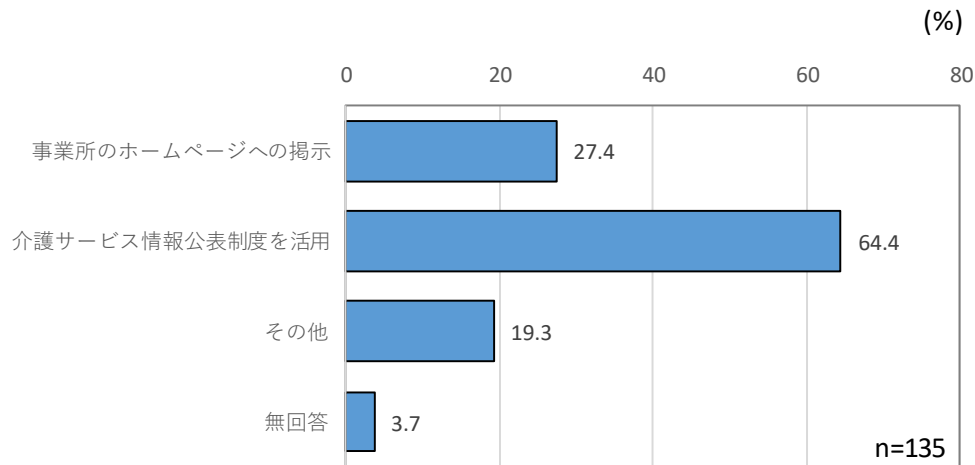
経営主体別にみると、「届出をしていない」は“その他”、また、従業員数別にみると、9人以下の小規模事業所が高くなっています



	合計	問9. 介護職員処遇会計加算の届出状況			
		届出をしている (届出予定を含む)	届出をしていない	無回答	
全体	230	58.7	39.1	2.2	
経営主体	社会福祉法人	23	78.3	21.7	0.0
	医療法人(社団・財団)	17	52.9	47.1	0.0
	株式会社・有限会社	172	59.9	38.4	1.7
	特定非営利活動法人	7	42.9	42.9	14.3
	組合	2	50.0	50.0	0.0
	その他	8	12.5	87.5	0.0
従業員数	5人未満	49	18.4	79.6	2.0
	5～9人	38	47.4	52.6	0.0
	10～19人	69	73.9	24.6	1.4
	20～49人	54	77.8	18.5	3.7
	50人以上	19	78.9	21.1	0.0

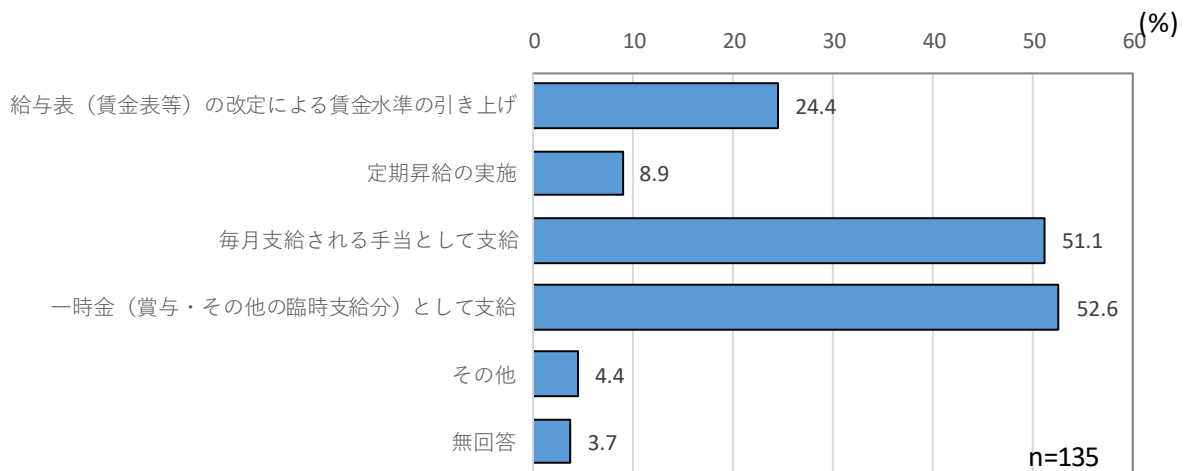
### 3.2 介護職員等特定処遇改善加算の周知方法（MA）

「介護サービス情報公表制度を活用」が64.4%で最も高く、次いで「事業所のホームページへの掲示」が27.4%、「その他」が19.3%の順となっています。



### 3.3 介護職員等処遇改善加算による賃金改善項目（MA）

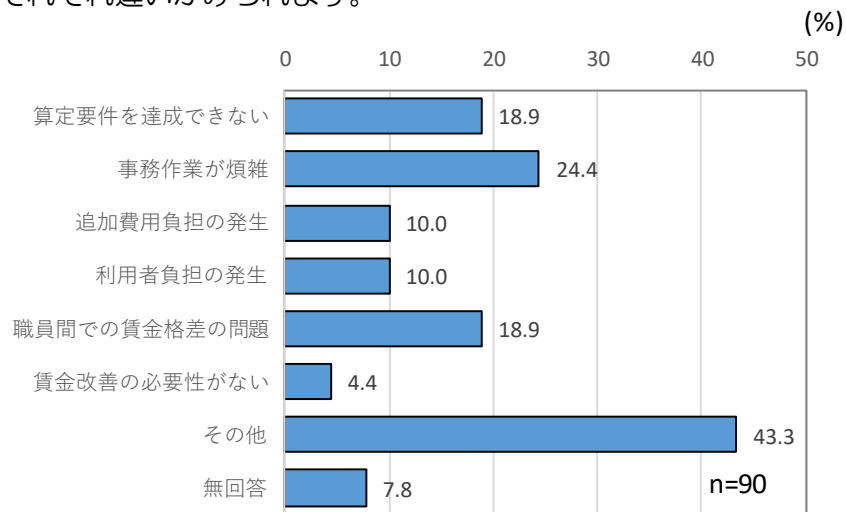
「一時金（賞与・その他の臨時支給分）として支給」が52.6%で最も高く、次いで「毎月支給される手当として支給」が51.1%、「給与表（賃金表等）の改定による賃金水準の引き上げ」が24.4%の順となっています。



3.4 介護職員処遇改善加算の届出をしない理由（MA）

「その他」が43.3%で最も高く、次いで「事務作業が煩雑」が24.4%、「算定要件を達成できない」及び「職員間での賃金格差の問題」が同率で18.9%となっています。

経営主体別でそれぞれ違いがみられます。

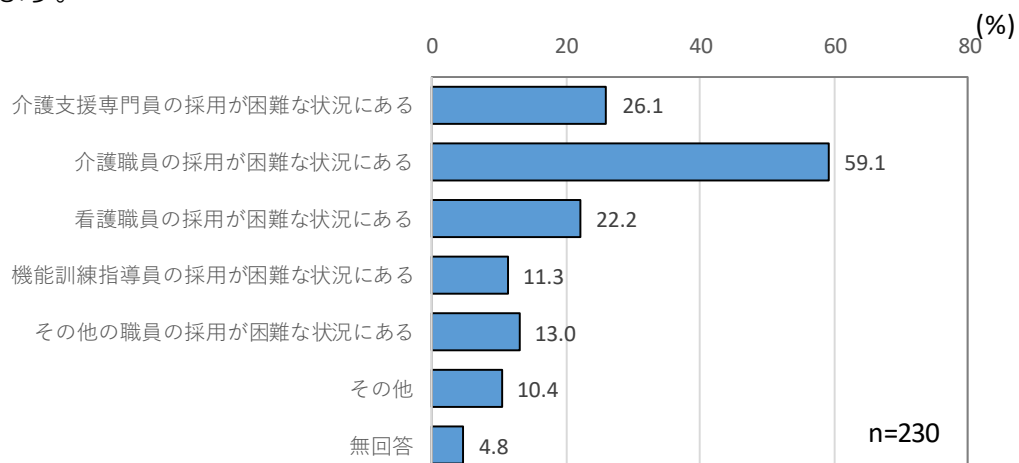


	合計	問9-3. 特定処遇改善加算の届出をしない理由							
		算定要件を達成できない	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	職員間での賃金格差の問題	賃金改善の必要性がない	その他	無回答
全体	90	18.9	24.4	10.0	10.0	18.9	4.4	43.3	7.8
経営主体									
社会福祉法人	5	0.0	100.0	100.0	20.0	100.0	20.0	0.0	0.0
医療法人(社団・財団)	8	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	12.5
株式会社・有限会社	66	19.7	18.2	6.1	9.1	13.6	4.5	50.0	7.6
特定非営利活動法人	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
組合	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	7	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3

4. 職員の採用について

4.1 職員の採用状況（MA）

「介護職員の採用が困難な状況にある」が59.1%で最も高く、次いで「介護支援専門員の採用が困難な状況にある」が26.1%、「看護職員の採用が困難な状況にある」が22.2%の順となっています。

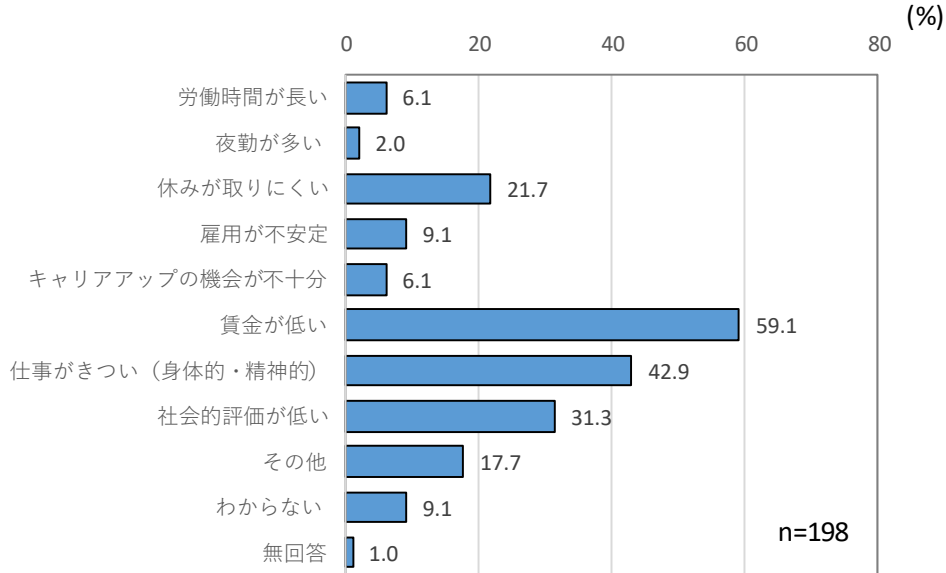




4.2 職員採用が困難な原因（MA）

「賃金が低い」が59.1%で最も高く、次いで「仕事がつい（身体的・精神的）」が42.9%、「社会的評価が低い」が31.3%の順になっています。

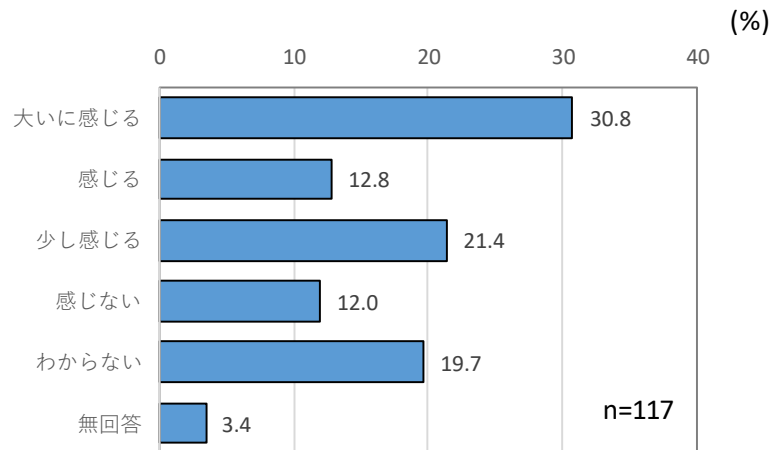
経営主体別にみると、“特定非営利活動法人”は「休みを取りにくい」が最も高くなっています



	合計	問11-1. 職員の採用が困難な原因										
		労働時間が長い	夜勤が多い	休みを取りにくい	雇用が不安定	キャリアアップの機会が不十分	賃金が低い	仕事がつい（身体的・精神的）	社会的評価が低い	その他	わからない	無回答
全体	198	6.1	2.0	21.7	9.1	6.1	59.1	42.9	31.3	17.7	9.1	1.0
経営主体												
社会福祉法人	21	0.0	9.5	9.5	0.0	14.3	66.7	38.1	47.6	47.6	9.5	0.0
医療法人(社団・財団)	15	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	53.3	33.3	13.3	20.0	13.3	6.7
株式会社・有限会社	148	6.1	1.4	22.3	11.5	5.4	59.5	44.6	31.1	13.5	8.8	0.0
特定非営利活動法人	5	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0
組合	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	66.7	66.7	50.0	33.3	0.0	0.0

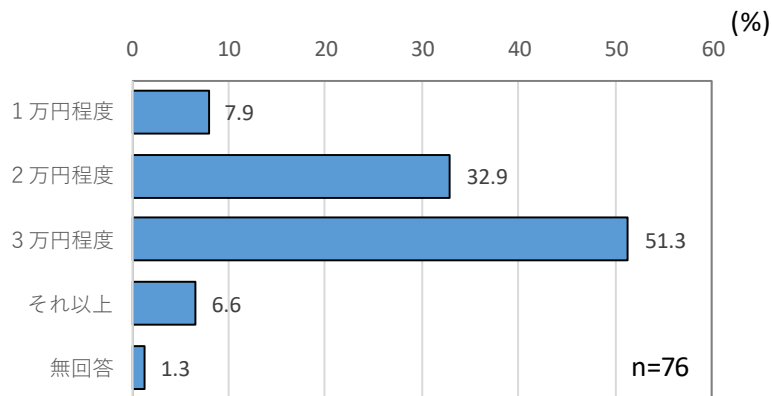
4.3 職員採用における地域区分の差による影響（SA）

「大いに感じる」が30.8%、「感じる」が12.8%、「少々感じる」は21.4%で、合わせた『感じる』は65.0%となっています。



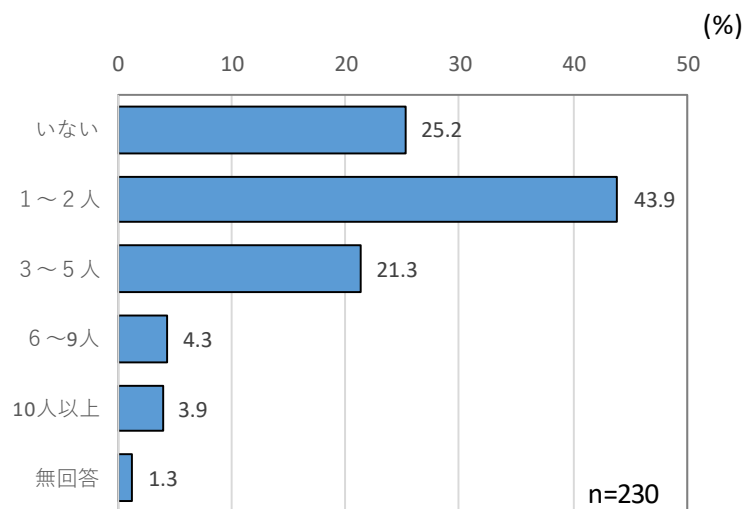
4.4 職員採用時の賃金差 (SA)

「3万円程度」が51.3%で最も高く、次いで「2万円程度」が32.9%、「1万円程度」が7.9%の順となっています。



4.5 年間の従業員退職者数 (SA)

「1～2人」が43.9%で最も高く、次いで「いない」が25.2%、「3～5人」が21.3%となっています。



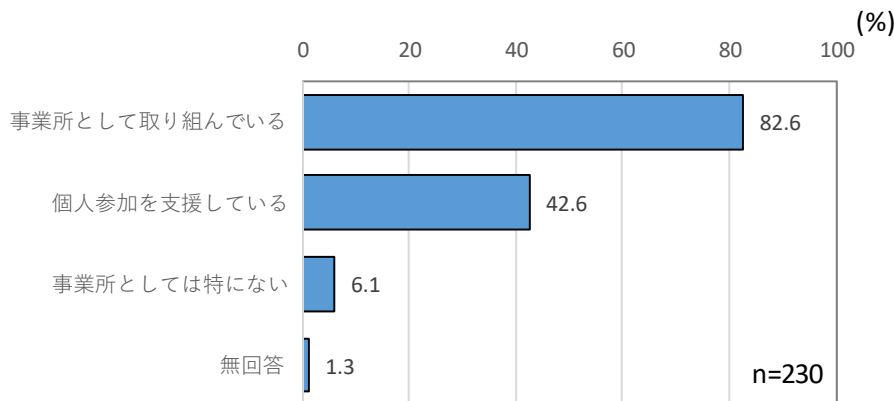
	合計	問12. 年間の従業員退職者数					
		いない	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
全体	230	25.2	43.9	21.3	4.3	3.9	1.3
従業員数	5人未満	49	65.3	30.6	2.0	0.0	2.0
	5～9人	38	26.3	52.6	18.4	0.0	2.6
	10～19人	69	17.4	60.9	15.9	2.9	1.4
	20～49人	54	3.7	38.9	46.3	5.6	5.6
	50人以上	19	5.3	15.8	26.3	26.3	26.3

5. 事業所の状況と取り組み内容

5.1 スタッフ研修や資格取得への事業所の取り組み状況（MA）

「事業所として取り組んでいる」が82.6%で最も高くなっています。

「事業所として取り組んでいる」という回数は、平均7.9回/年、「個人参加を支援している」回数は、平均3.9回/年となっています。

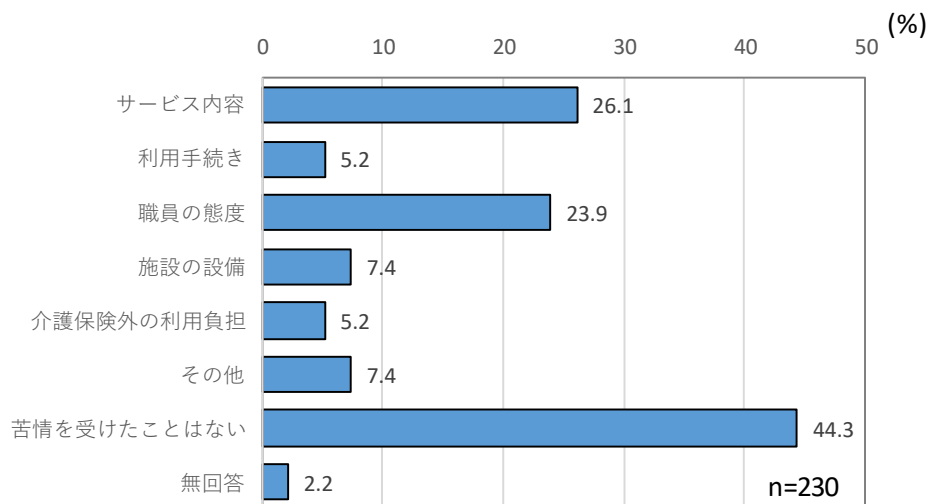


5.2.1 平成31年4月以降の苦情発生内容（MA）

「苦情を受けたことはない」が44.3%で最も高くなっています。

苦情内容としては、「サービス内容」が26.1%、「職員の態度」が23.9%、「施設の設備」と「その他」が7.4%の順となっています。

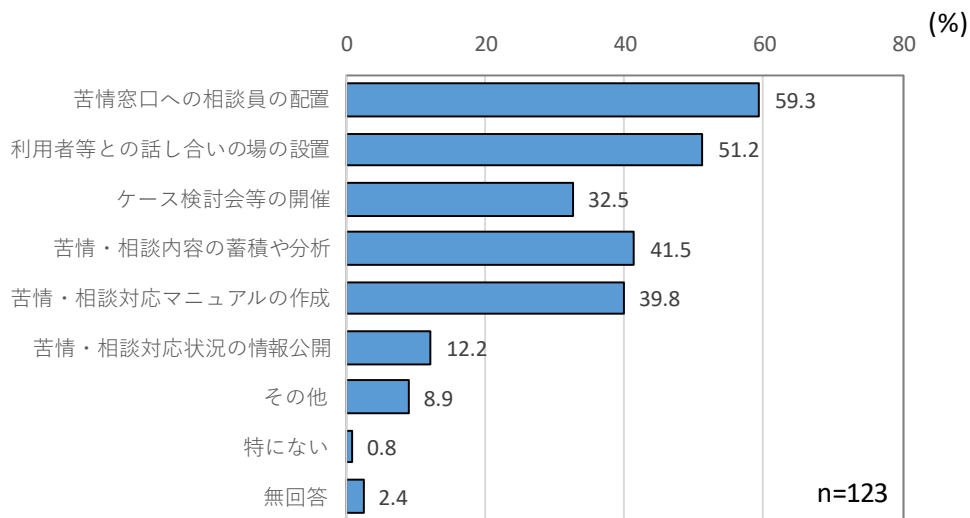
経営主体別にみると、「社会福祉法人」は「サービス内容」が39.1%、「医療法人（社団・財団）」は「職員の態度」が41.2%で最も高くなっています。



	合計	問7. 平成31年4月以降の苦情発生内容							苦情を受けたことはない	無回答
		サービス内容	利用手続き	職員の態度	施設の設備	介護保険外の利用負担	その他			
全体	230	26.1	5.2	23.9	7.4	5.2	7.4	44.3	2.2	
経営主体	社会福祉法人	23	39.1	4.3	34.8	21.7	0.0	17.4	21.7	0.0
	医療法人(社団・財団)	17	29.4	5.9	41.2	5.9	17.6	0.0	23.5	0.0
	株式会社・有限会社	172	25.6	5.8	20.9	6.4	5.2	6.4	48.3	2.3
	特定非営利活動法人	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	71.4	0.0
	組合	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	8	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	37.5	12.5

5.2.2 苦情への取り組み状況（MA）

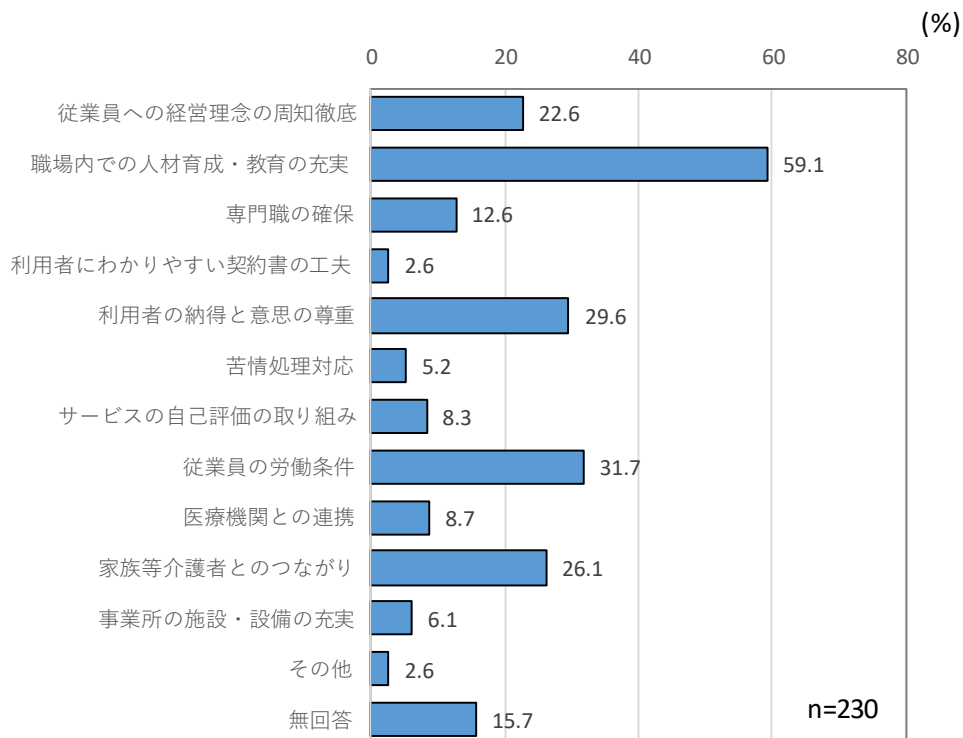
「苦情窓口への相談員の配置」が59.3%と最も高く、次いで「利用者等との話し合いの場の設置」が51.2%、「苦情・相談内容の蓄積や分析」が41.5%の順になっています。



5.3 サービスの質向上に向けた課題や取り組み（MA）

「職場内での人材育成・教育の充実」が59.1%と最も高くなっています。次いで「従業員の労働条件」が31.7%、「利用者の納得と意思の尊重」が29.6%の順になっています。

経営主体別にみると、“組合”は取り組み内容が各種、“その他”は「従業員の労働条件」高くなっています。



### III 事業所調査結果の概要

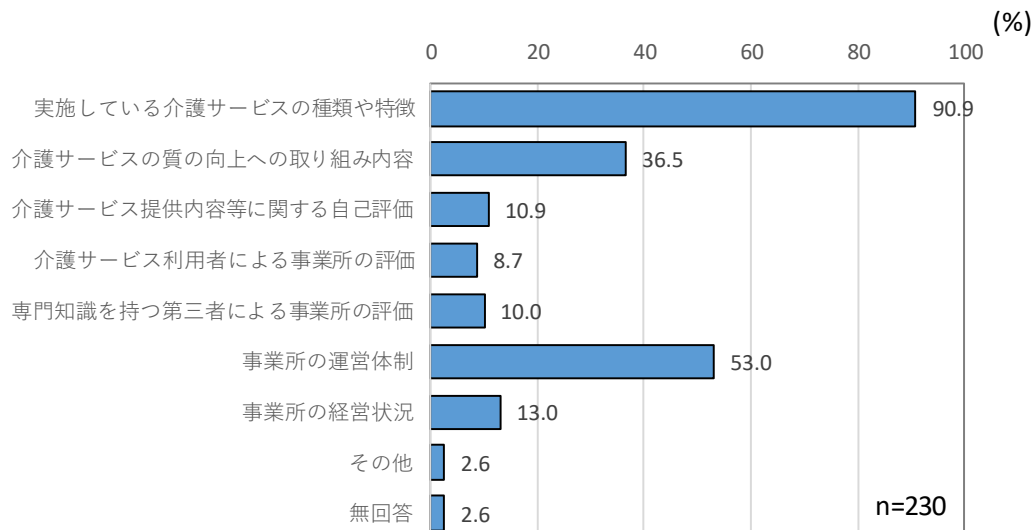
	合計	問13. サービスの質の向上で事業所の課題や取り組み							
		従業員への経営理念の周知徹底	職場内での人材育成・教育の充実	専門職の確保	利用者にわかりやすい契約書の工夫	利用者の納得と意思の尊重	苦情処理対応	サービスの自己評価の取り組み	
全体	230	22.6	59.1	12.6	2.6	29.6	5.2	8.3	
経営主体	社会福祉法人	23	26.1	73.9	8.7	4.3	34.8	4.3	17.4
	医療法人(社団・財団)	17	17.6	58.8	17.6	0.0	35.3	0.0	0.0
	株式会社・有限会社	172	22.7	57.0	12.2	1.7	29.1	6.4	8.1
	特定非営利活動法人	7	14.3	85.7	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0
	組合	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他	8	12.5	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	

	合計	問13. サービスの質の向上で事業所の課題や取り組み						
		従業員の労働条件	医療機関との連携	家族等介護者とのつながり	事業所の施設・設備の充実	その他	無回答	
全体	230	31.7	8.7	26.1	6.1	2.6	15.7	
経営主体	社会福祉法人	23	21.7	13.0	21.7	4.3	4.3	17.4
	医療法人(社団・財団)	17	17.6	5.9	17.6	17.6	0.0	23.5
	株式会社・有限会社	172	32.0	9.3	28.5	4.7	2.3	16.3
	特定非営利活動法人	7	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	組合	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
その他	8	75.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	

## 6. 情報の収集・発信について

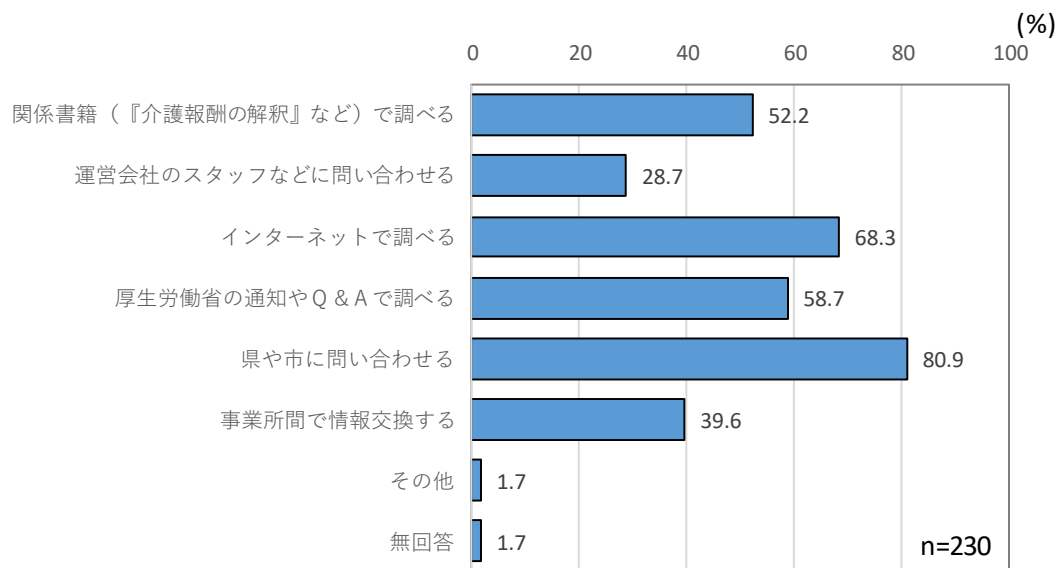
### 6.1 利用者を含めた市民に対しての情報提供内容 (MA)

「実施している介護サービスの種類や特徴」が90.9%と最も高く、次いで「事業所の運営体制」が53.0%、「介護サービスの質の向上への取り組み内容」が36.5%の順となっています。



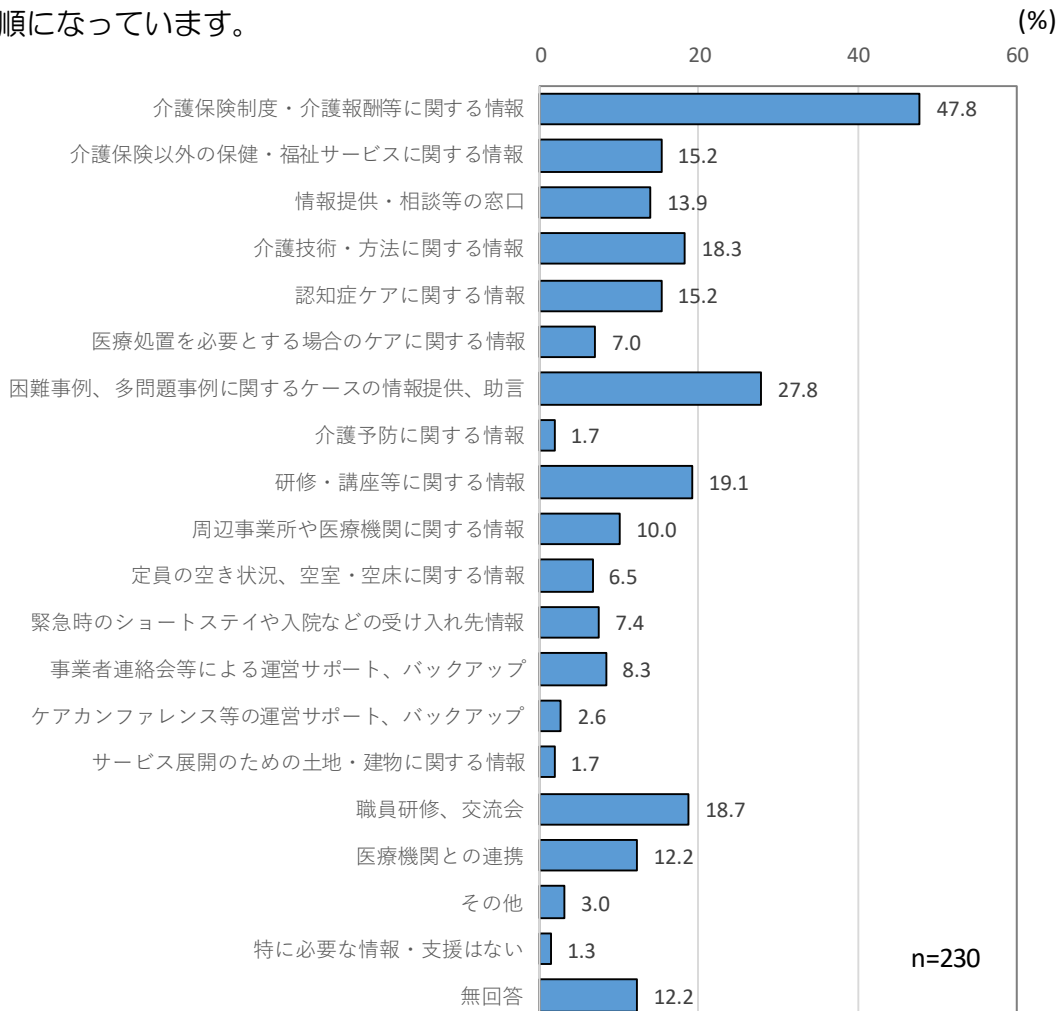
6.2 介護報酬や指定基準等の解釈に疑問があった場合の対応方法（MA）

「県や市に問い合わせる」が80.9%で最も高くなっています。次いで「インターネットで調べる」が68.3%、「厚生労働省の通知やQ&Aで調べる」が58.7%の順になっています。



6.3 サービス向上のために最も必要な情報や支援（MA）

「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」が47.8%と最も高く、次いで「困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言」が27.8%、「研修・講座等に関する情報」が19.1%の順になっています。



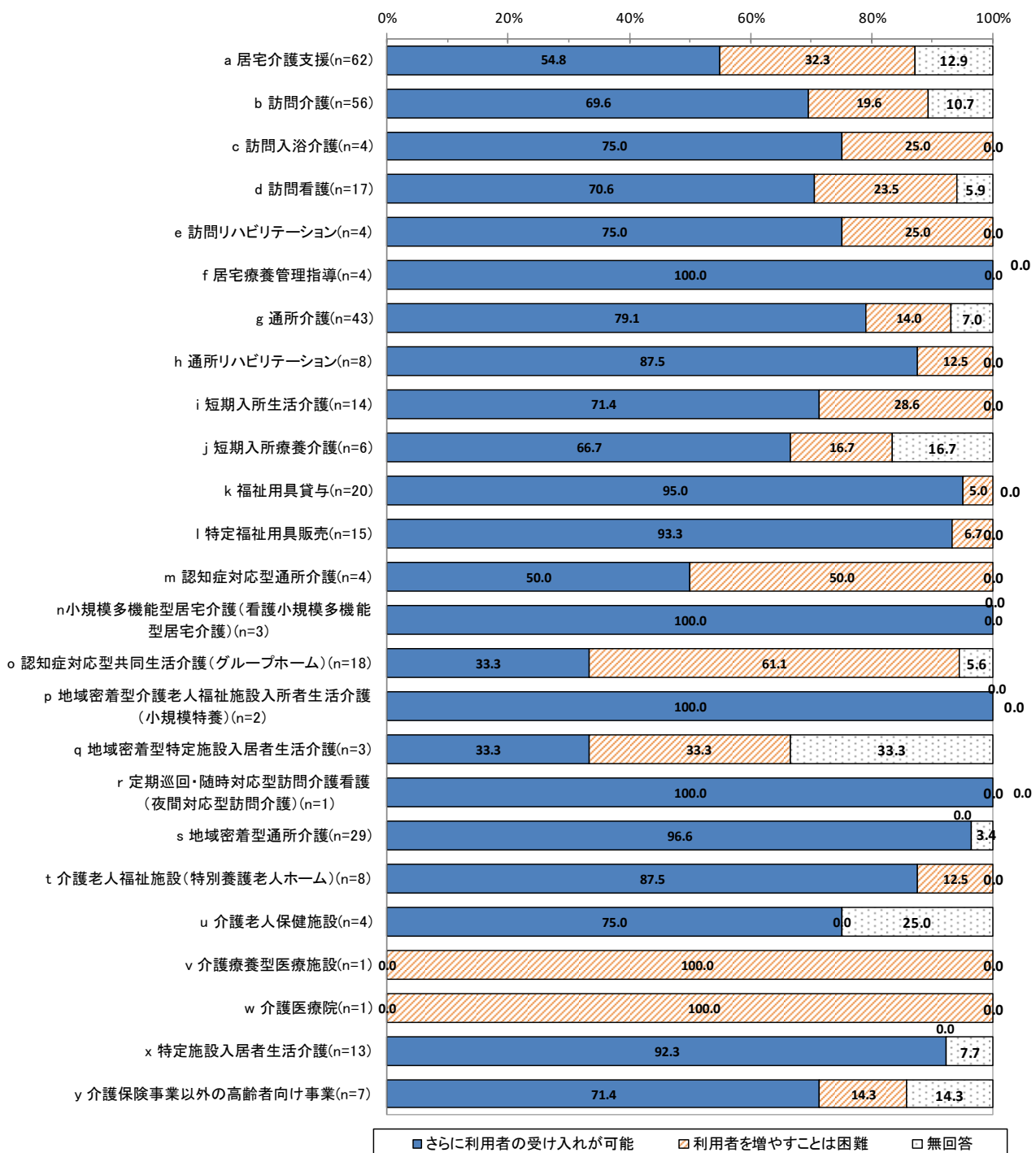
7. 今後のサービス提供の方向性

7.1 川口市内の利用者に対する今後のサービス提供体制（SA）

「利用者を増やすことは困難」なサービスは、“o 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）”（18事業所）が61.1%、“v 介護療養型医療施設”と“w 介護医療院”がそれぞれ100.0%（1事業所）となっています。

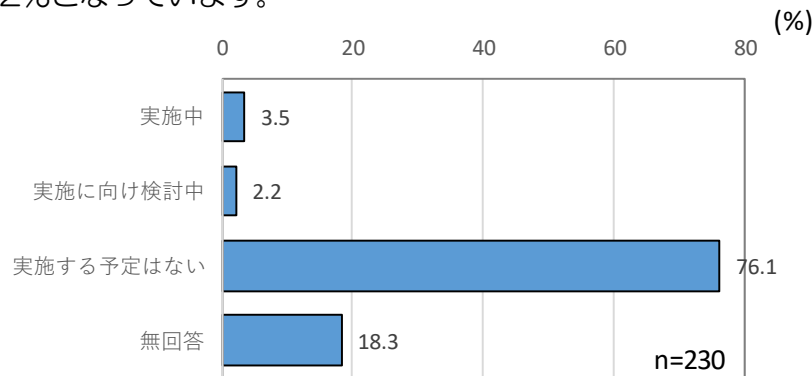
“m 認知症対応型通所介護”（4事業所）は、「さらに利用者の受け入れが可能」と「利用者を増やすことは困難」が2事業所ずつ、“q 地域密着型特定施設入居者生活介護”（3事業所）は、「さらに利用者の受け入れが可能」と「利用者を増やすことは困難」が1事業所ずつとなっています。

その他のサービスは、「さらに利用者の受け入れが可能」の方が「利用者を増やすことは困難」に比べ高くなっています。



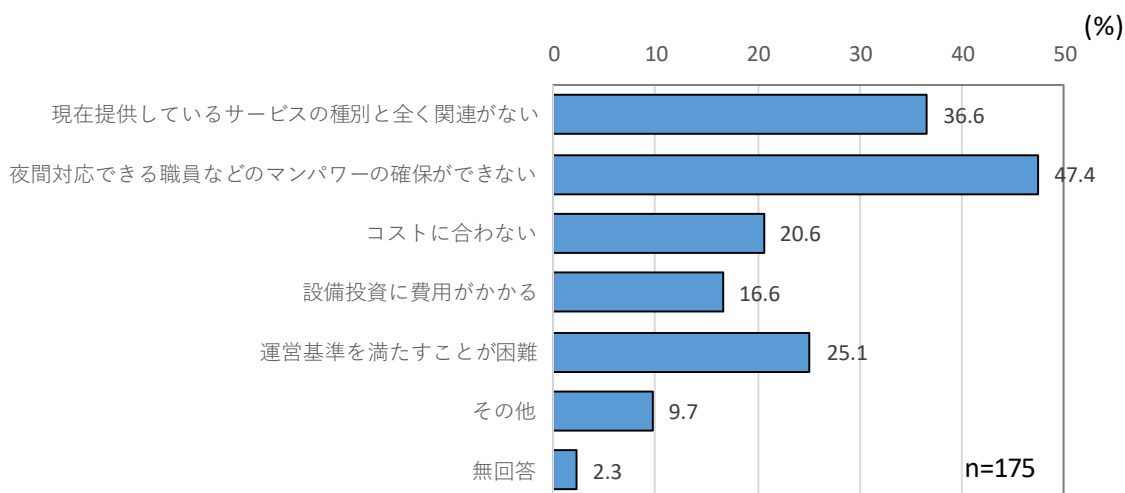
7.2.1 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」実施の方向性（SA）

「実施する予定はない」が76.1%とも最も高く、次いで「実施中」が3.5%、「実施に向け検討中」が2.2%となっています。



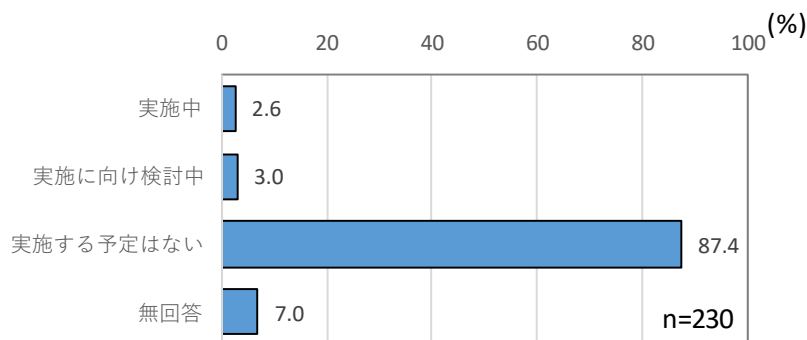
7.2.2 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の実施予定がない理由（MA）

「夜間対応できる職員などのマンパワーの確保ができない」が47.4%で最も高く、次いで「現在提供しているサービスの種別と全く関連がない」が36.6%、「運営基準を満たすことが困難」が25.1%の順になっています。



7.3.1 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」実施の方向性（SA）

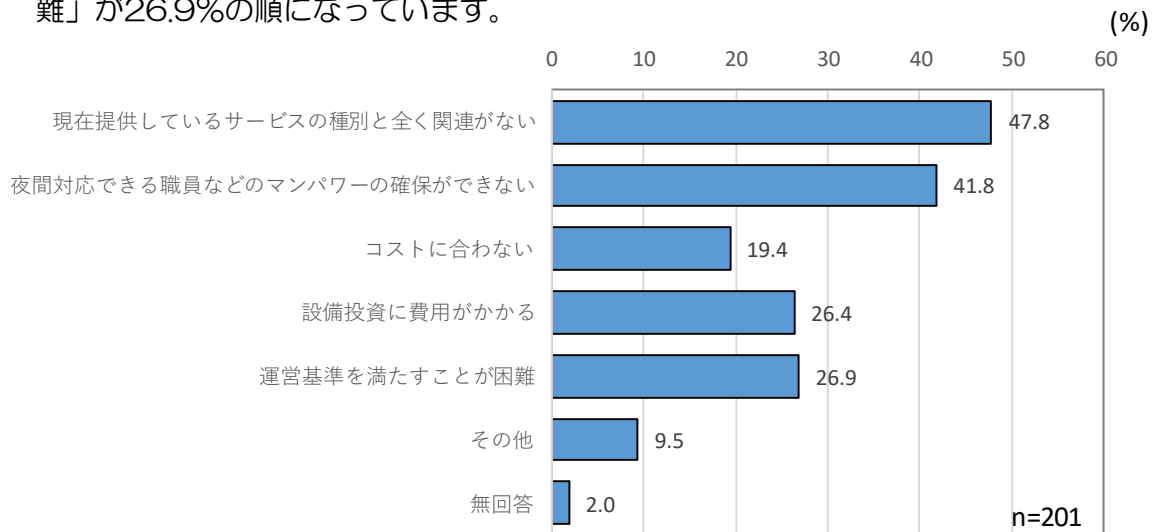
「実施する予定はない」が87.4%と最も高く、次いで「実施に向け検討中」が3.0%、「実施中」が2.6%となっています。





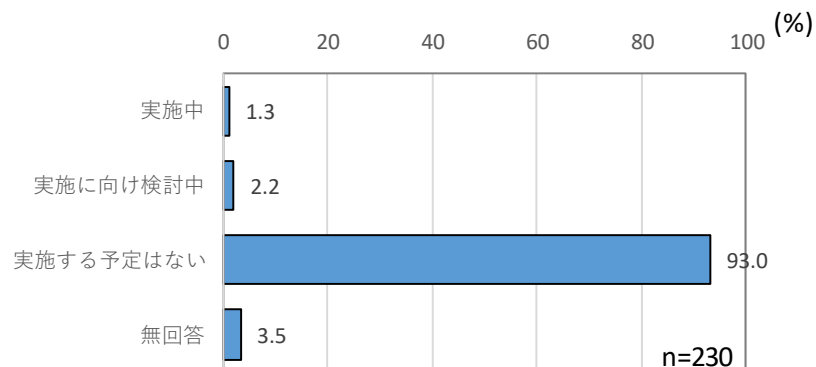
7.3.2 「看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）」の実施予定がない理由（SA）

「現在提供しているサービスの種別と全く関連がない」が47.8%で最も高く、次いで「夜間対応できる職員などのマンパワーの確保ができない」が41.8%、「運営基準を満たすことが困難」が26.9%の順になっています。



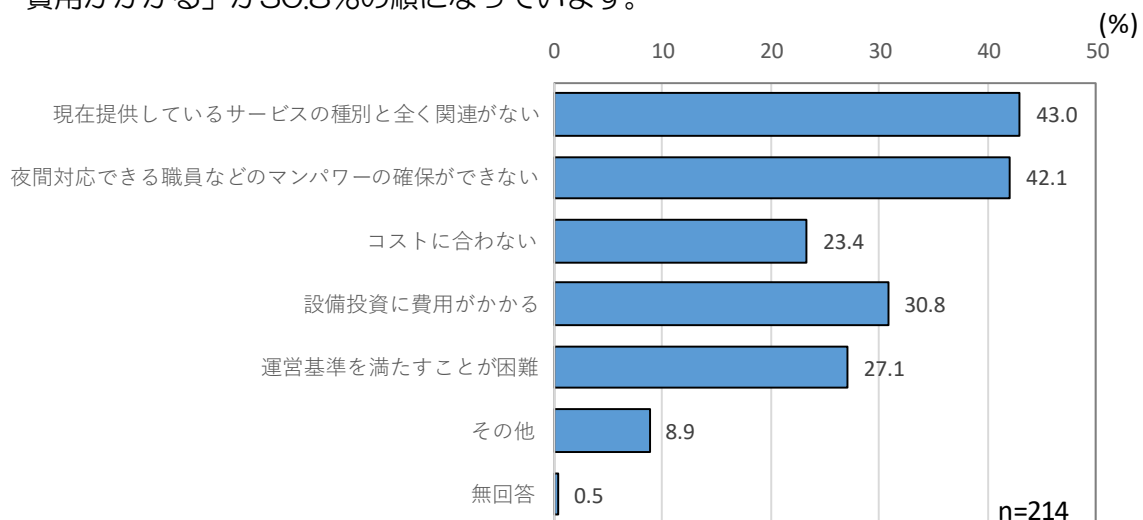
7.4.1 「小規模多機能型居宅介護」実施の方向性（SA）

「実施する予定はない」が93.0%で最も高く、次いで「実施に向け検討中」が2.2%、「実施中」が1.3%となっています。



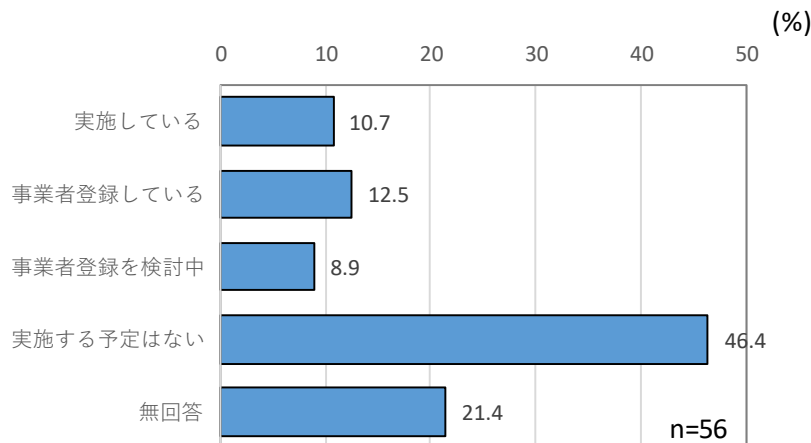
7.4.2 「小規模多機能型居宅介護」の実施予定がない理由（MA）

「現在提供しているサービスの種別と全く関連がない」が43.0%で最も高くなっています。次いで「夜間対応できる職員などのマンパワーの確保ができない」が42.1%、「設備投資に費用がかかる」が30.8%の順になっています。



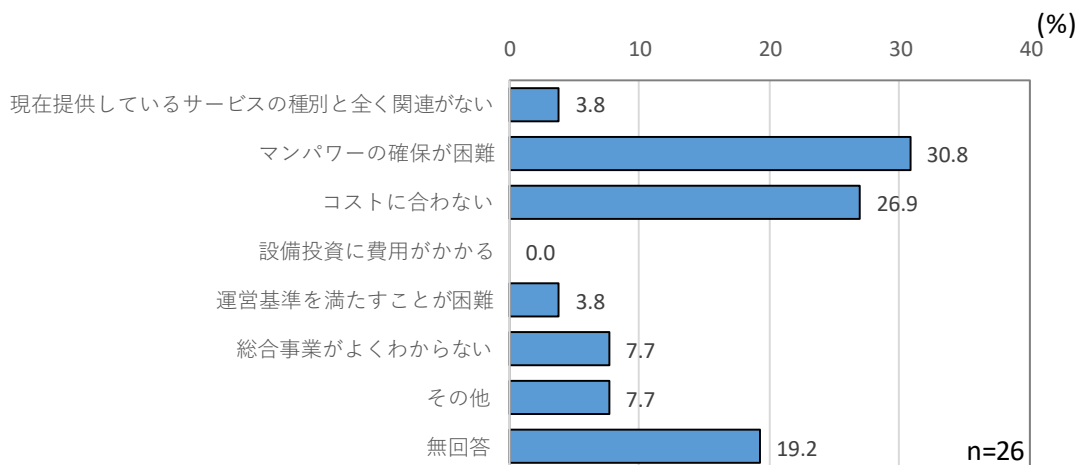
7.5.1 訪問介護の基準緩和型サービスの実施の方向性（SA）

「実施する予定はない」が46.4%と最も高く、次いで「事業者登録している」が12.5%、「実施している」が10.7%の順となっています。



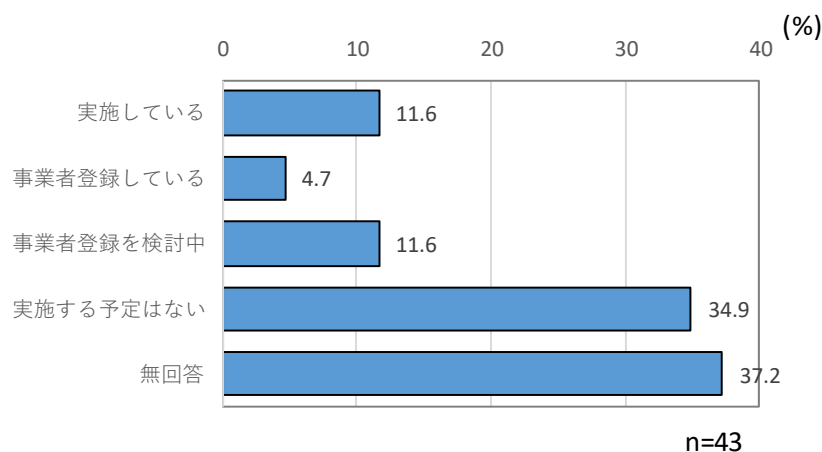
7.5.2 訪問介護の基準緩和型サービスの実施予定がない理由（MA）

「マンパワーの確保が困難」が30.8%で最も高く、次いで「コストに合わない」が26.9%、「総合事業がよくわからない」と「その他」が7.7%の順になっています。



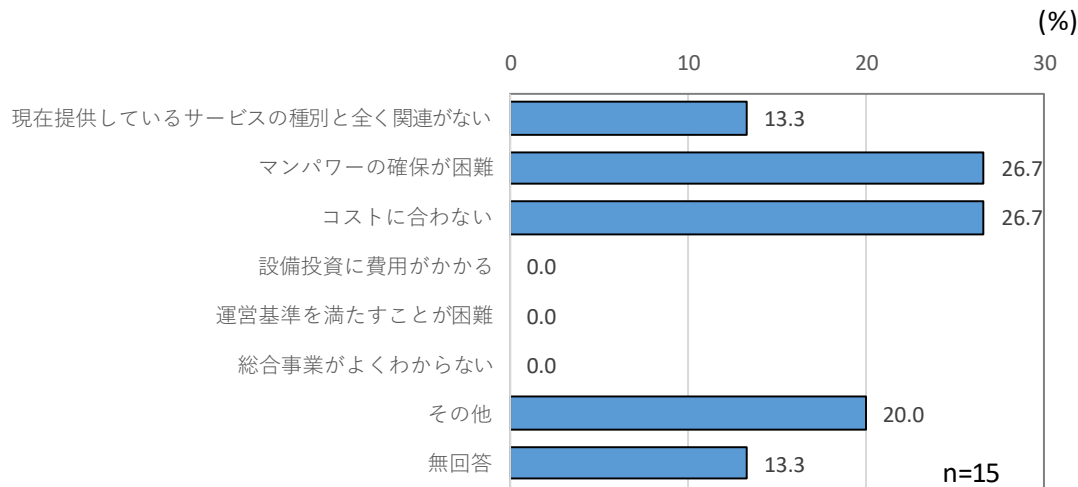
7.6.1 通所介護の基準緩和型サービスの実施の方向性（SA）

「実施する予定はない」が34.9%と最も高く、次いで「実施している」と「事業者登録している」が同率の11.6%の順となっています。



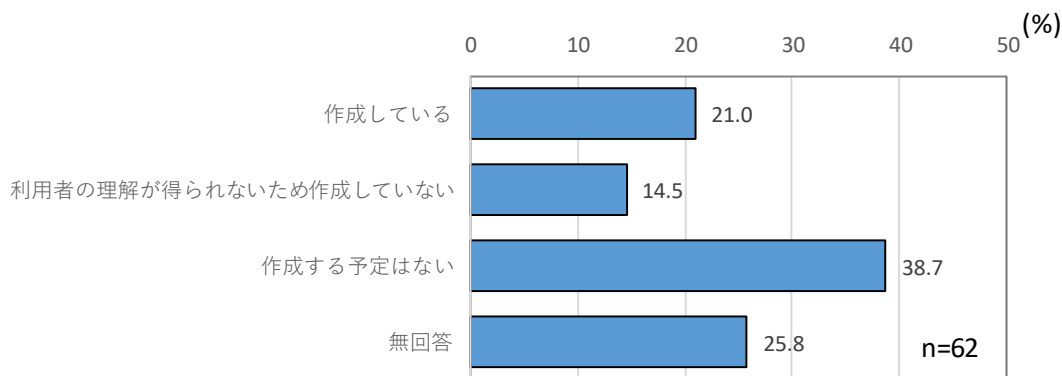
7.6.2 通所介護の基準緩和型サービスの実施予定がない理由（MA）

「マンパワーの確保が困難」と「コストに合わない」が26.7%で最も高く、次いで「その他」が20.0%の順になっています。



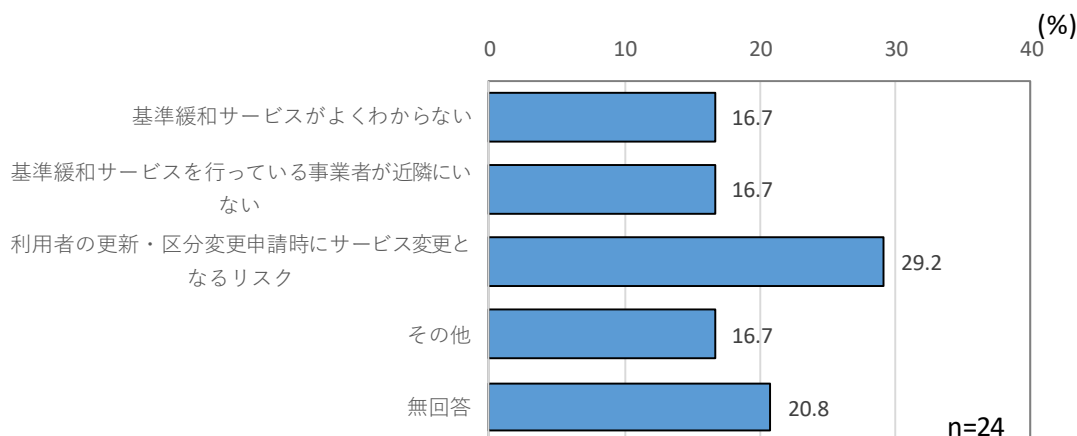
7.7.1 居宅介護支援の基準緩和型サービスの実施の方向性（SA）

「作成する予定はない」が38.7%と最も高く、次いで「作成している」が21.0%、「利用者の理解が得られないため作成していない」が14.5%の順となっています。



7.7.2 居宅介護支援の基準緩和型サービスの実施予定がない理由（MA）

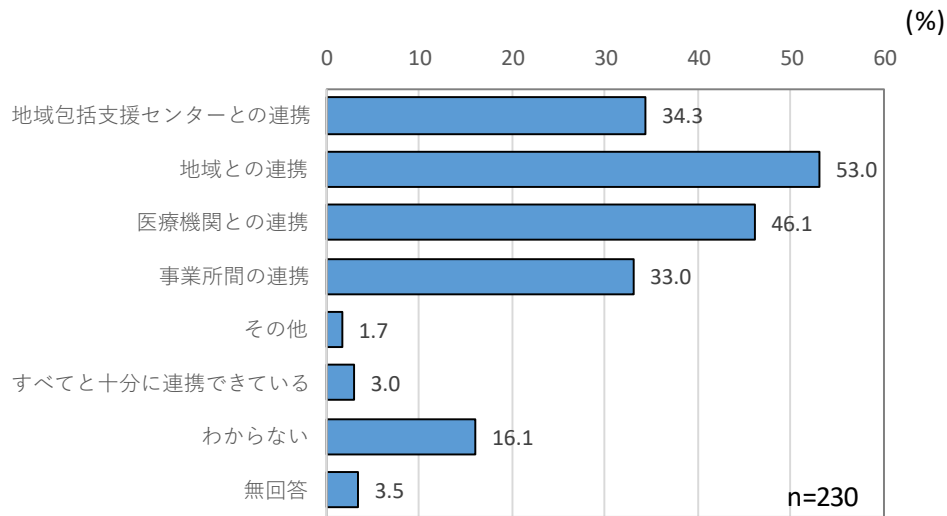
「利用者の更新・区分変更申請時にサービス変更となるリスク」が29.2%で最も高くなっています。



8. 地域包括ケアシステムについて

8.1 地域包括ケアシステムの構築のために不足しているもの（MA）

「地域との連携」が53.0%と最も高く、次いで「医療機関との連携」が46.1%、「地域包括支援センターとの連携」が34.3%の順となっています。



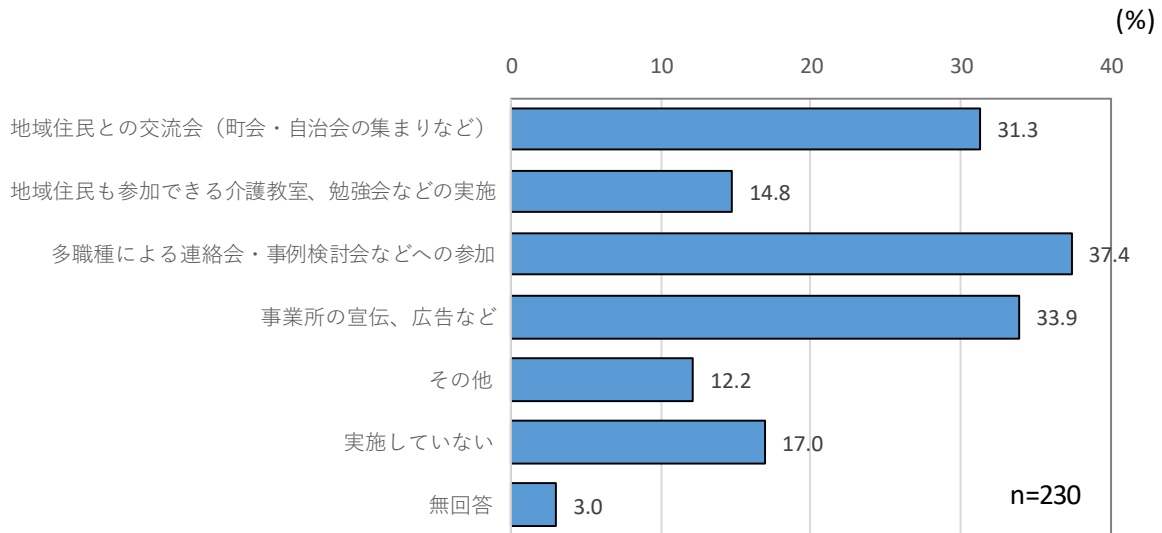
	合計	問24. 地域包括ケアシステムの構築のために不足しているもの								
		地域包括支援センターとの連携	地域との連携	医療機関との連携	事業所間の連携	その他	すべてと十分に連携できている	わからない	無回答	
全体	230	34.3	53.0	46.1	33.0	1.7	3.0	16.1	3.5	
経営主体	社会福祉法人	23	39.1	65.2	47.8	34.8	0.0	0.0	17.4	0.0
	医療法人(社団・財団)	17	47.1	70.6	41.2	29.4	0.0	5.9	5.9	0.0
	株式会社・有限会社	172	30.2	49.4	47.7	33.1	1.2	3.5	18.0	3.5
	特定非営利活動法人	7	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3
	組合	2	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	その他	8	62.5	75.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
従業員数	5人未満	49	40.8	73.5	53.1	32.7	2.0	6.1	12.2	2.0
	5～9人	38	39.5	42.1	42.1	34.2	2.6	0.0	26.3	0.0
	10～19人	69	26.1	52.2	44.9	29.0	1.4	1.4	11.6	8.7
	20～49人	54	27.8	44.4	42.6	37.0	0.0	3.7	20.4	1.9
	50人以上	19	52.6	52.6	52.6	31.6	5.3	5.3	10.5	0.0

8.2 地域活動の実施状況 (MA)

「多職種による連絡会・事例検討会などへの参加」が37.4%で最も高く、次いで「事業所の宣伝、広告など」が33.9%、「地域住民との交流会（町内・自治会の集まりなど）」が31.3%の順になっています。

経営主体別にみると、「特定非営利活動法人」は「地域住民との交流会（町会・自治会の集まりなど）」と「事業所の宣伝、広告など」が同率の71.4%で最も高くなっています。

従業員数別にみると、「5～9人」では「事業所の宣伝、広告など」、「20～49人」では、「地域住民との交流会（町会・自治会の集まりなど）」が最も高くなっています。



	合計	問27. 事業所で実施している地域活動							
		地域住民との交流会（町会・自治会の集まりなど）	地域住民も参加できる介護教室、勉強会などの実施	多職種による連絡会・事例検討会などへの参加	事業所の宣伝、広告など	その他	実施していない	無回答	
全体	230	31.3	14.8	37.4	33.9	12.2	17.0	3.0	
経営主体	社会福祉法人	23	34.8	21.7	39.1	39.1	17.4	13.0	0.0
	医療法人(社団・財団)	17	47.1	17.6	52.9	23.5	11.8	5.9	0.0
	株式会社・有限会社	172	27.9	12.8	35.5	33.1	11.0	18.0	3.5
	特定非営利活動法人	7	71.4	28.6	42.9	71.4	14.3	14.3	0.0
	組合	2	50.0	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	8	25.0	12.5	25.0	0.0	25.0	37.5	12.5
従業員数	5人未満	49	22.4	14.3	59.2	18.4	10.2	16.3	2.0
	5～9人	38	26.3	7.9	31.6	42.1	5.3	26.3	0.0
	10～19人	69	33.3	17.4	34.8	31.9	15.9	14.5	7.2
	20～49人	54	38.9	14.8	16.7	37.0	14.8	16.7	1.9
	50人以上	19	36.8	21.1	63.2	52.6	10.5	10.5	0.0

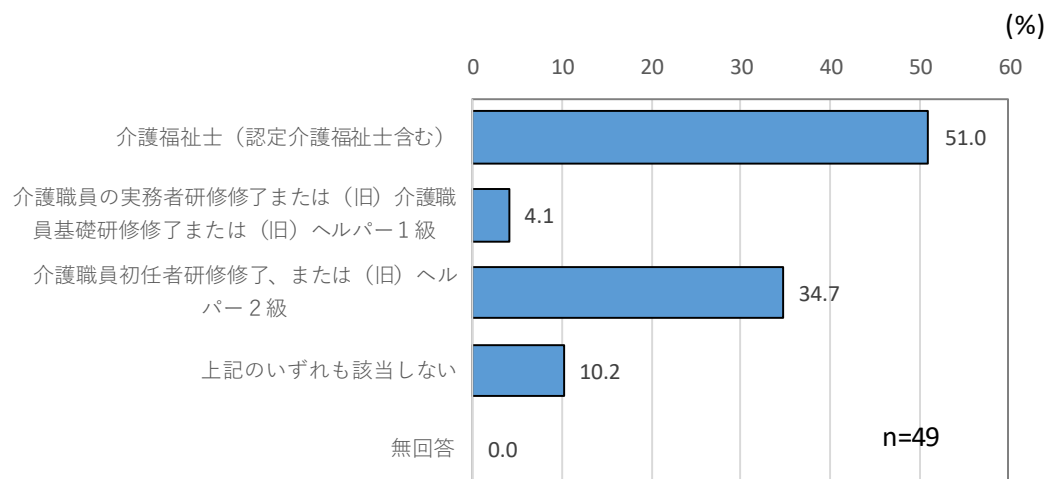
9. 介護人材の実態

9.1 資格の取得、研修の終了の状況（SA）

「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が51.0%で最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級」が34.7%、「上記のいずれも該当しない」が10.2%となっています。

雇用形態別にみると、“非正規職員”は、「介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級」が最も高くなっています。

年齢別にみると、“30代”以下は、「介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級」が最も高くなっています。

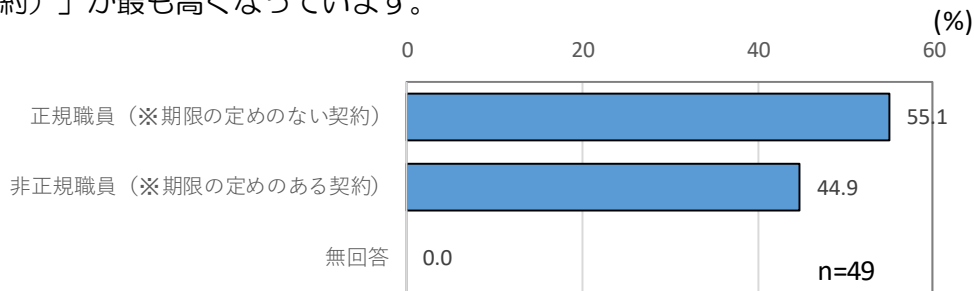


	合計	(1) 資格の取得、研修の終了の状況				
		介護福祉士（認定介護福祉士含む）	介護職員の実務者研修修了または（旧）介護職員基礎研修修了または（旧）ヘルパー1級	介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級	上記のいずれも該当しない	無回答
全体	49	51.0	4.1	34.7	10.2	0.0
雇用形態						
正規職員	27	66.7	7.4	22.2	3.7	0.0
非正規職員	22	31.8	0.0	50.0	18.2	0.0
年齢						
20歳未満	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20代	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
30代	13	30.8	7.7	46.2	15.4	0.0
40代	13	61.5	7.7	23.1	7.7	0.0
50代	13	76.9	0.0	23.1	0.0	0.0
60代	6	50.0	0.0	16.7	33.3	0.0
70代以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

9.2 雇用形態 (SA)

「正規職員 (※期限の定めのない契約)」が55.1%、「非正規職員 (※期限の定めのある契約)」が44.9%となっています。

年齢別にみると、“20代”以下と“60代”以上は、「非正規職員 (※期限の定めのある契約)」が最も高くなっています。



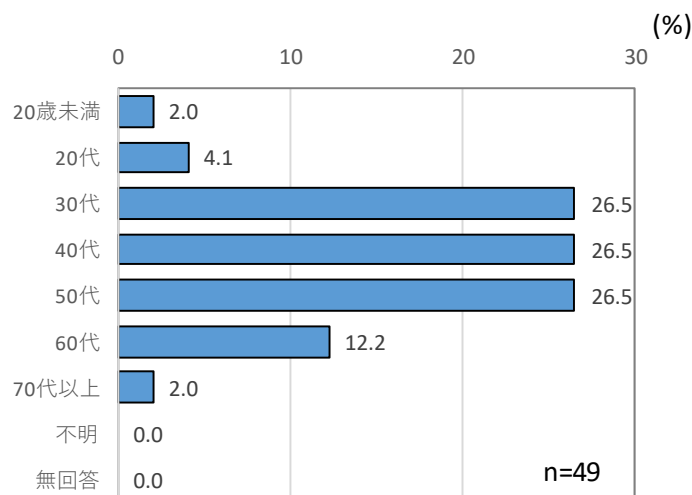
		合計	(2) 雇用形態		
			正規職員 (※期限の定めのない契約)	非正規職員 (※期限の定めのある契約)	無回答
全体		49	55.1	44.9	0.0
年齢	20歳未満	1	0.0	100.0	0.0
	20代	2	0.0	100.0	0.0
	30代	13	69.2	30.8	0.0
	40代	13	69.2	30.8	0.0
	50代	13	53.8	46.2	0.0
	60代	6	33.3	66.7	0.0
	70代以上	1	0.0	100.0	0.0
	不明	0	0.0	0.0	0.0

9.3 性別・年齢 (SA)

「30代」「40代」「50代」がそれぞれ26.5%となっています。

性別では、「男性」が34.7%、「女性」が65.3%で「女性」の割合が高くなっています。

性別にみると、「30代」以下と「70代以上」は、“男性”の割合が高くなっています。

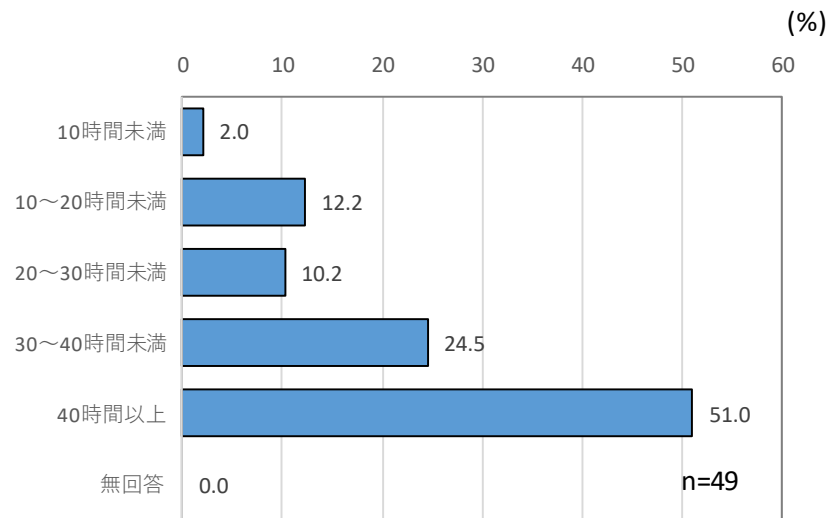


		合計	(3) 性別		
			男性	女性	無回答
全体		49	34.7	65.3	0.0
年齢	20歳未満	1	100.0	0.0	0.0
	20代	2	50.0	50.0	0.0
	30代	13	53.8	46.2	0.0
	40代	13	15.4	84.6	0.0
	50代	13	23.1	76.9	0.0
	60代	6	33.3	66.7	0.0
	70代以上	1	100.0	0.0	0.0
	不明	0	0.0	0.0	0.0

9.4 過去1週間の勤務時間（NA）

「40時間以上」が51.0%で最も高く、次いで「30～40時間未満」が24.5%、「10～20時間未満」が12.2%となっています。

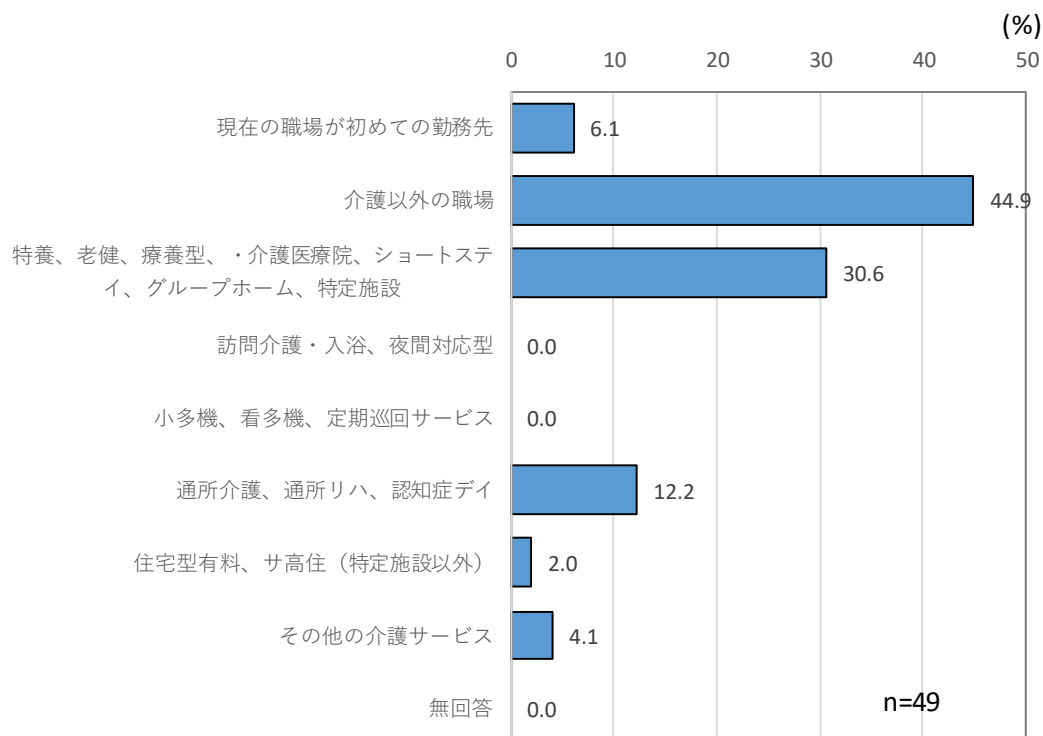
最大が45.0時間、最小が8.0時間で、平均は33.2時間となっています。



平均	33.2
最大値	45.0
最小値	8.0
無回答	0
全体	49

9.5 現在の施設等に勤務する直前の職場（SA）

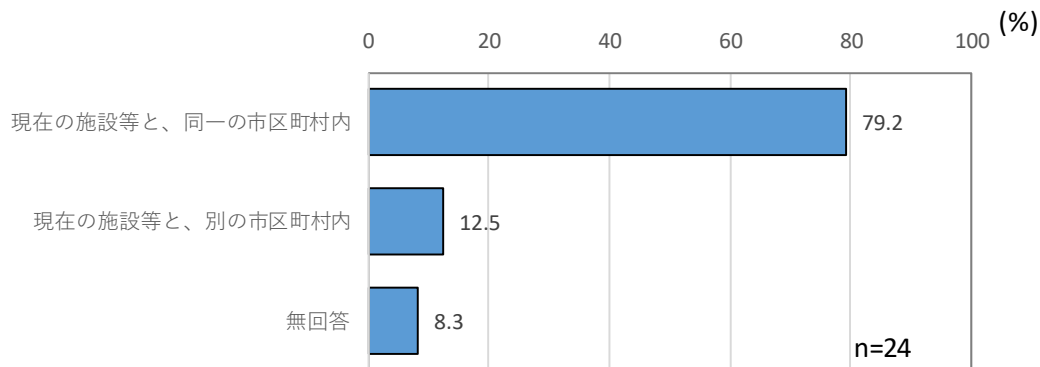
「介護以外の職場」が44.9%で最も高く、次いで「特養、老健、療養型、・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が30.6%、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」が12.2%となっています。





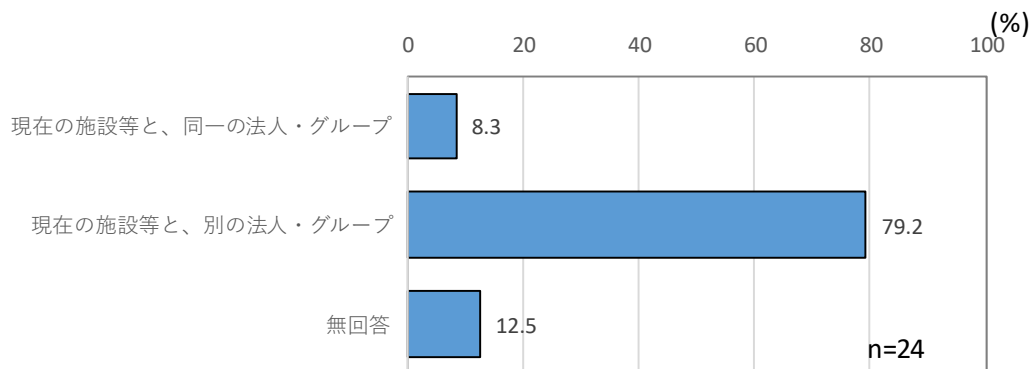
9.6.1 直前の職場の所在地 (SA)

「現在の施設等と、同一の市区町村内」が79.2%、「現在の施設等と、別の市区町村内」が12.5%となっています。



9.6.2 直前の職場の経営主体 (SA)

「現在の施設等と、別の法人・グループ」が79.2%、「現在の施設等と、同一の法人・グループ」が8.3%となっています。



## IV 自由記載

## 1. 市民アンケート調査（65歳以上）

自由意見について

は、292人から345件の意見がありました。意見分類ごとの意見数と主な意見は以下のとおりです。

意見内容	件数
近況	45
<ul style="list-style-type: none"> <li>●まだ介護を必要としていませんので先々と考えられない</li> <li>●まだ元気なので実感がないが気にはなっている。母が週1回のデイサービスを受けて喜んでいる</li> <li>●いつまでも自分の事は自分で出来る様、頑張りたい</li> <li>●自分もそれなりに年をとっているけれど、自分の意志で働ける内はなるべく人の世話にならない様に心掛けており、保護や支援の方の世話にならない様に心掛けている</li> <li>●ペースメーカーを使用し障害者手当をいただいている。健康には特に気を付けている</li> </ul>	
アンケート調査	44
<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料内容ははじめて見聞きする事柄が多くあり、安心と共に感心し参考になった</li> <li>●老人にこんな多い質問はとても大変</li> <li>●アンケート用紙が着いてから出すまでが短すぎ、年末と重なりもう少し余裕がほしい</li> <li>●かなりこまかなアンケートだと思う。あまり今回の様なアンケートはお目にかからない。すばらしい事だと思う</li> <li>●誕生日に今回と同様な用紙が送られてくるが、健康診断の結果とリンクすることはできないか</li> </ul>	
経済面、介護保険料等	39
<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護保険の金額は年金から差し引きされているが高いと思う</li> <li>●経済的に苦しいので病院も行けない。健康診断が来てもお金がかかるので行けない</li> <li>●わずかな年金から介護保険料や、健康保険料を徴収する事はやめてほしい</li> <li>●必要な人に必要な手助けが提供できるよう、収入の高い人、資産が多い人の負担は、大きくしてもよいのではないかと思う。逆に年金の少ない人には、もっと負担を少なくして、老後の生活を支えてほしい</li> <li>●健康保険税を75歳以上でも2割に引き上げるようなことをテレビ等新聞等で聞いているが、生活保護の人でも1割支払うようにしたらどうか。国民年金の人は生活保護の人より安いので、大変困っている。国民年金では生活は出来ない</li> </ul>	
情報提供、相談対応、手続き	29
<ul style="list-style-type: none"> <li>●気軽に聞ける窓口が近所にあるといい</li> <li>●1人暮らしなのでどこに民生委員の人がいるのか、誰が民生委員だか知らない</li> <li>●川口市で実施している高齢者福祉サービス、例えば自立支援用具の貸与の方法、どこで貸与できるのか。細かく冊子にするとかして市民に周知徹底していただきたい</li> <li>●役所窓口の担当者に関して、電話対応等に高齢者に対して全てを知りつくした方を担当者にしていきたい</li> </ul>	
市政	28
<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者が多くなるので行政面でもしっかりした方針をお願いしたい</li> <li>●障害者も高齢者も住み良い社会になってくれることを願う</li> <li>●「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の推進、充実した形として実行してほしい</li> </ul>	

意見内容	件数
介護サービスの内容	21
<ul style="list-style-type: none"> <li>●要介護になった時に安心して利用出来る施設を充実してほしい（安く利用できれば）</li> <li>●在宅介護の更なる拡充を図ってもらえば良い</li> <li>●介護が必要になった事を感じた時からヘルパーなどの専門家に援助してもらいたい。要支援1. 2・要介護1. 2も介護保険で責任を持って支援してもらいたい</li> </ul>	
外出支援、コミュニティバス	18
<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者が何時でも気軽に外出出来る様、東京都の様に年間無料パスポートの支給を望む</li> <li>●コミュニティバスの回数を多くしてほしい</li> <li>●運転免許証を返納してしまうと外出が少なくなり、不便を感じる。年金生活で交通費が高く感じるので、外出が控えめになる。バスの運賃の割引券などがあると高齢者でも外出が気軽に出来るので、元気な高齢者が増えると思う</li> </ul>	
介護保険制度	16
<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人負担の少ない介護サービスの量、内容を充実する事が求められる</li> <li>●一生介護に世話にならなくとも介護をする必要のある人達の為に払い続けなければいけない。一度も介護を必要としない人は減税になるとか色々工夫があれば良い</li> <li>●介護度がその人に対して合っていない事が多いので本当に困っている人が介護度が低く何でも出来る人が介護度が高いあまりにも適正でない人が多い</li> </ul>	
不安、心配	12
<ul style="list-style-type: none"> <li>●以前から1人住まいに関する不安はあったが、ここ数年の社会状況の変化もあり不安は増強している</li> <li>●子供が近くに住んでいないので、重いものを持つのが大変。今のところは何とかしているが、これからの事が心配</li> </ul>	
交流、健康づくり	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の健康は出来るだけ自分で守る事が基本。高齢者が参加出来る場所等で通いの場等を作り、交流の場が健康長寿を作るのではと思う。公園、図書館、公民館、スーパーマーケット等活用できれば</li> <li>●高齢になっても足、腰が丈夫で認知症が無ければ自立して生活ができる。運動能力が衰えない方法を老人に指導することが大事で、医療費の削減にもつながるはず。自宅からあまり遠くない場所にすれば多くの老人が参加できると考える</li> </ul>	
家族支援、日常生活支援	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護する家族に対する支援が特に必要だと思う</li> <li>●家の掃除や食事の支度を助けてほしい</li> </ul>	
コミュニティ、助け合い	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>●近所の住人の顔合わせ、話し合いが日頃から出来ていれば、災害時や病気の時に助け合える。地域の世話役の育成、有能な人を探し出す、そういう活動に市が支援する等、力を入れていただきたい</li> <li>●1人暮らしの老人について地域団体に常に心を配り、孤独死のないようにしてもらいたい</li> </ul>	
歩道整備、バリアフリー化	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の道路の段差等の整備をして下さい</li> <li>●高齢者のためだけでなく意識して歩きやすい道を作ってほしい</li> </ul>	

#### IV 自由記載

意見内容	件数
高齢者の就労等活躍機会	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>●定年退職者を積極的に採用した方が良いと思う</li> <li>●高齢者が長く働けるシステム作り、また市でその様な方針を後押ししてほしい。高齢者がもっと活躍出来る場所がほしい</li> </ul>	
その他	57
<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急電話を入れていただき、これがある為に1人ではないという安心感がある。ありがたいと思っている</li> <li>●人口に対して医療、病院が少ない。川口医療センターの充実</li> <li>●健康診査の内容の充実を</li> <li>●高齢者医療の中での薬代の負担を自己負担の割合を増やして、薬を出す量を少なくするべき。保健医療の見直しにより高齢者福祉事業への予算配分を増加すべし</li> </ul>	

## 2. 市民アンケート調査（在宅介護）

自由意見については、234人から275件の意見がありました。意見分類ごとの意見数と主な意見は以下のとおりです。

意見内容	件数
介護サービスの内容	42
<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅介護を続けられるよう、介護者への負担が減るようなサービスの充実をお願いしたい</li> <li>●掃除、買い物を頼んでいるが、買い物に時間がかかり、掃除がおろそかになってしまう。私は持病があり、自分で掃除は無理なので、掃除にももう少し時間を取ってほしいが、無理なようでひとりでイライラし、ストレスを抱えてしまう</li> <li>●仕事の関係で、有料でも構わないので、追加で送迎時間を選べるようなシステムがすべてのデイサービス・デイケアにあると良い</li> </ul>	
近況	33
<ul style="list-style-type: none"> <li>●少しずつ進行していく病気についていくのが精いっぱい</li> <li>●主人もまだまだ若いですし、半日のデイサービスも楽しんで行っている。介護する私も仕事をもっているが、支障なく過ごせている。このままの状態を維持させながら過ごせたらと思っている</li> <li>●人に頼らず自分の足で歩けるだけ歩こうと思う</li> </ul>	
経済面、介護保険料等	31
<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活保護を受けているが、もう少しあげていただきたい</li> <li>●施設に入れたいが、年金生活のため金銭的に難しい</li> <li>●少額の国民年金受給者にも利用できる施設、サービスを増やしてほしい</li> </ul>	
不安、つらい	30
<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護について、体調が思わしくないのが精神的につらい</li> <li>●今現在市営住宅に入っているが、この先どうなるか不安。どうしても保証人が年齢が高く、次の保証人が見つけられない。その不安が一番大きい</li> <li>●介護者の加齢による健康面での不安。急に入院になったら他に診てもらえる人がいない。あとは経済的にも貯金切り崩しなので生きれば生きるほど厳しく、つらい</li> </ul>	
アンケート調査	27
<ul style="list-style-type: none"> <li>●設問が多く高齢者にとっては苦である</li> <li>●老老介護についての質問項目がなくて残念</li> </ul>	
情報提供、相談対応、手続き	22
<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者の急な病気に対応してくれる病院のリストがほしい</li> <li>●市の申請窓口24時間化（一部でも可）が必要。申請書類が分かりづらい</li> </ul>	
介護者支援	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅で介護している人に対して優遇されるご褒美的なものがあったらいいと思う</li> <li>●介護の時体の移動が大変なので、介護用マッスルスーツがあればよい</li> <li>●介護の大変さは実際に介護をした人でなければ分からないと思うし、特に認知症患者の介護は非常に大変である。このことを踏まえて介護者に対するケア等も充実させていくことを検討してほしい</li> </ul>	
交通支援	10
<ul style="list-style-type: none"> <li>●みんななかまバス、もっと多く。本数が少なすぎる。通院買い物など乗合のタクシーを作してほしい。タクシー券を買っておいて予約制でタクシーが利用できるようにしてほしい</li> </ul>	

意見内容	件数
介護従事者の待遇、質 <ul style="list-style-type: none"> <li>●介護職の方々の報酬が良くなれば、職員の方の質の向上にもつながり、安心して働け、人手不足解消にもなると思う</li> <li>●複数のヘルパーさんが交代で来てくれているが、配慮が行き届いた介護をしてくれる人とそうでない人とが混在している。介護事業者にはヘルパーの質向上のために各ヘルパーの評価について利用者アンケートを取ることにしてもらい、業務改善に努めてほしい</li> </ul>	8
介護保険制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別養護老人ホームは要介護3以上で申し込みにくい。要介護2くらいに下げしてほしい</li> <li>●介護保険事業所について、制度運営が適切にされているのかのチェック機能の確認を願いたい</li> </ul>	7
日常生活支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>●市役所でオムツを買っているが、もうちょっとふやしてほしい。枚数が足りない</li> </ul>	5
交流、生きがい <ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症になって6年になるが、だいぶ落ち着いてきている。物の忘れ、奇行はあるものの身体状態も悪くはないので、デイサービス以外で気軽に人と接する場、そしてその場に通える車等があると良い。介護者も一緒に利用できればより良い</li> <li>●良書の紹介、音楽鑑賞ができる機会があると良い</li> </ul>	5
歩道の整備、バリアフリー化 <ul style="list-style-type: none"> <li>●もう少し街の道路をバリアフリーにするべき。トイレの多機能用を増やすべき。駅などエレベーターを増やすべき</li> <li>●道路改善の時は段差のない歩道にしてほしい</li> </ul>	5
市政 <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢になっても病気をして体が不自由になっても、川口市に住んでいるから安心だ、と思えるような行政を目指してくれることを希望する</li> <li>●これからは高齢者社会に突入する。よって介護保険の見直しや福祉サービス等の見直しが求められる。したがって体力向上を目的としたサービスを促進させる。例、市の空き地を移用した野菜やその他栽培。子供と一緒に遊んでスポーツを通しての教育指導</li> </ul>	5
その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者同士や高齢者を介護している家族同士で近所で助け合いをしていく必要があるのではないか。見守りや買い物支援（何かほしいものを買ってきてあげる）、ヘルパーに頼るのではなく、近所同士でできないか？子供のボランティア活動として。老人から子供へゴミ出ししたら100円あげるとか</li> <li>●介護される方は感謝する事を忘れてはならないと思う。介護する側の方が時に腹を立てたりイライラの気持ちが抑える事が出来なくなる事も理解できる。事業所や施設側の方はお世話して下さる方への思いを伝えて置くことが大切ではないか。</li> <li>●介護保険を利用させていただき20年近くになる。金銭面、介護者の精神面で市・ケアマネ・訪問看護師さんに大変助けていただいている。ありがとうございます。</li> </ul>	34

## 3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

自由意見については、123人から141件の意見がありました。意見分類ごとの意見数と主な意見は以下のとおりです。

意見内容	件数
経済面、介護保険料等 <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者が多い中、施設の料金見直し、老々介護、金銭面の負担、収入（非課税）の介護保険支払い、厳しいかと！</li> <li>●保険を使用していない人の保険料はもっと安くするべき。生活が苦しくなり、蓄えることも出来ない</li> <li>●目的税として消費税などが課税されていると思うので、無料の福祉サービスを望む</li> </ul>	17
介護サービスの内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>●仕事をしながら介護するにあたり、デイサービスの時間が短く時短で働いていても厳しい。保育園や学童のように延長があってほしい</li> <li>●経済的理由により特別養護老人ホームの入所を希望しているが、多床室の空きがないので増やしてほしい</li> <li>●身体の手話ではなく回復に向けたプログラムを多く取り入れたくても、対応してもらえていない。各要介護者に適した介護サービスをしてほしい。身の回りの世話をしてほしい人や、リハビリを多くしたい人などもっと柔軟に対応してもらいたい（例えば、スポーツセンターでリハビリ出来るなど）</li> </ul>	15
情報提供、相談対応、手続き <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者福祉サービスについて、どんなものがあるのかよくわからないので、詳しく説明してくれる講座、説明会、勉強会などを設けてほしい</li> <li>●いろいろな書類、申告、お年寄りは全く理解できない内容、文章。訪問等、家族を含め説明する必要がある</li> <li>●手続きがもう少し簡単になるとよい。マイナンバーカードをうまく使ってほしい</li> </ul>	15
アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>●今回の調査が届いて改めて自分もそういう年齢なのだと思った。今後もう少し興味を持ち勉強していきたい</li> <li>●このアンケートは長すぎる。「高齢者福祉」と「健康」の質問を分けて実施した方がよいと思う。せめて「健康」「介護保険」に限定するならもう少し項目を削除できるはず。せっかく良いアンケートなので、短くして多くの方に答えてもらった方がよい</li> <li>●忙しい年の瀬ではなく、もう少し余裕をもって調査してほしい</li> </ul>	15
介護保険制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>●介護施設の職員教育の調査をしてほしい。事件、事故を無くすため調査結果に応じて補助金査定をとりいれてほしい</li> <li>●介護度の認定の基準がわからない。まわりの人で認定度の高い人の方が、自分で動いている人もいたりする。よくなったら介護度が低くなっていくのは良いが、必要な時に低い介護度しか出ないと困っている人もいると思う。</li> <li>●子供等が（40才未満）いて収入条件をクリアすると被扶養者に認定される40才～64才の父母等については、介護保険料を負担することなく受けることが出来る（要介護者になった場合）のは、納得がいかない点。フルタイムで働き、定年退職をし収入がなくても介護保険料を払わなくてはならない者にとって常に不公平感がある</li> </ul>	12

意見内容	件数
<p>不安、心配</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一人暮らしで仕事は月4-5回(週1日)で健康に不安はある。生活もやっとで貯金で生活しているので、だんだんお金がなくなっていき不安</li> <li>●知的障害を持った子と同居している。親が病気になったり介護になったり高齢になってきて、子供の将来についてどうするか心配</li> <li>●年と共に病院へ通院することが多くなり年金生活になった時を思うと、とても心配</li> </ul>	11
<p>介護従事者の待遇、質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医療と介護はさほど変わりなく介助しているが、給料が全面的に低いと思う。給料が安い、重労働のため、スタッフもやめて行く人が多い、これからは高齢者が多い時代になっていくため若い世代に繋ぐよう給料をUPしてほしい</li> <li>●親の介護を経験して、ヘルパーの質について驚いた。常識があまりにも違う方、掃除や料理が出来ない方も多く、基本が出来ていない方が多くてビックリ。盗難も(大量)経験。信頼関係、人間力が大切</li> <li>●現在、私の父が入居しているグループホームは人手が少なく、介護以外の仕事で時間を取られ、本来の介護の質に影響が出ているのを実感している</li> </ul>	10
<p>コミュニティ、助け合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●住み慣れた地域でのコミュニティの推進ができれば災害時等に役立つと思う。インフォーマルなサービスの拡大、普及も大切だと思う</li> <li>●無資格でも今日は何も用事がないので半日だけでも運転手をしてあげたいとか、介護を受けたい人・したい人のニーズで(ピンポイント的)気楽にできる仕組みがあれば。もっと何か気楽にお手伝いしたいなと思っている</li> <li>●こども食堂があちこちにあるが、おとしより食堂(このネーミングがよいのかはわからないが)があってもよいのではないか。</li> </ul>	5
<p>生きがい、就労等社会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個人が楽しめる場を作ってほしい</li> <li>●私のような介護経験のある人をもっとシルバーとして働く場を作ってください</li> </ul>	3
<p>介護予防、交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●通所デイサービス等を利用する以前の高齢者に対し、もっと気軽に集い行う地域中心のサークルを行った方が良いと思う。閉じこもり傾向にある高齢者はかなりの数で、人知れず死亡していることを考えると、民生委員の方だけではとても無理。公民館や集会所を利用した催しを多く発信して、実施してほしい。ボランティアを希望される人も多くいる</li> <li>●近年、長野県が長寿県の仲間入りをされた。県をあげての健康寿命をのばす取り組み、(各地域公民館等の場所を利用しての年配者の運動活動)が効果を上げているようで、人口の多い川口市も予防の面から取り組みが必要ではないか</li> </ul>	3
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●夫婦それぞれの親の介護に直面している。遠方の実母は老人ホームに入所し、病院から老人ホームへ移る時の手続き等の大変さを経験した。予備知識を備えておけばよかったとも反省した。今後のことも心配。いつまで続くのか自分自身の体力、遠方に通う費用…考えるときりが無い。それでも途中で投げ出すことはできない。今後も行政を頼り、利用しながら介護を続けていきたいと思う。</li> <li>●全ての事を知らない。自分自身がまだ当事者ではないので、危機感のないのが一番の問題だと思う</li> <li>●自分や身近な家族に降りかからないと情報収集や行動の起因にならない</li> <li>●勉強会の機会を作ってほしい</li> </ul>	35



## 4. 市民アンケート調査（介護サービス事業者）

自由意見については、32事業所から46件の意見がありました。意見分類ごとの意見数と主な意見は以下のとおりです。

意見内容	件数
<p>人材養成、確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●当法人では、特に新卒採用に力を入れ、入職後の育成体制も整備してきたが、職員の十分な確保には至っていない。今後、地方の大学等も視野に入れて採用活動を実施する予定であるが、川口市に住む魅力の発信や、介護職員の家賃補助などの施策を検討いただければ幸い</li> <li>●介護をする人が、絶対に足りなくなります。今のうちに出来ることをやっておかないと、今後川口市内の事業所はドンドン無くなると思う</li> <li>●長く勤務してもらう為賃金（処遇改善加算を含む）の見直し、職員研修など定期的に行うなど、コミュニケーション、職員の意識の向上等に趣を置いている。働きやすく利用者さん主体の施設を目標としている</li> </ul>	8
<p>行政施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●介護職員の確保が困難である状況での新たな施設建設に配慮いただきたい。介護施設・施設利用者に立場に立った行政施策をお願いしたい</li> <li>●地域密着型になってから、小規模デイサービスを他市の利用者が使えなくなっていることに疑問を感じている。法律ではお互いの市がOKすれば、使えるようになっているのに、川口市は拒否の姿勢を取っている。本人が行きたいデイサービスに行くのが本来のあり方なのに勝手にこちらの都合にあわせさせるのはおかしい。今後はその様な考え方を改めていただきたい</li> <li>●地域包括ケアシステムの構築にあたり、地域活動を前面に出すことはやめていただきたい。事業所負担の増加も含め、自力で出来ることは自力で行うといった意識の低下がシステムの構築によって、更に悪化する懸念が強くなる。特にご家族が存在するのに、ご家族が見る面倒も他にやっていただく傾向が多く見られ、他人任せにしているご家族に対して取り組みをすることが、本当に必要としている人に、必要なサービスが出来なくなるのではないかとと思われる</li> </ul>	8
<p>情報提供、行政対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●介護予防に関わる書類（例：毎月の実績の報告（提出）の仕方などが各包括により違うので統一してほしい。また、1回／年くらいで予防プランについての勉強会など行ってほしい。市の中に総合包括のように相談できる所があると助かる。認定調査の記入の仕方や、市からの問い合わせ等の時の対応の仕方をもう少し考えてほしい</li> <li>●処遇改善の実績報告が大変。わかりやすい報告書にしてほしい</li> <li>●地域密着型通所介護でまだまだ町会、自治会が協力してくれず、地域の1人暮らしや、介護を必要としているお年寄りの情報を共有して、一人でも孤独死をなくすため県や市が各町会や自治会に協力する様指導をしてもらいたい</li> </ul>	6
<p>経営・運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●処遇改善（特定を含む）とてもありがたいが、給与が良くてもなり手が少ない。職員の給与はアップしているが、サービス単価は下がっているため、会社自体が衰退している。このまま続けば閉鎖せざるを得ない。何年も苦しい経営が続いている</li> <li>●以前は包括を交え住民の方との勉強会などを企画していたが、事業所運営、通常業務のみで手一杯な状況であり、コストや人材面で地域活動に取り組む余裕がなくなっているのが実情</li> <li>●日々のサービスや事務作業により、また人員不足で何も余裕がない</li> </ul>	6

意見内容	件数
介護保険制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>●目まぐるしい法改正と、ケアマネ資格更新、向上、費用コスト管理で疲労している</li> <li>●地域の方が介護申請を受けずに自由にデイサービスなどの利用が出来るようになればいい</li> <li>●特に要支援の方の居宅介護支援費の増額をお願いしたい。要介護者の方と同じことをして金額がかなり違うため</li> </ul>	5
アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>●もっと簡単なアンケートにしてほしい。時間がかかり、このアンケートを書くのに時間外が発生してしまう</li> <li>●問26はすみませんが時間がなく協力できません。行政から同じような調査が多数来るため、対応しきれず困っている</li> </ul>	6
介護サービスの内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>●居宅のCM（ごく一部だが）の利用者様に対する尊厳がなく、通所デイのスタッフに対しての対応が横柄で困ることが多い。それにより問24の連携がうまく出来ないところがあるのではないかと思う</li> <li>●利用者さんの残存機能を少しでも残してあげられるよう導いてあげることはあっても、面倒だから職員が必要以上に手を出すようなことがないよう見守るようにを職員全員で目指している</li> </ul>	3
その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民同士の繋がりの弱さを感じている。各事業所や事業所同士の繋がりも作りにくさを感じる</li> <li>●地域の多くの皆様にご活用頂けますよう、介護保険事業計画への協力を進めたい</li> </ul>	4